このたびは、スズキ バレーノ を
お買い求めいただきありがとうございます。

ご使用の前に、必ずこの取扱説明書をお読みください。
お車の取扱いを誤ると、事故や故障の原因となります。本書をよくお読みいただき、いつまでも快適なカーライフをお楽しみください。

- 本書は、お車の取扱いや万一のときの処置などについて説明しています。
- 「**必読！ 安全なドライブのために**」は、とくに重要な項目です。しっかりお読みください。
- 本書では、次の記号を使用しています。
  ⚠警告、**⚠注意**、**注 記**、**アドバイス** は、とくにしっかりお読みください。

⚠警告	**取扱いを誤ると、死亡または重大な傷害につながるおそれがある内容です。**
⚠注意	**取扱いを誤ると、傷害につながるおそれがある内容です。**
注 記	**取扱いを誤ると、物的損害につながるおそれがある内容です。**
アドバイス	お車を使ううえで知っておいていただきたい、または知っておくと便利な内容です。

- イラストの中で「 ✕ 」または「 ⃠ 」の記号があるときは、図示されている行為の禁止を示しています。

- 保証や点検整備については、別冊のメンテナンスノートに記載しています。本書とあわせてお読みください。
- 本書とメンテナンスノートは、常にお車の中に保管してください。
- お車をおゆずりになるときは、次に所有されるかたのために、本書とメンテナンスノートをお車につけてお渡しください。
- 限定車の装備品や、スズキ販売店またはスズキ代理店で取り付けた装備品などについては、装備品に添付されている取扱説明書をお読みください。
- 車の仕様などの変更により、本書の内容やイラストとお車が一致しない場合があります。あらかじめご了承ください。
- ご不明な点は、担当セールススタッフにおたずねください。

本書の見かた

本ページは見本を使って本書の基本的な読みかたを説明しています。

ヘッダー
ページの内容を案内しています。

タイトル
階層により区別しています。

フォグランプ

タイプ別装備

タイプ別装備
お車のグレードなどにより装備の有無が異なる事を示しています。

フォグランプスイッチ

ヘッドライトや車幅灯を点灯しているときに使用でき、雨や霧などで視界が悪いときに使用します。

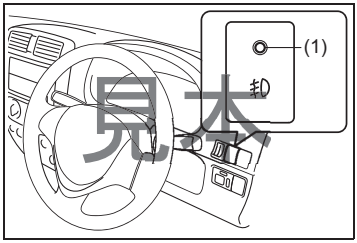
参照先
関連する内容が記載されているページなどを案内しています。

→ **3-53ページ（ライトスイッチ）**

章番号
各章の番号を案内しています。

- スイッチを押すとフォグランプが点灯し、スイッチ内の表示灯（1）が点灯します。
  もう一度押すと消灯します。

操作要領
装備の取扱いかたなどを説明しています。



注 記

バッテリー保護のため、視界が良くなったらすみやかにスイッチを切ってください。

警告・注意・注記・アドバイス
前ページをお読みください。

お知りになりたいことをさがすときは

次のような方法で検索されますと、すばやくさがせます。

■ タイトルからさがす

- ♦ 総合目次
- ♦ 各章のはじめの目次
- ♦ ヘッダー

■ 取り付け位置、警告灯・表示灯からさがす

- ♦ イラスト目次 → **1-2ページ**

■ ブザー音からさがす

- ♦ 警告ブザーが鳴ったときは → **1-22ページ**

■ 名称からさがす

- ♦ さくいん → **9-1ページ**

■ オイルや、交換部品をさがす

- ♦ お車との上手なつきあいかた → **6-1ページ**
- ♦ 万一のとき → **7-1ページ**
- ♦ サービスデータ → **8-1ページ**

■ よくあるご質問（Q & A）からさがす

- ♦ よくあるご質問（Q & A） → **1-28ページ**

ご愛車に関するメモ

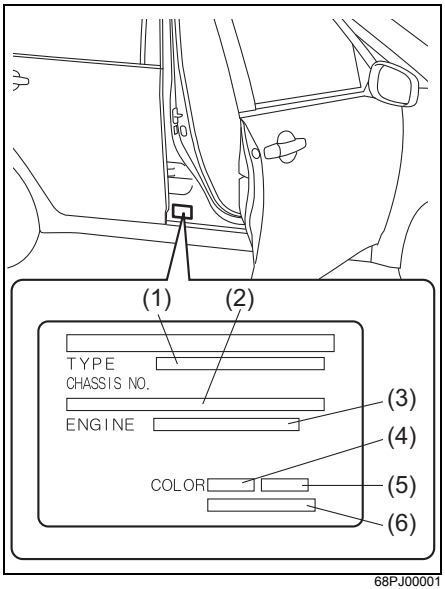
記入される記号・番号は、車検証、IDプレートをご覧ください。

ご　愛　車　の　メ　モ	
車名および車両型式	車名：
	型式：
車台番号	
エンジン型式	
車体色記号	
営業機種記号	
トランスミッション	
ナンバープレート(自動車登録番号)	
ご購入年月日	年　月　日

※本書で「オートマチック車」と記載されている場合、「オートマチック車」または「CVT車」を示しています。

IDプレート

運転席ドアを開いた所に貼付してあります。



68PJ00001

(1) 車両型式
(2) 車台番号
(3) エンジン型式
(4) 車体色記号
(5) 車体色と内装色の組み合わせコード
(6) 営業機種記号(9桁)

データの記録について

この車には、車両の制御や操作などに関するデータを記録するコンピュータが装備されており、以下のデータを記録します。

データの種類について

- エンジンの回転数など、エンジンの状態
- ギヤポジションなど、変速機の状態
- アクセル、ブレーキ、シフトポジションなど、操作の状態
- 各種コンピュータシステムの故障に関する情報
- SRSエアバッグ作動に関する情報（イベントデータレコーダー（EDR）に記録されます。EDR は Event Data Recorderの略です。）
  → **3-49ページ（SRSエアバッグ）**

アドバイス

- お車のタイプにより、記録されるデータは異なります。
- 会話などの音声は記録しません。
- 使用条件などにより、データが記録されない場合があります。

データの開示について

スズキおよびスズキが委託した第三者は、コンピュータに記録されたデータを、車両の故障診断・研究開発・品質の向上などを目的に取得・利用することがあります。
なお、スズキおよびスズキが委託した第三者は、次の場合を除き、取得したデータを第三者へ開示・提供しません。

- お車の使用者の同意がある場合
- 法令、裁判所命令そのほか法的強制力のある要請に基づく場合
- 統計的な処理を行なうなど、使用者や車両が特定できないように加工したデータを、研究機関などに提供する場合

MEMO

総 合 目 次

1 クイックガイド

イラスト目次 ····· 1-2
警告ブザーが鳴ったときは ····· 1-22
よくあるご質問（Q & A） ····· 1-28

2 必読！安全なドライブのために

必読！ 安全なドライブのために ····· 2-2

3 運転する前に

ドアの開閉 ····· 3-2
警報装置 ····· 3-16
ウインドーの開閉 ····· 3-19
各部の調節 ····· 3-23
シートの調節 ····· 3-26
シートベルト ····· 3-33
SRSエアバッグ ····· 3-49
メーター ····· 3-58
スイッチの使いかた ····· 3-105

4 運転するときは

エンジン始動・停止 ····· 4-2
パーキングブレーキ ····· 4-15
オートマチック車 ····· 4-17
アダプティブクルーズコントロール ····· 4-30
ABS ····· 4-42
ESP®····· 4-46
運転支援機能 ····· 4-50

5 装備の取扱い

主な装備 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 5-2
エアコン、ヒーター ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 5-19
オーディオ ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 5-34

6 お車との上手なつきあいかた

お手入れ ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 6-2
寒冷時の取扱い ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 6-12

7 万一のとき

パンク ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 7-2
バッテリーあがり ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 7-15
ヒューズ切れ ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 7-18
電球切れ ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 7-22
オーバーヒート ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 7-28
そのほか ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 7-30

8 サービスデータ

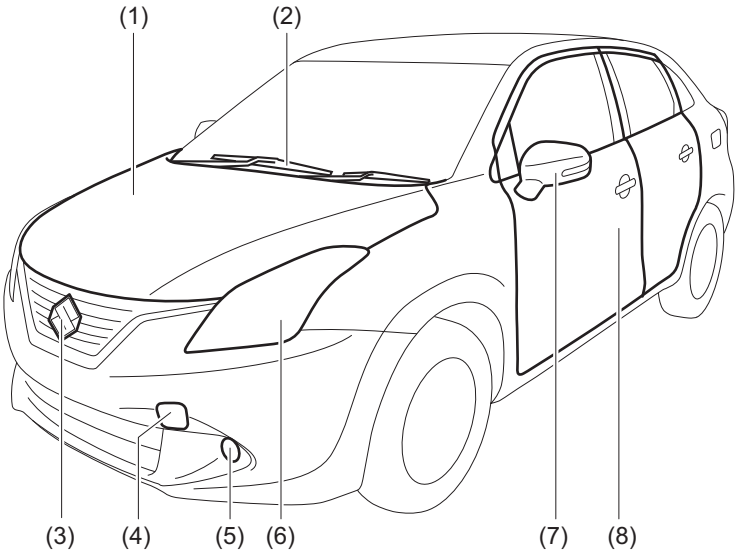
サービスデータ ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 8-1

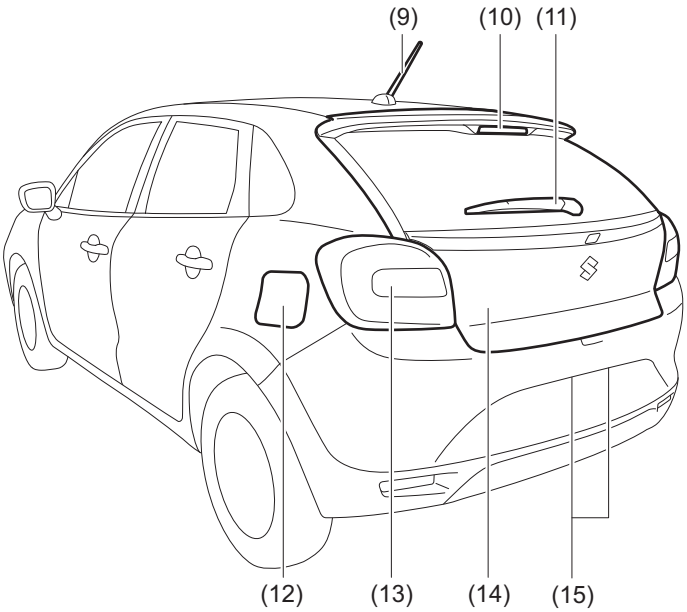
9 さくいん

さくいん ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 9-1

イラスト目次

■ 外観



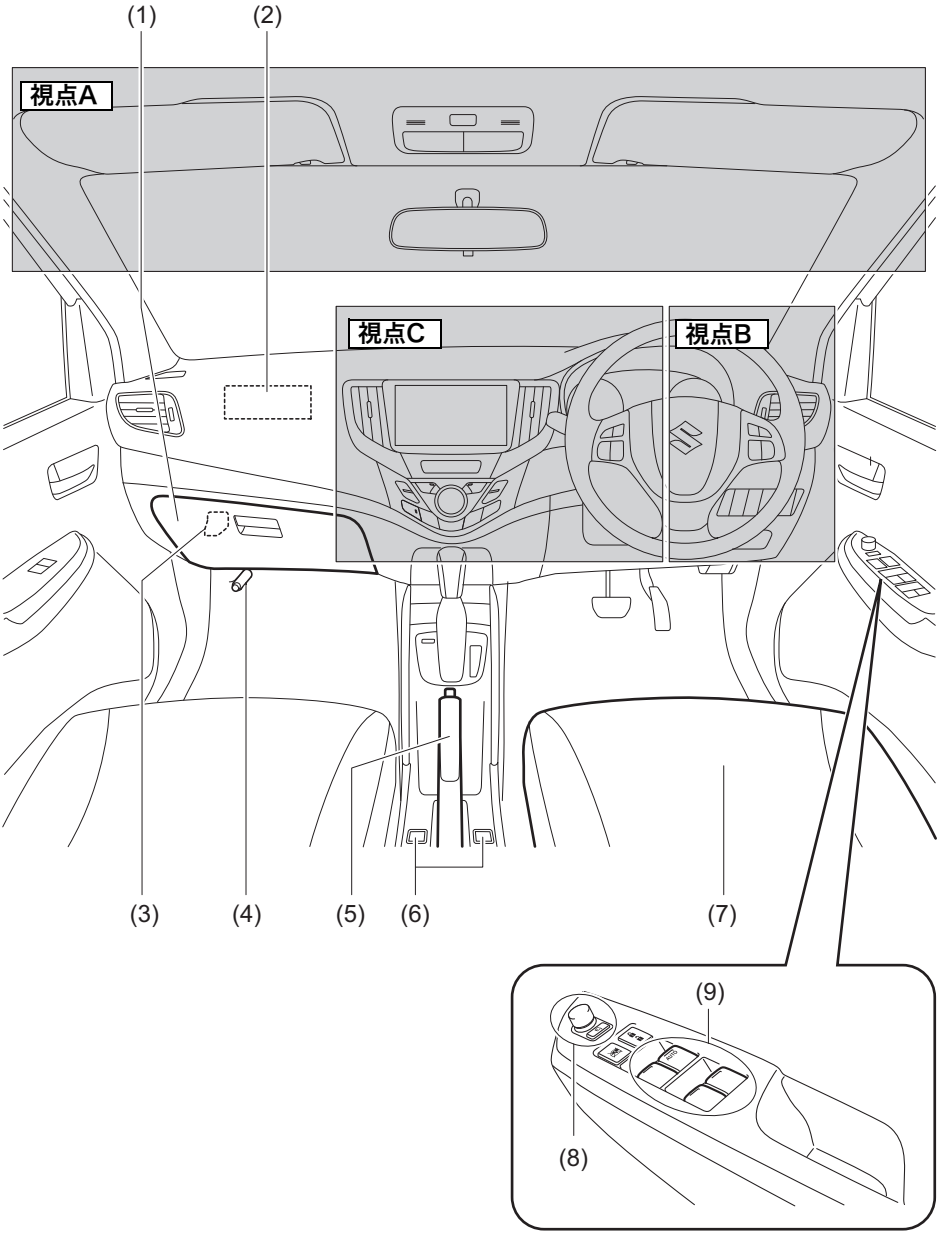


68PJ10001

お車のタイプにより、異なる装備も含んでいます。

(1)　ボンネット　・・・

内装（前面）

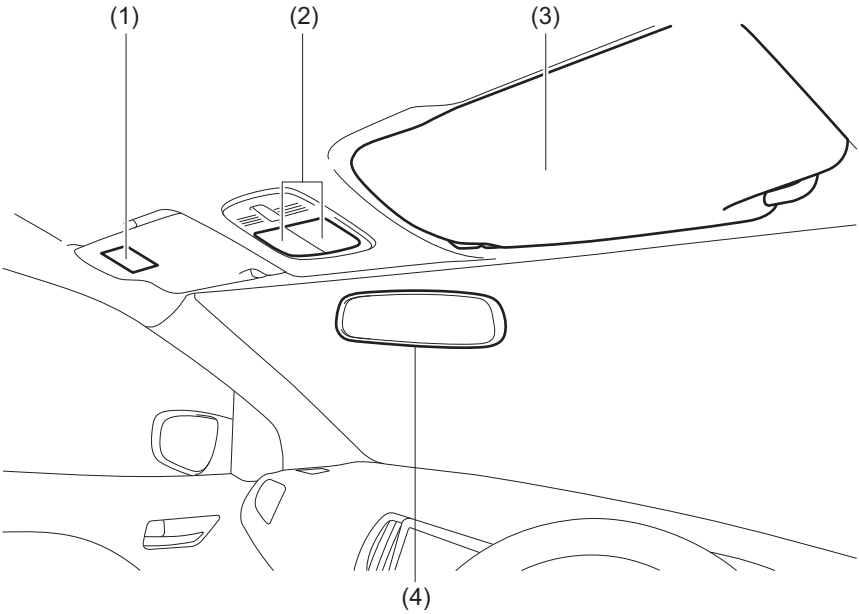


68PJ10002

お車のタイプにより、異なる装備も含んでいます。

(1) グローブボックス ····· 5-14
(2) 助手席SRSエアバッグ ····· 3-51
(3) ヒューズ ····· 7-19
(4) 発炎筒 ····· 7-30
(5) パーキングブレーキ ····· 4-15
(6) シートヒータースイッチ ····· 3-29
(7) 前席シート ····· 3-26
(8) ドアミラー角度調節スイッチ ····· 3-24
ドアミラー格納スイッチ ····· 3-25
(9) パワーウインドースイッチ ····· 3-19

■ 視点A



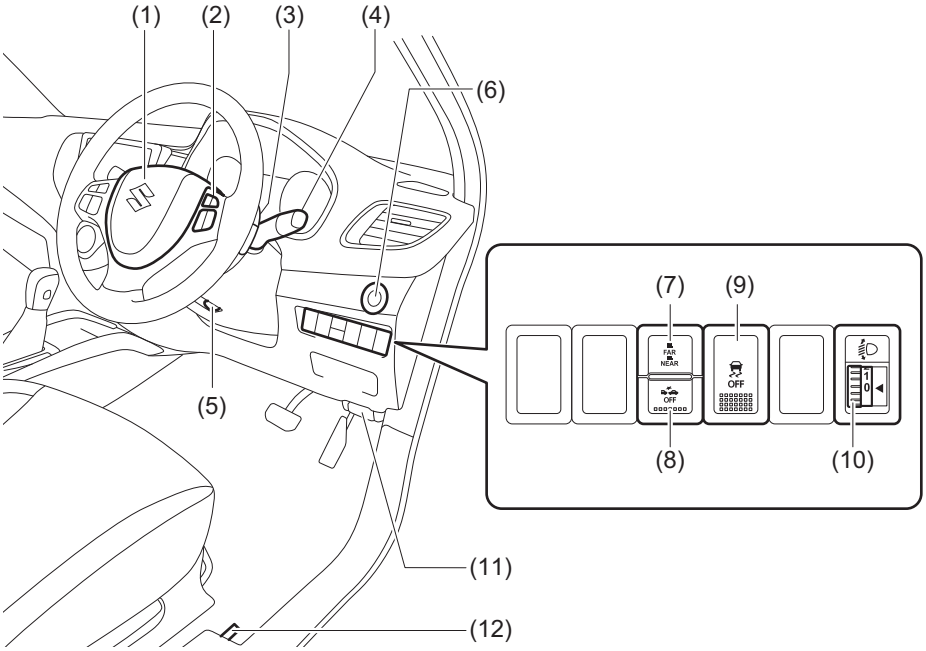
68PJ10003

お車のタイプにより、異なる装備も含んでいます。

(1)　助手席SRSエアバッグに関する
警告ラベル(※)　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　2-27
(2)　前室室内灯　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　5-8
(3)　サンバイザー　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　5-6
(4)　ルームミラー　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　3-23

※お子さま用シートをご使用になる前に、必ずお読みください。

■ 視点B

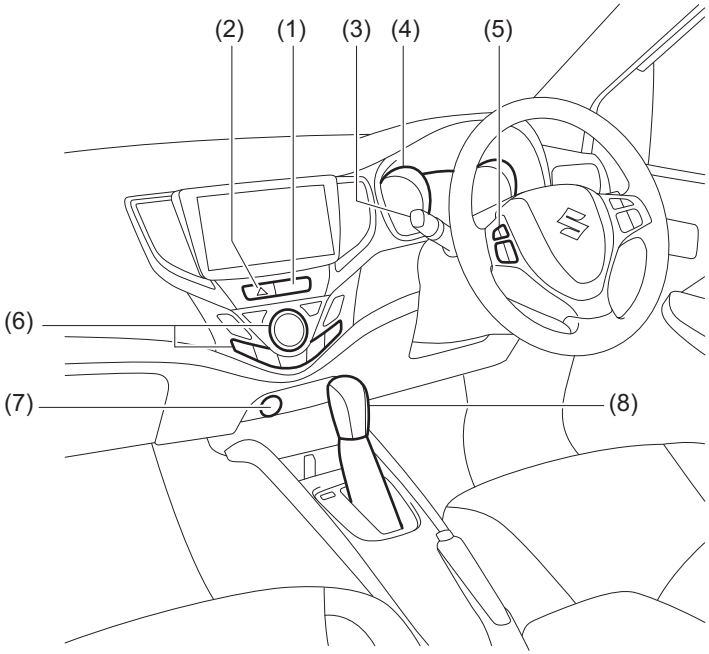


68PJ10004

お車のタイプにより、異なる装備も含んでいます。

(1) 運転席SRSエアバッグ ····· 3-51
ホーンスイッチ ····· 3-112
(2) アダプティブクルーズコントロールスイッチ ··· 4-32
(3) パドルシフトスイッチ ····· 4-21
(4) ライトスイッチ ····· 3-105
方向指示器スイッチ ····· 3-109
(5) ハンドル位置固定レバー ····· 3-26
(6) エンジンスイッチ ····· 4-2
(7) FAR/NEAR切替スイッチ····· 4-56
(8) レーダーブレーキサポートII(RBSII)
OFFスイッチ ····· 4-58
(9) ESP® OFFスイッチ ····· 4-48
(10) 光軸調整ダイヤル ····· 3-108
(11) ボンネットオープナー ····· 5-4
(12) フューエルリッドオープナー ····· 5-2

■ 視点C

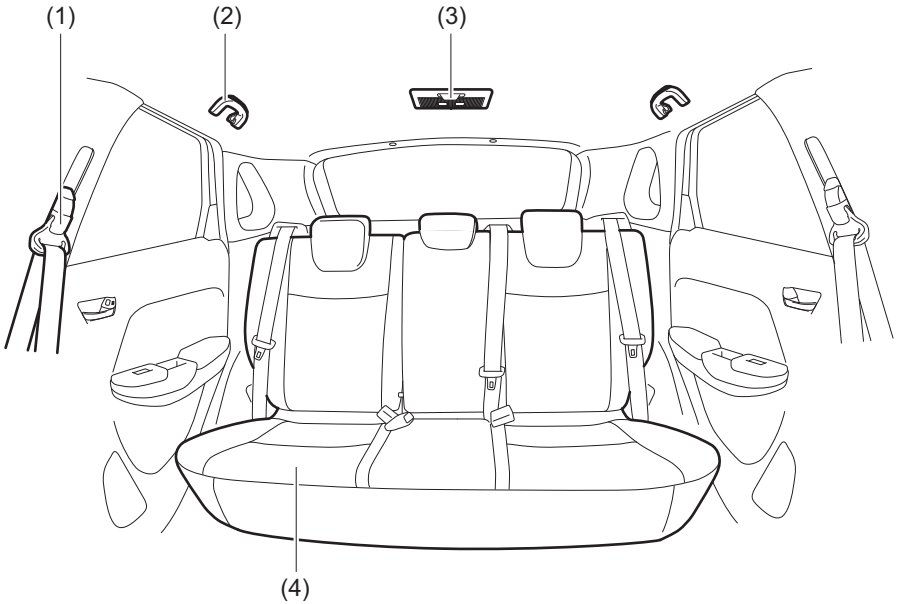


68PJ10005

お車のタイプにより、異なる装備も含んでいます。

(1)　セキュリティアラームインジケーター　・・・・・・・　3-16
(2)　非常点滅表示灯スイッチ　・・・・・・・・・・・・・・・・・　3-110
(3)　ワイパー／ウォッシャースイッチ　・・・・・・・・・・　3-110
(4)　メーター　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　3-58
(5)　ステアリングオーディオスイッチ　・・・・・・・・・・・　5-35
(6)　エアコン､ヒーター　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　5-19
(7)　アクセサリーソケット　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　5-9
(8)　セレクトレバー　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　4-17

内装（後面）

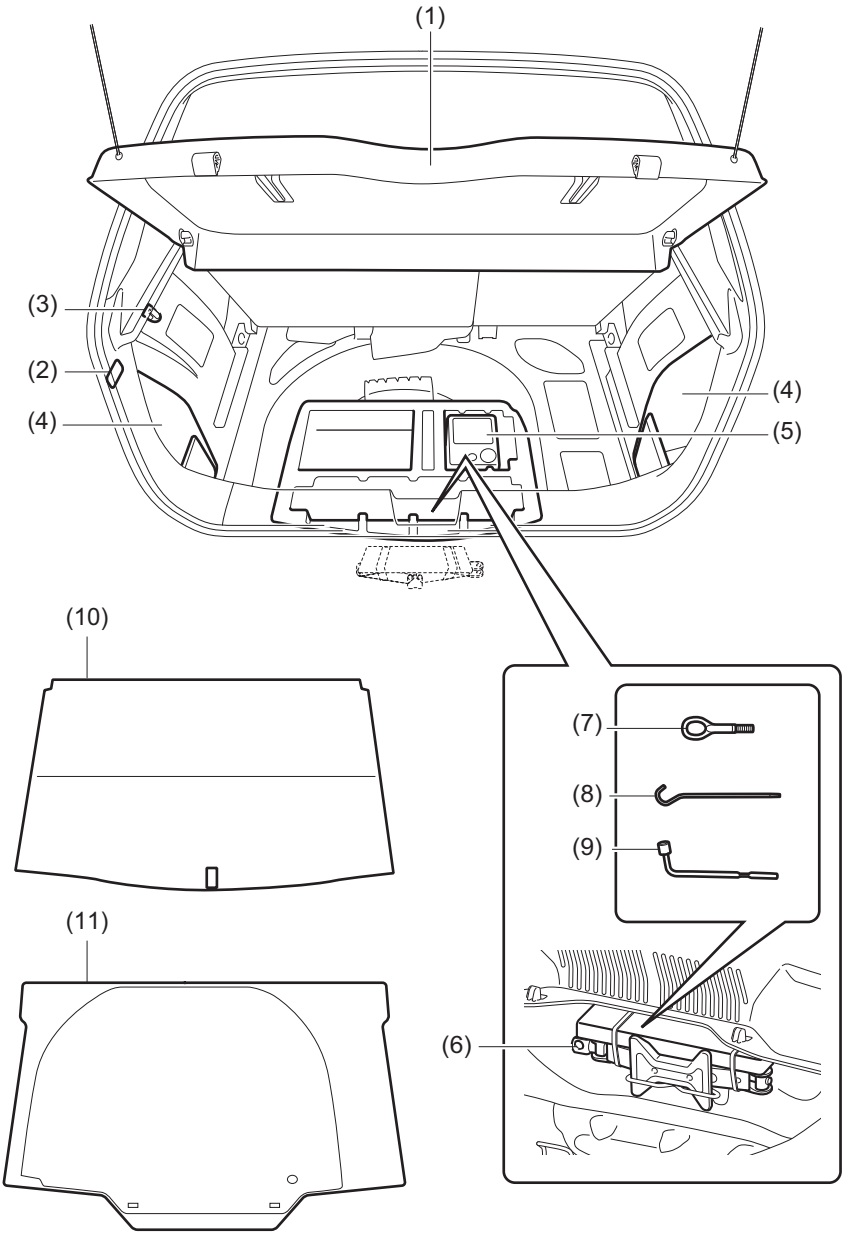


68PJ10006

お車のタイプにより、異なる装備も含んでいます。

(1)　シートベルト　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　3-33
(2)　アシストグリップ　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　5-15
(3)　室内灯　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・

荷室



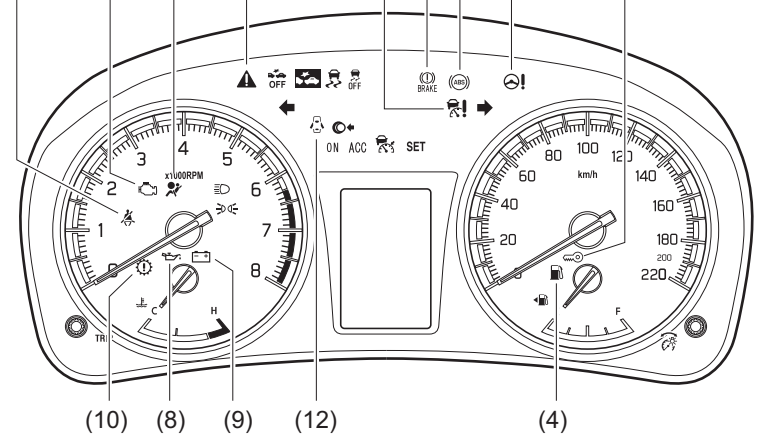
68PJ10007

お車のタイプにより、異なる装備も含んでいます。

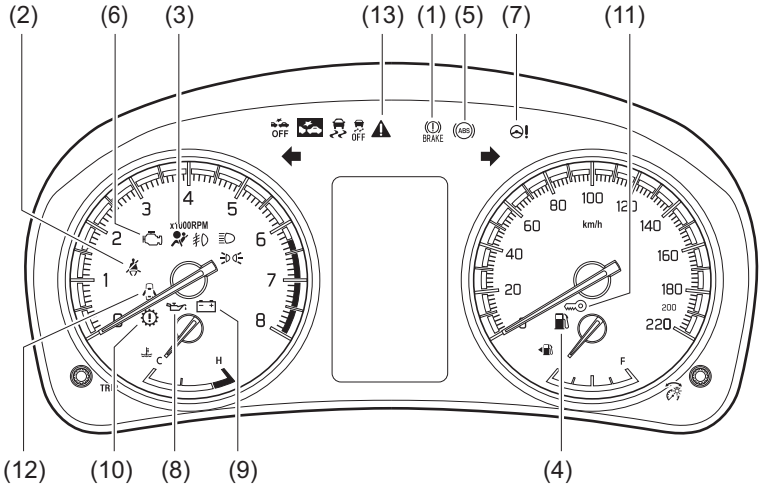
(1)　ラゲッジシェルフ(荷室カバー)　・・・・・・・・・・・・・　5-16
(2)　ラゲッジルームランプ　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　5-8
(3)　ショッピングフック(ラゲッジサイド)　・・・・・・・　5-16
(4)　ラゲッジポケット　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　5-14
(5)　タイヤパンク応急修理セット　・・・・・・・・・・・・・・・・・　7-3
(6)　ジャッキ　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　7-2、7-11
(7)　けん引フック　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　7-32
(8)　ジャッキバー　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　7-2
(9)　ホイールレンチ　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　7-2
(10) ラゲッジボード　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　5-17
(11) ラゲッジフロアカーペット　・・・・・・・・・・・・・・・・・　5-18

■ 警告灯

Aタイプ



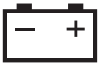
Bタイプ



68PJ10010

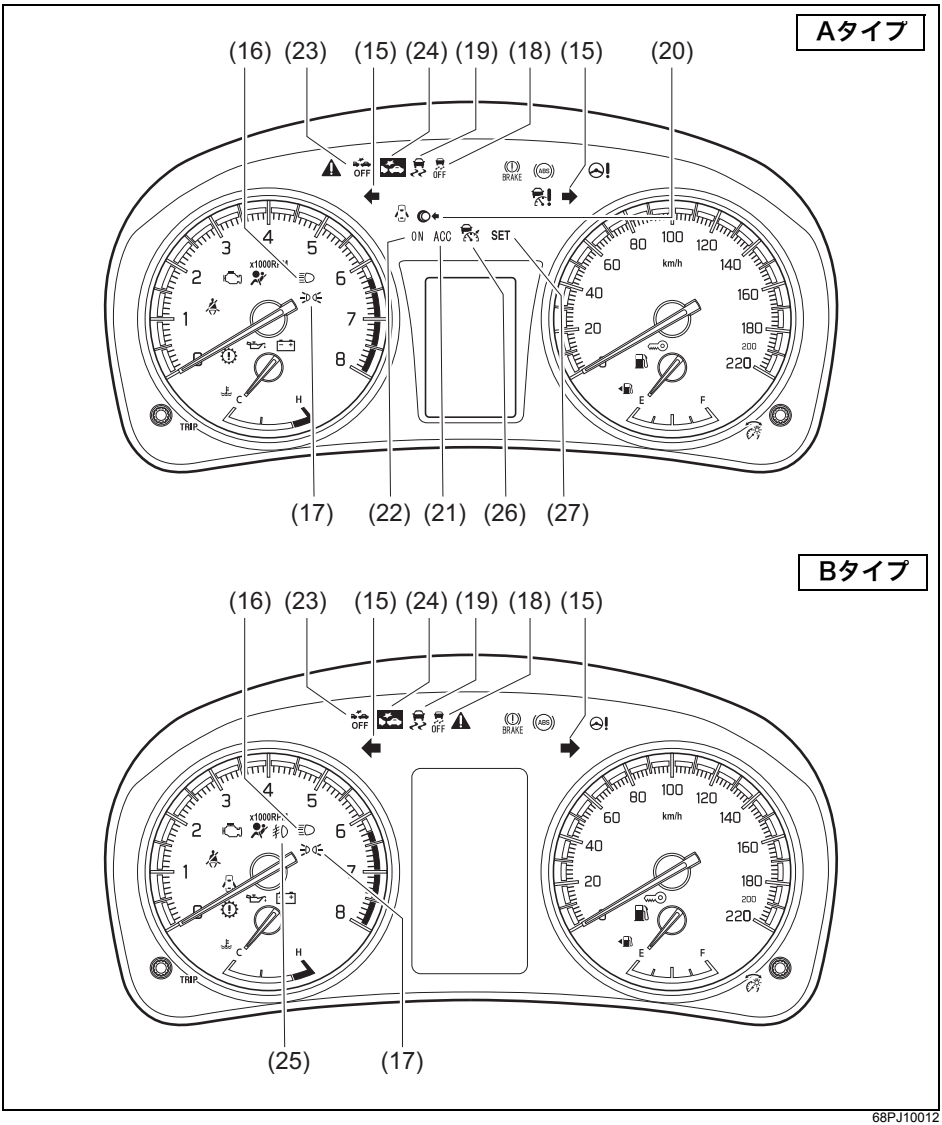
お車のタイプにより、異なる装備も含んでいます。

- 警告灯が点灯または点滅し続けた場合は、車両またはシステムの異常が考えられます。参照先の内容をよくお読みのうえ、スズキサービス工場で点検を受けてください。
- ※ 印の警告灯は、エンジンスイッチを ON にしたときに初期点灯するのが正常です。点灯しない場合は、スズキサービス工場で点検を受けてください。

警告灯			色	警告灯名	参照先
(1)		※	赤	ブレーキ警告灯	**3-61ページ**
(2)			赤	シートベルト警告灯	**3-62ページ**
(3)		※	赤	SRSエアバッグ警告灯	**3-63ページ**
(4)			オレンジ	燃料残量警告灯	**3-64ページ**
(5)		※	オレンジ	ABS警告灯	**3-65ページ**
(6)		※	オレンジ	エンジン警告灯	**3-65ページ**
(7)		※	オレンジ	パワーステアリング警告灯	**3-66ページ**
(8)		※	赤	油圧警告灯	**3-67ページ**
(9)		※	赤	充電警告灯	**3-67ページ**
(10)		※	オレンジ	トランスミッション警告灯	**3-68ページ**
(11)		※	オレンジ	イモビライザー警告灯	**3-68ページ**

警告灯			色	警告灯名	参照先
(12)			赤	半ドア警告灯	**3-68ページ**
(13)		※	オレンジ	マスターウォーニング	**3-69ページ**
(14)			オレンジ	アダプティブクルーズコントロールシステム警告灯（タイプ別装備）	**3-69ページ**

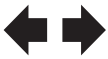
■ 表示灯



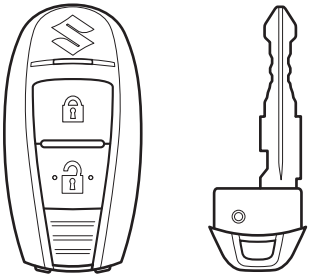
68PJ10012

お車のタイプにより、異なる装備も含んでいます。

- ※ 印の表示灯は、エンジンスイッチを ON にしたときに初期点灯するのが正常です。点灯しない場合は、スズキサービス工場で点検を受けてください。

表示灯			色	表示灯名	参照先
(15)			緑	方向指示器表示灯	**3-70ページ**
(16)			青	ヘッドライト上向き（ハイビーム）表示灯	**3-70ページ**
(17)			緑	ライト点灯表示灯	**3-70ページ**
(18)		※	オレンジ	ESP® OFF表示灯	**3-70ページ**
(19)		※	オレンジ	ESP®作動表示灯	**3-71ページ**
(20)			緑	プッシュ表示灯（タイプ別装備）	**3-71ページ**
(21)	ACC		オレンジ	ACC表示灯（タイプ別装備）	**3-72ページ**
(22)	ON		オレンジ	IG ON表示灯（タイプ別装備）	**3-72ページ**
(23)		※	オレンジ	レーダーブレーキサポートII (RBSII) OFF表示灯	**3-73ページ**
(24)		※	オレンジ	レーダーブレーキサポートII (RBSII) 作動表示灯	**3-73ページ**
(25)			緑	フォグランプ点灯表示灯（タイプ別装備）	**3-74ページ**
(26)			緑	アダプティブクルーズコントロールシステム作動表示灯（タイプ別装備）	**3-74ページ**
(27)	SET		緑	アダプティブクルーズコントロールシステム車速設定表示灯（タイプ別装備）	**3-74ページ**

■ キー



68PJ10015

お車のタイプにより異なります。

キー ・・・

警告ブザーが鳴ったときは

全車共通

いつ	ブザー音	インパネ表示	原因と対処方法
いずれかのドアを開けたとき	室内ブザー ●**ピー、ピー、**（約10秒間）	 2秒間隔で点滅	セキュリティアラームの警報が作動しています。次のいずれかの操作により警報を停止してください。 ●携帯リモコンまたはリクエストスイッチで解錠する ●エンジンスイッチを ON にする。 → **3-16ページ（セキュリティアラーム（警報装置））**
エンジンスイッチを ON にしたとき、または ON のとき	室内ブザー ●**ピー、ピー、**（4回）	 小刻みに点滅	駐車中にセキュリティアラームが作動したことをお知らせしています。 ●盗難にあってないか車の中を確認してください。 → **3-16ページ（セキュリティアラーム（警報装置））**

<table>
<tr><th>いつ</th><th>ブザー音</th><th colspan="2">メーター表示</th><th>原因と対処方法</th></tr>
<tr><td rowspan="3">エンジンスイッチを ON にしたとき、または ON のとき</td><td>室内ブザー
●ポーン
（1回）</td><td colspan="2"> 
点滅</td><td>マルチインフォメーションディスプレイにお知らせしたい情報が表示されています。
●メッセージの内容を確認してください。
→ 3-85ページ
（マルチインフォメーションディスプレイ（Bタイプ））</td></tr>
<tr><td> 
点灯</td><td> 
点滅</td><td>ESP® のシステムに異常が考えられます。
●スズキサービス工場で点検を受けてください。
→ 4-46ページ
（ESP®装備車の取扱い）</td></tr>
<tr><td> 
点灯</td><td> 
点滅</td><td>燃料の残量が少なくなっています。
●すみやかに給油してください。
→ 3-64ページ
（燃料残量警告灯）</td></tr>
<tr><td rowspan="2">すべてのドアを閉めたとき</td><td rowspan="2">室内/車外ブザー
●ピー、ピー、
（約2秒間）</td><td rowspan="2"> 
点滅</td><td rowspan="2"> 
点滅</td><td rowspan="2">携帯リモコンが車内にない、またはリモコンの電池切れが考えられます。
●リモコンを車内にもどすか、リモコンをエンジンスイッチに当ててください。
→ 4-8 ページ（携帯リモコン車外持ち出し警告）
→ 4-10ページ
（エンジンのかけかた）</td></tr>
<tr><td>エンジンをかけようとしたとき</td></tr>
</table>

いつ	ブザー音	メーター表示	原因と対処方法
停車中／後退中	室内ブザー ●**ピー、ピー**	メーター **Aタイプ**  表示 メーター **Bタイプ**  表示	セレクトレバーが**R**に入っています。 ●セレクトレバーの位置を確認してください。 → **4-24ページ（（リバース）ポジション警告ブザー）**
走行中	室内ブザー ●**ポーン**（1回）	 点灯  点滅	いずれかのドアが完全に閉まっていません。 ●安全な場所に停車して、ドアを完全に閉めてください。 → **3-68ページ（半ドア警告灯）**
	室内ブザー ●**ピピピッ、ピピピッ、**	 BRAKE 点灯	パーキングブレーキが解除されていません。 ●パーキングブレーキを解除してください。 → **4-16ページ（パーキングブレーキ解除忘れ警告ブザー）**
	室内ブザー ●**ピー、ピー、**（約95秒間）	 点滅	前席の乗員がシートベルトを着用していません。 ●安全な場所に停車して、シートベルトを着用してください。 → **3-34ページ（シートベルト警告ブザー）**

いつ	ブザー音	メーター表示	原因と対処方法
パドルシフトスイッチを操作したとき	室内ブザー ●**ピピッ**	—	希望するギヤポジションに変速されていません。 ●車速に見あった適切なギヤポジションを選択してください。 → **4-21 ページ（マニュアルモードの使いかた）**
エンジンスイッチをもどすとき	室内ブザー ●**ポーン**（1回）	 点滅	マルチインフォメーションディスプレイにお知らせしたい情報が表示されています。 ●メッセージの内容を確認してください。 → **3-100ページ（マルチインフォメーションディスプレイのメッセージ）**

いつ	ブザー音	メーター表示		原因と対処方法
運転席ドアを開けたとき	室内ブザー ●ピー、ピー、	—		エンジンスイッチが ACC になっています。 ● LOCK (OFF) にもどしてください。 → **4-15ページ（エンジンスイッチもどし忘れ警告ブザー）**
	室内ブザー ●ピーーー	 点灯	 点滅	ヘッドライトや車幅灯が点灯しています。 ●ライトを消してください。 → **3-106ページ（ライト消し忘れ警告ブザー）**
	室内ブザー ●ピッ、ピッ、	—		故障などで、エンジンスイッチを LOCK（OFF）にしていずれかのドアを開閉してもハンドルがロックされていません。 ●スズキサービス工場で点検を受けてください。 → **4-15 ページ（ハンドルロック未作動警告ブザー）**

<table>
<tr><th>いつ</th><th>ブザー音</th><th colspan="2">メーター表示</th><th>原因と対処方法</th></tr>
<tr><td rowspan="2">リクエストスイッチを押したとき</td><td>車外ブザー
●ピー
（約２秒間）</td><td colspan="2">－</td><td>エンジンスイッチが ACC または ON になっています。
● LOCK（OFF）にもどしてください。
→ 4-15ページ
（エンジンスイッチもどし忘れ警告ブザー）
携帯リモコンが車内にあります。
●リモコンを車外に持ち出してください。</td></tr>
<tr><td> 
点灯</td><td> 
点滅</td><td>いずれかのドアが完全に閉まっていません。
●ドアを完全に閉めてください。
→ 3-13ページ
（リクエストスイッチによる ドアの施錠・解錠）</td></tr>
<tr><td>携帯リモコンのロックスイッチを押したとき</td><td>車外ブザー
●ピー
（約２秒間）</td><td> 
点灯</td><td> 
点滅</td><td>いずれかのドアが完全に閉まっていません。
●ドアを完全に閉めてください。
→ 3-9ページ
（キーレスエントリー）</td></tr>
<tr><td>走行中</td><td>室内ブザー
●ピピピピピ</td><td colspan="2"> 
点滅</td><td>前方衝突警報が作動しています。
●前方車両との距離や周囲の状況に応じて、ブレーキ、ハンドル操作などの回避行動をしてください。</td></tr>
</table>

よくあるご質問（Q & A）

お問い合わせの多い、よくあるご質問についてご案内します。

ドアの開閉

Q. キーレスエントリーが作動しない。

A. キーレスエントリーが作動しない状況にあるおそれがあります。
3-9ページ（**キーレスエントリー**）をお読みください。

A. 携帯リモコンの電池が消耗しているときは、交換してください。
→ **6-8ページ（携帯リモコンの電池交換）**

Q. ドアを開けたら警報が鳴る。

A. 警報装置（セキュリティアラーム）が作動しています。
エンジンスイッチを ON にして警報を止めてください。
正しい取扱い方法や設定切替えについては、**3-16 ページ（セキュリティアラーム （警報装置））**をお読みください。

窓ガラス

Q. フロントガラスやドアガラス内側のくもりを取りたい。

A. • マニュアルエアコン装備車は、吹出し口切替えダイヤルを にしてください。
→ **5-21ページ（マニュアルエアコン）**

• オートエアコン装備車は、デフロスタースイッチをご使用ください。
→ **5-25ページ（オートエアコン）**

Q. バックドアガラス内側のくもりを取りたい。

A. リヤデフォッガースイッチ（**3-113ページ**）をご使用ください。

タイヤ

Q. パンクした。

A. パンクの状態によっては、タイヤパンク応急修理セットをご使用いただくことで、応急修理ができます。
→ **7-2ページ（パンク）**

バッテリーあがり

Q. バッテリーがあがり、エンジンが始動できない。

A. 救援車のバッテリーとブースターケーブルを接続して、エンジンを始動してください。
→ **7-15ページ（鉛バッテリーあがりのときは）**

運転支援機能

Q. レーダーブレーキサポートII（RBSII）が作動するとき、作動しないときを知りたい。

A. 次の項目をお読みください。
→ **4-50ページ（レーダーブレーキ サポートII（RBSII））**

エンジンオイル

Q. エンジンオイルを交換したい。

A. 次の項目をお読みください。
→ **2-32ページ（エンジンオイルを交換するときは）**
→ **8-1ページ（サービスデータ）**

電装品

Q. ヘッドライトまたは制動灯が点灯しなくなった。

A. 電球を点検してください。
→ **7-22ページ（電球の点検）**
→ **7-23ページ（電球を交換するときは）**
→ **8-4ページ（電球の容量）**

Q. 電気装置が使用できなくなった。

A. ヒューズを点検してください
→ **7-18ページ（ヒューズが切れたときは）**

Q. 運転席パワーウインドーがオートで全開／全閉しなくなった。

A. パワーウインドーのはさみ込み防止機構の初期設定が必要です。**3-22ページ**（**初期設定のしかた**）をお読みください。

2. 必読！ 安全なドライブのために

とくに重要な項目ですのでしっかりお読みください。

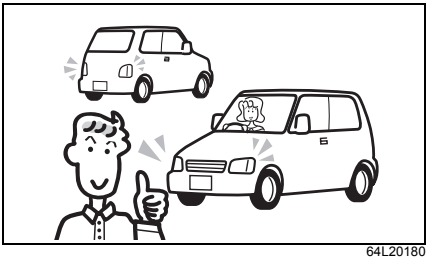
安全運転が第一

お車に装備されているシートベルト、ESP®(※)、SRSエアバッグシステム、運転支援機能などの安全装備も、乗員の安全確保には限界があります。法定速度を厳守するとともに、スピードを控えめにして安全運転に心がけてください。
(※ESP® は、Electronic Stability Program（エレクトロニック スタビリティ プログラム）の略で、Daimler AGの登録商標です。)

出発の前に（お車の確認）…… 2-2
荷物を積むときは…… 2-4
お子さまを乗せるときは…… 2-5
植込み型心臓ペースメーカーなどをご使用の方へ‥ 2-10
運転席にすわって…… 2-11
エンジンをかけるときは…… 2-13
走行するときは…… 2-14
駐車するときは…… 2-19
給油するときは…… 2-22
オートマチック車を運転するときは…… 2-24
SRSエアバッグ車を運転するときは…… 2-26
ターボ車を運転するときは…… 2-28
こんなことにも注意して…… 2-29
エコドライブをしましょう…… 2-33

出発の前に（お車の確認）

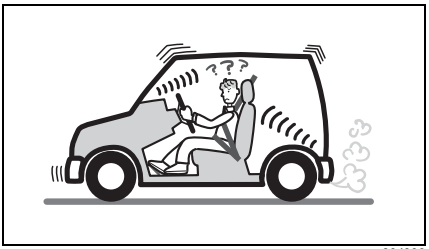
日常点検を確実に



64L20180

車の走行距離、使用状態から判断した適切な時期に実施してください。
→ **メンテナンスノート（日常点検）**

こんな症状に気づいたときは



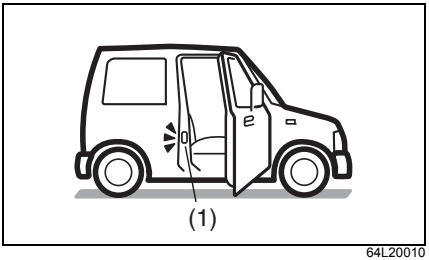
80J009

⚠注意

次のような場合はスズキサービス工場で点検を受けてください。
- **地面に油や液の漏れたあとが残っている**
- **ブレーキ液が不足している**
- **いつもと違うにおい、音、振動がある**
- **ハンドルやブレーキを操作したときの感じがいつもと違う**

タイヤの空気圧をチェック

- 定期的に点検・調整してください。この車の指定空気圧は、運転席ドアの開口部に貼付してある「**空気圧ラベル**」（1）で確認できます。
  → **メンテナンスノート（日常点検）**

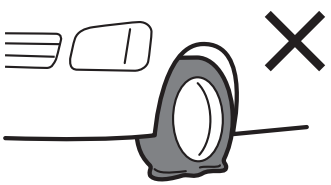


64L20010

- 空気圧が不足したまま走行すると、タイヤの両端が摩耗する原因となります。また、燃費が悪くなります。

⚠警告

- **空気圧が極端に低いまま走行すると、タイヤがバースト（破裂）して思わぬ事故につながるおそれがあります。**



72J20040

●指定空気圧を守らないと車の性能が十分に発揮できず、次のようなことが起きるおそれがあり、思わぬ事故につながったり、故障の原因となったりするおそれがあります。
- 走行安定性が悪化する
- ブレーキをかけたときの制動距離が伸びる
- タイヤ回転速度に悪影響をあたえて、次の機能が正常に作動しなくなる
  - ABS
  - ESP®
  - レーダーブレーキサポートII（RBS II）
  - エマージェンシーストップシグナル（ESS）
  - アダプティブクルーズコントロール（ACC）

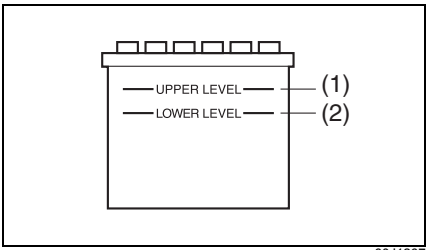
バッテリーを点検して

■ 鉛バッテリー

鉛バッテリーの液面を点検する

液面が下限（2）より下にあるときは、バッテリー補充液を上限（1）まで補充してください。バッテリー液が不足すると、バッテリーの寿命を縮めるおそれがあります。

→ **メンテナンスノート（日常点検）**



80J1267

⚠ 警告

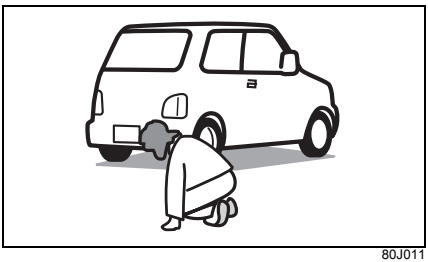
●バッテリー液が不足すると、発熱して爆発のおそれがあります。
●バッテリー端子を外して再び接続するときは、確実に締め付けてください。ゆるみがあると、火災や故障の原因となります。

注 記

●バッテリーを交換するときは、指定のバッテリーを使用する（指定外のものを使用しない）
→ 8-2ページ（サービスデータ）

●バッテリー端子から電気製品の電源をとらない

排気管も点検



80J011

排気管に穴やひび割れがないか、ときどき点検してください。

⚠ 警告

排気管に漏れがあると、排気ガスが車内に侵入して一酸化炭素中毒のおそれがあります。異常を感じたときは、スズキサービス工場で点検を受けてください。

荷物を積むときは

荷物の積みすぎは、車体や走行に悪影響をおよぼします。

⚠警告

●燃料や薬品が入った容器、スプレー缶などを車内に持ち込まないでください。引火や爆発のおそれがあります。



80J021

●インパネの上にものを置かないでください。運転視界をさまたげたり、発進時や走行中に動いたりして、安全運転のさまたげになるおそれがあります。また、万一の事故で助手席 SRS エアバッグが正常に作動しなかったり、助手席 SRS エアバッグがふくらんだときに飛ばされたりして、けがのおそれがあります。



80J070

●セレクトレバーにものをかけたり、セレクトレバーをハンドレスト代わりに使用したりしないでください。セレクトレバーが正常に作動しなくなり故障の原因や思わぬ事故につながるおそれがあります。

⚠注意

●車内に荷物を積み重ねないでください。視界のさまたげになるばかりでなく、急ブレーキで荷物が飛び出し、思わぬ事故につながるおそれがあります。



80J022

●動物を乗せるときは、動きまわらないように注意してください。運転のさまたげになったり、急ブレーキのときなどに思わぬ事故につながったりするおそれがあります。

お子さまを乗せるときは

いつもより慎重に安全を確保し、スピードを控えめに安全運転を心がけましょう。

お子さまは後席に乗せる



51K0188

- できるだけ大人が隣にすわり、お子さまを見守ってください。
- 助手席に乗せるとお子さまの不意の動作が気になったり、お子さまがいたずらしたりして、運転のさまたげになるおそれがあります。
- お子さま用シートは、お子さまの年齢や体格にあった適切なものを選んでください。
  → **2-6ページ（お子さま用シートの使用について）**
  → **3-39ページ（お子さま用シートの選択について）**

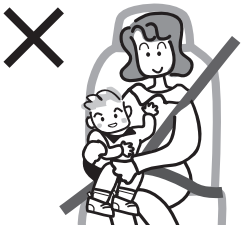
⚠警告

- **後席のお子さまが走行中にドアを開けないように、チャイルドプルーフをご使用ください。**
  → 3-8ページ（チャイルドプルーフによる 施錠・解錠）
- **お子さま用シートを必要としないお子さまをやむをえず助手席に乗せるときは、次のことをお守りください。**
  - **助手席を一番後ろに下げてください。助手席を前に出していると、助手席SRSエアバッグが作動したときの強い衝撃で重大な傷害を受けるおそれがあります。**
- **お子さまがアームレストやシート下のレール部分など車内の可動部に手や足などを近づけないように注意してください。はさまれてけがをするおそれがあります。**

お子さまもシートベルトを着用

⚠ 警告

- ひざの上にお子さまを抱かないでください。しっかり抱いていても、衝突のときなどに十分にささえることができず、お子さまが重大な傷害を受けるおそれがあります。



80J081

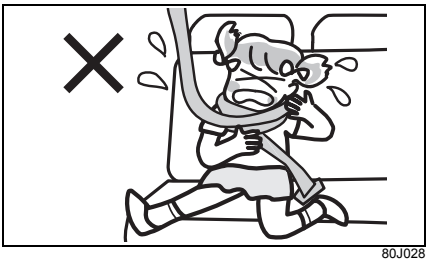
- 必ずシートベルトを着用させてください。
- 一本のシートベルトを二人以上で使用しないでください。
- この車のシートベルトは成人サイズの乗員に適するように設計されています。シートベルトが首やあごにかかるときや、腰骨にかからないようなお子さまには、チャイルドシートやジュニアシートをご使用のうえ、後席に乗せてください。シートベルトを正しく使用しないと、お子さまが重大な傷害を受けるおそれがあります。



80J082

- 首がすわっていないお子さま、ひとりすわりのできないお子さまには、ベビーシートをご使用のうえ、後席に乗せてください。

シートベルトで遊ばせない



80J028

⚠ 警告

お子さまをシートベルトで遊ばせないでください。ベルトを身体に巻きつけるなどして遊んでいるときに、窒息など重大な傷害を受けるおそれがあります。万一の場合は、ハサミでベルトを切断してください。

お子さま用シートの使用について

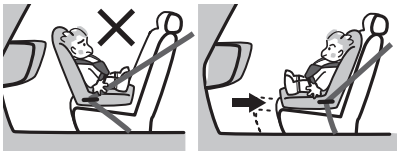
- ベビーシートなどの後ろ向きお子さま用シートは、助手席で使用することができません。後席に取り付けてください。
- 安全のため、チャイルドシートおよびジュニアシートも後席に取り付けてください。

- お子さま用シートは、お子さまの年齢や体格にあった適切なものを選んでください。
  → **3-39ページ（お子さま用シートの選択について）**
- 助手席サンバイザーの両面には、助手席 SRS エアバッグ装備車にお子さま用シートを取り付ける場合の禁止事項などを示した警告ラベルが貼られています。お子さま用シートをご使用の前に、**2-27ページ**の「**助手席 SRS エアバッグに関する警告ラベル**」を必ずお読みください。
- この車には、次のタイプのお子さま用シートを取り付けることができます。
  - シートベルトで固定するタイプのお子さま用シート
    → **3-44ページ（お子さま用シートの シートベルトによる固定）**
  - ISOFIXタイプのお子さま用シート
    → **3-46ページ(ISOFIX対応チャイルドシート固定専用金具)**
- お子さま用シートの種類によっては、この車に正しく取り付けられないものがあります。使用する前に、お子さま用シートに付属の取扱説明書をよく読み、取り付け方法や取扱いなどについてご確認ください。
- お子さま用シートには、スズキ純正品をおすすめします。詳しくは、スズキ販売店またはスズキ代理店にご相談ください。
- お子さま用シートを使用していても、お子さまの安全の確保には限界があります。スピードは控えめにして、安全運転に心がけてください。

⚠ 警告

●助手席には、ベビーシートなどの後ろ向きお子さま用シートを取り付けないでください。助手席 SRS エアバッグがふくらむと、お子さま用シートの背面に強い衝撃が加わり、生命に関わる重大な傷害を受けるおそれがあります。

●やむをえず助手席にチャイルドシートおよびジュニアシートを取り付けるときは、助手席を一番後ろに下げ、前向きに取り付けてください。



80J027

●走行する前に、お子さま用シートが確実に固定され、ガタつき、ゆるみなどがないことを確認してください。

●お子さま用シートを取り付けたシートの背もたれを倒さないでください。お子さま用シートが適切に固定されなかったり、衝突したときなどに体がシートベルトの下に滑り込んだりして、重大な傷害を受けるおそれがあります。

●万一の事故でお子さま用シートに強い衝撃を受けた場合は、外観に異常がなくても再使用しないでください。いざというときに性能を十分発揮できないおそれがあります。

⚠注意

お子さま用シートは、使用していないときでもしっかりとシートに取り付けるか、荷室に収納してください。シートから取り外したまま客室内に放置すると、ブレーキをかけたときなどに乗員やものに当たるおそれがあります。

ドアやウインドーの開閉、シートの調節は大人が行なう

お子さまの手足や首をはさまないように、大人が開閉や調節を行なってください。



82K005

⚠警告

パワーウインドーは、お子さまが自分で操作しないように、ウインドーロックスイッチをご使用ください。
→ 3-20ページ
（ウインドーロックスイッチ）

窓から顔や手を出さない



82K051

⚠警告

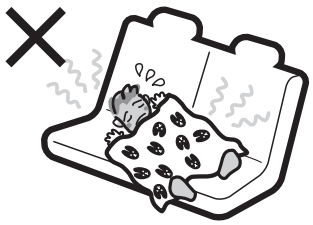
お子さまが手や顔などを出さないように注意してください。急ブレーキで重大な傷害を受けたり、転落したりするおそれがあります。また、車外のものなどに当たって重大な傷害を受けるおそれがあります。

車から離れるときは

⚠警告

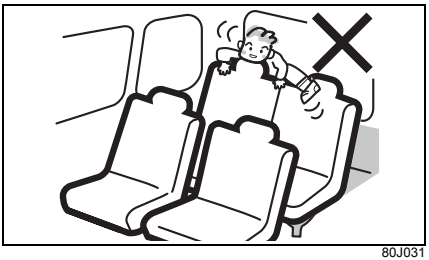
車から離れるときは、お子さまだけを車内に残さないでください。

- お子さまのいたずらで、車の発進や火災などの事故を起こすおそれがあります。
- 炎天下の車内は高温になり、お子さまが熱中症にかかるおそれがあります。エアコンをつけていても、車内にお子さまだけを残さないでください。



80J032

お子さまを荷室に乗せない



80J031

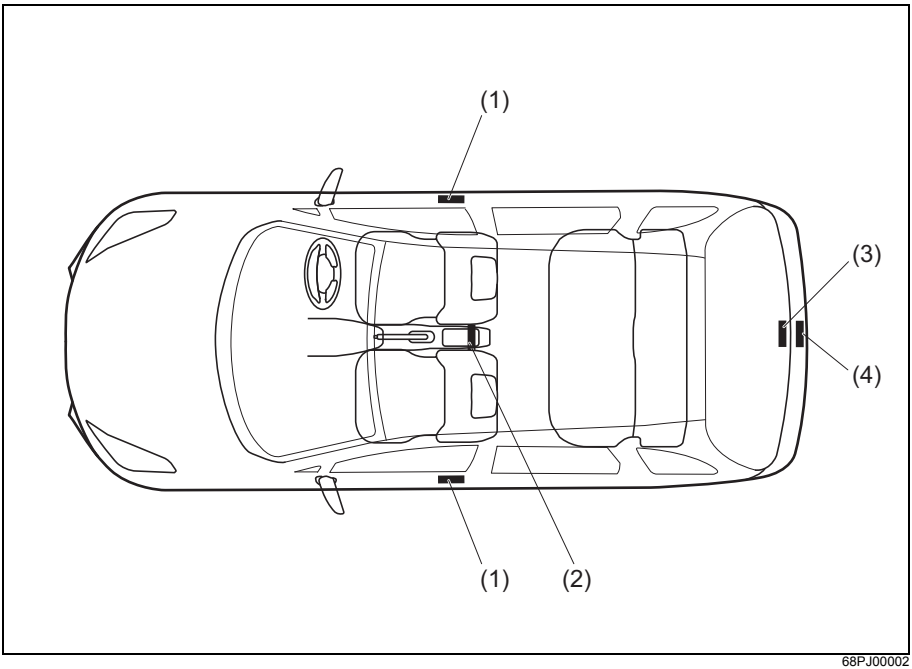
⚠警告

荷室は人が乗る構造になっていません。お子さまを乗せないでください。急ブレーキなどで思わぬ事故につながるおそれがあります。
道路上での停車中も、お子さまを荷室で遊ばせないでください。

植込み型心臓ペースメーカーなどをご使用の方へ

⚠警告

- **植込み型心臓ペースメーカーおよび植込み型除細動器（ICD）を使用している方は、キーレスプッシュスタートシステムの各発信機（下図参照）から約 22 cm 以内の範囲に、植込み型心臓ペースメーカーおよび植込み型除細動器（ICD）が近づかないようにしてください。電波が植込み型心臓ペースメーカーおよび植込み型除細動器（ICD）の作動に影響をあたえるおそれがあります。**
- **植込み型心臓ペースメーカーおよび植込み型除細動器（ICD）以外の医療用電気機器を使用している方は、キーレスプッシュスタートシステムの電波が医療用電気機器の作動に影響をあたえる場合があるため、医療用電気機器製造業者などへ影響を確認してください。**
- **詳しくは、スズキ販売店またはスズキ代理店にお問い合わせください。**

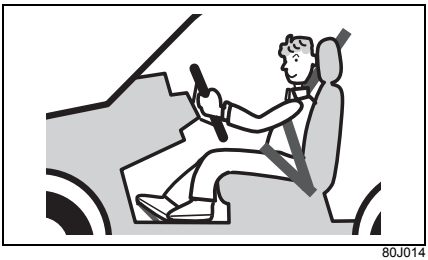


68PJ00002

(1) 前席ドア車外発信機
(2) 車室内発信機
(3) 荷室発信機
(4) バックドア車外発信機

運転席にすわって

ハンドル、シート、ミラーの調節は走行前に



80J014

⚠ 警告

●走行中にハンドルの調節やシートの調節、ルームミラーやドアミラーの調節をしないでください。ハンドル操作を誤ったり、前方不注意となったりして、思わぬ事故につながるおそれがあります。

→ 3-26ページ（テレスコピック& チルトステアリング）

→ 3-26ページ（前席シート）

→ 3-23ページ（ルームミラー）

→ 3-24ページ（ドアミラー）

●背もたれを必要以上に倒さないでください。ヘッドレストやシートベルトが本来の機能を発揮できません。

正しい運転姿勢

正しい運転姿勢がとれるように、次のことに注意してシートを調節してください。

- 背もたれと腰の間にすきまのないようにシートに深くすわります。
- ペダル類を踏み込んだときに、ひざが伸びきらないで余裕があるようにシートを前後に調節します。
- 背中を背もたれに軽くつけ、ハンドルを握ったときにひじが軽く曲がる程度に背もたれの角度を調節します。



74P0210

⚠ 警告

背もたれと背中の間にクッションなどを入れないでください。正しい運転姿勢がとれないばかりか、シートベルトやヘッドレストの効果が十分に発揮されないおそれがあります。

シートベルトは正しく着用



70K216

- シートを正しい位置に調節し、上体を起こして奥深くすわります。
- ベルトがねじれないように着用します。
- 腰ベルトは、腰のできるだけ低い位置にかけます。
- 肩ベルトは、首と肩先の中央にかけます。
- ベルトがねじれていないことを確認し、たるみを取り除きます。

→ **2-11ページ（正しい運転姿勢）**

⚠ 警告

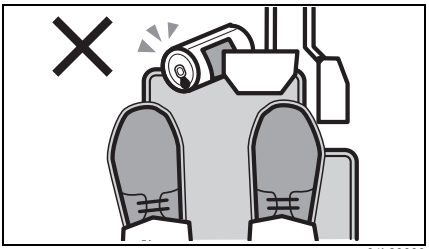
●走行前にシートベルトを正しく着用してください。走行中に着用したり調節したりすると、思わぬ事故を起こすおそれがあります。
●背もたれを必要以上に倒さないでください。また、洗たくばさみやクリップなどでベルトをたるませないでください。シートベルトが本来の効果を発揮できません。

●助手席や後席の同乗者全員にシートベルトを着用させてください。



81M20040

運転席の足元付近にものを置かない

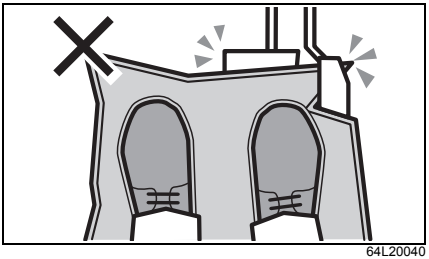


64L20030

⚠ 警告

空き缶などを足元に放置しないでください。ペダル操作ができなくなって思わぬ事故につながるおそれがあります。

車にあったフロアマットを適切に使用する



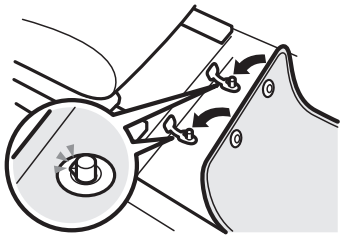
64L20040

⚠警告

ペダル操作のさまたげになって思わぬ事故につながるおそれがありますので、次のことをお守りください。

- **足元の形にあわないフロアマットを使わない**
- **フロアマットを重ねて敷かない**
- **フロアマットは固定具などで確実に固定する**

スズキ純正フロアマットの例



72M10201

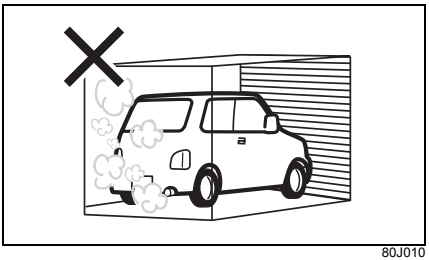
※運転席および助手席のフロア（カーペット下）には、スズキ純正フロアマットに付属する固定具を取り付ける穴があります。

アドバイス

この車専用のスズキ純正フロアマットのご使用をおすすめします。

エンジンをかけるときは

換気が悪いところでエンジンをかけたままにしない

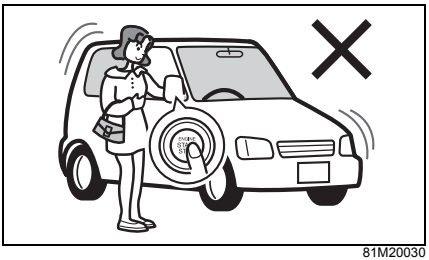


80J010

⚠警告

- **車庫の中など、換気が悪いところでエンジンをかけたままにすると、一酸化炭素中毒のおそれがあります。**
- **エンジンをかけた状態で、バックドアを開けたままにしないでください。排気ガスが車内に侵入します。**
- **車内で排気ガスのにおいがしたときは、すべての窓を全開にし、エアコン、ヒーターの内外気切替えを外気導入に切り替え、ファンを強にして換気します。換気してもにおいが消えないときは、すみやかにスズキサービス工場で点検を受けてください。**

窓越しのエンジンスイッチ操作はしない



81M20030

運転席にすわり、ブレーキペダルを踏んでからエンジンを始動してください。

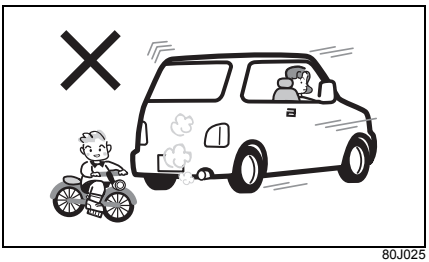
⚠警告

窓越しのエンジンスイッチ操作はしないでください。思わぬ事故につながるおそれがあります。

→ 4-10ページ（エンジンのかけかた）

走行するときは

周囲をよく確認してから発進する

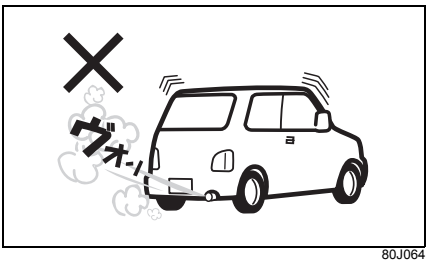


80J025

⚠注意

- **周囲の安全をしっかりと確認してから発進してください。**
- **バックミラーだけでは周囲の安全が十分に確認できません。車を前進または後退させるときは、車から降りて自分の目で周囲を確認してください。**

エンジン始動直後の空ぶかしや急発進、急加速をしない



80J064

エコドライブのため、空ぶかしや急発進、急加速はしないでください。

→ 2-33ページ（エコドライブをしましょう）

注 記

エンジン始動直後は暖まっていないので、空ぶかしや急発進、急加速をすると、エンジン故障の原因となります。

携帯電話やナビゲーションなどに気を取られないで

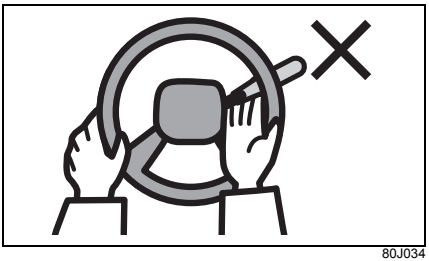


85K2114

⚠警告

- 運転者は、走行中に自動車電話や携帯電話などを操作しないでください。会話や電話の操作に気を取られ､思わぬ事故につながるおそれがあります。
- 運転者は､走行中にテレビを見たり、ナビゲーションやオーディオなどを操作したりしないでください。前方不注意で思わぬ事故につながるおそれがあります。

ハンドルの中に手を入れてスイッチなどを操作しない



80J034

⚠警告

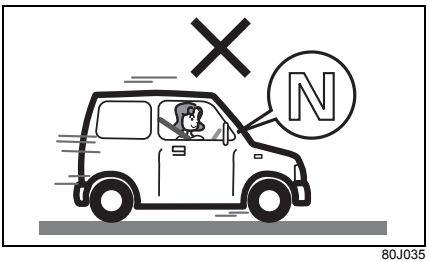
ハンドル操作のさまたげになり、思わぬ事故の原因となります。

ブレーキペダルに足を乗せたまま走行しない

⚠注意

ブレーキ部品が早く摩耗したり、ブレーキ装置が過熱したりして、効きが悪くなるおそれがあります。

走行中はニュートラルにしない



80J035

⚠注意

緊急時以外は、走行中にセレクトレバーを N（ニュートラル）にしないでください。エンジンブレーキがまったく効かないため、思わぬ事故の原因となります。

こんなときどうする？

- **警告灯が点灯したら？**
  警告メッセージが表示されたら？
  ただちに安全な場所に停車して処置をしてください。
  → **1-16ページ（警告灯）**
  → **3-100ページ（マルチインフォメーションディスプレイのメッセージ）**

- **床下に強い衝撃を受けたら？**
  ただちに安全な場所に停車し、ブレーキ液や燃料が漏れていないか、排気管などに異常がないか点検してください。異常が見つかったときは、スズキ販売店またはスズキ代理店にご連絡ください。

- **タイヤが突然パンクしたら？**
  ハンドルをしっかり握り、慎重にブレーキをかけて徐々にスピードを落とし、安全な場所に停車してください。
  → **7-2ページ（パンク）**

- **ブレーキペダルが重く感じたら？**
  車には、エンジンの負圧を利用してブレーキペダルを踏む力を軽減するブレーキ倍力装置がついています。エンジンの負圧が低下していると、ブレーキペダルを踏んだときに重く感じることがありますが、異常ではありません。そのままペダルを強く踏んでください。

- **ブレーキから金属音（キーキー音）が聞こえたら？**
  すみやかにスズキサービス工場で点検を受けてください。ディスクブレーキのパッド（スズキ純正部品）には、走行中に金属音が発生することで使用限度（交換時期）近くまで摩耗したことを警報する機能があります。

⚠警告

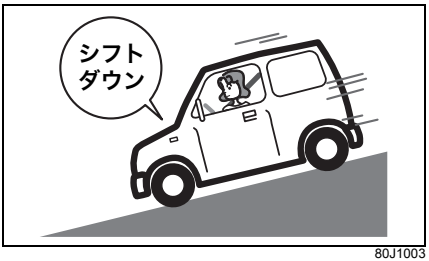
金属音が発生したまま走行を続けないでください。ブレーキが効かなくなり、事故につながるおそれがあります。

長い下り坂ではエンジンブレーキを使用する

長い下り坂ではエンジンブレーキ（※）を併用してください。アクセルペダルから足を離し、走行速度にあわせて、次のようにします。

- セレクトレバーを L に入れて、適切なギヤポジションにシフトダウンします。
  → **4-17ページ（セレクトレバーの操作）**
- マニュアルモードでは、パドルシフトスイッチ（－側）を操作して、適切なギヤポジションにシフトダウンします。
  → **4-17ページ（セレクトレバーの操作）**

※エンジンブレーキとは、走行中にアクセルペダルから足を離したときに起こるブレーキ効果のことをいいます。エンジンブレーキは低速ギヤほどよく効きます。

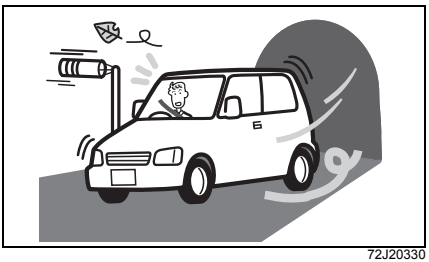


80J1003

⚠警告

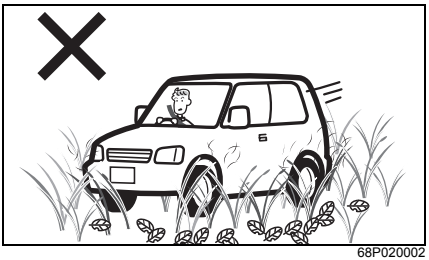
ブレーキペダルを踏み続けると、ブレーキ装置が過熱してブレーキが効かなくなるおそれがあります。

横風が強いときは


72J20330

トンネルの出口や橋の上、大型トラックが通りすぎるときなどに、横風を受けて車が横に流されることがあります。あわてずハンドルをしっかり握り、徐々にスピードを落として進路を立て直してください。

草の生い茂った場所は走行しない。


68P020002

⚠警告

草などが駆動系部品や排気管にからまると、駆動装置が損傷したり、火災につながるおそれがあります。

滑りやすい路面ではゆっくり走る

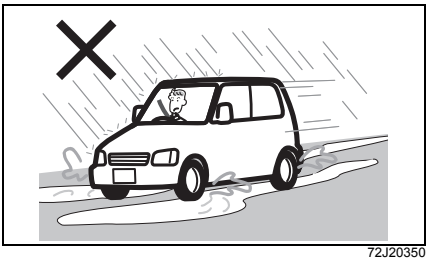


80J039

⚠注意

濡れた路面や凍結路、積雪路などでは、急発進、急加速、急ブレーキ、急ハンドル、急激なエンジンブレーキなど「急」のつく運転はしないでください。スリップ事故につながるおそれがあります。

水たまりを高速で通り抜けない

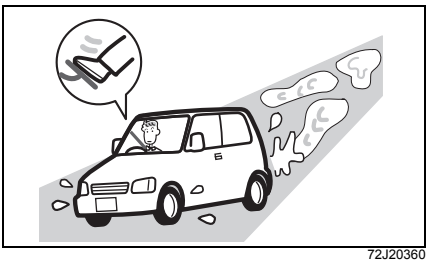


72J20350

⚠注意

水たまりや濡れた路面を高速で走行すると、タイヤと路面の間に水の膜ができ、タイヤが浮いた状態になることがあります。これをハイドロプレーニング現象といい、ハンドルやブレーキがまったく効かなくなって思わぬ事故につながるおそれがあります。

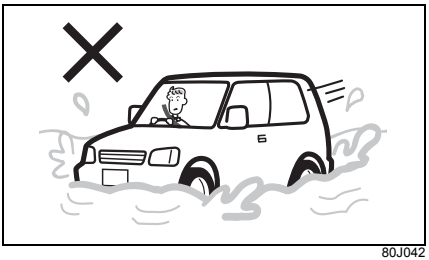
水たまりを走行したあとや洗車後はブレーキの効きを確認



72J20360

- 周囲の安全を確かめてから低速でブレーキペダルを数回踏み、ブレーキの効きを確かめてください。
- ブレーキの効きが悪いときは、効きが回復するまで低速で繰り返しブレーキペダルを軽く踏み、ブレーキ装置のしめりを乾かしてください。

冠水した場所は走行しない



80J042

万一、冠水した場所を走行したときは、ブレーキの効きを確かめながら安全な場所に停車し、スズキ販売店またはスズキ代理店にご連絡ください。また、次の項目などについて点検を受けてください。

- ブレーキの効き具合
- エンジン、トランスミッション、デファレンシャルなどのオイル量および質の変化（オイルが白濁している場合は、水が混入していますのでオイル交換が必要です）
- ベアリング、ジョイント部などの潤滑不良

注 記

冠水した場所や、深い水たまりを走行しないでください。エンスト、電装品のショート、エンジン破損などの原因になります。

スタック（立ち往生）したときは

- ぬかるみや砂地などで、駆動輪が空転して脱出できなくなることをスタックといいます。
- 前進と後退を繰り返すときは、駆動装置などが損傷するおそれがあるため、次のことに注意してください。
  - セレクトレバーを確実に入れてからアクセルを軽く踏んでください。
  - 数回行なっても脱出できないときは、操作を中止してください。

- タイヤの下に石や木を入れると脱出しやすくなります。
- ESP®装備車では、トラクションコントロールが脱出に適さないときがあります。そのようなときは、ESP® OFF スイッチを操作してトラクションコントロールを作動停止の状態にしてください。

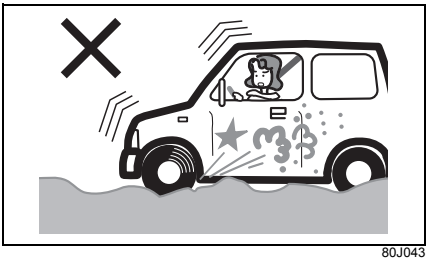
→ **4-46ページ（ESP®装備車の取扱い）**

⚠ 警告

脱出しようとする前に、周囲の安全を十分に確認してください。勢いよく発進して事故を起こすおそれがあります。

注 記

タイヤを高速で空転させないでください。タイヤが異常に過熱して破損したり、駆動装置が損傷したりするおそれがあります。



80J043

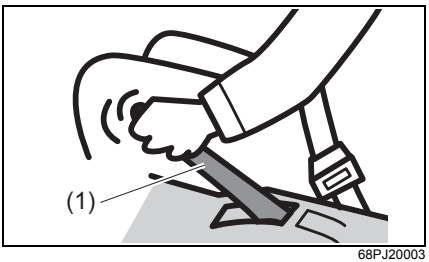
駐車するときは

パーキングブレーキをしっかりとかけて

■ 平らな場所に駐車するときは

1 ブレーキペダルを踏んだまま、パーキングブレーキをしっかりとかけます。

→ **4-15 ページ（パーキングブレーキの操作）**



68PJ20003

(1) パーキングブレーキレバー

2 セレクトレバーを P に入れます。
- ブレーキペダルからゆっくりと足を離し、車が動き出さないことを確認してください。

→ 4-17ページ
（セレクトレバーの操作）

⚠注意

●平らな場所に少しの間駐車するときでも、安全のためセレクトレバーを P に入れてください。
●寒冷時にパーキングブレーキをかけると、凍結して解除できなくなるおそれがあります。坂道を避け、平らな場所に駐車してください。
**→ 6-16ページ
（パーキングブレーキ）**

■ 坂道に駐車するときは

1、2は、平らな場所に駐車するときと同じです。

3 市販品の輪止めや石などでタイヤを固定し、車が動き出さないようにしてください。

⚠警告

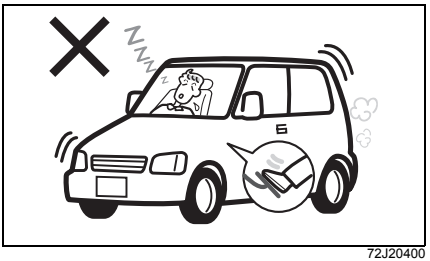
急な坂道には駐車しないでください。無人で車が動き出すなど、思わぬ事故につながるおそれがあります。

車を移動するときはエンジンをかけて

⚠注意

坂道を利用して惰性で車を移動しないでください。ハンドルをまわすときやブレーキペダルを踏むときに強い力が必要となって、思わぬ事故を起こすおそれがあります。

エンジンをかけたまま仮眠しない



72J20400

⚠警告

●周囲の状況や風向きで排気ガスが車内に侵入し、一酸化炭素中毒のおそれがあります。
●無意識にセレクトレバーを動かしたり、アクセルペダルを踏み込んだりして、思わぬ事故を起こすおそれがあります。
●無意識にアクセルペダルを踏み続けると、エンジンや排気管が過熱して火災のおそれがあります。

燃えやすいものの近くに駐車しない

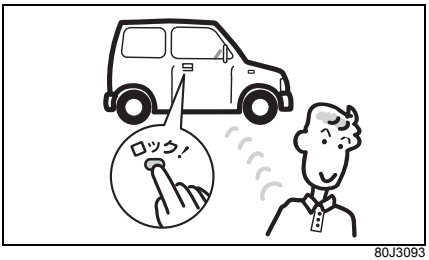


80J046

⚠ 警告

枯れ草、紙くず、ベニヤ板などの可燃物の近くに車を止めないでください。排気管や排気ガスが高温になるため、火災のおそれがあります。

車から離れるときはエンジンを止めてドアを施錠



80J3093

少しの間でも車から離れるときは、現金や貴重品を車内に放置しないでください。盗難のおそれがあります。

⚠ 警告

エンジンをかけたまま車から離れないでください。火災や盗難など思わぬ事故につながるおそれがあります。

車内にパソコンや携帯電話などを放置しない

盗難にあったり、水分や湿気または温度変化などにより故障したりするおそれがあります。

ライターやメガネなどを放置しない



80J1004

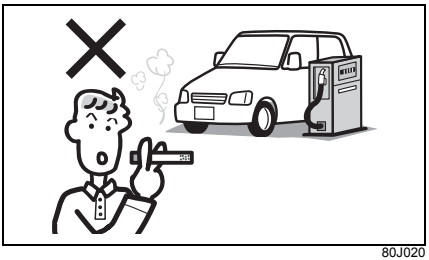
⚠ 警告

- 炎天下で駐車するときは、車内にライターやスプレー缶、プラスチック製品（メガネやカード、CD ケースなど）や炭酸飲料缶を放置しないでください。車内が高温になるため、ライターやスプレー缶の自然発火や爆発による火災、メガネやカード、CD ケースなどの変形やひび割れ、炭酸飲料缶の破裂を起こすおそれがあります。
- 操作部が露出しているライターやスプレー缶をグローブボックスや小物入れなどに入れたり、床やシートのすきまに落としたままにしたりしないでください。荷物を押し込んだときやシートを動かしたときに、ガスが噴出して火災につながるおそれがあります。

給油するときは

→ 5-2ページ（燃料給油口）

火気に気をつけて



80J020

⚠ 警告

必ず次のことをお守りください。

- エンジンを止めてください。
- 給油中はドアや窓を閉めてください。
- ガソリンは引火性が高いため、タバコなどの火気は厳禁です。

セルフスタンドで給油するときは

⚠ 警告

セルフスタンドで給油するときは必ず次のことをお守りください。

- フューエルキャップを開ける前に、車体または給油機の金属部分に手を触れて、身体の静電気（※）を除去してください。身体に静電気を帯びていると、放電による火花で燃料に引火し、やけどのおそれがあります。
  また、給油中は車内にもどらないでください。再び帯電するおそれがあります。

●給油口には、静電気除去を行なった方以外の人を近づけないでください。

※空気が乾燥すると、身体に多くの静電気が帯電します。また、かさね着をすると、繊維の摩擦により静電気が発生します。とくに乾燥する季節は注意してください。

●フューエルキャップはゆっくりとゆるめ、空気が抜ける音が止まったらキャップを開けます。急に開けると燃料タンク内の圧力が急激に抜け、燃料が吹き出すおそれがあります。
●給油口に給油ノズルを止まるところまで確実に差し込んでください。ノズルを確実に差し込まないと、燃料が吹きこぼれるおそれがあります。
●給油ノズルのレバーを止まるところまで確実に引いてください。
●給油ノズルの自動停止（オートストップ）機能が作動したら、給油を終了してください。自動停止後に継ぎ足し給油をすると、燃料があふれ出るおそれがあります。



80J1005

※給油機によっては、早期に自動停止機能が作動して給油できない場合があります。スタンド従業員の指示にしたがってください。

●燃料をこぼさないようにしてください。こぼれた場合は、ただちにやわらかい布などでふき取ってください。火災など思わぬ事故につながるおそれがあります。また、そのまま放置すると、塗装のしみ、変色、ひび割れの原因となります。
●給油後は、給油ノズルを確実にもとの位置にもどし、フューエルキャップをカチッという音が2回以上するまで閉めてください。キャップが確実に閉まっていないと、燃料が漏れたり、火災が発生したりするおそれがあります。
●燃料は人体に有害な物質を含んでいます。気化した燃料を吸い込まないでください。
●そのほか、スタンドに掲示されている注意事項をお守りください。

無鉛ガソリン以外は使用しない

注 記

有鉛ガソリンや粗悪ガソリン、そのほかの燃料（アルコール系、軽油など）を使用すると、エンジンや燃料配管系などに悪影響をおよぼします。

オートマチック車を運転するときは

オートマチック車には特有の操作上の注意があります。**4-17ページ**の「**オートマチック車**」もあわせてお読みいただき、正しい取扱いをしてください。

※本書で「オートマチック車」と記載されている場合、「オートマチック車」または「CVT車」を示しています。

クリープ現象に注意して

エンジンをかけて停車しているとき、セレクトレバーが P N 以外に入っていると、アクセルペダルを踏まなくても車がゆっくり動きます。これをクリープ現象といいます。

⚠注意

- **セレクトレバーを P N 以外に入れているときは、ブレーキペダルをしっかり踏んでください。**
- **エンジン始動直後やエアコン作動時は、クリープ現象が強くなることがあります。とくにしっかりブレーキペダルを踏んでください。**

アドバイス

CVT車もクリープ現象があります。

R（リバース）ポジション警告ブザー

セレクトレバーを R に入れると室内で警告ブザーが鳴り、セレクトレバーが R に入っていることを運転者に知らせます。

アドバイス

R（リバース）ポジション警告ブザーは、車外の人に車の後退を知らせるためのものではありません。

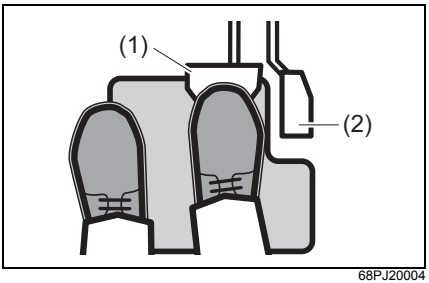
ペダルの踏み間違いに注意

⚠警告

アクセルペダルとブレーキペダルを踏み間違えると、思わぬ事故につながります。

ペダルの踏み間違いを防ぐため、エンジンをかける前にアクセルペダルとブレーキペダルを実際に足で踏んで、位置を確認してください。

ブレーキペダルは右足で踏む



68PJ20004

(1) ブレーキペダル
(2) アクセルペダル

左足では適切なブレーキ操作ができません。ブレーキペダルは右足で踏む習慣をつけてください。

セレクトレバーを操作するときは

- 前進と後退を繰り返すときなどは、セレクトレバーを R に入れたことを忘れることがあります。車を後退させたあとは、すぐに R から N に入れる習慣をつけてください。
- 切り返しなどで前進と後退を繰り返すときは、完全に停車してからセレクトレバーを操作してください。

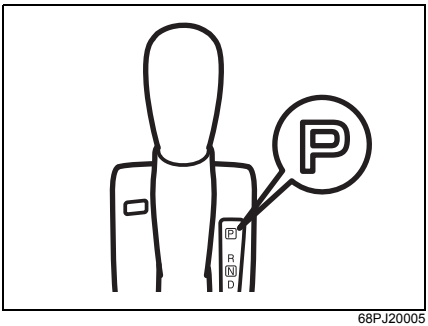
⚠ 警告

アクセルペダルを踏んだままでセレクトレバーを操作しないでください。急発進して事故を起こすおそれがあります。

セレクトレバーの位置は目で確認

始動時や降車時は P、前進時は D、後退時は R にあることを目で確認してください。

車から離れるときは



68PJ20005

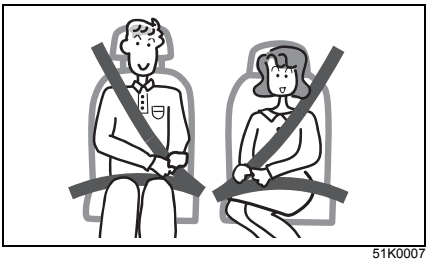
⚠ 警告

エンジンをかけたまま車から離れないでください。万一、セレクトレバーが P 以外に入っていると、車がひとりでに動き出すおそれがあります。また、車に乗り込むときに誤ってセレクトレバーを動かしたりアクセルペダルを踏み込んだりして、思わぬ急発進のおそれがあります。

SRSエアバッグ車を運転するときは

SRS エアバッグシステムの効果を発揮させるために、**3-49 ページ**の「**SRS エアバッグ**」もあわせてお読みいただき、正しい取扱いをしてください。

シートベルトは必ず着用



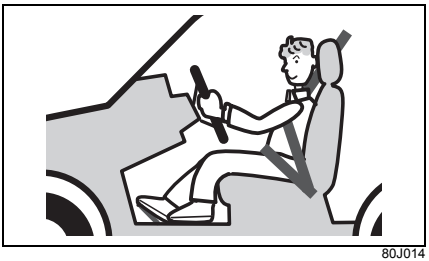
51K0007

⚠警告

SRSエアバッグシステムは、シートベルトに代わるものではありません。シートベルトと併用することで、その効果を発揮するシートベルトの補助拘束装置です。したがってSRSエアバッグシステムが装備されている車であっても、シートベルトを必ず着用してください。

着座姿勢

瞬時にふくらむ運転席・助手席 SRS エアバッグにより強い衝撃を受けるおそれがあるため、運転者および助手席の同乗者は、シートに奥深くすわり、背もたれに背中を軽くつけてください。また、シートを前方に出しすぎないようにシートの位置を調節してください。

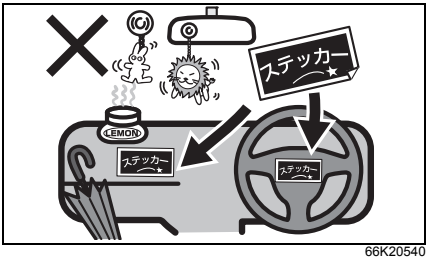


80J014

⚠警告

●ハンドルやインパネに、顔や胸などを近づけたり、足を置いたりしないでください。SRS エアバッグが作動したときの強い衝撃で、重大な傷害を受けるおそれがあります。

SRS エアバッグシステムを正常に機能させるために



66K20540

80J063

- ハンドルを交換する、ハンドルのパッド部にステッカーを貼る、色をぬる、カバーで覆うなどの改造をしないでください。
- インパネ上面には、ステッカーを貼ったり色をぬったりしないでください。また、アクセサリーや芳香剤、ETC 車載器やポータブルカーナビなどを取り付けたり置いたり、傘などを立てかけたりしないでください。
- エアバッグ周辺の収納スペースには、大きなものを置かないでください。
- フロントガラスやルームミラーにアクセサリー(スズキ純正用品を除く)などを取り付けないでください。

助手席 SRS エアバッグに関する警告ラベル

助手席サンバイザーの両面には、次の警告ラベルが貼られています。このラベルは、助手席 SRS エアバッグが作動したときにお子さま用シートにあたえる影響と、お子さま用シートの取り付けに関する禁止事項を示しています。この車の助手席にお子さま用シートを取り付ける場合は、警告ラベルの説明および参照先の項目をよくお読みになり、適切に取り付けてください。



72M00150

警告ラベルの説明

シンボルマーク	シンボルマークの意味
	助手席SRSエアバッグ装備車の助手席に、後ろ向きのお子さま用シートを取り付けて、お子さまを乗せることを禁止
	助手席SRSエアバッグがふくらむと、後ろ向きお子さま用シートおよびお子さまに強い衝撃が加わることを表示
	詳しくは、取扱説明書（本書）を読むことを指示 → **2-6 ページ（お子さま用シートの使用について）** → **3-39ページ（お子さま用シートの選択について）**

⚠警告

助手席には、ベビーシートなどの後ろ向きお子さま用シートを取り付けないでください。助手席 SRS エアバッグがふくらむと、お子さま用シートの背面に強い衝撃が加わり、生命に関わる重大な傷害を受けるおそれがあります。

ターボ車を運転するときは

ターボ車には特有の注意があります。次の内容をよく読み、正しい取扱いをしてください。

ターボ車の取扱い

ターボとは、通常のエンジンより大きな馬力を引き出す精密装置です。ターボ装置内のタービン（羽根）が、排気ガスの圧力で高速回転することで、エンジンに多量の圧縮空気を送り込みます。タービンを含むターボ装置は 700 ℃以上の高温になり、その潤滑と冷却はエンジンオイルによって行われています。

ターボ装置の故障を防ぐため、次のことをお守りください。

- エンジンオイル、オイルフィルターは定期的に交換してください。
  劣化したオイルのまま運転を続けると、ターボ装置の潤滑と冷却が適切に行われず、タービン軸受部の固着や異音の原因となります。
  → **2-32ページ（エンジンオイルを交換するときは）**

- 高速走行直後や登坂走行直後は、すぐにエンジンを停止しないでください。
  次の表にしたがってアイドリング運転を行い、高温になったターボ装置を冷却してからエンジンを停止してください。

エンジン停止直前の走行状況	アイドリング運転時間の目安
高速走行、登坂走行	約1分
市街地、郊外などの一般走行	不要

- エンジンが冷えているときに、空ぶかしや急加速をしないでください。

注 記

前記にしたがって適切に取り扱わないと、ターボ装置の故障や破損の原因となります。

こんなことにも注意して

車検を受けるときの注意

ESP® 装備車をテスターに載せる場合は、ESP® OFF スイッチを操作して、次の機能を作動停止の状態にしてください。

→ **4-48ページ (ESP® OFFスイッチ)**

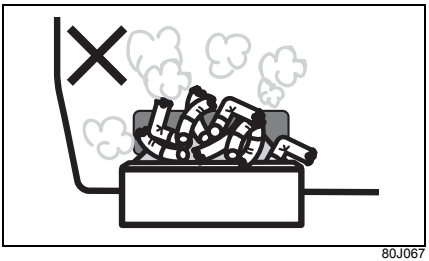
- トラクションコントロールおよびスタビリティコントロール
- レーダーブレーキサポートII (RBS II)

詳細については、スズキ販売店またはスズキ代理店にご相談ください。

アドバイス

レーダーブレーキサポート II（RBS II）装備車の場合、RBS II OFF スイッチを操作しても、ESP®は作動停止の状態になりません。

マッチ、タバコの火は確実に消す



80J067

⚠警告

- マッチ、タバコの火は確実に消し、吸いがらを入れた灰皿（別売り）は完全に閉めてください。
- 灰皿（別売り）の中に吸いがらをためすぎたり、紙など燃えやすいものを入れたりしないでください。

外装部品に力をかけすぎない

注 記

スポイラー、リヤバンパー、サイドスカートなどに強い力をかけないでください。破損するおそれがあります。

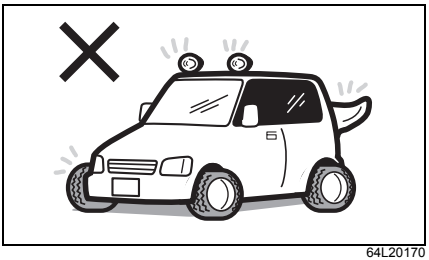
段差などに注意して

注 記

次のような場合は、バンパーまたは車両下部が破損するおそれがあります。十分注意してください。

- 路肩など段差がある場所への乗り入れ
- わだちやくぼみなどがある道路の走行

不正改造はしない



64L20170

⚠警告

- この車に適さない部品を取り付ける、あるいは自己流の調整や配線をするなどの改造をしないでください。
  火災や事故につながるおそれがあります。また、取扱い、性能、耐久性に悪影響をあたえたり、法令に違反したりするおそれがあります。
- 無線機、ナビゲーション、オーディオ、ETC車載器などの電気製品の取り付け、取り外しをするときは、スズキ販売店またはスズキ代理店にご相談ください。また、バッテリー端子から電気製品の電源をとったり、アース線を直接つなげたりしないでください。電子部品のはたらきをさまたげたり、火災、故障、バッテリーあがりなどを起こしたりするおそれがあります。
- ホイール、ホイールナットは指定のスズキ純正品以外を使用しないでください。走行中にナットがゆるんでホイールが外れるなど、思わぬ事故につながるおそれがあります。また、燃費や走行安定性が悪化したり、故障の原因となったりします。

●お車の故障診断コネクターには、指定の点検整備用の故障診断装置のみが接続できます。指定以外の機器を接続すると、電子部品のはたらきをさまたげたり、バッテリーあがりなどを起こしたりするおそれがあります。

注 記

この車に無線機を搭載する前には、周波数、最大出力、車へのアンテナ位置、搭載や使用のための具体的な条件について、スズキ販売店またはスズキ代理店にご相談することをおすすめします。無線機が不適切に搭載された場合や、無線機がこの車に適さない場合には、車の電子制御系が正常に作動しなくなるおそれがあります。

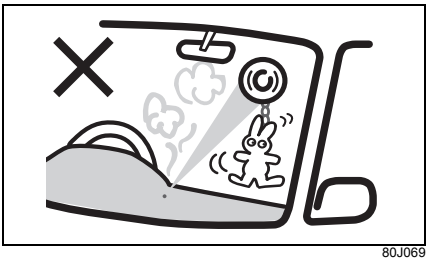
部品の取り付け、取り外し、修理をするときは

⚠警告

SRSエアバッグ、シートベルトプリテンショナーは、その機能に影響をあたえる部品に手を加えると、思いがけないときに作動したり、必要なときに正常に作動しなかったりすることがあります。
次のような場合は、システムに悪影響をおよぼします。事前にスズキ販売店またはスズキ代理店にご相談ください。

- ハンドルの取り外し、ハンドルまわりの修理など
- インパネまわり、センターコンソール付近の修理および電気配線の修理
- オーディオ用品などの取り付け
- ダッシュボード周辺の板金塗装および修理
- 前席の交換およびシートまわりの修理
- センターピラーまわりの修理

アクセサリーの取り付けに気をつけて



80J069

⚠ 警告

窓ガラスにアクセサリーを取り付けないでください。アクセサリーや吸盤が視界をさまたげたり、吸盤がレンズのはたらきをして火災を起こしたりするおそれがあります。また、SRSエアバッグが作動したときに、アクセサリーが飛んでけがのおそれがあります。

飲み物などをこぼしたときは

⚠ 警告

車内に水などをかけたり、飲み物などをこぼしたりしないでください。次のような部品が故障したり、火災の原因になったりするおそれがあります。万一、飲み物などをこぼした場合は、すみやかにスズキサービス工場で点検を受けてください。

- **SRSエアバッグシステム**
- **ナビゲーションまたはオーディオ**
- **スイッチ、配線などの電気部品**
- **セレクトレバー、シートベルトバックルなどの可動部分**

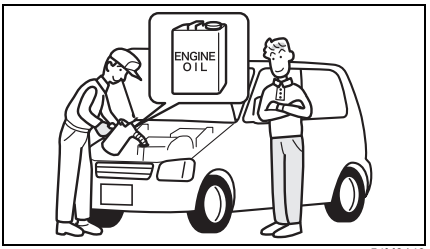
エンジンオイルを交換するときは

■ 定期的に交換する

- 標準的な使用方法では、エンジンオイルは**15,000 km**（ターボ車は**10,000 km**）ごと、または**12か月**ごとのどちらか早い方で交換し、エンジンオイルフィルターは**15,000 km**（ターボ車は**10,000 km**）ごとに交換してください。
- 厳しい条件（シビアコンディション）で使用した場合は、標準的な場合より早めの交換が必要です。
  → **メンテナンスノート**

注記

交換時期を守ってください。劣化したオイルや目詰まりしたフィルターは、エンジン故障や異音の原因となります。交換については、スズキ販売店またはスズキ代理店へお申し付けください。



54M3143

■ エンジンオイルの規格／粘度

使用するエンジンオイルにより燃費などの性能は左右されるため、次の表 1、表 2 をそれぞれみたすオイルを使用してください。オイルは、スズキ純正オイルのご使用をおすすめします。

→ **8-1ページ（サービスデータ）**

表1

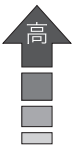
規格		オイル性能
API(※1)/ ILSAC(※2)	SN/GF-5	
	SM/GF-4	
	SL/GF-3	

表2

規格	ターボなし車	ターボ車
SAE粘度 (※3)	0W-16	5W-30
	0W-20	
	5W-30	

※1 API 規格とは、アメリカ石油協会が定めた規格でエンジンオイルの品質グレードを表しています。

※2 ILSAC 規格とは、国際潤滑油標準化認証委員会が定めた自動車用エンジンオイルの規格で、API 規格をベースに省燃費・耐久性などの性能がさらに優れたオイルであることを示します。

※3 SAE粘度とは、潤滑油の粘度を定めた規格です。
左側の数字（Wの付く数字）は低温時の粘度を意味し、この数字が小さいほど寒さに強くエンジンの始動性が良いことを示します。右側の数字は高温時の粘度を意味し、この数字が大きいほど熱に強く、エンジンの保護性能に優れています。

アドバイス

0W-16 は燃費性能に優れたオイルです。（ターボなし車）

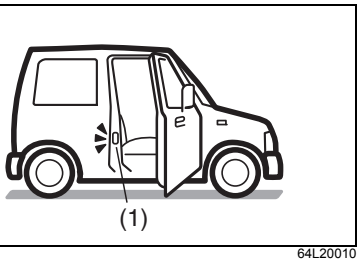
エコドライブをしましょう

→ **3-59ページ（エコドライブアシスト照明（Aタイプ）エコドライブアシスト照明（B タイプ）（タイプ別装備））**
→ **3-81ページ（エコ運転表示機能(Aタイプ))**
→ **3-95ページ（エコスコア表示機能(Bタイプ))**

お車のタイプにより異なります。

タイヤの空気圧を適正に

- タイヤの空気圧が低いとガソリンを多く消費します。適正な空気圧にしてください。
- この車の指定空気圧は、運転席ドアの開口部に貼付してある「**空気圧ラベル**」(1) で確認のうえ、調整してください。



64L20010

不要な荷物は積まない

燃費が悪化したりタイヤが早く摩耗したりするなど、車に悪影響があります。

暖機運転は適切に

次のような場合は、数十秒から数分程度の暖機運転を行なってから、走行を開始してください。

- 長期間、お車を使用しなかったとき
- 寒冷地などで極低温（−10 ℃以下を目安）にあるとき

上記以外の場合はエコドライブのため、エンジンを始動したらすみやかに走行を開始してください。

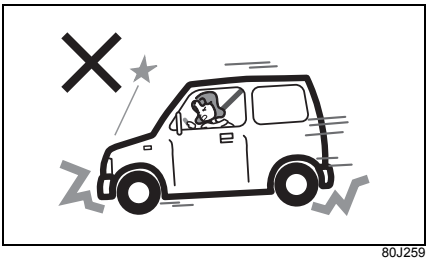
注 記

エンジン始動直後は暖まっていないので、空ぶかしや急発進、急加速をすると、エンジン故障の原因となります。

アドバイス

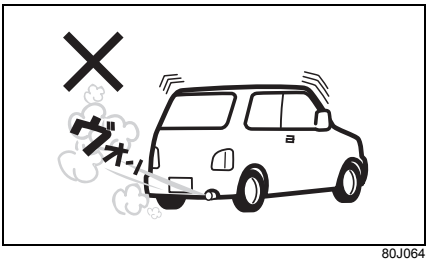
状況によって異なりますが、一般的に暖機運転によって、5 分間で 160 mL程度の燃料を消費するといわれています。

急発進、急加速、急ブレーキなど「急」のつく運転はしない



80J259

空ぶかしをしない



80J064

燃料を消費するだけで、何の効果もありません。

車速に応じたギヤで走行する

低速ギヤを使って高いエンジン回転で走行すると燃費が悪くなります。走行速度に応じた正しいギヤをお使いください。

MEMO

3. 運転する前に

● **ドアの開閉**
キー ····· 3-2
ドア ····· 3-3
キーレスエントリー ····· 3-9
携帯リモコン ····· 3-11

● **警報装置**
セキュリティアラーム（警報装置） ····· 3-16

● **ウインドーの開閉**
パワーウインドー ····· 3-19

● **各部の調節**
ルームミラー ····· 3-23
ドアミラー ····· 3-24
テレスコピック＆チルトステアリング ····· 3-26

● **シートの調節**
前席シート ····· 3-26
後席シート ····· 3-30

● **シートベルト**
シートベルトについて ····· 3-33
シートベルトの着用のしかた ····· 3-34
シートベルトの取扱いとお手入れ ····· 3-36
シートベルトプリテンショナー
（前席のみ） ····· 3-37
シートベルトフォースリミッター
（前席のみ） ····· 3-38
お子さま用シートの選択について ····· 3-39
お子さま用シートの
シートベルトによる固定 ····· 3-44
ISOFIX対応お子さま用シートの固定 ····· 3-46

● **SRSエアバッグ**
SRSエアバッグ車を運転するときは ····· 3-49
SRSエアバッグシステムの取扱い ····· 3-52
SRSエアバッグシステムの作動 ····· 3-54
廃棄と廃車 ····· 3-57

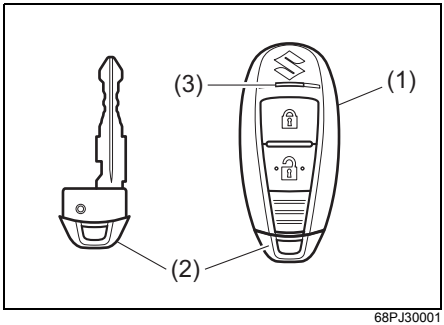
● **メーター**
メーターの見かた ····· 3-58
警告灯・表示灯の見かた ····· 3-61
マルチインフォメーションディスプレイ
（Aタイプ） ····· 3-75
マルチインフォメーションディスプレイ
（Bタイプ） ····· 3-85

● **スイッチの使いかた**
ライトスイッチ ····· 3-105
フォグランプスイッチ ····· 3-107
光軸調整ダイヤル ····· 3-108
方向指示器スイッチ ····· 3-109
非常点滅表示灯スイッチ ····· 3-110
ワイパー／ウォッシャースイッチ ····· 3-110
ホーンスイッチ ····· 3-112
リヤデフォッガースイッチ ····· 3-113

キー

- キーはドアの施錠・解錠に使えますが、エンジンの始動・停止には使えません。エンジンの始動・停止には携帯リモコンをご使用ください。
  → **4-10 ページ（エンジンのかけかた）**

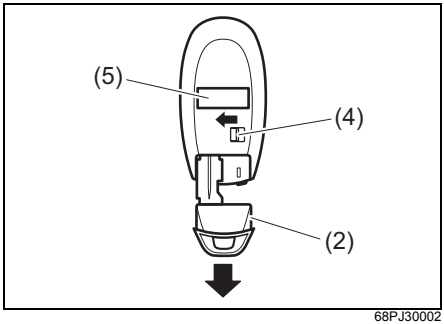
- キーを紛失したり、車内に閉じ込めたりしないように注意してください。
- 携帯リモコン（1）が2個、リモコンに格納可能なキー（2）が2本ついています。
  → **3-11ページ（携帯リモコン）**



68PJ30001

(3) 作動表示灯

- リモコンに格納されているキー（2）は、ロック解除レバー（4）を ⬅ 方向に引きながら取り出します。



68PJ30002

(5) 適合証明マーク

⚠ 警告

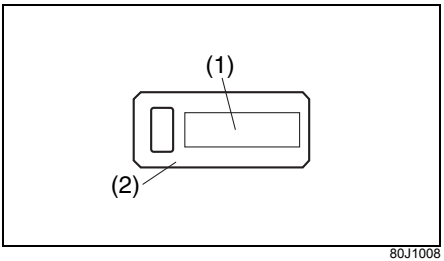
リモコンキーを航空機内へ持ち込む場合は、機内で操作ボタンを押さないでください。また、バッグなどに入れるときは、簡単に操作ボタンが押されないように収納してください。操作ボタンが押されると、電波が発信され、航空機の運航に支障をきたすおそれがあります。
※リモコンキーは、航空機内での使用が制限される電子機器に該当します。

アドバイス

- 携帯リモコンには、キーを格納してください。リモコンの電池が消耗しているときや故障したときなどに、ドアの施錠・解錠ができなくなるおそれがあります。
- 盗難などを防ぐため、キーを紛失したときは、すみやかにスズキ販売店またはスズキ代理店にご相談ください。
- キーのご購入については、スズキ販売店またはスズキ代理店にご相談ください。

キーナンバープレート

キーナンバープレート（2）には、キー作成時に必要なキーナンバー（1）が打刻されています。



80J1008

アドバイス

- お客様以外の方にキーナンバーを知られないよう、キーナンバープレートは車両以外の場所に、大切に保管してください。万一、キーを紛失したときは、スズキ販売店またはスズキ代理店にキーナンバーを伝えてご相談ください。
- お車をおゆずりになるときは、次に所有される方のために、キーナンバープレートをお車のキーとともにお渡しください。

ドア

⚠警告

- **ドアを閉めるときは、シートベルトや荷物などをはさまないようにしてください。半ドア状態になって、走行中にドアが開くおそれがあります。**
- **エンジンをかけた状態で、バックドアを開けたままにしないでください。排気ガスが車内に侵入して、一酸化炭素中毒のおそれがあります。**
- **火災や盗難などの事故防止のため、車から離れるときは、エンジンを止めドアを施錠してください。**

⚠注意

- **ドアの開閉は、お子さまではなく大人が行ない、手、足、頭などをはさまないように気をつけてください。**
- **ドアを開けるときは、後ろからの車に注意してください。とくに風が強い日は注意してください。**
- **バックドアを開けるときは、完全に開けてください。開けかたが不十分な場合、思わぬときに閉まって、けがのおそれがあります。**
- **エンジンがかかっているときは、排気管の真後ろでバックドアを開閉しないでください。やけどなどのおそれがあります。**

アドバイス

セキュリティアラームのセット状態およびドアの開けかたによっては、警報が作動する場合があります。

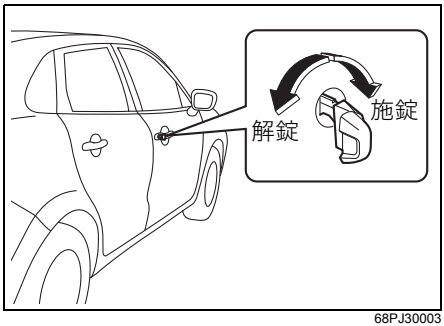
→ **3-16ページ（セキュリティアラーム （警報装置））**

キー操作による車外からの施錠・解錠

→ 3-9ページ（キーレスエントリー）
→ 3-11ページ（携帯リモコン）

■ 運転席ドア

キーを差し込んで車の前方向にまわすと施錠、後ろ方向にまわすと解錠できます。

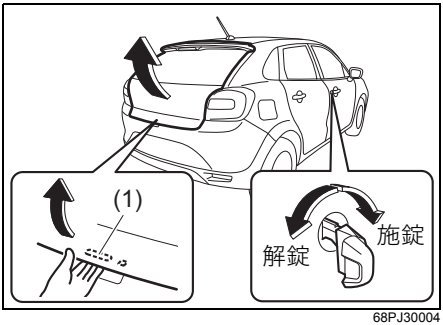


68PJ30003

■ バックドア

運転席ドアにキーを差し込んで車の前方向にまわすと施錠、後ろ方向にまわすと解錠できます。

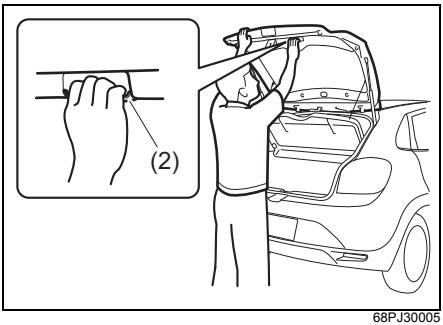
- バックドアを開けるときは、解錠後、バックドアオープナースイッチ（1）を押しながらドアを持ち上げます。



68PJ30004

バックドアを閉めるときは

ドア下面右側の手かけ部（2）を持って引き下げます。最後はドアを外側から手で、少し勢いをつけて押し付けます。



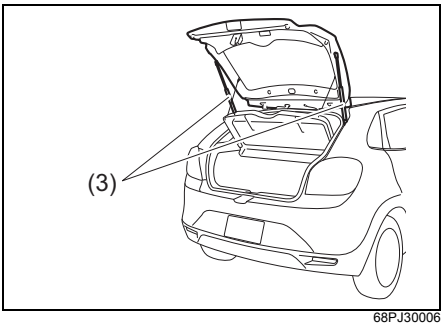
68PJ30005

- バックドアオープナースイッチを押したあと、バックドアを少し開けてすぐに閉めた場合、完全に閉まらず半ドア状態になります。もう一度ドアを開け、しばらくしてから閉め直してください。

⚠注意

バックドアをささえているダンパーステー（3）の損傷や作動不良を防ぐため、次のことをお守りください。ステーが円滑に動かなくなったり、バックドアを開けたときに、保持できなくなったりするおそれがあります。

- **ステーのロッド部（ドア開閉時に摺動する棒部分）に傷をつけたり、泥やビニール片、テープなどの異物を付着させたりしないでください。**
- **ステーに手をかけたり、ものをかけたりしないでください。**

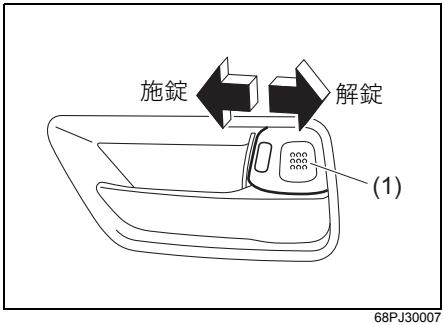


68PJ30006

車内からの施錠・解錠

■ 前席ドア

ドアを閉めてロックレバー（1）を施錠側にすると施錠、解錠側にすると解錠できます。



68PJ30007

アドバイス

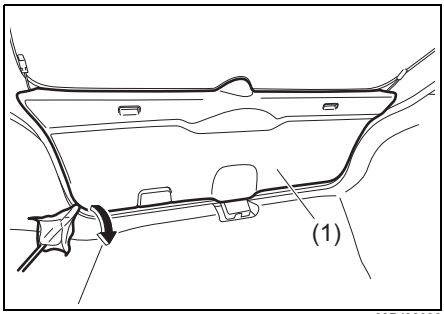
解錠時、ロックレバーの赤い表示が見えます。目安としてください。

■ バックドア

故障や鉛バッテリーあがりなどでバックドアが解錠できないときは、スズキサービス工場で点検を受けてください。
緊急を要するときは、次の手順で解錠してください。

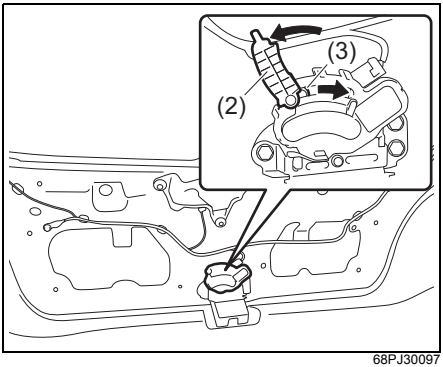
1 後席の背もたれを倒すなどして、作業スペースを確保します。
→ **3-31ページ（背もたれの倒しかた）**

2 バックドアのトリム(1)を外します。
- トリムとドア本体の間に、先端に布をかぶせたマイナスドライバー（市販品）などを差し込み、指が入るほどのすきまを開け、すきまに指を入れて引き外します。



68PJ30096

3 トリム内側にあるカバー（2）をスライドして開きます。その後、エマージェンシーレバー（3）を矢印のとおり、左から右へスライドさせると解錠します。
- エマージェンシーレバーを操作するときは、マイナスドライバーなどを使用してください。
- 解錠後すぐにレバーを離すと、半ドア状態になります。バックドアを開けるときは、エマージェンシーレバーを引き上げたままドアを押し上げてください。



68PJ30097

⚠注意

- エマージェンシーレバーを指などで操作しないでください。けがのおそれがあります
- バックドアを内側から押し開くときは、車の後ろに人がいないことやものがないことを確認してください。バックドアが勢いよく開き、人やものに当たるおそれがあります。

キーを使わない施錠

アドバイス

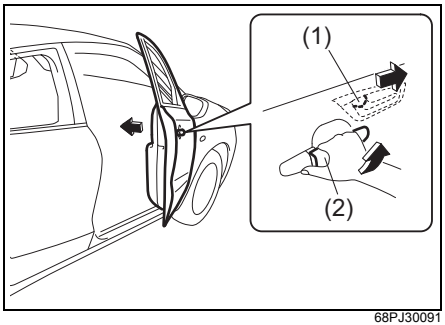
- 「**キーを使わない施錠**」をするときは、キーが手元にあるか確認してください。キーを閉じ込むおそれがあります。
- 次のような状況では、「**キーを使わない施錠**」ができない場合があります。
  - 携帯リモコンが車内にある
  - エンジンスイッチが ACC または ON のとき

→ **3-15 ページ（携帯リモコン閉じ込み防止機能）**

■ 前席ドア、後席ドア

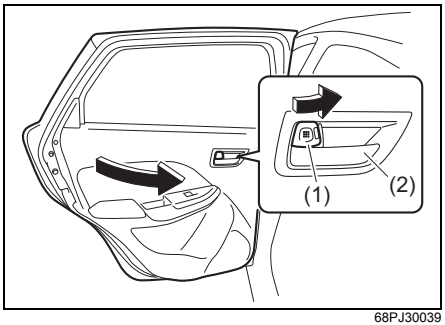
ロックレバー（1）を施錠側（車の前方向）にして、ドアハンドル（2）を引いたままドアを閉めると施錠できます。

前席ドア



68PJ30091

後席ドア



68PJ30039

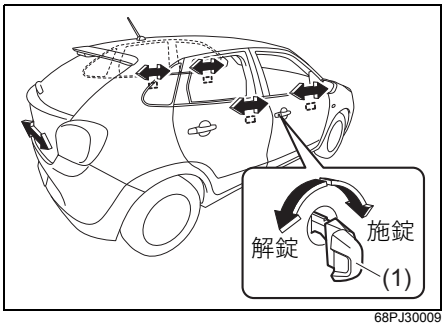
アドバイス

「**キーを使わない施錠**」は、後席ドアを閉めるときにドアハンドルを引く必要がありません。

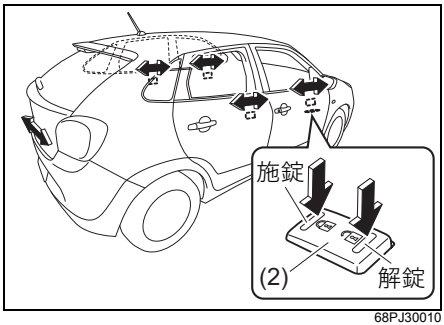
キーまたはパワードアロックスイッチ操作によるパワードアロック

→ 3-9ページ（キーレスエントリー）
→ 3-11ページ（携帯リモコン）

運転席ドアをキー（1）またはパワードアロックスイッチ（2）操作で施錠・解錠すると、助手席／後席／バックドアも同時に施錠・解錠します。



68PJ30009



68PJ30010

アドバイス

エンジンスイッチが ON のときは、キー操作で助手席／後席ドアの施錠ができません。

■ ドアロック解除機能

衝突などで強い衝撃を受けた場合、自動的にすべてのドアロックを解除します。

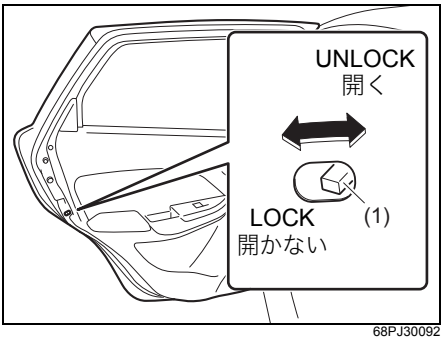
アドバイス

エアバッグが作動したときでも、ドアロックモーターの配線やモーター自体が損傷した場合は、ドアロック解除機能が作動しません。

チャイルドプルーフによる施錠・解錠

後席ドアのロックレバー位置に関係なく、車内のドアハンドルで後席ドアが開かないようにできます。お子さまなどによるドア誤開放を防止するために使用してください。

- 後席ドアにあるレバー(1)を**LOCK**（開かない）の位置にして、ドアを閉めます。車内のドアハンドルで開けることはできません。
- 後席ドアのレバー（1）が **UNLOCK**（開く）解錠側にあるときは、車内のドアハンドルでドアを開けることは可能です。



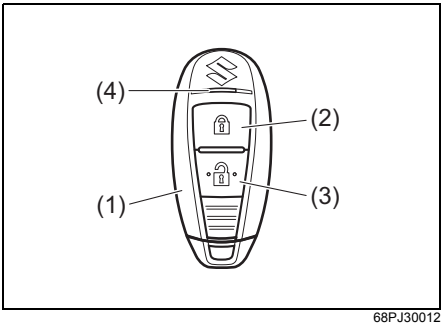
68PJ30092

(1) レバー

キーレスエントリー

車から約2 m以内の範囲で携帯リモコンのロックスイッチ・アンロックスイッチを押すと、すべてのドアを施錠・解錠できます。

●施錠したときは、ドアハンドルを引いて施錠されているか確認してください。



68PJ30012

(1) 携帯リモコン
(2) ロックスイッチ
(3) アンロックスイッチ
(4) 作動表示灯

⚠警告

火災や盗難などの事故防止のため、車から離れるときは、エンジンを止めてドアを施錠してください。

アドバイス

●次のようなときは、キーレスエントリーが作動しません。
- いずれかのドアが開いていると、施錠できません。(解錠はできます)車外ブザーが“ピー”と約2秒間鳴ります。
- エンジンスイッチが ACC または ON のとき。

●キーレスエントリーの作動距離は、周囲の影響で変わることがあります。また、強い電波などが発生している場所では、キーレスエントリーが作動しないことがあります。

●少しの間でも車から離れるときは、現金や貴重品を車内に放置しないでください。盗難のおそれがあります。

●携帯リモコンでドアの施錠・解錠ができないときは、キーを使って施錠・解錠をしてください。

●キーレスエントリーが検知範囲内で作動しないときは、電池の消耗が考えられます。

→ **6-8ページ**
(携帯リモコンの電池交換)

●携帯リモコンを必要以上に操作すると、電池の消耗が早まります。

アンサーバック機能

キーレスエントリーによるドアの施錠・解錠を知らせる機能です。

アンサーバック機能	初期設定（工場出荷時）		設定切替え時	
	ロック（施錠）	アンロック（解錠）	ロック（施錠）	アンロック（解錠）
非常点滅表示灯	1回点滅	2回点滅		
室内灯（スイッチがDOOR位置）		約15秒間点灯	2回点滅	約15秒間点灯

- キーレスエントリーの作動と同時に室内灯を点灯または点滅させたい場合は、室内灯スイッチをDOOR位置にします。
- 室内灯が約 15 秒間点灯したあとは、徐々に減光しながら消灯します。
  → **5-7ページ（室内灯）**

- キーレスプッシュスタートシステム装備車の場合、車外ブザーも鳴ります。

アンサーバック機能	初期設定（工場出荷時）		設定切替え時	
	ロック（施錠）	アンロック（解錠）	ロック（施錠）	アンロック（解錠）
車外ブザー	1回吹鳴	2回吹鳴		

アドバイス

- アンサーバック機能の設定切替え（カスタマイズ）については、スズキ販売店またはスズキ代理店にご相談ください。
- キーレスプッシュスタートシステム装備車は、リクエストスイッチで施錠・解錠したときにも、アンサーバック機能が作動します。また、次の合図が別々にカスタマイズできます。
  - 非常点滅表示灯／室内灯による合図
  - 車外ブザーによる合図
  - マルチインフォメーションディスプレイのセッティングモードで、アンサーバック機能の車外ブザーによる合図を停止することができます。

→ **3-82 ページ（セッティングモード（Aタイプ））**
→ **3-97 ページ（セッティングモード（Bタイプ））**

タイマーロック機能

盗難防止のため、自動的にドアを施錠する機能です。

- キーレスエントリーで解錠したあと、約 30 秒以内にいずれのドアも開けなかったときに自動的にドアを施錠します。

● タイマーロック機能が作動すると、セキュリティアラームが自動的にセットされます。(**警報なしモード**時を除く)
→ **3-16ページ (セキュリティアラーム (警報装置))**

アドバイス

キーレスプッシュスタートシステム装備車は、リクエストスイッチで解錠したときにも、タイマーロック機能が作動します。

携帯リモコン

すべてのドアが閉まっているときに、前席ドアまたはバックドアにあるリクエストスイッチを押すと、所持している携帯リモコンが車両と電波で通信を開始し、照合がとれるとドアの施錠・解錠が可能となります。
また、そのほかに次の機能があります。

● キーレスエントリー
→ **3-9ページ (キーレスエントリー)**

● エンジンスイッチによる始動および電源の切替え
→ **4-4 ページ (キーレスプッシュスタートシステム)**

● イモビライザー (車両盗難防止装置)
→ **4-3ページ (イモビライザーシステム)**

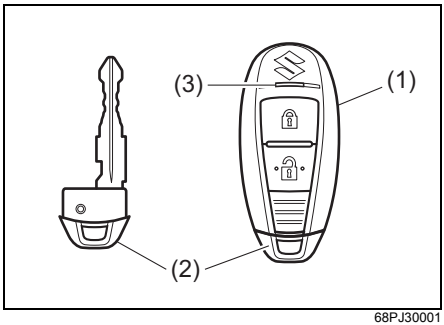
注 記

携帯リモコンが発信する電波が、携帯電話やほかのリモコンなどの無線通信機器に影響をあたえることがあります。
必要以上に携帯リモコンやリクエストスイッチ、エンジンスイッチの操作をしないでください。

アドバイス

- 携帯リモコンは運転者が所持し、管理してください。車内にリモコンを置き忘れないでください。
- 盗難などを防ぐため、携帯リモコンを紛失したときは、すみやかにスズキ販売店またはスズキ代理店にご相談ください。
- 携帯リモコンは車両と通信するとき、外的影響を受けやすい微弱な電波を使用しています。次のような使用環境では、正常に作動しないことがあります。
  - 近くにテレビ塔や発電所、放送局など強い電波やノイズを発生する設備がある
  - 携帯電話、無線機などの無線通信機器やノートパソコンなどと一緒に所持している
  - 携帯リモコンが金属製のものと接していたり、覆われたりしている
  - 近くで他車のキーレスエントリーが使用されている
  - コインパーキングに駐車している (車両検出用の電波の影響があるため)

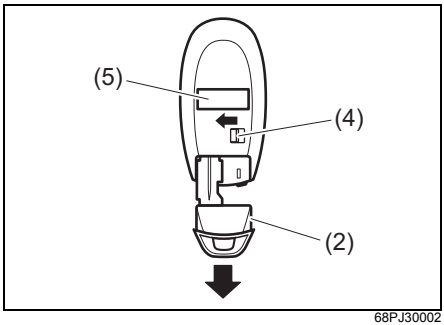
携帯リモコン（1）が2個、リモコンに格納可能なキー（2）が2本ついています。



68PJ30001

(3) 作動表示灯

- リモコンに格納されているキー（2）は、ロック解除レバー（4）を ⬅ 方向に引きながら取り出します。



68PJ30002

(5) 適合証明マーク

⚠注意

携帯リモコンの分解（電池交換時を除く）や修理、改造をしないでください。発火や感電、けがのおそれがあります。また、法律により処罰されることがあります。

注 記

携帯リモコンには、精密な電子部品が組み込まれています。電子部品の故障を防ぐため、次のことをお守りください。

- **インパネの上などの高温になるような場所に置かない**
- **落下させるなどして、強い衝撃をあたえない**
- **水洗いをしたり、水中に入れたりしない**
- **磁気を帯びたキーホルダーなどを付けない**
- **テレビやオーディオなど磁気を帯びた機器の近くに置かない**
- **電気医療機器（マイクロ波治療器や低周波治療器など）の近くに置いたり、身につけたまま治療を受けたりしない**

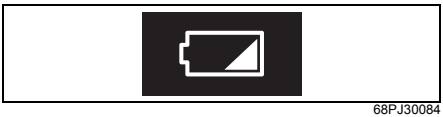
アドバイス

- 適合証明マークの消去、改ざんをしないでください。法律により処罰されることがあります。
- 携帯リモコンには、キーを格納してください。リモコンの電池が消耗しているときや故障したときなどに、ドアの施錠・解錠ができなくなるおそれがあります。
- 1 台の車両で、4 個の携帯リモコンまで登録できます。
- 電池の寿命は使用状況によりますが約2年です。

→ **6-8ページ（携帯リモコンの電池交換）**

●携帯リモコンは、車両と通信するために常時受信動作をしています。強い電波を受信し続けたとき、電池を著しく消耗することがあります。（テレビやパソコンなどの強い電波を発信する電化製品の近くに置いたときなど）
●携帯リモコンのご購入、暗証コードの登録については、スズキ販売店またはスズキ代理店にご相談ください。

■ 携帯リモコン電池消耗警告表示



68PJ30084

マルチインフォメーションディスプレイ内にあります。

- 携帯リモコンの電池切れが近いと、エンジンスイッチを ON にしたときに約 15 秒間点灯します。電池交換のうえ、警告表示をリセットしてください。
  → **3-75ページ（マルチインフォメーションディスプレイ（Aタイプ））**
  → **6-8ページ（携帯リモコンの電池交換）**

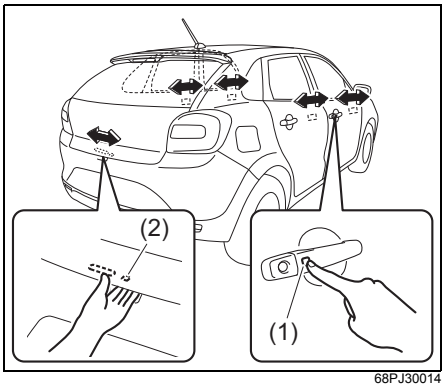
アドバイス

●設定の切替え（カスタマイズ）をすると、点灯しなくすることもできます。設定の切替えについては、スズキ販売店またはスズキ代理店にご相談ください。
●メーターのタイプによっては、メッセージも同時に表示されます。
→ **3-100ページ（マルチインフォメーションディスプレイのメッセージ）**

リクエストスイッチによるドアの施錠・解錠

すべてのドアが閉まっているときに、所持している携帯リモコンが「**リクエストスイッチの作動範囲**」（**3-14ページ**参照）に入っていると、リクエストスイッチを押すごとに、すべてのドアを施錠・解錠できます。

- 施錠したときは、ドアハンドルを引いて施錠されているか確認してください。



68PJ30014

(1) 前席ドアのリクエストスイッチ
(2) バックドアのリクエストスイッチ

⚠警告

火災や盗難などの事故防止のため、車から離れるときは、エンジンを止めドアを施錠してください。

アドバイス

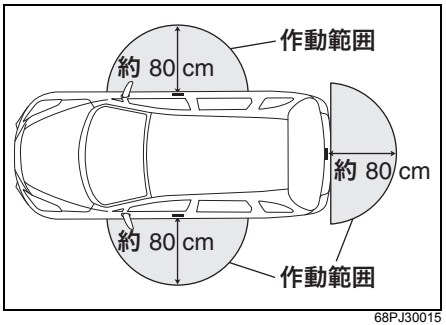
●次のようなときは、リクエストスイッチが作動しません。
- いずれかのドアが開いている
- エンジンスイッチが ACC または ON のとき

●リクエストスイッチでドアの施錠・解錠をすると、アンサーバック機能やタイマーロック機能が作動します。
→ **3-10ページ（アンサーバック機能）**
→ **3-10ページ（タイマーロック機能）**

●少しの間でも車から離れるときは、現金や貴重品を車内に放置しないでください。盗難などのおそれがあります。

リクエストスイッチの作動範囲（車外）

前席ドアまたはバックドアのリクエストスイッチ付近から半球状に周囲約80 cm以内です。



68PJ30015

アドバイス

●**「リクエストスイッチの作動範囲」**で携帯リモコンを所持していても、次のような状況にあるとリモコンが検知されず、リクエストスイッチが作動しない場合があります。
- 携帯リモコンの電池が消耗している
- 携帯リモコンが強い電波やノイズの影響を受けている
- 携帯リモコンが金属製のものと接していたり、覆われたりしている
- 携帯リモコンがドアに近づきすぎている
- 携帯リモコンが地面の近くや高い位置にあったり、お尻のポケットの中などにあったりして、リクエストスイッチから離れている

●車内に予備の携帯リモコンがあると、そのリモコンが検知され、リクエストスイッチが正常に作動しなくなるおそれがあります。

リクエストスイッチ未作動警告ブザー

次のようなときは車外ブザーが“ピー”と約2秒間鳴って、リクエストスイッチが未作動であることを警告します。

- エンジンスイッチが ACC または ON の状態で、すべてのドアを閉め、リクエストスイッチを押したとき
- エンジンスイッチを LOCK（OFF）にしたあと、次のような状況でリクエストスイッチを押したとき
  - 携帯リモコンを車内に置き忘れている
  - いずれかのドアが開いている
    → **3-68ページ（半ドア警告灯）**

エンジンスイッチを LOCK（OFF）にして携帯リモコンを車外に持ち出し、すべてのドアを完全に閉めたことを確認してから、再度リクエストスイッチを押してください。

携帯リモコン閉じ込み防止機能

「キーを使わない施錠」（**3-7 ページ**参照）で、携帯リモコンを閉じ込んでしまうのを防止する機能です。

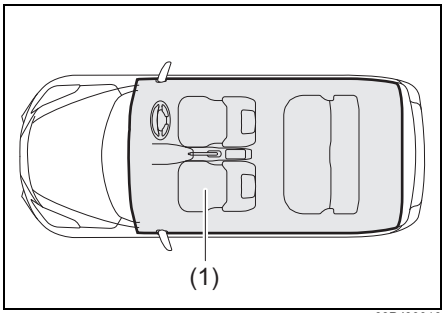
- 携帯リモコンを車内に置き忘れた状態で、**「キーを使わない施錠」**ですべてのドアを施錠しようとすると、自動的にすべてのドアが解錠されます。

アドバイス

- **「キーを使わない施錠」**をするときは、携帯リモコンが手元にあるか確認してください。リモコンを閉じ込むおそれがあります。
- エンジンスイッチが ACC または ON のときは、携帯リモコンの位置に関係なく、携帯リモコン閉じ込み防止機能が作動します。
- 鉛バッテリーが完全にあがっているときや接続されていないときは、携帯リモコン閉じ込み防止機能は作動しません。

リクエストスイッチ未作動警告ブザー／携帯リモコン閉じ込み防止機能の検知範囲（車内）

「車内の検知範囲」（1）は、インパネの上や荷室などを除く車室内です。



68PJ30016

アドバイス

- **「車内の検知範囲」**に携帯リモコンがあっても、次のような状況にあるとリモコンが検知されず、リクエストスイッチ未作動警告ブザーや携帯リモコン閉じ込み防止機能が作動しない場合があります。
  - 携帯リモコンの電池が消耗している
  - 携帯リモコンが強い電波やノイズの影響を受けている
  - 携帯リモコンが金属製のものと接していたり、覆われたりしている
  - 携帯リモコンが奥まったところや収納スペースなどにある
    → **5-10ページ（ドリンクホルダー・収納スペース）**
  - 携帯リモコンがメーターの手前やサンバイザー、床にある

- **「車内の検知範囲」**に携帯リモコンがなくても、次のような状況にあるとリモコンが検知され、リクエストスイッチ未作動警告ブザーや携帯リモコン閉じ込み防止機能が作動する場合があります。
  - 車外に携帯リモコンがあっても、ドアに近づきすぎている
  - 携帯リモコンがインパネの上や荷室にある

セキュリティアラーム（警報装置）

セキュリティアラームは、ドアをリクエストスイッチまたはキーレスエントリーで施錠すると、約 20 秒後にセットされます。
セット状態にて、リクエストスイッチまたはキーレスエントリー以外のもの（※）で解錠し、いずれかのドアを開けると、警報が作動して周囲に異常を知らせます。

※キーやロックレバーを含む

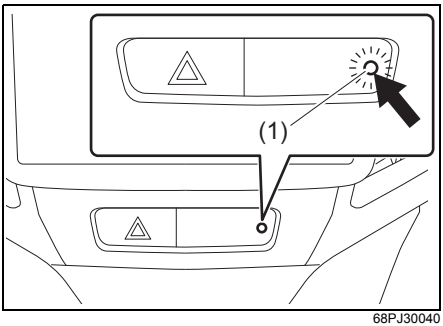
- 工場出荷時は、＜**警報あり（Dモード）**＞になっています。任意で＜**警報なし（Aモード）**＞に切替えてください。
  → **3-18ページ（モード設定の切替えのしかた）**
- 警報を誤作動させたときは
  → **3-17ページ（警報の停止のしかた）**

アドバイス

- セキュリティアラームは、一定の条件下で警報を発する機能です。室内への侵入を防ぐ機能はありません。
- アラームのセット中は、ドアを必ずリクエストスイッチまたはキーレスエントリーで解錠してください。キーを使ってドアを解錠すると、警報が作動します。
- 車を貸すときや、セキュリティアラームを知らない方が運転するときは、作動についてよく説明するか、アラームを＜**警報なし（Aモード）**＞に切替えてください。誤って警報を作動させると、周囲への迷惑になります。
- アラームをセットしていても、現金や貴重品を車内に放置しないでください。盗難のおそれがあります。

セキュリティアラームのセットのしかた（Dモード）

ドアをリクエストスイッチまたはキーレスエントリーで施錠してください。セキュリティアラームインジケーター（1）が小刻みに点滅し、約20秒後にアラームがセットされます。
セット中は、セキュリティアラームインジケーターが約2秒間隔で点滅します。



68PJ30040

アドバイス

- 警報の思わぬ作動を防ぐため、車内に人が残っているときはアラームをセットしないでください。車内の人がロックレバーで解錠し、いずれかのドアを開けた場合にも警報が作動します。
- すべてのドアをキーまたはロックレバーで施錠すると、アラームがセットされません。
- タイマーロック機能が作動すると、アラームが自動的にセットされます。（**警報なし（Aモード）**時を除く）
  → **3-10ページ（タイマーロック機能）**

セキュリティアラームの解除のしかた

ドアをリクエストスイッチまたはキーレスエントリーで解錠してください。アラームが解除され、セキュリティアラームインジケーターが消灯します。

警報の停止のしかた

警報を誤作動させたときは、次のいずれかの操作を行なってください。警報を途中で停止できます。

- ドアを携帯リモコンまたはリクエストスイッチで解錠する
- エンジンスイッチを ON にする

アドバイス

- 警報を停止した場合でも、ドアをリクエストスイッチまたはキーレスエントリーで施錠すると、約 20 秒後にアラームが再びセット状態となります。
- アラームセット状態または警報作動状態で鉛バッテリー端子を外すと、警報が停止します。ただし、再度バッテリー端子を接続すると、警報が作動します。
- 警報が終了しても、アラームの解除をせずにいずれかのドアを開けると、再び警報が作動します。

駐車時に警報が作動した場合

盗難などにより警報が作動した場合、エンジンスイッチを ON にすると、セキュリティアラームインジケーターが約 8 秒間小刻みに点滅し、室内ブザーが 4 回鳴ります。盗難にあっていないか車の中を確認してください。

セキュリティアラームモード

＜**警報あり（D モード）**＞と＜**警報なし（A モード）**＞の 2 つのモードがあります。警報の作動は次のようになります。

＜**警報あり（Dモード）**＞（工場出荷時）
非常点滅表示灯が約 40 秒間点滅するとともに、室内ブザーが約10秒間断続的に鳴ります。室内ブザーが鳴り終えると、ホーンが約30秒間断続的に鳴ります。作動中は、セキュリティアラームインジケーターも点滅します。

＜**警報なし（Aモード）**＞
警報は作動しません。

モード設定の切替えのしかた

アドバイス

マルチインフォメーションディスプレイのセッティングモードでも、モード設定を切替えることができます。

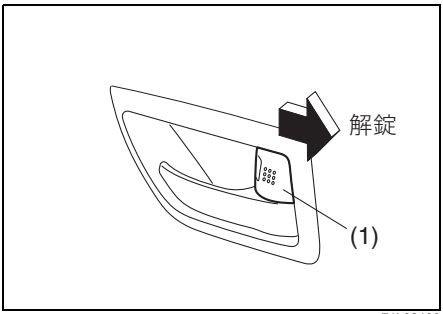
→ **3-75 ページ（マルチインフォメーションディスプレイ（A タイプ））**
→ **3-85 ページ（マルチインフォメーションディスプレイ（B タイプ））**

セキュリティアラームが解除されている状態で、次の手順で切替えてください。

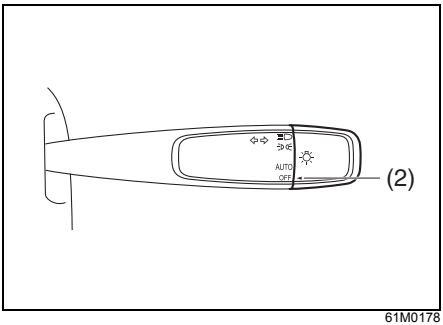
1 運転席にすわり、すべてのドアが閉まっているか確認します。

- いずれかのドアが開いていると、半ドア警告灯が点灯します。
  → **3-61ページ（警告灯・表示灯の見かた）**

2 運転席ドアのロックレバー（1）を解錠側（車の後ろ方向）にします。ライトスイッチを OFF（2）の位置にします。



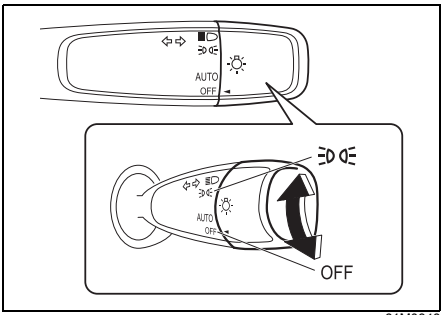
71L30190



61M0178

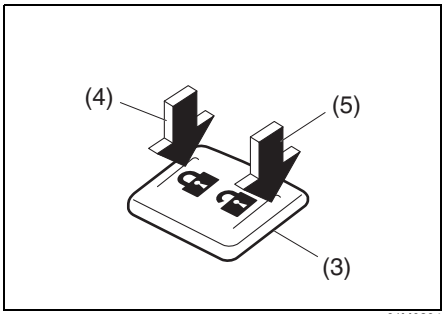
※次の 3 から 4 までの一連の手順は、15秒以内に完了してください。

3 ライトスイッチを ≡D◐ の位置にまわし、OFFの位置にもどします。この操作を4往復行ないます。



61M0348

4 運転席ドアにあるパワードアロックスイッチの施錠側を押し、解錠側を押します。この操作を3往復行ないます。



61M0294

(3) パワードアロックスイッチ
(4) 施錠
(5) 解錠

前記の手順を行なうと、モード設定が切替わります。

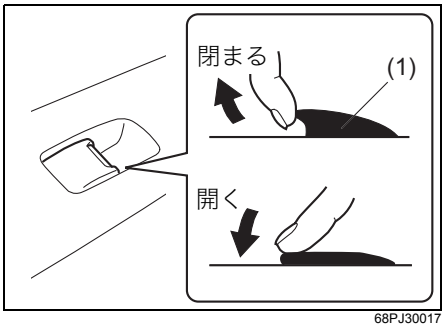
- 切替えた設定状態は、次表の設定確認ブザーの回数で確認できます。

モード設定状態	設定確認ブザー
警報なし (Aモード)	1回
警報あり (Dモード)	4回

- 3から4までの操作が正しく行なわれなかったり、15秒以内にできなかったりしたときは、モード設定が切替わらず、設定確認ブザーが鳴りません。はじめからやり直してください。

パワーウインドー

エンジンスイッチが ON のときに、パワーウインドースイッチ（1）を操作すると、ウインドーの開閉ができます。



68PJ30017

⚠ 警告

●パワーウインドーは強い力で開閉します。閉めるときは手や首をはさまないように注意してください。
●窓から手を入れてパワーウインドースイッチを操作しないでください。手や首をはさむおそれがあります。

⚠ 注意

ウインドーガラスを開閉するときは、ガラスに触れないでください。巻き込まれるおそれがあります。

注 記

鉛バッテリー保護のため、エンジンがかかっているときにウインドーを開閉してください。

アドバイス

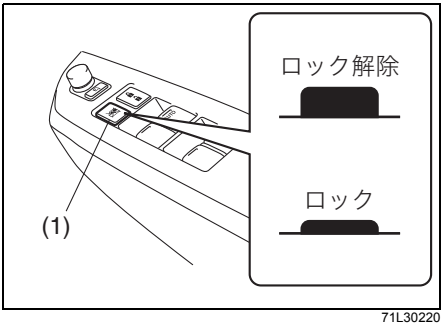
走行中に後席ウインドーだけを開けていると、耳を圧迫するような音が発生する場合があります。これは開いているウインドー周辺の気圧変動にともなう現象で、異常ではありません。空のビンなどの口に、横から息を吹きかけたときに音が鳴る現象と同じです。
後席ウインドーを開けたままでこの音を軽減したい場合は、次のような方法があります。

- 前席ウインドーも開ける。
- 後席ウインドーの開き具合を変える。例えばウインドーが全開なら半開にする。

ウインドーロックスイッチ

運転席ドアにあるウインドーロックスイッチ（1）を押し込むと、助手席／後席ウインドーの開閉ができなくなります。

- ロックを解除するときは、スイッチをもう一度押します。



71L30220

⚠警告

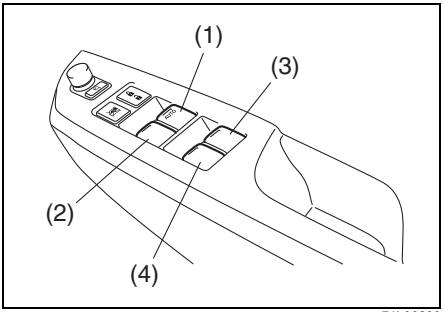
お子さまにはパワーウインドースイッチを操作させないでください。お子さまが誤って操作すると、重大な傷害につながるおそれがあります。お子さまを乗せているときは、ウインドーロックスイッチを ロック 位置にしてください。

アドバイス

ウインドーロックスイッチが ロック 位置のときでも、運転席ウインドーは開閉できます。

運転席での開閉

運転席で各席のウインドーの開閉ができます。



71L30230

(1) 運転席ウインドースイッチ
　(オート機構付)
(2) 助手席ウインドースイッチ
(3) 右後席ウインドースイッチ
(4) 左後席ウインドースイッチ

■ 運転席ウインドーのオート機構

運転席ウインドースイッチを強く操作すると、オート機構が作動してスイッチから手を離しても自動で全開または全閉します。
途中で止めたいときは、操作した方向と逆の方向に軽く操作します。

■ はさみ込み防止機構

運転席ウインドーには安全装置として、はさみ込み防止機構があります。

- オート機構を作動させて自動で閉めているときに、異物をはさみ込むなどしてウインドーに一定以上の負荷がかかると、ウインドーの動く方向が反転し、少し開いて停止します。(過負荷検知方式)

⚠警告

はさまれる異物の形状や硬さ、はさまれかたによっては過負荷検知されず、はさみ込み防止機構が作動しない場合があります。重大な傷害を受けるおそれがありますので、十分に注意して開閉操作を行なってください。

⚠注意

はさみ込み防止機構は、スイッチを引き上げ続けた状態では作動しません。また、閉まりきる直前は、はさみ込みを検知できない領域があります。指などをはさまないように気をつけてください。

アドバイス

- ウインドーの故障で、はさみ込み防止機構が作動し、自動で閉めることができない場合があります。この場合、運転席ウインドースイッチを引き上げ続けると、完全に閉めることができます。
- 悪路などを走行中にウインドーを自動で閉めると、衝撃や荷重がウインドーに加わって、はさみ込み防止機構が作動することがあります。
- 助手席／後席ウインドーにはさみ込み防止機構はありません。

■ はさみ込み防止機構の初期設定が必要なとき

次のような場合は、運転席ウインドーが自動で開かなくなるとともに自動で閉めたときに、はさみ込み防止機構が作動しなくなってしまいます。
次の「**初期設定のしかた**」をお読みになり、初期設定を行なってください。

- 鉛バッテリーの端子を外したとき
- 鉛バッテリーがあがったとき
- 鉛バッテリーを交換したとき
- ヒューズを点検・交換したとき

→ **7-18ページ**
（ヒューズが切れたときは）

⚠ 警告

はさみ込み防止機構は、必ず初期設定してください。初期設定が完了するまでは、はさみ込み防止機構が作動しません。

アドバイス

運転席ウインドーが自動で開くことも閉めることもできなくなった場合も、初期設定を行なってください。

■ 初期設定のしかた

はさみ込み防止機構の初期設定は次の手順で行なってください。

1 エンジンを始動します。

2 運転席ウインドースイッチを押し続け、ウインドーを完全に開けます。

3 運転席ウインドースイッチを引き上げ続け、ウインドーを完全に閉めます。

4 そのままスイッチを2秒以上引き上げ続けます。

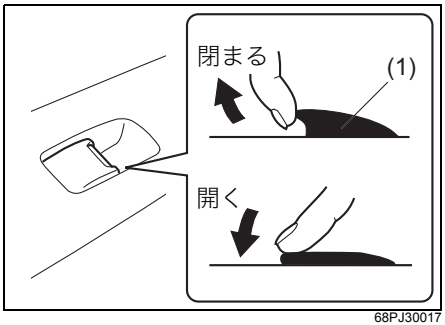
5 運転席ウインドーが自動開閉できるようになったか確認します。

- 手順1～4を何度繰り返しても運転席ウインドーが自動開閉できない場合、システムの異常が考えられます。スズキサービス工場で点検を受けてください。

助手席、後席での開閉

自席のウインドーだけ開閉できます。

- ウインドースイッチ（1）を操作している間だけ開閉します。スイッチから手を離すと、ウインドーはその位置で止まります。
- お子さまを乗せているときは、運転席ドアのウインドーロックスイッチを ロック 位置にしてください。
  → **3-20ページ（ウインドーロックスイッチ）**



68PJ30017

アドバイス

ウインドーロックスイッチが ロック 位置のときは、助手席／後席ウインドーの開閉ができません。

ルームミラー

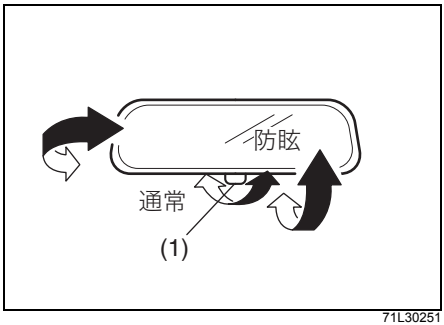
ミラー全体を動かして角度を調節します。

⚠ 警告

必ず走行前に調節してください。走行中に調節すると、前方不注意で思わぬ事故につながるおそれがあります。

防眩式ルームミラー

通常はレバー（1）を車の前方向に押した状態で使用し、角度の調節もこの位置で行ないます。後続車のライトがまぶしいときは、レバーを手前に引くとライトの反射が弱まります。



71L30251

ドアミラー

角度の調節

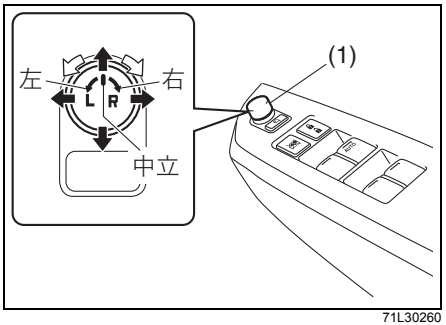
■ ドアミラー角度調節スイッチ

エンジンスイッチが ACC または ON のときに使用できます。

1 ドアミラー角度調節スイッチ（1）を、調節したいミラーの側へまわします。

2 ドアミラー角度調節スイッチ（1）を操作して、上下左右にミラーを動かします。

3 調節後は、ドアミラー角度調整スイッチを中立の位置へもどしてください。



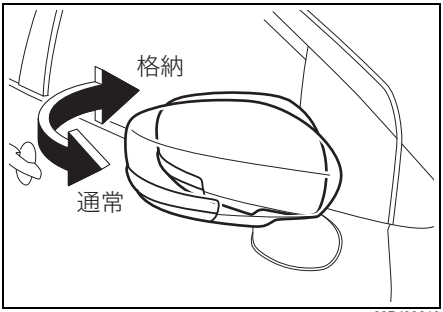
71L30260

⚠ 警告

必ず走行前に調節してください。走行中に調節すると、前方不注意で思わぬ事故につながるおそれがあります。

格納

狭い場所で駐車するときなどに、ドアミラーを車の後ろ方向に格納できます。



68PJ30019

- 上図のドアミラーは代表例です。お車のタイプにより異なります。

⚠ 注意

- ドアミラーを倒したまま走行しないでください。後方の確認ができず、事故を起こすおそれがあります。
- ドアミラーは車体より張り出しています。ドアミラーを車外の人やものに当てないように気をつけてください。

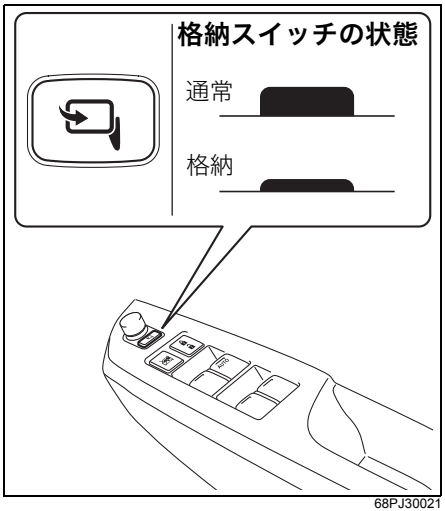
注 記

エンジンスイッチが ACC または ON の位置にあるときは、手でドアミラーを動かさないでください。故障の原因となります。

■ ドアミラー格納スイッチ

エンジンスイッチが ACC または ON のときに使用できます。

- 格納スイッチを押すごとに、格納と通常の位置に切り替わります。



68PJ30021

⚠注意

●ドアミラーを動かすときは、次のことに注意してください。けがをしたり、ミラーが破損したりする原因となります。
・ドアミラーの周囲に人やものがないか確認する
・動いているドアミラーに触れない
●格納スイッチでドアミラーを格納したときは、手でドアミラーを通常の位置にもどさないでください。ドアミラーの固定が不完全になるため、走行中の振動や走行風などでドアミラーが動くおそれがあります。
その場合は、スイッチを通常の位置にして、確実にドアミラーを固定してください。

注記

●エンジンスイッチが ACC または ON の位置にあるときは、手でドアミラーを動かさないでください。故障の原因となります。
●ドアミラーが凍結しているときは、手で動かすことが可能かを確認してから、格納スイッチの操作を行なってください。凍結したまま操作を繰り返すと、故障の原因となります。
→ 6-14ページ（ドアミラーの凍結）

アドバイス

ドアミラーを手で動かすと、エンジンスイッチを ACC または ON にしたときに、ドアミラーが動き出すことがあります。

テレスコピック＆チルトステアリング

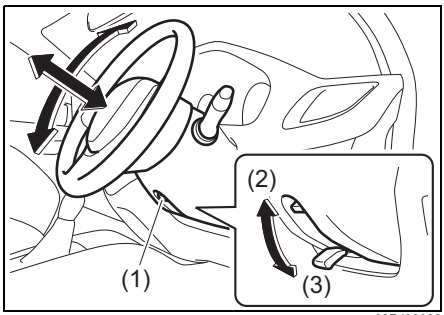
ハンドルの位置調節

→ 2-11 ページ（ハンドル、シート、ミラーの調節は走行前に）

1 ハンドルの固定を解除します。
- 片手でハンドルをささえながら、ハンドル下のレバーを押し下げます。

2 ハンドルを前後・上下に動かし、適切な位置に調節します。

3 調節後は、ハンドルを固定します。
- その位置でハンドルを押さえたまま、レバーをもとの位置まで確実にもどします。



68PJ30022

(1) レバー
(2) 固定位置
(3) 調節位置

⚠警告

調節後はハンドルを上下にゆすって、確実に固定されているか確認してください。固定が不十分な場合、走行中にハンドル位置が変化し、思わぬ事故につながるおそれがあります。

前席シート

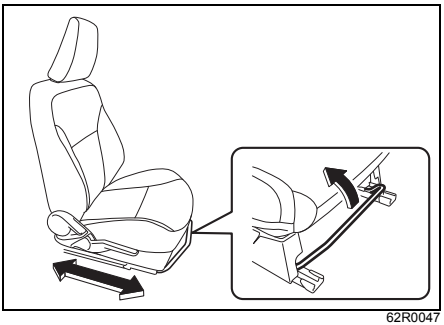
⚠注意

●シートを調節するときは、手足をはさんだり、身体に当てたりしないように気をつけてください。
→ 2-11ページ（ハンドル、シート、ミラーの調節は走行前に）

●シートを調節したあとは、シートを前後にゆするなどして、確実に固定されているか確認してください。

前後位置の調節

スライドレバーを引き上げたまま、シートを前後に動かします。



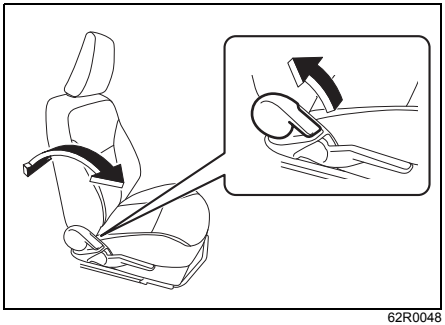
62R0047

⚠警告

シートの下にものを置かないでください。ものがはさまって、シートが固定されないおそれがあります。

背もたれの角度調節

- 後方へ倒すときは、リクライニングレバーを引き上げたまま、背中で軽く押します。
- 前方へ起こすときは、背中を少し浮かせて、リクライニングレバーを引き上げます。



62R0048

⚠警告

背もたれを必要以上に倒さないでください。シートベルトや SRS エアバッグシステムが本来の効果を発揮できません。

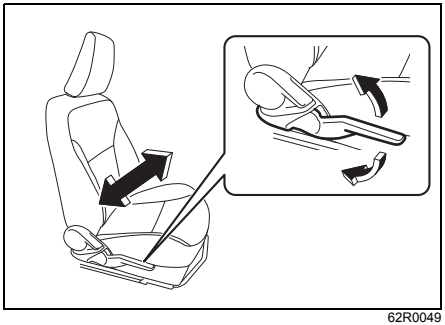
⚠注意

背もたれから離れてリクライニングレバーを操作すると、背もたれが急に起きあがって前方へ倒れることがあります。手などを添えて操作してください。

高さの調節（運転席のみ）

運転席シート右横のレバーを繰り返し操作します。

- レバーを引き上げると、シート全体が高くなるとともに前方へ動きます。
- レバーを押し下げると、シート全体が低くなるとともに後方へ動きます。



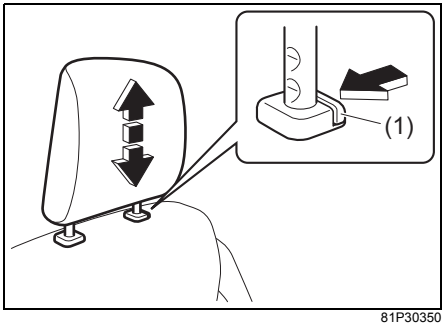
62R0049

ヘッドレストの高さ調節と取り外し・取り付け

■ 高さの調節

走行前に、ヘッドレスト中央の高さが耳の位置になるように調節し、しっかりと固定します。背が高い人は、固定できる範囲で一番高い位置にしてお使いください。

- 高くするときは、ヘッドレストを手で持ち上げます。
- 低くするときは、ロックボタン（1）を押したままヘッドレストを押し下げます。



81P30350

(1) ロックボタン

■ 取り外しかた

ロックボタン（1）を押したまま引き抜きます。

- ヘッドレストが天井に当たる場合は、シート背もたれを倒すと取り外しやすくなります。

⚠ 警告

ヘッドレストを外したまま、走行しないでください。

■ 取り付けかた

ヘッドレストの前後の向きを間違えないように、固定される位置まで差し込み、高さの調節をします。

⚠ 警告

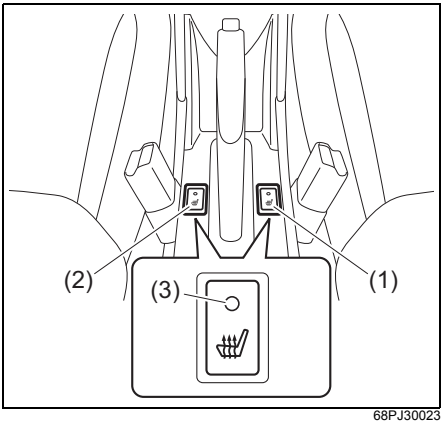
ヘッドレストは、しっかりと固定してください。また、ヘッドレストを前後逆に取り付けないでください。ヘッドレストが本来の効果を発揮できません。
ヘッドレストを前後逆に取り付けると、ヘッドレストの高さ調節ができません。

運転席・助手席シートヒータースイッチ

タイプ別装備

シート内にあるヒーターで座面をあたためることができます。

- エンジンスイッチが ON のときにスイッチを押すと、ヒーターが作動して、スイッチ内の表示灯が点灯します。もう一度押すと、ヒーターが止まります。
- シートがお好みの温度になったら、ヒーターを止めてください。



68PJ30023

(1) 運転席シートヒータースイッチ
(2) 助手席シートヒータースイッチ
(3) 作動表示灯

- スイッチに水や飲み物などをこぼさないように気をつけてください。
  → **2-32ページ（飲み物などをこぼしたときは）**

⚠注意

●長時間ヒーターを使用すると、低温やけど（水ぶくれなど）の原因になります。
●毛布や座ぶとんなど、保温性の高いものをシートにかけないでください。過熱の原因となります。

注 記

●シートの上に重い荷物を置いたり、針や釘などをシートに刺したりしないでください。
●シートをお手入れするときは、ベンジン、ガソリンおよびアルコールなどの溶剤を含む洗浄液を使用しないでください。シート表面やヒーターが損傷する原因となります。
→ 6-4ページ（内装のお手入れ）

●シートの上に水やジュースなどをこぼしたときは、すみやかにやわらかい布などでふき取り、十分に乾かしてからご使用ください。
●鉛バッテリー保護のため、エンジンがかかっているときに使用してください。

アドバイス

ヒーターは自動停止しません。スイッチを切らないと、作動し続けます。

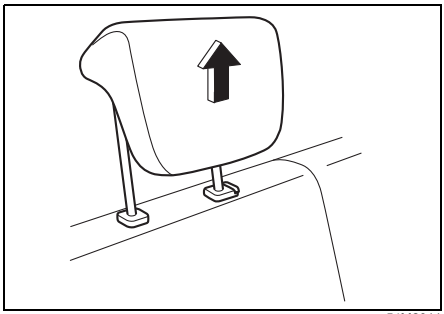
後席シート

ヘッドレストの高さ調節と取り外し・取り付け

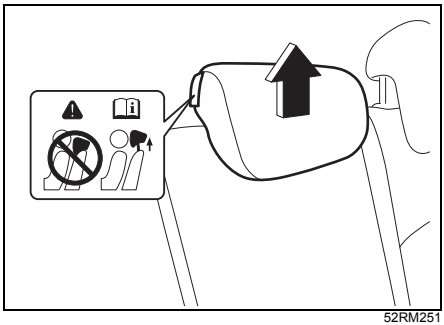
■ 使用時の位置

使用するときは、ヘッドレストを手で持ち上げ、しっかりと固定します。

使用時



54M2011



52RM251

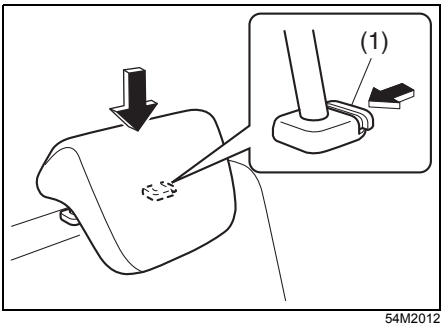
⚠警告

ヘッドレストを外した状態または収納時の位置で、後席中央に人を乗せないでください。

■ 収納時の位置

収納するときは、ロックボタン（1）を押したままヘッドレストを一番下まで押し下げます。

収納時



54M2012

■ 取り外しかた

操作方法は、前席シートと同様です。

⚠注意

取り外したヘッドレストは、客室内に放置しないでください。急ブレーキをかけたときなどに乗員やものなどに当たって、思わぬ事故につながるおそれがあります。

■ 取り付けかた

ヘッドレストの前後の向きを間違えないように、固定される位置まで差し込み、高さの調整をします。

⚠警告

●ヘッドレストは、しっかり固定してください。また、ヘッドレストを前後逆に取り付けないでください。ヘッドレストが本来の効果を発揮できません。
●ヘッドレストを前後逆に取り付けると、ヘッドレストの高さ調節ができません。
●お子さま用シートを取り付けるときは、お子さま用シートがヘッドレストに当たるのを防ぐため、ヘッドレストを固定できる範囲で一番高い位置に調節するか取り外してください。
●ヘッドレストが当たった状態ではお子さま用シートが確実に固定されないため、衝突のときなどにお子さまが重大な傷害を受けるおそれがあります。

背もたれの倒しかた

背もたれを前へ倒すと、荷室が広く使えます。

⚠警告

座席以外の部分に人を乗せないでください。ブレーキや加速、衝突のときなどに、投げ出されてけがのおそれがあります。

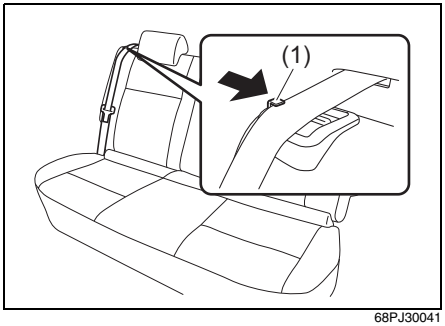
⚠注意

背もたれを動かすときは、手足をはさんだり、身体に当てたりしないように気をつけてください。

■ 倒しかた

1 ヘッドレストは一番低い位置へ調節します。

2 後席左右のシートベルトを図のようにベルトガイド（1）にかけ、背もたれを動かすときに、ベルトをかみ込まないようにします。

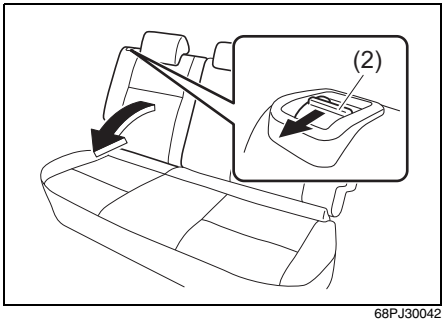


68PJ30041

⚠警告

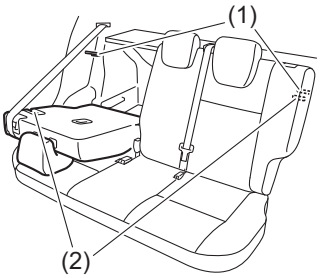
シートベルトの傷つき防止のため、シートベルトはベルトガイドにかけてください。

3 背もたれ肩部のロックレバー（2）を引いたまま、背もたれを前方へ倒します。
- 背もたれを倒すときに、後席のヘッドレストが前席に当たる場合は、前席を前に動かしてください。



68PJ30042

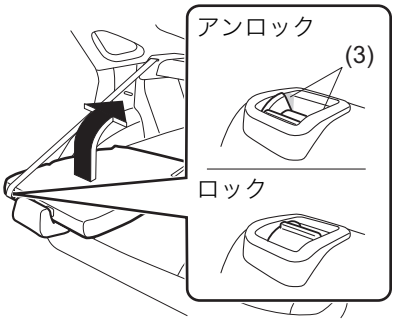
⚠注意



68PJ30024

(1) 背もたれ固定用フック
(2) ロック部品

●背もたれ裏のロック部品に指などを入れないでください。けがのおそれがあります。
●荷物の固定などに、背もたれ裏のロック部品や背もたれ固定用フックを使用しないでください。また、ロック部品やフックに砂などの異物を付着させないでください。ロック部品が損傷したりフックが曲がったりして、背もたれが固定できなくなるおそれがあります。
●背もたれのロックが解除されたままの状態で、後席に人を乗せないでください。ロックレバーは一度操作すると、レバーの横に赤色表示 (3) が出て、ロックが解除されたままとなります。背もたれを一度前に倒し再び起こすなどして、背もたれが確実に固定されているか確認してください。



68PJ30085

アドバイス

背もたれを倒す時に、ヘッドレストが前席に当たる場合は、前席の前後位置や背もたれの角度を調節してください。

■ 起こしかた

背もたれを起こし、固定される位置まで背もたれを車の後ろ方向へ押し付けます。

- 背もたれ肩部のロックレバー横に赤色の表示が出ていないことを確認します。

⚠注意

背もたれを起こしたあとは、次のことを確認してください。背もたれの固定が不確実な場合、走行中に突然背もたれが前に倒れ、けがのおそれがあります。

●ロックレバーの横に赤色の表示が出ていないことを確認してください。赤色の表示が出ている場合は、背もたれが固定されていません。
●背もたれを前後にゆすって確実に固定されているか確認してください。

シートベルトについて

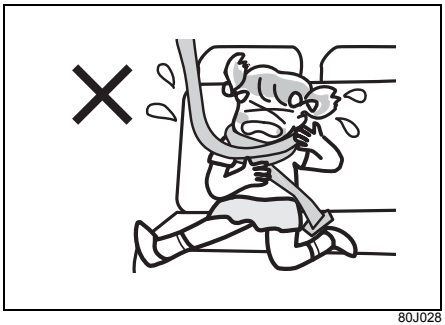
正しい姿勢でシートにすわり、正しくシートベルトを着用しないと、シートベルトが本来の効果を発揮できません。シートベルトは、**2-12ページ**の「**シートベルトは正しく着用**」を参照のうえ、正しく着用するとともに、同乗者がいる場合は、安全のため全員着用しましょう。

お子さまもシートベルトを着用

→ **2-5ページ**
（お子さまを乗せるときは）

⚠警告

お子さまをシートベルトで遊ばせないでください。ベルトを身体に巻きつけるなどして遊んでいるときに、窒息など重大な傷害を受けるおそれがあります。万一の場合は、ハサミでベルトを切断してください。



80J028

妊娠中や疾患のある方は

⚠警告

- **妊娠中の方、疾患がある方もシートベルトを着用してください。ただし、衝突のときに局部的に強く圧迫されるおそれがありますので、医師に相談して注意事項を確認してください。**
- **妊娠中の方は、腰ベルトを腹部を避けて腰部のできるだけ低い位置にかけます。肩ベルトは、首と肩先の中央から腹部を避けて胸部にかかるように着用してください。**



80J075

シートベルト警告ブザー

前席のシートベルト着用忘れを防止するためのブザーです。

- エンジンをかけて走行を開始してから、最初に車速が約 15 km/h 以上になったときにシートベルトを着用していないと、メーター内のシートベルト警告灯が点灯から点滅に切り替わるとともに、シートベルト警告ブザーが断続的に鳴ります。
  → **3-62ページ（シートベルト警告灯）**

アドバイス

- ベルトを着用すると、警告灯は消灯します。また、警告ブザーが鳴っているときは、ブザーも止まります。
- 警告ブザーはベルトを着用しなくても、約 95 秒間鳴り続けたあとに止まります。ただし、警告灯は点滅から点灯に切り替わったまま、エンジンスイッチを ACC または LOCK (OFF) にするまで消灯しません。
- 助手席側の場合、助手席に乗員がすわっていないときブザーは鳴りません。ただし、助手席の座面に荷物などを載せていると鳴る場合があります。
- 警告灯は運転席側・助手席側兼用です。

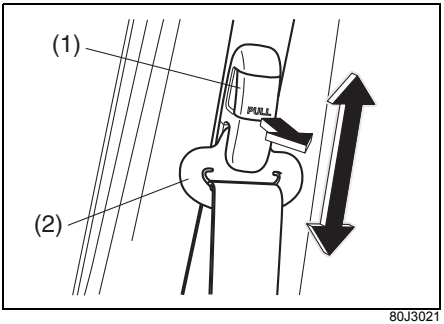
シートベルトの長さ調節

シートベルトは、長さ調節が必要ありません。身体の動きにあわせてベルトが伸縮し、強い衝撃を受けたときは自動的にベルトがロックされて身体を固定します。

肩ベルトの高さ調節（前席のみ）

身体の大きさにあわせて、ショルダーアンカー（2）の高さ調節ができます。

- 上に調節するときは、アンカーをそのまま適切な位置まで持ち上げます。
- 下に調節するときは、ロックレバー(1)を引いたままアンカーを下げ、適切な位置でレバーを離します。
- 調節後は、アンカーを下に引いて固定されているか確認します。



80J3021

シートベルトの着用のしかた

■ 着用のしかた

1 タングプレート（1）とシートベルトをつかみ、ベルトをゆっくりと引き出します。
ベルトのねじれを取ります。



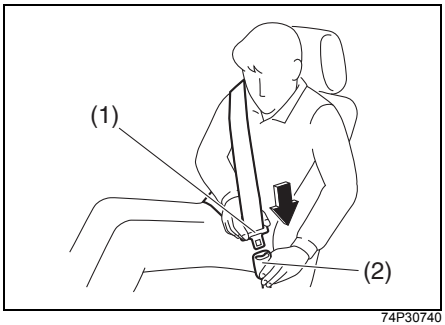
80J1147

アドバイス

ベルトがロックされていて引き出せないときは、いったんゆるめてから再度引き出します。それでも引き出せない場合は、一度ベルトを強く引いてからゆるめ、再度ゆっくりと引き出してください。

2 タングプレート (1) をバックル (2) の差し込み口にまっすぐになるようにあわせて、カチッという音がするまでしっかりと差し込みます。

- 右側後席用のバックルとの間違い防止のため、後席中央席のシートベルトのバックルには **CENTER** の表示があります。



74P30740

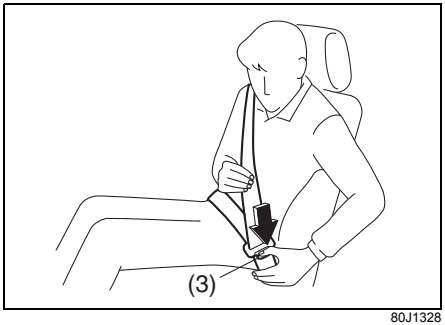
3 腰ベルトを、腰のできるだけ低い位置にかけます。

4 肩ベルトを、首と肩先の中央にかけます。

5 ベルトがねじれていないことを確認し、たるみを取り除きます。

■ 外すときは

バックルのボタン (3) を押します。シートベルトが自動的に巻きもどされますので、ベルトやタングプレートに手を添え、ゆっくりともどしてください。



80J1328

アドバイス

ベルトがねじれていると、ベルトを外したときに巻き取られないことがあります。ベルトにたるみがなく巻きもどされていることを確認してください。

シートベルトを正しく着用する

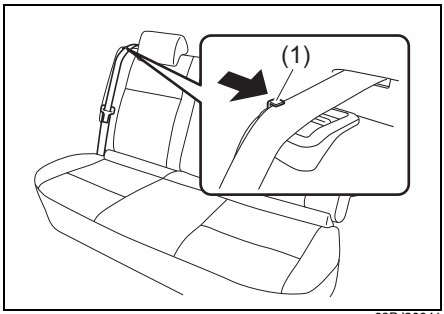
⚠ 警告

- シートベルトにねじれやたるみがあると、衝撃を受けたときに局部的に圧迫されるおそれがあります。
- ベルトが腹部にかかっていると、衝撃を受けたときに強く圧迫されるおそれがあります。
- ベルトが肩にしっかりとかかっていないと、衝撃を受けたときに前に投げ出されるおそれがあります。
- アームレスト（タイプ別装備）にベルトがかかっていると、シートベルトが本来の効果を発揮できません。ベルトは、アームレストの下を通してください。

シートベルトの取扱いとお手入れ

取扱い

後席に人を乗せないときは、シートベルトをベルトガイド（1）にかけてください。



68PJ30041

⚠ 警告

- シートベルトにほつれや擦り傷、切り傷があるときは、ベルトを交換してください。
- バックルが正常に動かないときは、スズキサービス工場で点検を受けてください。
- 衝突などでベルトに強い力がかかったときは、外観に異常がなくても、機能が損なわれていることがあります。ベルトを交換してください。
- バックルの内部に異物が入ったり、飲み物をこぼしたりしたときは、シートベルトが正常に機能を発揮しないおそれがありますので、スズキサービス工場で点検を受けてください。

⚠ 警告

- ベルトをドアにはさまないでください。ドアを閉める前に、ベルトがたるみなく巻きもどされているか確認してください。
- ベルトを改造したり、取り外したりしないでください。

お手入れ

お手入れの方法は、布地などと同様です。

→ 6-4ページ（布地、ビニールレザー、樹脂部品などの手入れ）

⚠ 警告

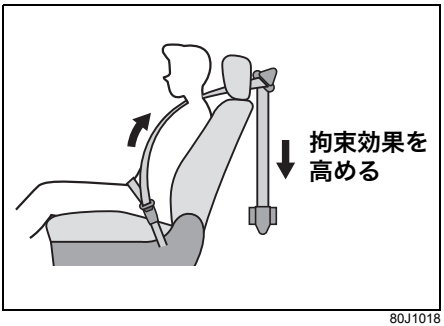
漂白剤、溶剤、染料を使用しないでください。しみ、変色、強度低下の原因となり、シートベルトが正常に機能を発揮しないおそれがあります。

シートベルトプリテンショナー（前席のみ）

シートベルトプリテンショナーとは

エンジンスイッチが ON のときに、次のような状況になると、肩ベルトを瞬時に巻き取ります。

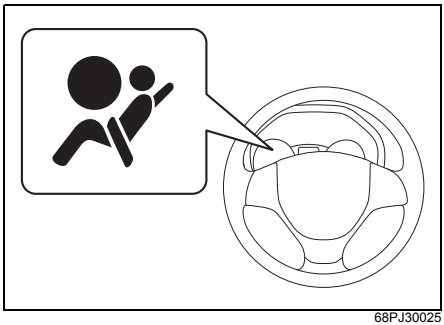
- 車の前方向から強い衝撃を受けたとき。運転席・助手席SRS エアバッグシステムと連動しています。
  → **3-54ページ（SRSエアバッグシステムの作動）**



80J1018

- メーター内の SRS エアバッグ警告灯は、エンジンスイッチが ON のときに、次のような状況になると点灯します。点灯した場合は、スズキサービス工場で点検を受けてください。
  - シートベルトプリテンショナーが作動したとき
  - シートベルトプリテンショナーの電子制御システムに異常があるとき

  → **3-63ページ（SRSエアバッグ警告灯）**



68PJ30025

アドバイス

作動したプリテンショナーおよびエアバッグは再使用できません。スズキサービス工場で交換してください。

正常に機能させるために

シートベルトプリテンショナーの機能に影響をあたえる部品に手を加えないでください。シートベルトが思いがけないときに巻き取られたり、必要なときに正常に巻き取られなくなったりすることがあります。

→ **2-31ページ（部品の取り付け、取り外し、修理をするときは）**

廃棄や廃車

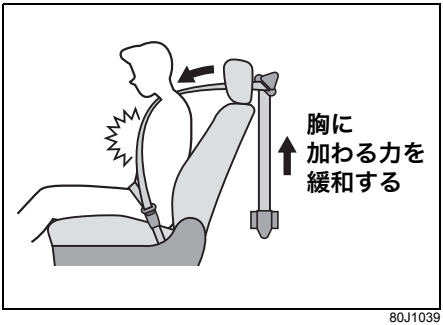
作動していないシートベルトプリテンショナーは、決められた手順で作動させてから廃棄する必要があります。

⚠注意

プリテンショナーを廃棄するときや、装備車を廃車するときは、スズキ販売店またはスズキ代理店にご相談ください。

シートベルトフォースリミッター（前席のみ）

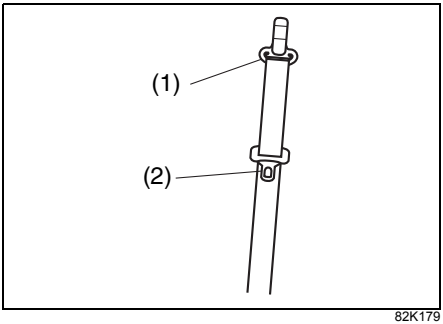
車の前方向から強い衝撃を受けると、シートベルト巻取り装置内のシートベルトフォースリミッターが作動し、乗員に一定以上の荷重がかからないように肩ベルトを繰り出して、衝撃を緩和します。



80J1039

⚠警告

強い衝撃を受けたシートベルトは、ショルダーアンカー部（1）およびタングプレート部（2）の樹脂が強い摩擦で溶けてベルトに付着し、ベルトが滑りにくくなります。このような場合は、シートベルトが本来の機能を発揮できません。スズキサービス工場で交換してください。



82K179

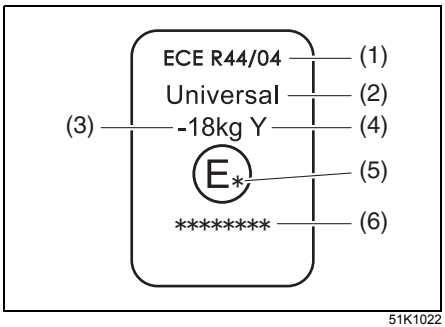
お子さま用シートの選択について

お子さま用シートは、この項目をよく読んだうえで、お子さまの年齢や体格にあった適切なものを選んでください。

- **2-5 ページ**の「**お子さまを乗せるときは**」もよくお読みください。
- この車は、2006年10月1日施行の新保安基準に適合したISOFIX対応チャイルドシート固定専用金具（ISOFIXアンカーおよびテザーアンカー）を装備しています。
  → **3-46ページ（ISOFIX対応チャイルドシート固定専用金具）**

UN R44 の基準に適合するお子さま用シートの認証マークについて

UN R44（※1）の基準に適合するお子さま用シートには、次のような認証マークが表示されています。



51K1022

(1) 法規番号
(2) お子さま用シートのカテゴリー(※2)
(3) 対象となるお子さまの体重範囲
(4) 装置の仕様
(5) お子さま用シートを認可した国番号
(6) お子さま用シートの認可番号

- 上図の認証マークは代表例です。

※1 UN R44とは、お子さま用シートに関する国際法規です。
※2 上図の「**Universal**」は、汎用カテゴリーの認可であることを表します。
※3 お子さま用シートの認証マークにECEとありますが、内容はUNと同じです。

アドバイス

この車のスズキ純正お子さま用シートは、UN R44の基準に適合しています。

UN R44 の基準に適合するお子さま用シートの、座席位置別適合性一覧表の見かた

→ **3-42ページ(UN R44の基準に適合するお子さま用シートの、座席位置別適合性一覧表)**

■ 質量グループについて

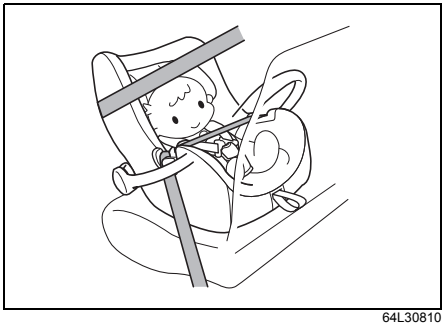
- UN R44 の基準に適合するお子さま用シートは、次の5種類に分類されます。

質量グループ	お子さまの体重
グループ0	10 kgまで
グループ0+	13 kgまで
グループ I	9～18 kg
グループ II	15～25 kg
グループ III	22～36 kg

● 代表的なお子さま用シートには、次のようなものがあります。

ベビーシート

後ろ向き、または横向き装着のお子さま用シートで、首がすわっていないお子さま、ひとりすわりのできないお子さまに使用します。UN R44 基準のグループ**0**、**0+**に相当します。



64L30810

チャイルドシート

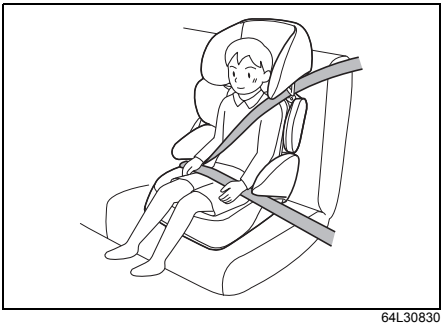
前向き装着のお子さま用シートで、シートベルトが首やあごにかかるときや、腰骨にかからないようなお子さまに使用します。UN R44 基準のグループ**I**に相当します。



64L30820

ジュニアシート

前向き装着のお子さま用シートで、シートベルトが首やあごにかかるときや、腰骨にかからないようなお子さまに使用します。UN R44 基準のグループ**II**、**III**に相当します。



64L30830

■ ISOFIXタイプのお子さま用シートの、サイズ等級について

サイズ等級は、お子さま用シートに表示される分類記号です。次の一覧表をご覧ください。

サイズ等級		説明
A	ISO/F3	全高前向き幼児用チャイルドシート
B	ISO/F2	低型前向き幼児用チャイルドシート
B1	ISO/F2X	低型前向き幼児用チャイルドシート (ISO/F2とは別形状)
C	ISO/R3	大型後ろ向き幼児用チャイルドシート
D	ISO/R2	小型後ろ向き幼児用チャイルドシート
E	ISO/R1	後ろ向き乳児用チャイルドシート
F	ISO/L1	左向き位置用チャイルドシート（キャリコット※）
G	ISO/L2	右向き位置用チャイルドシート（キャリコット※）

※キャリコットとは、お子さまを寝かせた姿勢で横向きに取り付けることができるベビーシートの一つです。
詳しくは、お子さま用シートの製造元または販売店にご相談ください。

UN R44 の基準に適合するお子さま用シートの、座席位置別適合性一覧表

■ シートベルトによる固定

質量グループ	着席位置		
	助手席	後席外側	後席中央(※)
グループ0 (10 kgまで)	X	U	U
グループ0+ (13 kgまで)	X	U	U
グループⅠ (9～18 kg)	UF	U	U
グループⅡ (15～25 kg)	UF	UF	UF
グループⅢ (22～36 kg)	UF	UF	UF

＜上表に記入する文字の説明＞

U　：この質量グループでの使用を許可された汎用（ユニバーサル）カテゴリーのお子さま用シートに適しています。

UF　：この質量グループでの使用を許可された汎用（ユニバーサル）カテゴリーの前向きお子さま用シートに適しています。

X　：お子さま用シートの取り付けには適していません。

- シートベルトを使用してお子さま用シートを取り付けるときは、**3-44 ページ**の「**お子さま用シートの シートベルトによる固定**」をお読みください。
- ISOFIXタイプのお子さま用シートの種類によっては、上表の質量グループでの使用に適していても、取り付けができない場合があります。詳しくは、次ページの「**ISOFIX対応チャイルドシート固定専用金具による固定**」をお読みください。

※この着席位置にはサポートレッグ付きのお子さま用シートを取り付けないでください。

アドバイス

- 表に記載されていないお子さま用シートを使用する場合は、お子さま用シートの製造元または販売店にご相談ください。
- 取り付けるときは、お子さま用シートに付属の取扱説明書をあわせてお読みください。

■ ISOFIX対応チャイルドシート固定専用金具による固定

質量グループ	サイズ等級		チャイルドシート固定専用金具の位置		
			助手席	後席外側	後席中央
キャリコット	F	ISO/L1	N.A.	X	N.A.
	G	ISO/L2	N.A.	X	N.A.
グループ0（10kgまで）	E	ISO/R1	N.A.	IL	N.A.
グループ0+（13kgまで）	E	ISO/R1	N.A.	IL	N.A.
	D	ISO/R2	N.A.	IL	N.A.
	C	ISO/R3	N.A.	IL	N.A.
グループⅠ（9～18kg）	D	ISO/R2	N.A.	IL	N.A.
	C	ISO/R3	N.A.	IL	N.A.
	B	ISO/F2	N.A.	IL、IUF	N.A.
	B1	ISO/F2X	N.A.	IL、IUF	N.A.
	A	ISO/F3	N.A.	IL、IUF	N.A.
グループⅡ（15～25kg）			N.A.	X	N.A.
グループⅢ（22～36kg）			N.A.	X	N.A.

＜上表に記入する文字の説明＞

IUF ：この質量グループでの使用を許可された汎用（ユニバーサル）カテゴリーのISOFIX対応前向きお子さま用シートに適しています。

IL ：この質量グループでの使用を許可された準汎用（セミユニバーサル）カテゴリーの「スズキ純正ベビーシート」に適しています。

X ：ISOFIX対応お子さま用シートの取り付けには適していません。固定専用金具を使わずにシートベルトを使用して固定してください。**3-44 ページ**の「**お子さま用シートの シートベルトによる固定**」をお読みください。

N.A.：この位置にはチャイルドシート固定専用金具が装備されていないため、ISOFIXタイプのお子さま用シートを取り付けることはできません。

- チャイルドシート固定専用金具を使用してお子さま用シートを取り付けるときは、**3-46ページ**の「**ISOFIX対応チャイルドシート固定専用金具**」をお読みください。

アドバイス

- 表に記載されていないお子さま用シートを使用する場合は、お子さま用シートの製造元または販売店にご相談ください。
- 取り付けるときは、お子さま用シートに付属の取扱説明書をあわせてお読みください。

i-Size(※)チャイルドシートの座席位置別適合性一覧表

	着席位置			
	助手席	**後席外側左**	**後席外側右**	**後席中央**
i-Size チャイルドシート	N.A.	i-U	i-U	N.A.

＜上表に記入する文字の説明＞

i-U ：前向きおよび、後ろ向きのお子さま用シートに適しています。

N.A.：お子さま用シートの取り付けには適していません

※i-Size は、ISOFIX の使用を前提とし、乳幼児（お子さま）の頭頸部（頭や首）をしっかりと保護する構造を備えたチャイルドシートの安全基準です。従来の体重を基準としたグループ分けではなく、身長を基準にグループ分けされています。

お子さま用シートのシートベルトによる固定

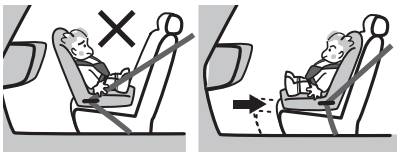
- お子さま用シートは、お子さまの年齢や体格にあった適切なものを選んでください。
  → **3-39ページ（お子さま用シートの選択について）**

- ISOFIXタイプのお子さま用シート（別売り）を取り付けるときは、**3-46ページ**の「**ISOFIX対応チャイルドシート固定専用金具**」をお読みください。

⚠警告

●助手席には、ベビーシートなどの後ろ向きお子さま用シートを取り付けないでください。助手席 SRS エアバッグがふくらむと､お子さま用シートの背面に強い衝撃が加わり、生命に関わる重大な傷害を受けるおそれがあります。

●やむをえず助手席にチャイルドシートおよびジュニアシートを取り付けるときは、助手席を一番および後ろに下げ、前向きに取り付けてください。



80J027

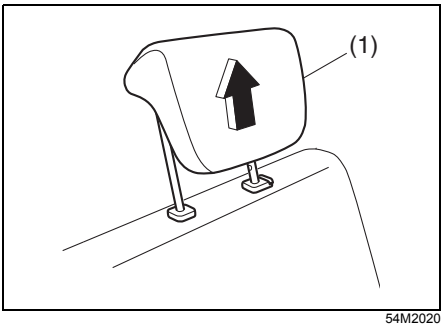
固定のしかた

この項目では、お子さま用シートを後席に取り付ける手順を説明しています。助手席に取り付ける場合は、次のこともあわせて確認してください。

- 助手席は、一番後ろに下げてください。

1 ラゲッジシェルフを外します。
→ **5-16ページ（ラゲッジシェルフ）**

2 ヘッドレストは、お子さま用シートに当たらない高さに調節するか取り外します。
→ **3-30ページ(ヘッドレストの高さ調節と取り外し・取り付け)**



54M2020

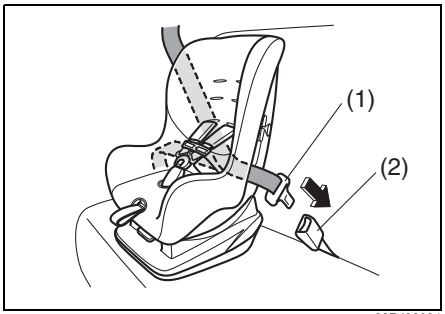
⚠警告

ヘッドレストを調節してもお子さま用シートに当たる場合は、ヘッドレストを取り外してください。ヘッドレストに当たった状態ではお子さま用シートが確実に固定されないため、衝突のときなどにお子さまが重大な傷害を受けるおそれがあります。

3 座席が確実に固定されているか確認します。

4 お子さま用シートに付属の取扱説明書にしたがって、所定の部位にシートベルトを通します。

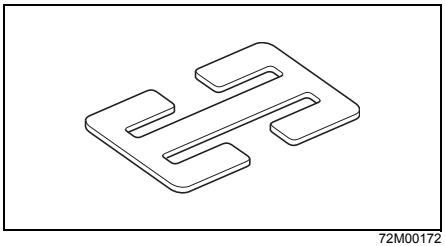
5 カチッと音がするまで、タングプレート（1）をバックル（2）にしっかりと差し込みます。



68PJ30094

- 上図のお子さま用シートは代表例です。

6 お子さま用シートにシートベルト固定機構もロッキングクリップも備わっていない場合は、ロッキングクリップ（市販品）を使用してしっかりと固定します。


72M00172

- 上図のロッキングクリップ（市販品）は代表例です。

⚠警告

シートベルト固定機構またはロッキングクリップでお子さま用シートを確実に固定しないと、急ブレーキをかけたときや衝突時に、お子さまが重大な傷害を受けるおそれがあります。

7 お子さま用シートを前後左右にゆすって、確実に固定されているか確認します。

- 確実に固定できない場合は、お子さま用シートに付属の取扱説明書をご確認いただくか、お子さま用シートを購入された販売店にご相談ください。

⚠警告

お子さま用シートは、確実に固定してください。急ブレーキをかけたときや衝突時に、お子さまが重大な傷害を受けるおそれがあります。

8 ラゲッジシェルフをもとにもどします。

ISOFIX対応お子さま用シートの固定

ISOFIX 対応チャイルドシート固定専用金具

後席の左右席には、UN R44（※1）の基準に適合したISOFIX（※2）タイプのお子さま用シート（別売り）を固定するための専用金具が装備されています。

- 座面と背もたれの間にある金具が、ISOFIX対応チャイルドシート固定用アンカー（以下ISOFIXアンカーと略す）です。
- 背もたれの裏側にある金具が、チャイルドシート固定用テザーアンカー（以下テザーアンカーと略す）です。

※1 UN R44とは、お子さま用シートに関する国際法規です。
※2 ISOFIXとは、お子さま用シートの固定装置の大きさや取り付け方法を統一した国際標準化機構【ISO(※3)】の規格です。
※3 ISOとは、International Organization for Standardization（インターナショナル オーガニゼイション フォー スタンダーディゼイション）の略です。

＜スズキ純正用品の場合＞

	ISOFIX アンカー	テザー アンカー
ISOFIXタイプのベビーシート（後ろ向きに固定）	○（使用）	○（使用）
ISOFIXタイプのチャイルドシート（前向きに固定）	○（使用）	○（使用）

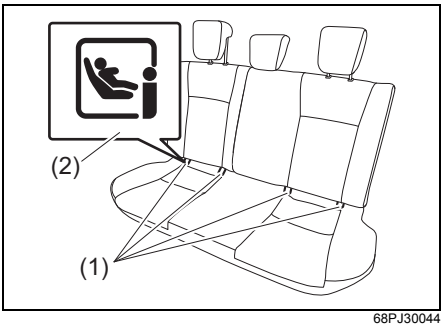
- お子さま用シートは、お子さまの年齢や体格にあった適切なものを選んでください。
  → **3-39ページ（お子さま用シートの選択について）**

- ISOFIXタイプのお子さま用シートは、シートベルトで固定する必要がありません。
- シートベルトで固定するお子さま用シートを取り付けるときは、**3-44ページ**の「**お子さま用シートの シートベルトによる固定**」をお読みください。

■ 固定のしかた

1 ラゲッジシェルフを外します。
→ **5-16ページ（ラゲッジシェルフ）**

2 ISOFIXアンカー（1）の位置を確認します。
- 座面と背もたれのすきまにあります。



68PJ30044

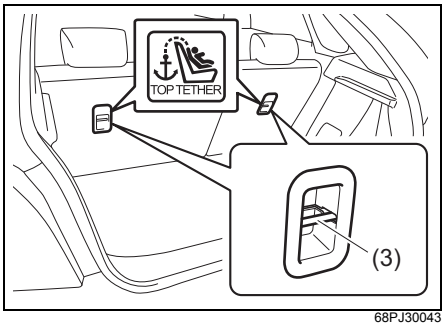
(1) ISOFIXアンカー (2)マーク

- 上図の後席は代表例です。お車のタイプにより異なります。

アドバイス

ISOFIX アンカーがある付近のクッションには、上図のようなマーク（2）がついています。

3 テザーアンカー（3）の位置を確認します。
- 背もたれの裏側にあります。



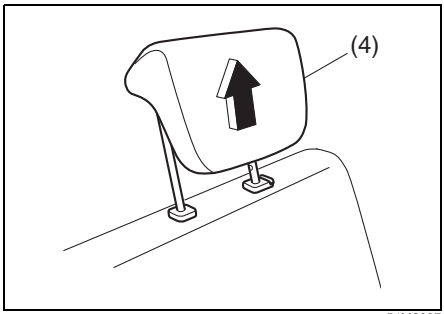
68PJ30043

(3) テザーアンカー

- 上図の後席は代表例です。お車のタイプにより異なります。

4 後席のヘッドレスト（4）は、お子さま用シートに当たらない高さに調節するか取り外します。

→ **3-30ページ(ヘッドレストの高さ調節と取り外し・取り付け)**



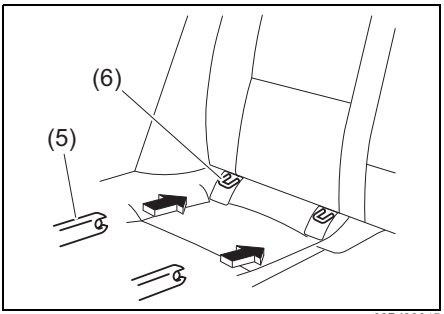
54M2037

⚠警告

ヘッドレストを調節してもお子さま用シートに当たる場合は、ヘッドレストを取り外してください。ヘッドレストに当たった状態ではお子さま用シートが確実に固定されないため、衝突のときなどにお子さまが重大な傷害を受けるおそれがあります。

5 座席が確実に固定されているか確認します。

6 お子さま用シートに付属の取扱説明書にしたがって、お子さま用シートのコネクター（5）を ISOFIX アンカー（6）へ差し込みます。



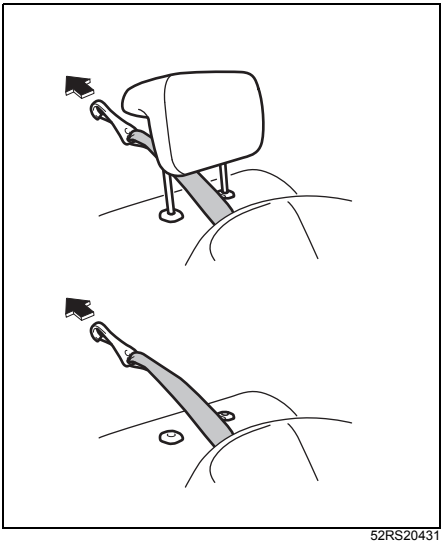
68PJ30045

(5) コネクター　　(6)ISOFIXアンカー

- 上図の後席は代表例です。お車のタイプにより異なります。

7 テザーベルトを使用する場合、次のようにしてテザーアンカーへ取り付けます。

- ヘッドレストを取り付けているときは、図（代表例）のように持ち上げたヘッドレストと背もたれの間を通す。



52RS20431

8 お子さま用シートを前後左右にゆすって、確実に取り付けられているか確認します。

9 ラゲッジシェルフをもとにもどします。

⚠警告

●お子さま用シートを取り付けるときは、ISOFIX アンカーやテザーアンカー周辺にシートベルトや異物などがないか確認してください。シートベルトなどがかみ込むと、お子さま用シートが正しく固定されず、衝突のときなどにお子さまが重大な傷害を受けるおそれがあります。

●荷物の固定などに、ISOFIXアンカーやテザーアンカーを使用しないでください。アンカーが曲がったり損傷したりすると、お子さま用シートが正しく固定されず、衝突のときなどにお子さまが重大な傷害を受けるおそれがあります。

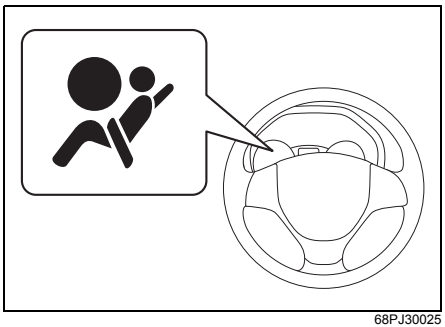
SRSエアバッグ車を運転するときは

SRSエアバッグシステムとは

SRS とは Supplemental Restraint System（サプリメンタル レストレイント システム）の略で、補助拘束装置の意味です。

- メーター内の SRS エアバッグ警告灯は、エンジンスイッチが ON のときに、次のような状況になると点灯します。点灯した場合は、スズキサービス工場で点検を受けてください。
  - SRSエアバッグが作動したとき
  - SRSエアバッグの電子制御システムに異常があるとき

→ **3-63ページ（SRSエアバッグ警告灯）**



68PJ30025

アドバイス

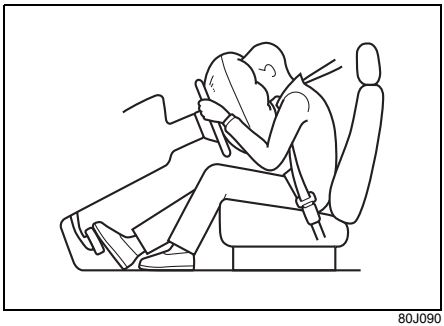
この車は、イベントデータレコーダー（EDR）システムにより、SRSエアバッグが作動したときのデータを記録・蓄積します。

→ **データの記録について**

■ 運転席・助手席 SRS エアバッグシステム

エンジンスイッチが ON の場合に、車の前方向から強い衝撃を受け、シートベルトを着用していてもハンドルや助手席側インパネに顔面が当たるような強い衝突のときに、運転席・助手席 SRS エアバッグが瞬時にふくらむ構造になっています。

- 運転席・助手席SRSエアバッグシステムは、ふくらんだ SRS エアバッグがクッションの役割をして、シートベルトを着用した運転席・助手席乗員の主に顔面への衝撃を軽減する効果があります。



80J090

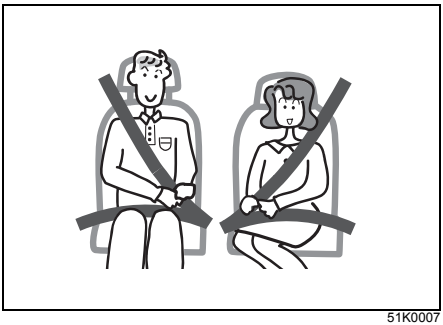
- シートベルトは必ず着用してください。

→ **3-34ページ（シートベルトの着用のしかた）**

⚠ 警告

●SRS エアバッグシステムは、シートベルトに代わるものではありません。シートベルトと併用することで、その効果を発揮するシートベルトの補助拘束装置です。したがってSRS エアバッグシステムが装備されている車であっても、シートベルトを必ず着用してください。

●シートベルトは正しい姿勢で正しく着用してください。シートベルトを正しく着用しないと、SRS エアバッグの効果が十分発揮できません。



51K0007

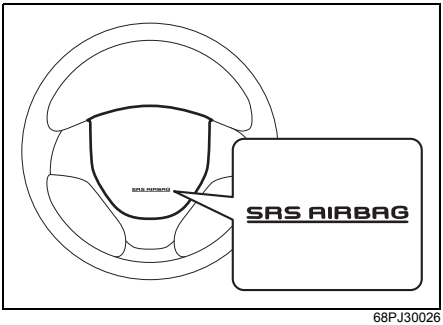
アドバイス

助手席SRSエアバッグは、助手席に乗員がいなくても、運転席SRSエアバッグと同時にふくらみます。

表示と収納場所

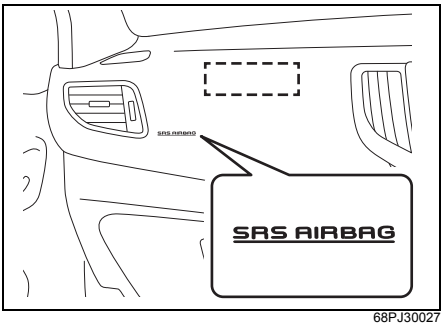
“SRS AIRBAG” の表示がある付近に収納されています。

■ 運転席SRSエアバッグ



68PJ30026

■ 助手席SRSエアバッグ



68PJ30027

⚠ 警告

- **エアバッグの収納部分に傷がついていたり、ひび割れがあったりするときは、スズキサービス工場で交換してください。エアバッグが正常に作動しないおそれがあります。**
- **エアバッグの収納場所を強打したり、衝撃を加えたりしないでください。また、前席ドアを窓ガラスが割れるほど強く閉めないでください。エアバッグが正常に作動しなくなったり誤ってふくらんだりして、思わぬ傷害を受けるおそれがあります。**

着座姿勢

運転者および助手席の同乗者は、シートに奥深くすわり、背もたれに背中を軽くつけてください。また、シートを前方に出しすぎないようにシートの位置を調節してください。
とくに助手席の同乗者は、後席の同乗者のさまたげにならない位置までシートを後方に移動し、助手席SRSエアバッグからできるだけ離れてすわってください。
→ **2-11ページ（正しい運転姿勢）**



80J177

お子さま用シートの取り付け

→ **2-6 ページ（お子さま用シートの使用について）**
→ **3-44 ページ（お子さま用シートのシートベルトによる固定）**
→ **3-39ページ（お子さま用シートの選択について）**

SRSエアバッグシステムの取扱い

SRS エアバッグシステムを正常に機能させるために

SRSエアバッグがふくらむ範囲にものがあると、ものが飛ばされたりSRS エアバッグが正常にふくらまなくなったりするおそれがあります。

⚠警告

- **サスペンションを改造しないでください。車高やサスペンションの硬さが変わると、SRS エアバッグの誤作動の原因になります。**
- **車両前部にスズキ純正品以外の部品を装着しないでください。スズキ純正品以外で車両前部を改造すると、SRS エアバッグが正常に作動しなくなるおそれがあります。**
- **無線機などを取り付けるときは、スズキ販売店またはスズキ代理店にご相談ください。無線機の電波などがSRS エアバッグのコンピューターに悪影響をあたえるおそれがあります。**
- **SRS エアバッグが作動しない程度の事故であっても、事故後はスズキサービス工場で点検を受けてください。システム本来の機能が損なわれていると、万一のときにSRS エアバッグの効果が十分に発揮できないおそれがあります。**

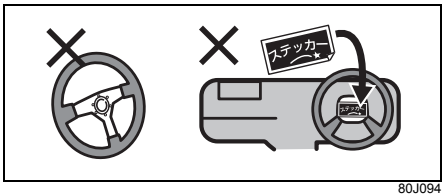
⚠警告

- SRS エアバッグは、その機能に影響をあたえる部品に手を加えると、思いがけないときにふくらんだり、必要なときに正常に作動しなくなったりすることがあります。次のような場合は、システムに悪影響をおよぼしますので、事前にスズキ販売店またはスズキ代理店にご相談ください。
  - ハンドルの取り外し、ハンドルまわりの修理など
  - インパネまわり、センターコンソール付近の修理および電気配線の修理
  - オーディオ用品などの取り付け
  - ダッシュボード周辺の板金塗装および修理
  - 前席の交換およびシートまわりの修理
  - センターピラーまわりの修理

■ 運転席SRSエアバッグについて

⚠警告

- ハンドルにもたれかかるなどして、SRS エアバッグ収納部に手や顔、胸などを近づけないでください。SRS エアバッグが作動したときの強い衝撃で、重大な傷害を受けるおそれがあります。
- ハンドルを交換する、ハンドルのパッド部にステッカーを貼る、色をぬる、カバーで覆うなどの改造をしないでください。万一のときにSRSエアバッグが正常にふくらまなくなるおそれがあります。

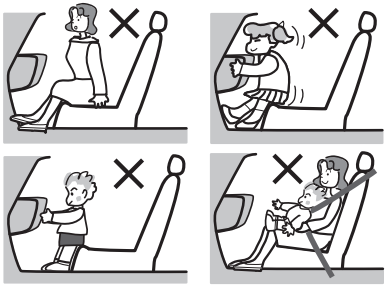


80J094

■ 助手席SRSエアバッグについて

⚠警告

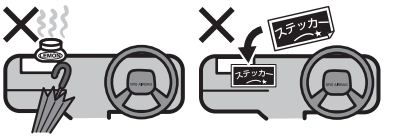
- 助手席に乗車するときや、お子さまを乗せるときは、必ず次のことをお守りください。守らないとSRS エアバッグが作動したときの強い衝撃で、重大な傷害を受けるおそれがあります。
  - インパネの SRS エアバッグ収納部に手足を置いたり、顔や胸などを近づけたりしないでください。
  - お子さまを SRS エアバッグ収納部の前に立たせたり、ひざの上に抱いてすわったりしないでください。お子さまは後席に乗せて、シートベルトを着用させてください。



80J095

• シートベルトを正しく着用できないお子さまは、お子さま用シートをご使用のうえ、後席に乗せてください。
→ 2-6ページ（お子さま用シートの使用について）
→ 3-39ページ（お子さま用シートの選択について）

●エアバッグ収納部およびその周辺には、ステッカーを貼ったり色をぬったりしないでください。また、アクセサリーや芳香剤、ETC 車載器やポータブルカーナビなどを取り付けたり置いたり、傘などを立てかけたりしないでください。



80J096

●エアバッグ周辺の収納スペースには、大きなものを置かないでください。
●フロントガラスやルームミラーにアクセサリー（スズキ純正用品を除く）などを取り付けないでください。

SRSエアバッグシステムの作動

作動したとき

- エアバッグは、高温のガスで瞬時にふくらみます。事故の発生状況や乗員の姿勢によっては、擦過傷、打撲、やけどなどを負うことがあります。
- ふくらんだエアバッグは、すぐにしぼむ構造になっています。

⚠警告

エアバッグが作動したあとは、エアバッグの構成部品に触れないでください。作動直後は構成部品が熱くなり、やけどのおそれがあります。

⚠注意

エアバッグが作動すると大きな音がして白い煙のようなガスが出ますが、火災ではありません。また、人体への影響もありません。
ただし、残留物が目や皮膚などに付着したときは、できるだけ早く水で洗い流してください。皮膚の弱い方などは、まれに皮膚を刺激する場合があります。

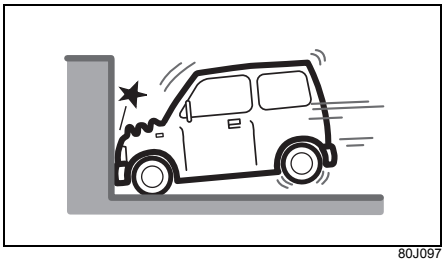
アドバイス

作動したプリテンショナーおよびエアバッグは再使用できません。スズキサービス工場で交換してください。

運転席・助手席SRSエアバッグ

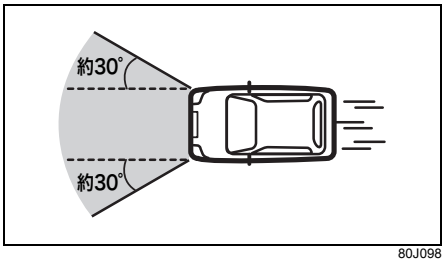
■ こんなとき作動します

- 衝突しても変形や移動をしない構造物（コンクリートの壁など）に、約25 km/h以上の速度で正面衝突したとき



80J097

- 車両の前方約30°以内の方向から、上図と同等の強い衝撃を受けたとき

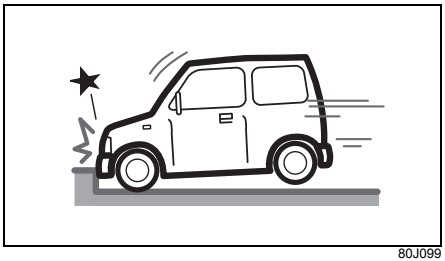


80J098

■ こんなとき作動することがあります

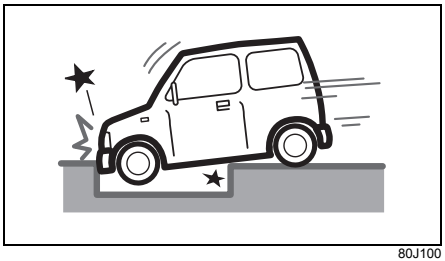
車体下部に強い衝撃を受けると、多くの場合作動します。

- 縁石や中央分離帯などに衝突したとき



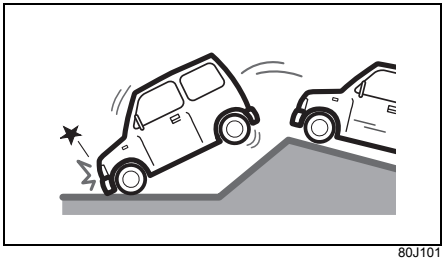
80J099

- 深い穴や溝などに落ちたとき



80J100

- ジャンプして地面にぶつかったり、道路から落下したりしたとき

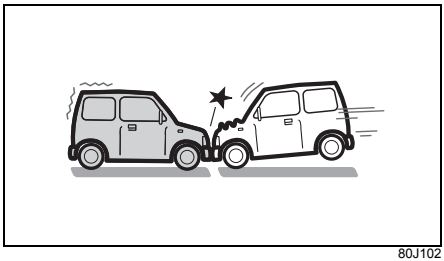


80J101

■ こんなとき作動しないことがあります

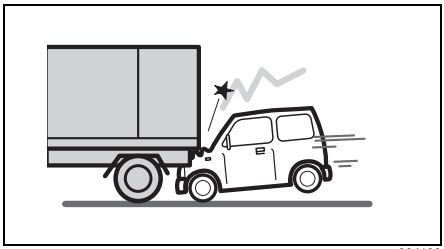
衝突の相手が移動したり、車体が大きく変形したりして衝撃が吸収されたときや、衝突の角度が前方約30°を超えるとき、多くの場合は作動しません。

- 停車している同程度の重さの車に、50 km/h程度、もしくはそれ以下の速度で正面から衝突したとき



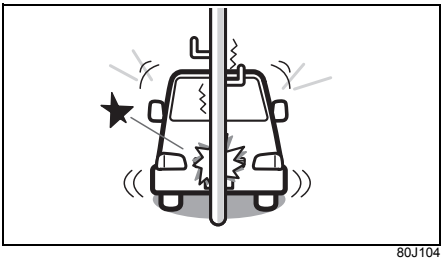
80J102

- トラックの荷台の下などへもぐり込んだとき



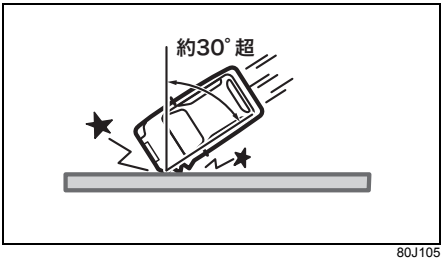
80J103

- 電柱や立木などに衝突したとき



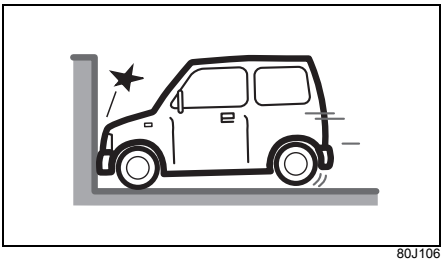
80J104

- 前方約30°を超える角度で、コンクリートの壁やガードレールなどに衝突したとき



80J105

- 衝突時に変形、移動しないコンクリートのような固い壁に正面衝突したときであっても衝突速度が約25 km/h以下のとき

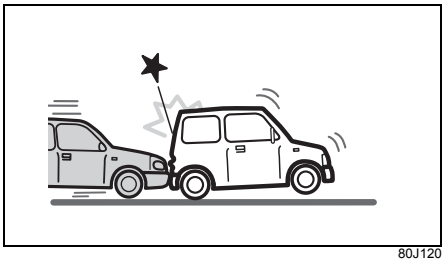


80J106

■ こんなとき作動しません

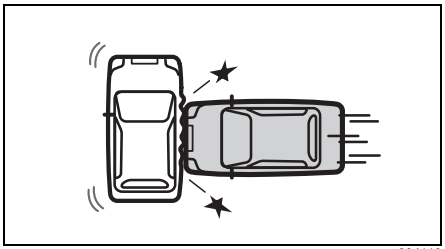
後方、横方向からの衝突、横転などでは基本的に作動しませんが、衝撃が強いとまれに作動する場合があります。

● 後方からの衝突



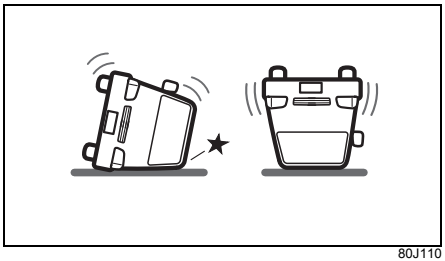
80J120

● 横方向からの衝突



80J119

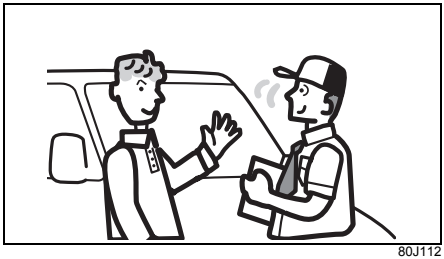
● 横転や転覆をしたとき



80J110

廃棄と廃車

作動していないエアバッグを廃棄するときは、決められた手順で作動させてから廃棄する必要があります。



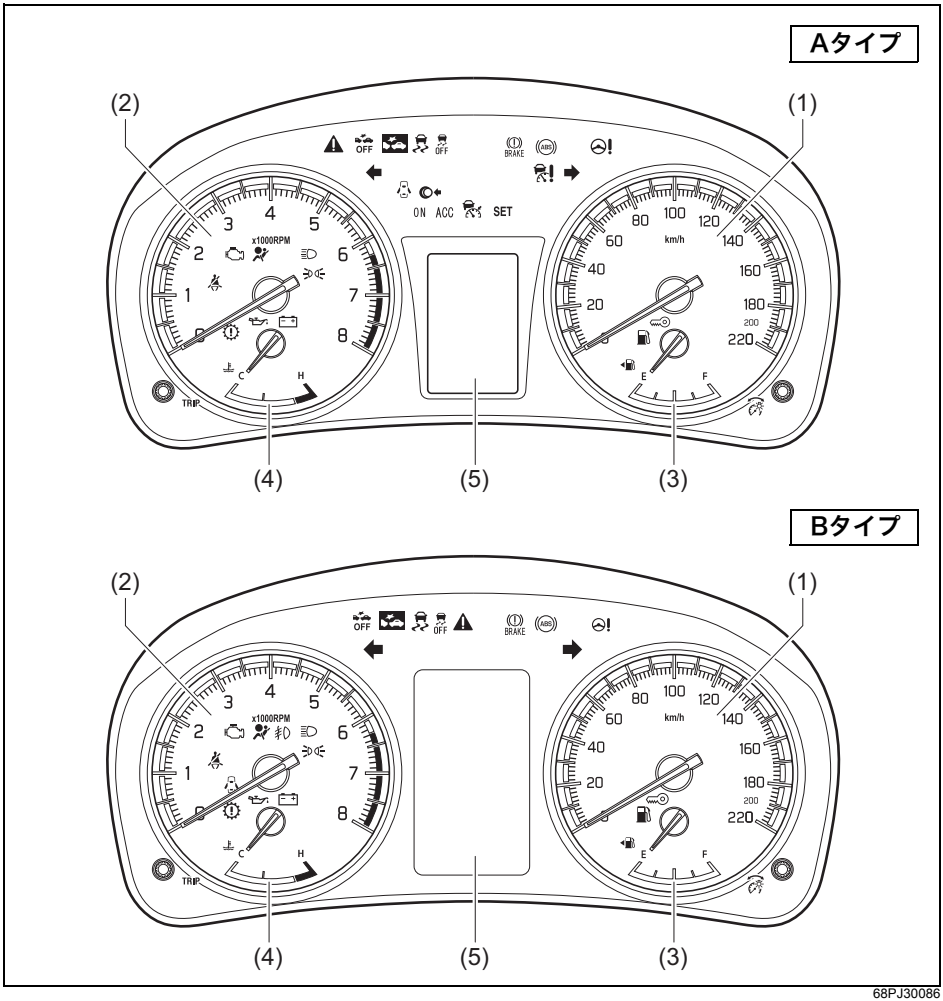
80J112

⚠注意

エアバッグを廃棄するときや、装備車を廃車するときは、スズキ販売店またはスズキ代理店にご相談ください。正しく取り扱わないと、エアバッグが思いがけないときにふくらんで、けがをすることがあります。

メーターの見かた

イラストは代表例です。お車のタイプにより、このイラストと異なることがあります。



68PJ30086

(1) スピードメーター(速度計)
(2) タコメーター(エンジン回転計)
(3) 燃料計
(4) 水温計
(5) マルチインフォメーションディスプレイ

→ **3-75ページ（マルチインフォメーションディスプレイ（Aタイプ））**
→ **3-85ページ（マルチインフォメーションディスプレイ（Bタイプ））**

(1) スピードメーター(速度計)

走行速度がkm/hで示されます。

エコドライブアシスト照明（Aタイプ）
エコドライブアシスト照明（Bタイプ）（タイプ別装備）

メーター上部の照明の一部が、次のようになります。

- 通常の走行時は、青色に点灯します。
- 燃費効率が良い運転をしていると判定されると、緑色に変化します。

アドバイス

- 車速約10 km/h未満の場合、メーター上部の照明は変化しません。
- 設定の切替え（カスタマイズ）をすると、メーター上部の照明を変化させなくすることができます。設定の切替えについては、スズキ販売店またはスズキ代理店にご相談ください。

(2) タコメーター(エンジン回転計)

1分間あたりのエンジン回転速度（回転数）が示されます。

注 記

- **エンジン保護のため、指針がレッドゾーン（※）に入らないように運転してください。**
  ※エンジンの許容回転を超えていることを示す赤色表示範囲
- **シフトダウンすると、エンジン回転が上がります。とくに注意してください。**

燃料計

エンジンスイッチが ON のとき、燃料残量の目安が示されます。

- 燃料残量警告灯が点灯したときは、すみやかに給油してください。

→ **3-61ページ**
（警告灯・表示灯の見かた）

アドバイス

- 給油後は、エンジンスイッチを ON にしてから指針または表示が正しい量を示すまでに、少し時間がかかります。
- 坂道やカーブなどでは、タンク内の燃料が移動するため、表示が変わることがあります。
- ⛽ の左にある◀印は、給油口（フューエルリッド）が助手席側の車両後方にあることを示します。

水温計

エンジンスイッチが ON のときに、エンジン冷却水の温度が示されます。

注 記

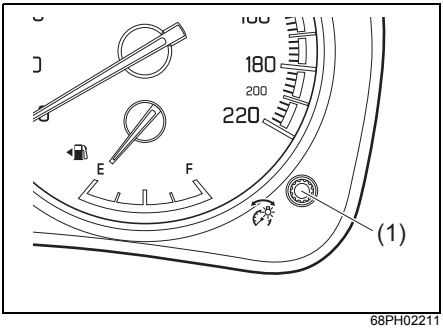
指針が“H”側に近づいたときは、オーバーヒートのおそれがあります。ただちに安全な場所に停車してください。

→ **7-29ページ**
（オーバーヒートしたときは）

メーターの照明

メーターの照明は、エンジンスイッチを ON にすると点灯し、ACC または LOCK（OFF）にすると消灯します。

- エンジンスイッチが ON のときに、メーター右側の表示切替ノブ（1）を左右にまわします。調節の状態は、マルチインフォメーションディスプレイに表示されます。
- 連続して調節するときは、ノブをまわしたままにします。



68PH02211

⚠警告

走行中は、表示の切替え操作をしないでください。操作に気を取られて、思わぬ事故につながるおそれがあります。

アドバイス

- 調節中に、表示切替ノブを5秒以上まわさないでいると、マルチインフォメーションディスプレイはもとの表示にもどります。
- 鉛バッテリーを外すと記憶が消去され初期状態にもどりますので、明るさ調節をやり直す必要があります。

警告灯・表示灯の見かた

次に示す警告灯・表示灯のメーター内の位置については、**1-16ページ**をご覧ください。

警告灯

(1) ブレーキ警告灯(赤色)



65D477

- 次のような状況になると、エンジンスイッチが ON のときに点灯します。
  - ブレーキ液が不足している
  - パーキングブレーキをかけている
  - ブレーキシステムに異常がある

- システムが正常で、パーキングブレーキを完全に解除しているときは、エンジンスイッチを ON にすると約2秒間点灯したあと消灯します。
- 走行中に一時的に点灯しても、そのあと消灯し再点灯しなければ正常です。

⚠警告

●次のようなときはただちに安全な場所に停車し、スズキ販売店またはスズキ代理店にご連絡ください。
- **パーキングブレーキを完全に解除しても消灯しないときや、走行中に点灯したとき。ブレーキの効きが悪くなっていることがあります。ブレーキペダルを強く踏んで停車してください。**
- **ブレーキ警告灯とABS警告灯が同時に点灯したままのとき。ブレーキペダルを強く踏むと車両が不安定になるおそれがあります。ハンドルをしっかり握り、ブレーキペダルを慎重に踏んで徐々にスピードを落とし、停車してください。**

●パーキングブレーキの解除忘れにご注意ください。パーキングブレーキをかけたまま走行すると、ブレーキ装置が過熱して、ブレーキが効かなくなるおそれがあります。また、室内ブザーが"ピピピッ、ピピピッ"と鳴り続けます。
→ 4-16ページ（パーキングブレーキ解除忘れ警告ブザー）

(2) シートベルト警告灯



80J221

- 前席の乗員がシートベルトを着用していないと、エンジンスイッチが ON のときに点灯します。
  また、エンジンをかけて走行を開始してから、最初に車速が約 15 km/h 以上になったときに前席の乗員がシートベルトを着用していない場合、シートベルト警告ブザーが断続的に鳴るとともに、警告灯が点灯から点滅に切り替わります。
- シートベルトを着用しても、点灯または点滅したままのときは、システムの異常が考えられます。スズキサービス工場で点検を受けてください。

アドバイス

- シートベルトを着用すると消灯します。また、警告ブザーが鳴っているときは、ブザーも止まります。
- 警告ブザーはシートベルトを着用しなくても、約95秒間鳴り続けたあとに止まります。ただし、警告灯は点滅から点灯に切り替わったまま、エンジンスイッチを ACC または LOCK（OFF）にするまで消灯しません。
- 助手席側の場合、助手席に乗員がすわっていないときは点灯しません。ただし、助手席の座面に荷物などを載せていると作動する場合があります。
- 警告灯は運転席側・助手席側兼用です。

(3) SRSエアバッグ警告灯



- 次のような場合、エンジンスイッチを ON にしたときに点灯します。
  - SRSエアバッグ、シートベルトプリテンショナーが作動
  - SRSエアバッグ、シートベルトプリテンショナーの電子制御システムに異常がある

- システムが正常な場合はエンジンスイッチを ON にしたときに、約 6 秒間点灯したあと消灯します。

⚠ 警告

次のような場合、ただちに使用を止め、スズキ販売店またはスズキ代理店にご連絡ください。万一、衝突したとき SRS エアバッグまたはシートベルトプリテンショナーが正常に作動せず、重大な傷害を受けるおそれがあります。
●エンジンスイッチを ON にしても点灯しない
●エンジンスイッチを ON にしたあと、約6秒間たっても消灯しない
●運転中に点灯

(4) 燃料残量警告灯



- 燃料の残量が少なくなると、エンジンスイッチが ON のときに点灯します。すみやかに給油してください。
  - 点灯すると、警告ブザーが“ポーン”と1回鳴ります。また、そのまま給油しないでいると、エンジンスイッチを ON にするごとに警告ブザーが鳴ります。

- システムに異常があると、エンジンスイッチが ON のときに点滅します。スズキサービス工場で点検を受けてください。
  → **3-60ページ（燃料計）**

アドバイス

- 給油後は、エンジンスイッチを ON にしてから正しい量を示すまでに、少し時間がかかります。
- 坂道やカーブなどではタンク内の燃料が移動するため、早めに点灯することがあります。
- 走りかたによって、点灯・消灯が繰り返されることがあります。

(5) ABS警告灯



80J127

ABS（アンチロックブレーキシステム）の電子制御システムに異常があると、エンジンスイッチが ON のときに点灯します。点灯中はABSが作動しません。スズキサービス工場で点検を受けてください。

- システムが正常な場合はエンジンスイッチを ON にしたときに、約２秒間点灯したあと消灯します。

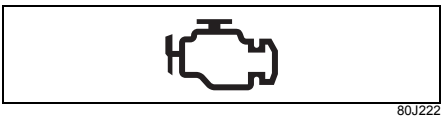
⚠警告

ABS 警告灯とブレーキ警告灯が同時に点灯したままのときは、ただちに安全な場所に停車し、スズキ販売店またはスズキ代理店にご連絡ください。ブレーキペダルを強く踏むと車両が不安定になるおそれがあります。ハンドルをしっかり握り、ブレーキペダルを慎重に踏んで徐々にスピードを落とし、停車してください。

アドバイス

点灯中はABSは作動しませんが、通常のブレーキとして使用することができます。

(6) エンジン警告灯


80J222

- エンジンの電子制御システムに異常があると、エンジン回転中に点灯します。
- エンジンの失火を検知すると、エンジン回転中に点灯または点滅します。
- システムが正常な場合はエンジンスイッチを ON にしたときに点灯し、エンジンがかかると消灯します。
- エンジン回転中に点灯･点滅したときは､スズキサービス工場で点検を受けてください。

⚠警告

点滅したときは、すみやかに停車しエンジンを止めてください。触媒装置が溶損するおそれがありますので、次のことに注意してください。
●枯れ草などの燃えやすいものがない安全な場所に停車する
●やむをえず走行する場合はアクセルを大きく踏み込む走行をしないで、低速で走行する

(7) パワーステアリング警告灯



電動パワーステアリングシステムに異常があると、エンジン回転中に点灯します。スズキサービス工場で点検を受けてください。

- システムが正常な場合は、エンジンスイッチを ON にしたときに点灯し、エンジンがかかると消灯します。

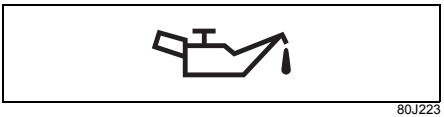
⚠注意

電動パワーステアリングシステムに異常があると、電動パワーステアリングシステムの機能が停止し、ハンドル操作が重くなります。通常より大きな力で操作することは可能ですが、すみやかにスズキサービス工場で点検を受けてください。

アドバイス

- 駐車するときや停車中に、ハンドル操作を繰り返したり、ハンドルをいっぱいにまわした状態で長く保持したりすると、ハンドル操作が徐々に重くなることがあります。これはシステムの過熱防止のための保護機能であり異常ではありません。しばらくハンドル操作を控えるとシステムの温度が下がり操作力はもとにもどりますが、このようなハンドル操作を繰り返すと故障の原因となります。
- すばやいハンドル操作を行なうと、ハンドル付近から擦れるような音が聞こえることがありますが、異常ではありません。

(8) 油圧警告灯



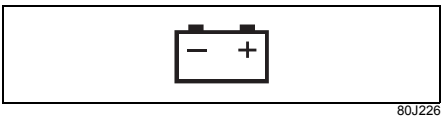
エンジン回転中に、エンジンの内部を潤滑するエンジンオイルの圧力が低下すると点灯します。

- システムが正常な場合は、エンジンスイッチを ON にしたときに点灯し、エンジンがかかると消灯します。
- エンジンオイルの量は、オイルレベルゲージで点検してください。点検方法は、「**メンテナンスノート**」を参照してください。
- エンジン回転中に点灯したときは、ただちに安全な場所に停車し、エンジンを止めてスズキ販売店またはスズキ代理店にご連絡ください。

注 記

点灯したまま走行を続けないでください。エンジンが破損するおそれがあります。

(9) 充電警告灯



充電系統に異常があると、エンジン回転中に点灯します。

- システムが正常な場合は、エンジンスイッチを ON にしたときに点灯し、エンジンがかかると消灯します。
- エンジン回転中に点灯したときは、ベルト切れなどが考えられます。ただちに安全な場所に停車し、バッテリー保護のためエンジンを止めて、スズキ販売店またはスズキ代理店にご連絡ください。

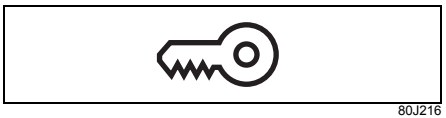
(10) トランスミッション警告灯


80J219

ATまたはCVTのシステムに異常があると、エンジンスイッチが ON のときに点灯します。スズキサービス工場で点検を受けてください。

- システムが正常な場合はエンジンスイッチを ON にしたときに、約 2 秒間点灯したあと消灯します。

(11) イモビライザー警告灯


80J216

車体の電子制御システムに異常があると、エンジンスイッチが ON のときに点灯することがあります。スズキサービス工場で点検を受けてください。

→ **4-3ページ（イモビライザーシステム）**

(12) 半ドア警告灯


82K274

いずれかのドアが完全に閉まっていないときに点灯します。

- 点灯したままにしていると、走行するごとに警告ブザーが“ポーン”と1回鳴ります。

⚠ 警告

警告灯が点灯したまま走行しないでください。ドアが完全に閉まっていない半ドア状態のときは、走行中にドアが開き思わぬ事故につながるおそれがあります。

アドバイス

鉛バッテリー保護のため、次の条件をすべてみたすと、半ドア警告灯が自動的に消灯します。（バッテリーセーバー機能）

- エンジンスイッチが LOCK （OFF）の位置
- 点灯したまま15分が経過

(13) マスターウォーニング


78K049

メーター内のマルチインフォメーションディスプレイにメッセージがあるとき、同時に点滅する場合があります。

→ **1-22ページ（警告ブザーが鳴ったときは）**
→ **3-100ページ（マルチインフォメーションディスプレイのメッセージ）**
→ **4-40ページ（アダプティブクルーズコントロールのメッセージ）**

- システムが正常な場合はエンジンスイッチを ON にしたときに、約 2 秒間点灯したあと消灯します。

(14) アダプティブクルーズコントロールシステム警告灯

タイプ別装備

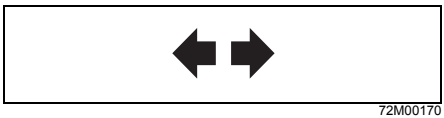

68PJ30028

アダプティブクルーズコントロールシステムに異常があると、エンジンスイッチが ON のときに点灯します。スズキサービス工場で点検を受けてください。

→ **4-30ページ（アダプティブクルーズ コントロール）**

表示灯

(15) 方向指示器表示灯


72M00170

- 方向指示器／非常点滅表示灯を作動させると点滅します。
- 点滅が異常に速くなったときは、方向指示器／非常点滅表示灯の電球切れが考えられます。

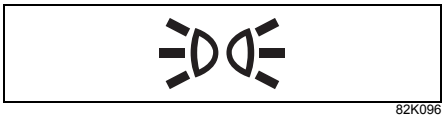
→ **7-23ページ（電球を交換するときは）**

(16) ヘッドライト上向き(ハイビーム)表示灯


80J212

ヘッドライトが上向きのときに点灯します。

(17) ライト点灯表示灯


82K096

ヘッドライトや車幅灯が点灯している間、点灯します。

(18) ESP® OFF表示灯



57L30045

- ESP® OFFスイッチを長押しすると点灯します。
- システムが正常な場合はエンジンスイッチを ON にしたときに、約 2 秒間点灯したあとに消灯します。

→ **4-46ページ（ESP®装備車の取扱い）**

(19) ESP®作動表示灯

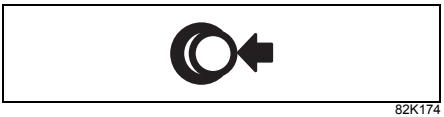

79K019

- トラクションコントロールまたはスタビリティコントロールが作動すると、小刻みに点滅します。
- ESP®のシステムに異常があると点灯します。
- システムが正常な場合はエンジンスイッチを ON にしたときに、約 2 秒間点灯したあとに消灯します。

→ **4-46ページ（ESP®装備車の取扱い）**

(20) プッシュ表示灯

タイプ別装備


82K174

セレクトレバーが P 位置で、ブレーキペダルを踏んで点灯したときは、エンジンの始動が可能です。

→ **4-4ページ（キーレスプッシュスタートシステム）**

(21) ACC表示灯

タイプ別装備



82K097

エンジンスイッチが ACC 位置にあると点灯します。
→ **4-6ページ（電源の切替えのしかた）**

アドバイス

鉛バッテリー保護のため、次の条件をすべてみたして約60分が経過すると、自動的に消灯してエンジンスイッチが LOCK（OFF）位置にもどります。
- ブレーキペダルが踏まれていない
- セレクトレバーが P 位置
- すべてのドアが閉まっている

(22) IG ON表示灯

タイプ別装備



82K098

エンジン停止状態で、エンジンスイッチが ON 位置にあると点灯します。
→ **4-6ページ（電源の切替えのしかた）**

(23) レーダーブレーキサポートII（RBSII）OFF表示灯



54P000254

- RBSII OFF スイッチを長押しすると点灯します。

→ **4-58ページ（レーダーブレーキサポートII（RBSII）OFFスイッチ）**

- ESP® OFF 表示灯の点灯中は、RBSII OFF 表示灯も点灯します。

→ **4-46ページ（ESP®装備車の取扱い）**

- システムが正常な場合はエンジンスイッチを ON にしたときに、約３秒間点灯したあと消灯します。
- 次のような電子制御システムに異常があると、エンジンスイッチが ON のときに点灯します。スズキサービス工場で点検を受けてください。
  - RBSII

→ **4-50ページ（レーダーブレーキ サポートII（RBSII））**

- そのほかのブレーキに関するシステム

(24) レーダーブレーキサポートII（RBSII）作動表示灯



54P000255

- RBSIIの作動中に点滅します。

→ **4-50ページ（レーダーブレーキ サポートII（RBSII））**

- システムが正常な場合はエンジンスイッチを ON にしたときに、約３秒間点灯したあとに消灯します。

(25) フォグランプ点灯表示灯

タイプ別装備



74P30830

フォグランプが点灯している間、点灯します。

(26) アダプティブクルーズコントロールシステム作動表示灯

タイプ別装備



68PJ10013

- アダプティブクルーズコントロールシステムを作動させ、作動待機状態になると点灯します。

→ **4-30ページ（アダプティブクルーズ コントロール）**

- システムが正常な場合はエンジンスイッチを ON にしたときに、約３秒間点灯したあとに消灯します。

(27) アダプティブクルーズコントロールシステム車速設定表示灯

タイプ別装備



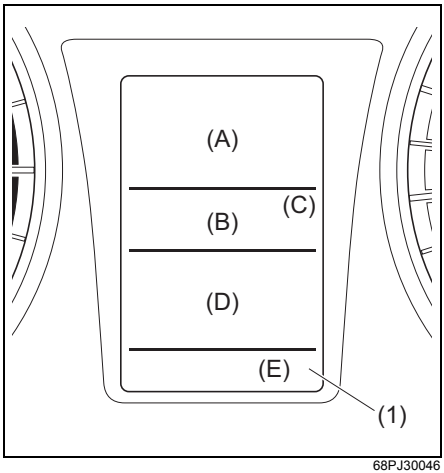
68PJ30014

アダプティブクルーズコントロールシステム作動待機中に、車速設定をして、クルーズコントロールを作動させると点灯します。

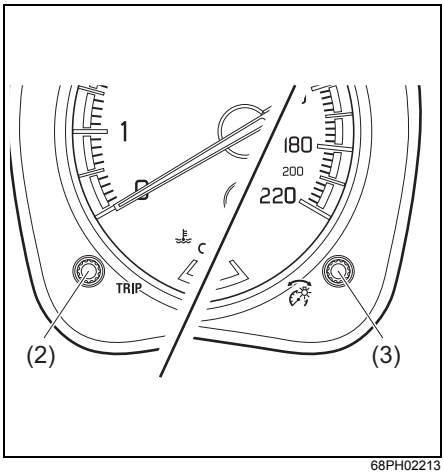
→ **4-30ページ（アダプティブクルーズ コントロール）**

マルチインフォメーションディスプレイ（Aタイプ）

エンジンスイッチを ON にすると、各表示位置に、次の表のいずれかが表示されます。



68PJ30046



68PH02213

(1) マルチインフォメーションディスプレイ (2) トリップノブ
(3) 表示切替ノブ

表示位置	表示される内容
(A)	アダプティブクルーズコントロール画面表示 → **3-77ページ**
(B)	セレクトレバー位置／ギヤポジション／Mモード／Sモード表示 → **3-77ページ**
(C)	携帯リモコン電池消耗警告表示 → **3-78ページ**

表示位置	表示される内容
(D)	●トリップメーター（区間距離計） → **3-78ページ** ●オドメーター（積算距離計） → **3-78ページ** ●瞬間燃費 → **3-79ページ** ●平均燃費 → **3-79ページ** ●航続可能距離 → **3-80ページ** ●照明コントロール表示 → **3-80ページ** ●エコ運転表示機能 → **3-81ページ**
(E)	外気温 → **3-81ページ**

アダプティブクルーズコントロール画面表示

アダプティブクルーズコントロール機能を使用する際の作動状況／設定画面が表示位置(A)に表示されます。

→ **4-30ページ (アダプティブクルーズコントロール)**

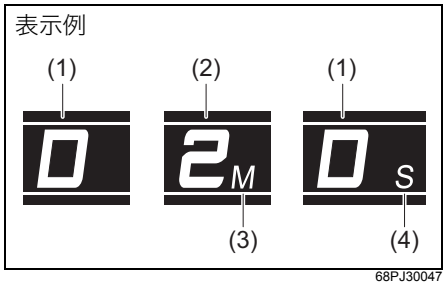
アドバイス

アダプティブクルーズコントロール機能は、以下の条件をすべてみたしているときに使用できます。

- シートベルトを着用しているとき
- 半ドア警告灯が消灯しているとき
- パーキングブレーキが確実に解除されているとき
- ギヤポジションが3速～6速のとき
- 車速が約40 km/h ～ 約100 km/hのとき
- ESP®OFFスイッチが押されていないとき

セレクトレバー位置／ギヤポジション／Mモード／Sモード表示

エンジンスイッチが ON のときに、表示位置（B）に走行状況にあわせて表示されます。



(1) セレクトレバー位置表示
(2) ギヤポジション表示
(3) Mモード表示
(4) Sモード表示

■ セレクトレバー位置表示

セレクトレバーの位置が表示されます。（マニュアルモード時を除く）

→ **4-17ページ (セレクトレバーの各位置のはたらき)**

■ ギヤポジション／M（マニュアル）モード表示

マニュアルモード付オートマチック車

マニュアルモードのときに、M モード表示と現在のギヤポジションが表示されます。

→ **4-21ページ (マニュアルモードの使いかた)**

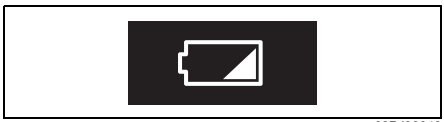
■ S（スポーツ）モード表示

CVT車

S（スポーツ）モードスイッチがONのときに表示されます。

→ 4-20ページ
（S（スポーツ）モードスイッチ）

携帯リモコン電池消耗警告表示



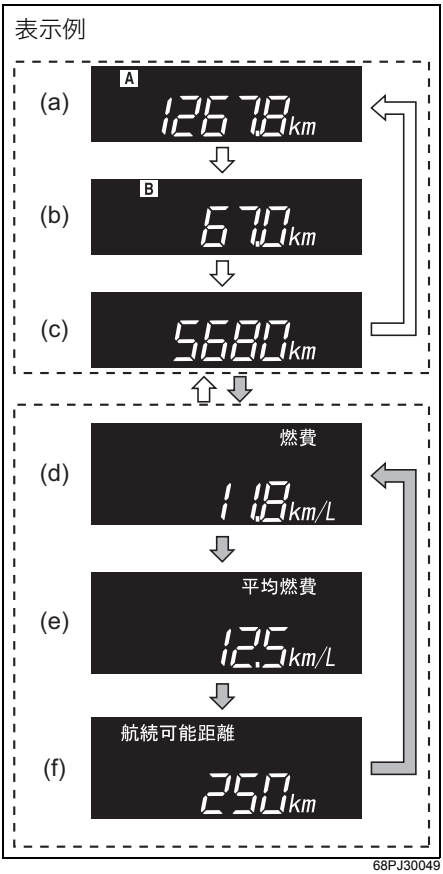
68PJ30048

携帯リモコンの電池切れが近いと、エンジンスイッチを ON にしたときに、表示位置（C）に約15秒間点灯します。電池交換のうえ、警告表示をリセットしてください。

→ 6-8ページ
（携帯リモコンの電池交換）

トリップメーター（区間距離計）／オドメーター（積算距離計）／瞬間燃費／平均燃費／航続可能距離／照明コントロール表示／エコ運転表示機能

エンジンスイッチが ON のときに、表示位置（D）に次のいずれかが表示されます。
また、トリップノブまたは表示切替ノブを押すごとに、次のように表示が切替わります。



68PJ30049

⇧⇩	トリップノブ（1）を押します。
⇧⇩	表示切替ノブ（2）を押します。

(a) トリップメーター(区間距離計)A
(b) トリップメーター(区間距離計)B
(c) オドメーター(積算距離計)
(d) 瞬間燃費
(e) 平均燃費
(f) 航続可能距離

⚠警告

走行中は表示の切替え操作をしないでください。操作に気を取られて、思わぬ事故につながるおそれがあります。

アドバイス

- 表示は、スイッチから手を離したときに切替わります。
- 表示される次の値は目安です。実際とは異なる場合があります。

①瞬間燃費
②平均燃費
③航続可能距離

- 走行中にメーター内のエンジン警告灯が点灯すると、燃費や航続可能距離が正しく表示されない場合があります。

→ **3-65ページ（エンジン警告灯）**

■ トリップメーター（区間距離計）

エンジンスイッチが ON のときに、表示位置（D）に、リセット後の走行距離が km 単位で表示されます。（次にリセットするまで距離計測は継続されます）

- A および B の2種類の走行距離を同時に計測できます。

＜使いかたの例＞

A：出発時にリセットして、出発後の距離を計測
B：給油時にリセットして、給油後の距離を計測

- リセットするときは、表示が「0.0」になるまでトリップノブを長押しします。

アドバイス

トリップメーターの最大値は 9999.9 で、そのあと 0.0 にもどります。（距離計測は継続されます）

■ オドメーター（積算距離計）

エンジンスイッチが ON のときに、表示位置（D）に新車時（またはメーター交換時）からの走行距離の累計が km 単位で表示されます。（リセットはできません）

■ 瞬間燃費

走行中の瞬間燃費が表示されます。

アドバイス

- 停車中は値が表示されません。
- 最大表示値は50 です。下り坂などで燃料カット制御が作動しているときでも、それ以上の値は表示されません
- 燃費が大きく変化する走行をすると、表示に遅れが発生します。

■ 平均燃費

表示をリセットしてからの平均燃費が表示されます。

- リセットするときは、平均燃費の表示中に表示切替ノブを長押しします。

アドバイス

- リセット後しばらくは、値が表示されません。
- 鉛バッテリーを外すと、平均燃費の表示はリセットされます。

■ 航続可能距離

現在の燃料残量で走行できるおよその距離が表示されます。

- 航続可能距離は過去の平均燃費をもとに算出される目安であるため、表示される距離を実際に走行できるとは限りません。
- 給油すると表示が更新されます。ただし、給油量が少ないと、表示が更新されない場合があります。

アドバイス

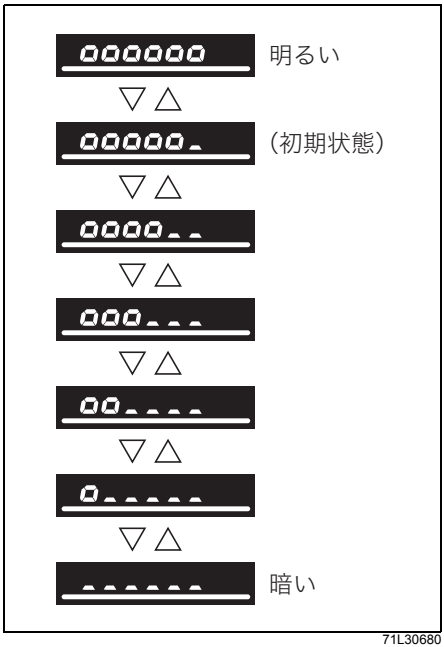
- 算出に使用される過去の平均燃費は、表示される平均燃費とは異なります。
- 鉛バッテリーを外すと過去の平均燃費の記憶が消去されますので、外す前までとは異なる値が表示される場合があります。
- エンジンスイッチを ON のままにして給油すると、正しい値が表示されない場合があります。
- 次のような場合は値が表示されません。
  - バッテリー接続後しばらくの間
  - 燃料残量警告灯の点灯中

→ **3-64ページ（燃料残量警告灯）**

■ 照明コントロール表示

現在設定されているメーターの明るさを調整できます。

- エンジンスイッチが ON のときに、ヘッドライトや車幅灯を点灯させたあと、表示切替ノブ（3）を左右に回します。調整の状態は表示位置（D）に表示されます。
- 連続して調整するときは、ノブをまわしたままにします。
- 7段階に調節できます。



71L30680

⚠警告

走行中は表示の切替え操作をしないでください。操作に気を取られて、思わぬ事故につながるおそれがあります。

アドバイス

鉛バッテリーを外すと記憶が消去され初期状態にもどりますので、明るさ調節をやり直す必要があります。

■ エコ運転表示機能

エンジンスイッチを LOCK（OFF）にすると、エコスコアが一定時間、マルチインフォメーションディスプレイの表示位置（D）に表示されます。

表示例



68PJ30050

- 1回の運転で、燃費効率が良いと判定された割合から、運転内容を採点します。
- エコドライブの目安としてお使いください。

→ **2-33ページ（エコドライブをしましょう）**

- マニュアルモード使用中は、エコ運転表示機能が点灯せず、エコスコアが加算されません。（マニュアルモード付オートマチック車）

アドバイス

- メーター内のエコドライブアシスト照明において緑色に点灯させる走行を心がけると、高得点が得られます。（100点満点）
- 設定の切替え（カスタマイズ）をすると、表示させなくすることもできます。

→ **3-82ページ（セッティングモード（Aタイプ））**

外気温

エンジンスイッチが ON のときに、表示位置（E）に外気温が摂氏温度（℃）または華氏温度（℉）単位で表示されます。

表示例



68PJ30051

(4) フリーズマーク

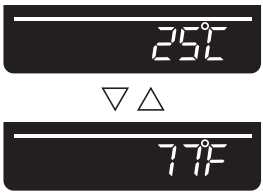
- 外気温が氷点下近くになると、フリーズマーク（雪の結晶マーク）が点灯します。路面が凍結しているおそれがありますので、とくに慎重に運転してください。

→ **6-15ページ（雪道を走行するとき）**

■ 単位の切替えのしかた

航続可能距離の表示中に、トリップノブ（2）を押したまま、表示切替ノブ（3）を左右にまわすと、次のように単位が切り替わります。

表示例



68PJ30099

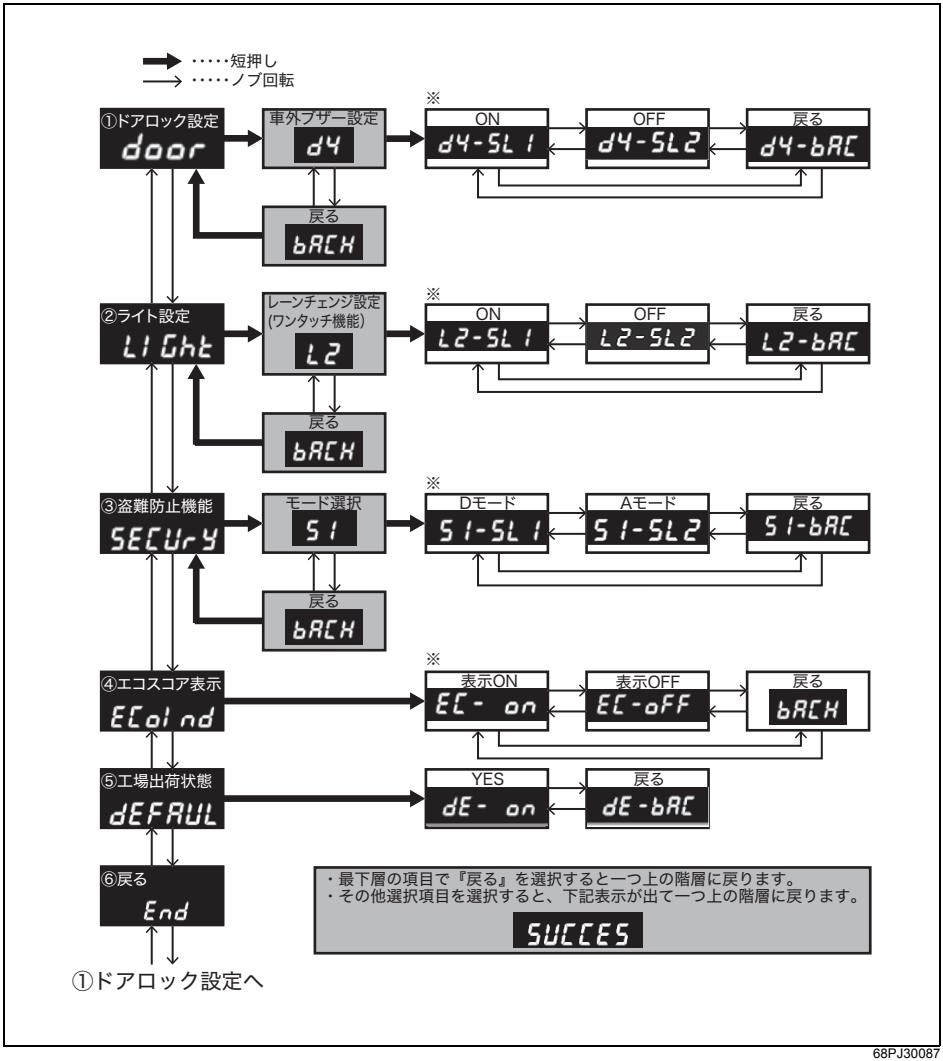
アドバイス

鉛バッテリーを外すと記憶が消去され初期状態にもどりますので、切替え操作をやり直す必要があります。

セッティングモード（Aタイプ）

セッティングモードでは、次の設定切替え（カスタマイズ）ができます。

● お車のタイプにより、設定できる項目は異なります。



68PJ30087

※初期状態（工場出荷時）

■ セッティングモードへの切替えのしかた

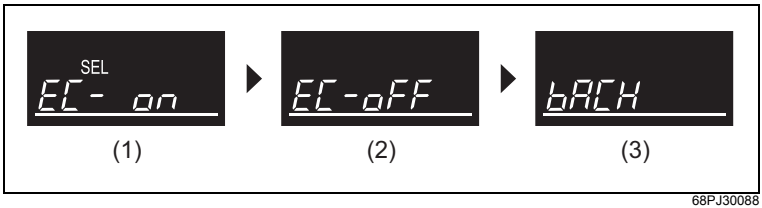
設定の切替えは、エンジンスイッチが ON のときの停車中にできます。（走行中はできません）

1 表示切替ノブを3 秒以上長押ししてセッティングモードに切り替えます。

2 設定を切り替えたい表示を選択します。
- 表示切替ノブを左右にまわして表示を切り替えます。

3 設定切替え表示に移動します。
- 表示切替ノブを短押しします。室内ブザーが“ ピッ”と鳴り、下図（表示例）のON設定表示（1）に切り替わります。

表示例（エコスコアの場合）



(1) ON設定表示(現在設定中)　(2) OFF設定表示　(3) BACK表示

アドバイス

上図の（1）のように、設定表示の上にSELが表示されている状態が、現在設定中であることを示します。

4 設定を切り替えます。
- 設定を切り替えるときは、表示切替ノブを左右にまわしてONまたはOFFを選択します。そのあと表示切替ノブを長押しします。室内ブザーが“ピッ”と鳴り、「SUCCES」と表示されると設定が切り替わり、手順 2 の表示にもどります。
- 設定切替えを行なわずに手順 2 にもどるときは、BACK表示（3）を選択してから、室内ブザーが“ピッ”と鳴るまでスイッチを長押しします。

5 続けて設定の切替えをしたいときは、手順 2 ～ 4 を繰り返します。
- セッティングモードを終了する場合は、手順 6 に進みます。

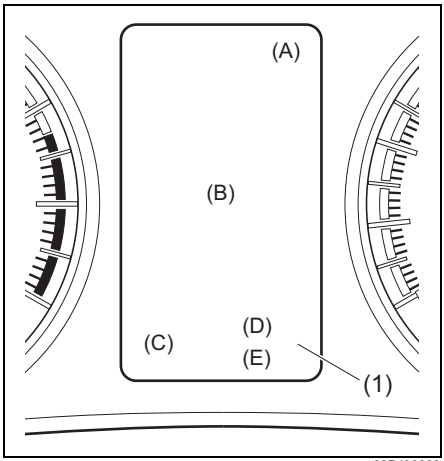
6 セッティングモードを終了します。

■ セッティングモードの終了のしかた

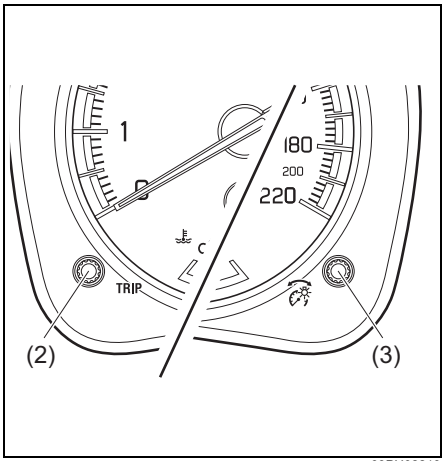
表示切替ノブをまわして「End」を選択し、表示切替ノブを短押しします。

- 次のような操作でも終了できます。
  - エンジンスイッチを ACC または LOCK（OFF）にする
  - 走行を開始する

マルチインフォメーションディスプレイ（Bタイプ）



68PJ30089



68PH02213

(1) マルチインフォメーションディスプレイ (2) トリップノブ
(3) 表示切替ノブ

エンジンスイッチを ON にすると、各表示位置に、次の表のいずれかが表示されます。

表示位置	表示される内容
(A)	外気温 → **3-87ページ**

表示位置	表示される内容
(B)	●マルチインフォメーションディスプレイのメッセージ → **3-100ページ** ●瞬間燃費／平均燃費／航続可能距離表示 → **3-90ページ** ●瞬間燃費／平均燃費／5分毎平均燃費／運転1回毎平均燃費 → **3-90ページ** ●平均車速／5分毎平均車速／走行時間表示 → **3-92ページ** ●モーション表示 → **3-93ページ** ●パワー/トルク表示 → **3-93ページ** ●アクセル/ブレーキ操作表示 → **3-93ページ** ●照明コントロール表示 → **3-94ページ**
(C)	●セレクトレバー位置／ギヤポジション／Mモード表示／Sモード表示 → **3-95ページ**
(D)	トリップメーター（区間距離計） → **3-96ページ**
(E)	オドメーター（積算距離計） → **3-96ページ**

アドバイス

メッセージの種類によってはエンジンスイッチが ACC または LOCK（OFF）のときでも表示される場合があります。

外気温

エンジンスイッチが ON のときにときに、表示位置（A）に外気温が摂氏温度（℃）単位で表示されます。

- 外気温が氷点下近くになると、次のメッセージが表示されます。路面が凍結しているおそれがありますので、とくに慎重に運転してください。
  → **6-15ページ**
  （雪道を走行するとき）

表示例

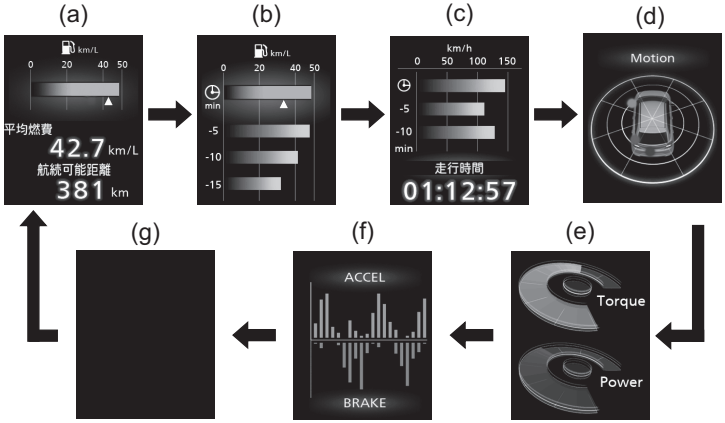


68PJ30052

瞬間燃費／平均燃費／航続可能距離表示、瞬間燃費／平均燃費／5分毎平均燃費／運転1回毎平均燃費、平均車速／5分毎平均車速／走行時間表示、モーション表示、パワー/ トルク表示、アクセル / ブレーキ操作表示

メッセージがない場合は、エンジンスイッチが ON のときに、表示位置（B）に次のいずれかが表示されます。
また、表示切替ノブを短押しすると、次のように表示が切替わります。

表示例



68PJ30053

(a) 瞬間燃費／平均燃費／航続可能距離表示
(b) 瞬間燃費／平均燃費／5分毎平均燃費／運転1回毎平均燃費
(c) 平均車速／5分毎平均車速／走行時間表示
(d) モーション表示
(e) パワー/トルク表示
(f) アクセル/ブレーキ操作表示
(g) 表示なし

⚠ 警告

走行中は表示の切替え操作をしないでください。操作に気を取られて、思わぬ事故につながるおそれがあります。

アドバイス

- 表示は、スイッチから手を離したときに切替わります。
- 表示される次の値は目安です。実際の値とは異なる場合があります。

  ①瞬間燃費
  ②平均燃費
  ③航続可能距離
  ④モーション表示
  ⑤パワー/トルク表示
  ⑥アクセル/ブレーキ操作表示

- 走行中にメーター内のエンジン警告灯が点灯すると、燃費や航続可能距離が正しく表示されない場合があります。

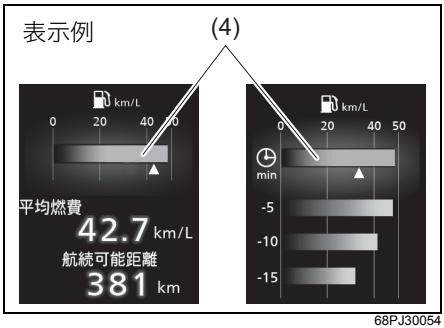
  → **3-65ページ（エンジン警告灯）**

- 走行後、エンジンスイッチをLOCK（OFF）にすると、1回の運転に対するエコ運転の結果が表示されます。（タイプ別装備）

  → **3-95ページ（エコスコア表示機能）**

■ 瞬間燃費

走行中の瞬間燃費が表示されます。



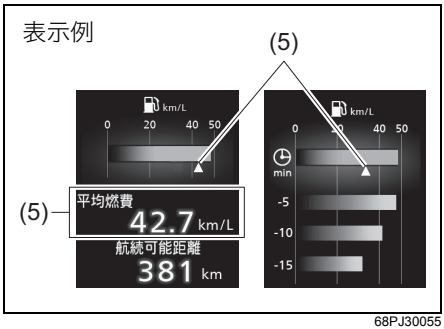
(4) 瞬間燃費

アドバイス

- 停車中は値が表示されません。
- 最大表示値は 50 です。下り坂などで燃料カット制御が作動しているときでも、それ以上の値は表示されません。
- 燃費が大きく変化する走行をすると、表示に遅れが発生します。

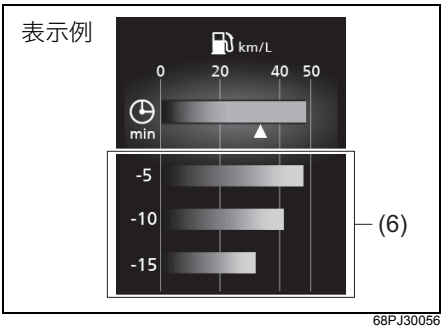
■ 平均燃費／ 5 分毎平均燃費／運転1回毎平均燃費

(平均燃費)



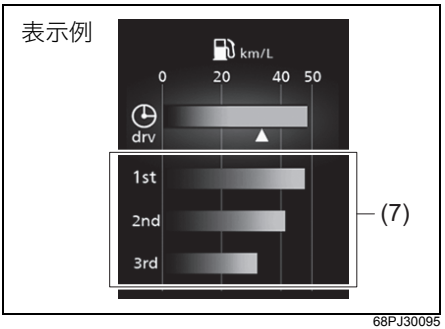
(5) 平均燃費

(5分毎平均燃費)



(6) 5分毎平均燃費

(運転1回毎平均燃費)



(7) 運転1回毎平均燃費

表示をリセットしてからの平均燃費と走行15分前から5分毎に5分間の平均燃費もしくは、運転３回前から１回の運転毎の平均燃費が表示されます。

アドバイス

- リセット後しばらくは、値が表示されません。
- 鉛バッテリーを外すと、平均燃費の表示はリセットされます。
- 時間毎平均燃費表示と運転サイクル毎平均燃費表示の切替えは、セッティングモードで選択できます。

→ **3-97 ページ（セッティングモード（Bタイプ））**

- リセット方法は、セッティングモードで次の３つから選択できます。

→ **3-97ページ（セッティングモード（Bタイプ））**

〔給油連動〕
給油するごとに自動的にリセットされます。

アドバイス

給油量が少ないと、自動的にリセットされない場合があります。

〔TRIP-A連動〕
トリップメーター A のリセットと連動してリセットされます。

→ **3-96ページ（トリップメーター（区間距離計））**

〔非連動〕
平均燃費の表示中に表示切替ノブを長押しするとリセットされます。

■ 航続可能距離

表示例



68PJ30057

(8) 航続可能距離

現在の燃料残量で走行できるおよその距離が表示されます。

- 航続可能距離は過去の平均燃費をもとに算出される目安であるため、表示される距離を実際に走行できるとは限りません。
- 給油すると表示が更新されます。ただし、給油量が少ないと、表示が更新されない場合があります。

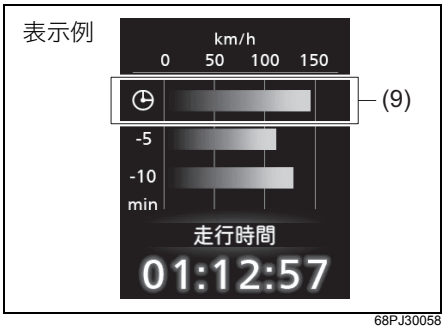
アドバイス

- 算出に使用される過去の平均燃費は、表示される平均燃費とは異なります。
- 鉛バッテリーを外すと過去の平均燃費の記憶が消去されますので、外す前までとは異なる値が表示される場合があります。
- エンジンスイッチを ON のままにして給油すると、正しい値が表示されない場合があります。
- 次のような場合は値が表示されません。
  - バッテリー接続後しばらくの間
  - 燃料残量警告灯の点灯中

→ **3-64ページ（燃料残量警告灯）**

■ 平均車速／5分毎平均車速

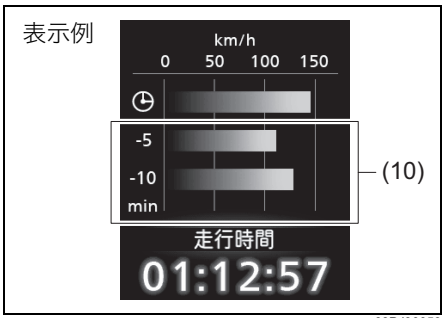
（平均車速）



68PJ30058

(9) 平均車速

（5分毎平均車速）



68PJ30059

(10)5分毎平均車速

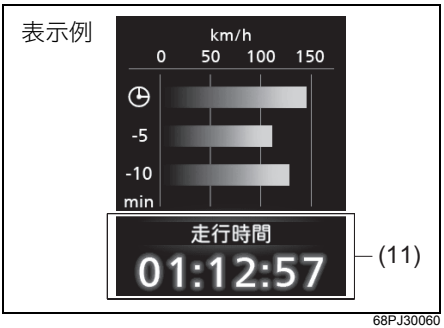
表示をリセットしてからの平均車速と走行10分前から5分毎に5分間の平均車速が表示されます。

- リセットするときは、平均車速の表示中に表示切替ノブを長押しします。
- 表示される値は、目安です。実際の値とは、異なる場合があります。

アドバイス

- リセット後しばらくは、値が表示されません。
- 鉛バッテリーを外すと、平均車速の表示はリセットされます。

■ 走行時間



68PJ30060

(11)走行時間

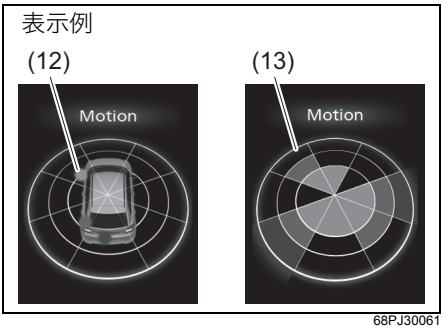
表示をリセットしてからの走行時間が表示されます。

- リセットするときは、走行時間の表示中に表示切替ノブを長押しします。

アドバイス

- 走行時間の最大値は、99：59：59で、リセットするまで固定されます。
- リセット後しばらくは、値が表示されません。
- 鉛バッテリーを外すと、平均車速の表示はリセットされます。

■ モーション表示



68PJ30061

車体にどのような重心変化があるのかをリアルタイムで表示します。
最大加速度や減速度を感知した際、G（加速度）センサー（球上アイコン(12)）が画面に表示されます。
車体を停止した際、運転中に記録されたGセンサー位置に関する履歴はグラフ（13）で表示が可能です。

- 表示される値は目安です。実際の値とは、異なる場合があります。

⚠ 警告

走行中は画面を注視しないでください。画面に気を取られて、思わぬ事故につながるおそれがあります。

アドバイス

- モーション履歴表示は、設定の切替え（カスタマイズ）をすると表示させなくすることもできます。

→ **3-97ページ（セッティングモード（Bタイプ））**

- モーション履歴表示 OFF にしてもモーション表示はされます。

■ パワー/トルク表示

現在のエンジントルクとエンジン出力が表示されます。

- 表示される値は目安です。実際の値とは、異なる場合があります。

⚠ 警告

走行中は画面を注視しないでください。画面に気を取られて、思わぬ事故につながるおそれがあります。

■ アクセル/ブレーキ操作表示

現在の運転傾向を表示します。アクセルとブレーキの踏み加減をそれぞれ棒グラフで表示されます。

- 表示される値は目安です。実際の値とは、異なる場合があります。

⚠ 警告

走行中は画面を注視しないでください。画面に気を取られて、思わぬ事故につながるおそれがあります。

アドバイス

- アダプティブクルーズコントロールシステムが作動しているときは、表示されません。
- アクセル/ブレーキ操作表示は、設定の切替え（カスタマイズ）をすると表示させなくすることもできます。（セッティングモードのペダル操作表示の表示ON／表示OFF表示の項）

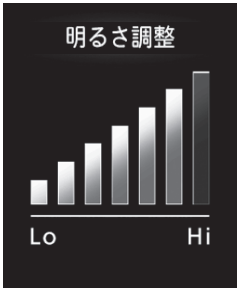
→ **3-97ページ（セッティングモード（Bタイプ））**

照明コントロール表示

現在設定されているメーターの明るさを調整できます。

- エンジンスイッチが ON のときに、ヘッドライトや車幅灯を点灯させたあと、表示切替ノブ（3）を左右にまわします。
  調整の状態は、表示位置（B）に表示されます。
- 連続して調整するときは、ノブをまわしたままにします。
- 7段階に調整できます。

表示例



68PJ30093

※画面は初期状態を表示しています。

エンディングモード

エンジンスイッチを ACC または LOCK（OFF）にすると、走行時間／走行距離／航続可能距離が表示位置 (B) に数秒間表示されます。
その後、エコスコア表示機能（タイプ別装備）、モーション履歴の順に表示が数秒間表示されます。

表示例



（タイプ別装備）

68PJ30062

アドバイス

- エコスコア表示機能（タイプ別装備）、モーション履歴表示は、設定の切替え（カスタマイズ）をすると表示させなくすることもできます。

→ **3-97ページ（セッティングモード（Bタイプ））**

- モーション履歴表示 OFF にしてもモーション表示はされます。

■ エコスコア表示機能

タイプ別装備

エンジンスイッチを LOCK（OFF）にすると、エコスコアが一定時間、マルチインフォメーションディスプレイの表示位置（B）に表示されます。

表示例



68PJ30098

- 1回の運転で、燃費効率が良いと判定された割合から、運転内容を採点します。
- エコドライブの目安としてお使いください。

→ **2-33ページ（エコドライブをしましょう）**

アドバイス

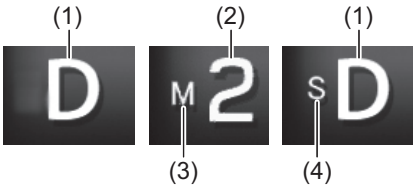
- メーター内のエコドライブアシスト照明（タイプ別装備）において緑色に点灯させる走行を心がけると、高得点が得られます。（100 点満点）
- 設定の切替え（カスタマイズ）をすると、表示させなくすることもできます。

→ **3-97ページ（セッティングモード（Bタイプ））**

セレクトレバー位置／ギヤポジション／M モード表示／S モード表示

タイプ別装備

表示例



68PJ30090

(1) セレクトレバー位置表示
(2) ギヤポジション表示
(3) Mモード表示
(4) Sモード表示

エンジンスイッチが ON のときに、表示位置（C）に走行状況にあわせて表示されます。

■ セレクトレバー位置表示

セレクトレバーの位置が表示されます。（マニュアルモード時を除く）

→ **4-17ページ（セレクトレバーの各位置のはたらき）**

■ ギヤポジション／M（マニュアル）モード表示

マニュアルモード付オートマチック車

マニュアルモードのときに、M モード表示と現在のギヤポジションが表示されます。

→ 4-21ページ
（マニュアルモードの使いかた）

■ ギヤポジション／S（スポーツ）モード表示

CVT車

S（スポーツ）モードスイッチがONのときに表示されます。

→ 4-20ページ
（S（スポーツ）モードスイッチ）

トリップメーター（区間距離計）

エンジンスイッチが ON のときに、表示位置（D）に、リセット後の走行距離が km 単位で表示されます。（次にリセットするまで距離計測は継続されます）

- A および B の 2 種類の走行距離を同時に計測できます。

<使いかたの例>

A: 出発時にリセットして、出発後の距離を計測
B: 給油時にリセットして、給油後の距離を計測

- リセットするときは、表示が「0.0」になるまでトリップノブを長押しします。

アドバイス

トリップメーターの最大値は 9999.9 で、そのあと 0.0 にもどります。（距離計測は継続されます）

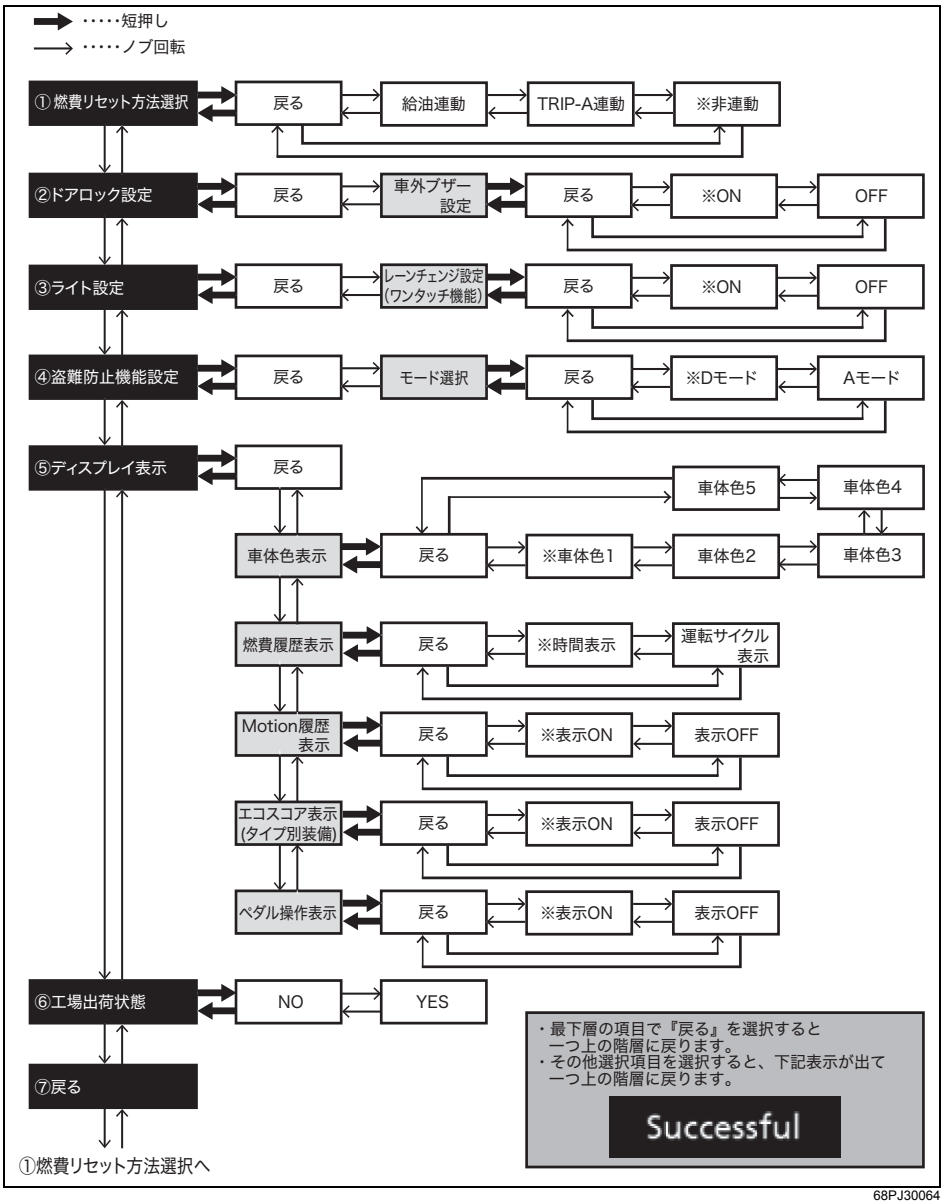
オドメーター（積算距離計）

エンジンスイッチが ON のときに、表示位置（E）に新車時（またはメーター交換時）からの走行距離の累計が km 単位で表示されます。（リセットはできません）

セッティングモード（Bタイプ）

セッティングモードでは次の設定切替え（カスタマイズ）ができます。

● お車のタイプにより、設定できる項目は異なります。



68PJ30064

※初期状態（工場出荷時）

■ セッティングモードへの切替えのしかた

切替えは、エンジンスイッチが ON のときの停車中にできます。（走行中はできません）

1 表示切替ノブを3秒以上長押しします。マルチインフォメーションディスプレイ全体がセッティングモードに切替わります。

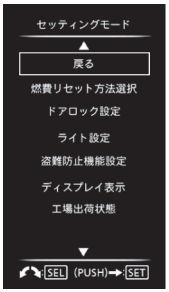
アドバイス

平均燃費または平均車速の表示中にセッティングモードにすると、同時に現在の値がリセットされてしまいます。リセットしたくないときは、先に表示切替ノブを短押しして、ほかの表示に切替えてください。

2 設定を切り替えたい表示を選択します。

- 表示切替ノブをまわして表示を切り替えます。

表示例



68PJ30065

アドバイス

現在選択されている設定は、文字が枠で囲まれて表示されます。

3 設定切替え表示に移動します。

下記の①～⑦の設定切替え表示において更に選択肢がある場合、表示切替ノブを短押しします。

①燃費リセット方法選択
平均燃費のリセット方法を、「給油連動」、「TRIP-A 連動」、「非連動」から選択できます。

→ **3-90ページ（平均燃費／5分毎平均燃費／運転1回毎平均燃費）**

②ドアロック設定
〔車外ブザー設定〕
アンサーバック機能の車外ブザーによる合図の設定を「ON」、「OFF」から選択できます。

→ **3-10ページ（アンサーバック機能）**

③ライト設定
〔レーンチェンジ設定（ワンタッチ機能）〕
ワンタッチ機能の設定を「ON」、「OFF」から選択できます。

→ **3-109ページ（ワンタッチ機能）**

④盗難防止機能設定
セキュリティアラームのモード設定切替えを「A モード」、「D モード」から選択できます。

→ **3-16ページ（セキュリティアラーム（警報装置））**

⑤ディスプレイ表示
〔車体色選択〕
マルチインフォメーションディスプレイ内に表示される車体の色を「車体色 1」、「車体色 2」、「車体色 3」、「車体色 4」、「車体色5」から選択できます。

〔燃費履歴表示〕
平均燃費／5分毎平均燃費／運転1回毎平均燃費の表示において、「時間表示」、「運転サイクル表示」から選択することができます。
→ **3-90ページ（平均燃費／5分毎平均燃費／運転1回毎平均燃費）**

〔Motion履歴表示〕
エンディングモードのモーション履歴表示において「表示 ON」、「表示 OFF」の切替えができます。
→ **3-93ページ（モーション表示）**
→ **3-94ページ（エンディングモード）**

〔エコスコア表示〕
エンディングモードのエコスコア表示において「表示 ON」、「表示 OFF」の切替えができます。
→ **3-95ページ（エコスコア表示機能）**
→ **3-94ページ（エンディングモード）**

〔ペダル操作表示〕
アクセル / ブレーキ操作表示において「表示 ON」、「表示 OFF」の切替えができます。
→ **3-93ページ（アクセル/ブレーキ操作表示）**

⑥工場出荷状態
工場出荷時の初期設定にもどせます。

アドバイス

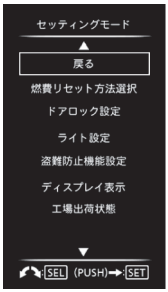
鉛バッテリーを外すと、平均燃費のリセット方法が工場出荷時の設定に戻りますので、設定切替えをやり直す必要があります。

⑦戻る
セッティングモードを終了します。

セッティングモードの終了のしかた

表示切替ノブをまわして「戻る」を選択し、ノブを短押しします。

表示例



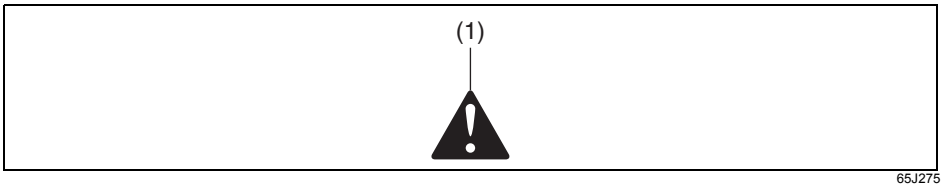
68PJ30065

- 次のような操作でも終了できます。
  - エンジンスイッチを ACC または LOCK（OFF）にする。
  - 走行を開始する。

マルチインフォメーションディスプレイのメッセージ

各システムの異常など、お知らせしたい情報があると、メッセージが表示されます。また、メッセージの種類によっては、同時に室内／車外ブザーが鳴る場合があります。

- メッセージが表示されたときは、その指示にしたがってください。詳しくは、**3-101 ページ**の「**マルチインフォメーションディスプレイのメッセージ一覧**」をお読みください。また、その一覧に案内されている参照ページもあわせてお読みください。
- 表示されるメッセージの種類によっては、メーター内のマスターウォーニング（1）が同時に点滅する場合があります。



65J275

アドバイス

- メッセージの要因が解消されると、表示が消えます。
- メッセージの表示中に、別のメッセージが追加されると、割り込み表示されます。そのあとは、一定時間ごとに表示が切り替わります。
- メッセージが表示されているときに、表示切替ノブを長押しすると、もとの画面にもどります。ただし、メッセージの種類によっては、要因が解消されるまでは、ふたたび表示される場合があります。

■ マルチインフォメーションディスプレイのメッセージ一覧

下記機能の作動中は、次の表以外のメッセージが表示される場合があります。

- **アダプティブクルーズコントロール**
  → **4-30ページ（アダプティブクルーズ コントロール）**

メッセージ	マスター ウォーニング	ブザー	説明
 （停車中は※）	 (走行中のみ) 点滅	室内ブザー ● ポーン（1回）	いずれかのドアが完全に閉まっていません。 完全に閉まっていないドアが表示されます。 ● 安全な場所に停車して、ドアを完全に閉めてください。 → **3-68ページ（半ドア警告灯）**
 （※）	消灯	なし	電源の状態が ACC のときに表示されます。 → **4-6ページ（電源の切替えのしかた）**
	消灯	なし	ブレーキペダルを踏んでいます。 ● エンジンをかけるときは、エンジンスイッチを押してください。 → **4-10ページ（エンジンのかけかた）**
	消灯	なし	次の状況でエンジンスイッチを押しています。 ● セレクトレバー位置が P N 以外 ● ブレーキペダルを踏んでいないエンジンをかけるときは、メッセージの指示にしたがってください。 → **4-10ページ（エンジンのかけかた）**

※印のメッセージは、要因が解消されない場合でも、一定時間がすぎると消えます。

メッセージ	マスターウォーニング	ブザー	説明
	消灯	なし	セレクトレバー位置が P N 以外でエンジンスイッチを押しています。 ●エンジンをかけるときは、メッセージの指示にしたがってください。 → **4-10ページ（エンジンのかけかた）**
	 点滅	室内ブザー ●ポーン（1回）	ハンドルロックに異常が考えられます。 ●スズキサービス工場で点検を受けてください。 → **4-14ページ（エンジンスイッチをもどすときは）**
	 点滅	室内ブザー ●ポーン（1回）	●キーレスプッシュスタートシステムの異常または鉛バッテリーの電圧が低いことが考えられます。鉛バッテリーの電圧が正常な状態でもこのメッセージが表示されたときはスズキサービス工場で点検を受けてください。 → **4-4 ページ（キーレスプッシュスタートシステム）**
 	 点滅	室内／車外ブザー (条件により) ●ピー、ピー（約2秒間）	携帯リモコンが車内にない、またはリモコンの電池切れが考えられます。 ●リモコンを車内にもどすか、リモコンをエンジンスイッチに当ててください。 → **4-8ページ（携帯リモコン車外持ち出し警告）** → **4-10ページ（エンジンのかけかた）**

メッセージ	マスター ウォーニング	ブザー	説明
	 点滅	室内ブザー ● ピーーー	ヘッドライトや車幅灯が点灯しています。 ● ライトを消してください。 → **3-106 ページ（ライト消し忘れ警告ブザー）**
 （※）	消灯	なし	電源の状態が ON のときに表示されます。 → **4-6ページ （電源の切替えのしかた）**
 （※）	消灯	室内ブザー ● ポーン（1回）	燃料の残量が少なくなっています。 ● すみやかに給油してください。 → **3-64ページ （燃料残量警告灯）**
	 点滅	室内ブザー ● ポーン（1回）	ハンドルロックが解除されていません.。 ● ハンドルを左右に軽く動かしながら、エンジンスイッチを押してください。 → **4-3 ページ（ハンドルロック未解除警告）**
	消灯	なし	路面が凍結しているおそれがあります。 ● とくに慎重に運転してください → **6-15ページ （雪道を走行するとき）**

※印のメッセージは、要因が解消されない場合でも、一定時間がすぎると消えます。

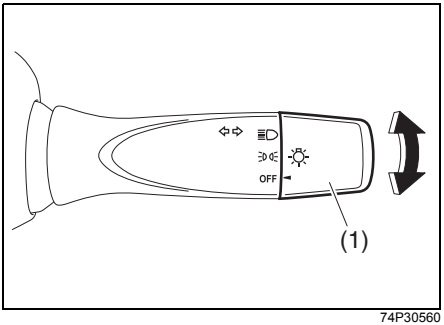
メッセージ	マスターウォーニング	ブザー	説明
	 点滅	なし	携帯リモコンの電池切れが近いです ●電池を交換してください → **6-8ページ（携帯リモコンの電池交換）**
	 点滅	室内ブザー ●ポーン（1回）	ESP® のシステムに異常が考えられます。 ●スズキサービス工場で点検を受けてください。 → **4-46ページ（ESP®装備車の取扱い）**
	 点滅	室内ブザー ●ポーン（1回）	ヒルホールドコントロールのシステムに異常が考えられます。 ●スズキサービス工場で点検を受けてください。 → **4-49ページ（ヒルホールドコントロール）**
	 点滅	室内ブザー ●ポーン（1回）	このメッセージが表示されたら、スズキサービス工場で点検を受けてください

ライトスイッチ

ライトの点灯・消灯

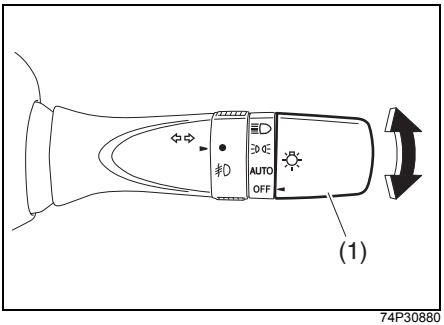
エンジンスイッチの位置に関係なく使用でき、ライトスイッチのツマミ（1）をまわすと次のように点灯・消灯します。

オートライトシステム非装備車



74P30560

オートライトシステム装備車



74P30880

ライトスイッチの位置	ヘッドライト（前照灯）	車幅灯、尾灯、番号灯
≡D	点灯	
≡D	消灯	点灯
AUTO	自動点灯・消灯（※）	
OFF	消灯	

※オートライトシステム（タイプ別装備）は、エンジンスイッチが ON のときだけ作動します。

注 記

エンジン停止中に、長時間点灯させないでください。鉛バッテリーがあがる原因となります。

アドバイス

ヘッドライトや車幅灯が点灯している間は、メーター内のライト点灯表示灯が点灯します。

→ **3-70ページ（ライト点灯表示灯）**

■ オートライトシステム

タイプ別装備

エンジンスイッチが ON のときに使用でき、車外の明るさに応じてヘッドライトや車幅灯が自動的に点灯･消灯します。エンジンスイッチを ACC または LOCK（OFF）にすると、自動的に消灯します。

- ライトスイッチのツマミを AUTO の位置にまわすと、次のように点灯・消灯します。

車外の明るさ	ヘッドライト（前照灯）	車幅灯、尾灯、番号灯
明るいとき	消灯	
薄暗いとき	消灯	点灯
暗いとき	点灯	

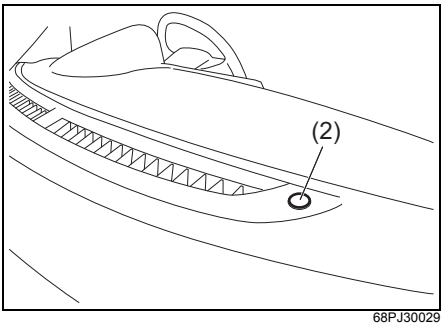
注 記

AUTO 位置のままエンジンスイッチを ON にしていると、エンジンがかかっていなくても、車外が暗くなるとともにライトや車幅灯が点灯します。そのまま長時間点灯させると、鉛バッテリーがあがる原因となりますのでご注意ください。

アドバイス

オートライトセンサー（2）の上や周囲にものを置いたり、ガラスクリーナーなどを吹きかけたままにしたりしないでください。センサーの感度が低下し、正常に点灯・消灯しなくなります。

インパネ助手席側



68PJ30029

ライト消し忘れ警告ブザー

ヘッドライトや車幅灯の消し忘れを防止するため、次のようなときに運転席ドアを開けると、室内ブザーが“ピーーー”と連続して鳴ります。

- エンジンスイッチを LOCK（OFF）にしたあとも、ライトや車幅灯が点灯している

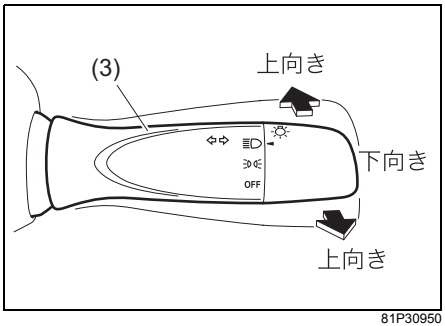
ライトおよび車幅灯を消すと、室内ブザーは止まります。

ライトの上向き、下向きの切替え

ヘッドライトを上向き（ハイビーム）に切り替えると、遠くまで照らすことができます。

- ライトが点灯しているときに、レバー(3)を車の前方向に押すと上向きになります。もとの位置にもどすと、下向きになります。
- ライトスイッチの位置に関係なく、レバーを手前に引くと、引いている間、上向きにライトが点灯します。
- ライトを上向きにすると、メーター内のヘッドライト上向き（ハイビーム）表示灯が点灯します。

→ **3-70ページ（ヘッドライト上向き（ハイビーム）表示灯）**



81P30950

- 上図のスイッチは代表例です。お車のタイプにより異なります。

アドバイス

対向車や先行車があるときは、ライトを下向きにしてください。

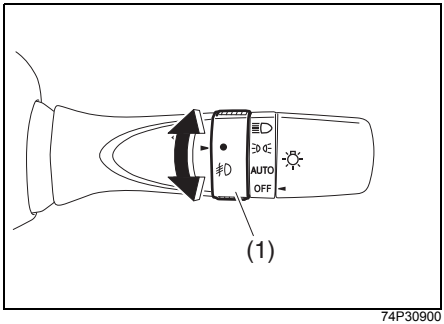
フォグランプスイッチ

タイプ別装備

ヘッドライトや車幅灯を点灯しているときに使用でき、雨や霧などで視界が悪いときに使用します。

- ライトスイッチのリング（1）をまわすとフォグランプが点灯し、メーター内のフォグランプ点灯表示灯が点灯します。

→ **3-74ページ（フォグランプ点灯表示灯）**



74P30900

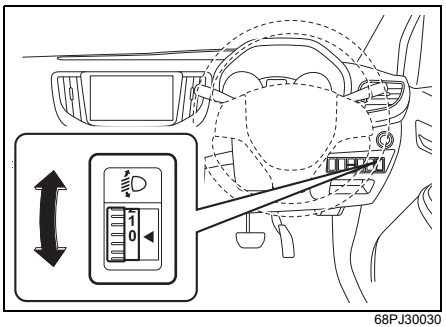
注記

鉛バッテリー保護のため、視界が良くなったらすみやかにスイッチを切ってください。

光軸調整ダイヤル

ライトを点灯して光軸調整ダイヤルをまわすと、ライトの光軸が調整できます。荷物や同乗者を乗せてライトの光軸が上向きになると、対向車や先行車の迷惑となります。ダイヤルを操作して、光軸を下向きに調整してください。

- ダイヤル操作は、ライトが下向き（ロービーム）に点灯しているときに行なってください。ライトが上向き（ハイビーム）に点灯している、または点灯していないときは、光軸が適切に調整できているか判断できません。
- ダイヤルの目盛りは **0** ～ **4** まであり、光軸が5段階（1きざみ）に調整できます。
- ダイヤルの目盛りを大きくすると、光軸が下向きになります。



68PJ30030

- 荷物や同乗者の乗せかたによって変わりますが、次表の数値を参考に適切な位置に調整してください。

〈ダイヤル位置の目安〉

ハロゲンヘッドライト装備車

条件	ダイヤル位置
運転席のみ乗車	0
運転席および助手席に乗車	0
5名乗車	1
5名乗車で荷室満載	2
運転席のみ乗車で荷室満載	3

ディスチャージヘッドライト装備車

条件	ダイヤル位置
運転席のみ乗車	0
運転席および助手席に乗車	1
5名乗車	2
5名乗車で荷室満載	2
運転席のみ乗車で荷室満載	3

⚠警告

走行中はダイヤル操作をしないでください。操作に気を取られて、思わぬ事故につながるおそれがあります。

⚠注意

車検などで基本の光軸を調整するときは、ダイヤルを0の位置にしてください。0以外の位置で基本光軸を調整すると、ライトの光軸が基準より上向きになるなど、安全上問題となるおそれがあります。

アドバイス

ダイヤルを操作すると、ライトの下向き（ロービーム）と上向き（ハイビーム）の光軸が同時に調整されます。

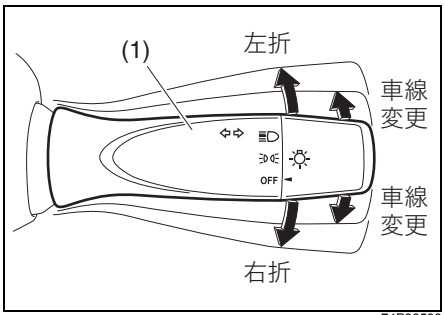
方向指示器スイッチ

エンジンスイッチが ON のときに使用できます。

右折・左折をするとき

左折時：レバー（1）を押し上げます。
右折時：レバーを押し下げます。

- 同時に方向指示器とメーター内の方向指示器表示灯が点滅します。
- ハンドルをもとにもどすと、レバーが自動的にもどり、方向指示器と表示灯が消灯します。



74P30590

- 上図のスイッチは代表例です。お車のタイプにより異なります。

アドバイス

ハンドルを切る角度が小さいと、レバーが自動的にもどらないことがあります。レバーを手でもどしてください。

車線変更をするとき

レバーを車線変更しようとする方向に軽く押さえます。

- 押さえている間だけ、方向指示器と表示灯が点滅します。

■ ワンタッチ機能

操作したレバーをすぐにもどしても、方向指示器と表示灯が3回点滅します。

アドバイス

設定の切替え（カスタマイズ）をすると、以下の設定ができます。

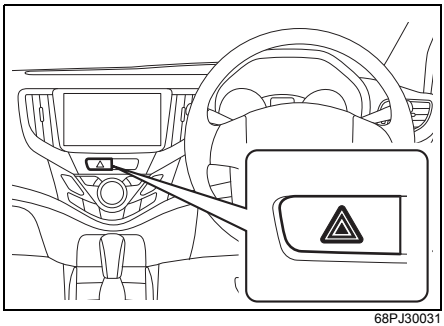
- ワンタッチ機能の「ON」、「OFF」
  → **3-82ページ（セッティングモード（Aタイプ））**
  → **3-97ページ（セッティングモード（Bタイプ））**

- 点滅回数の変更（1回～4回）
  - 設定の切替えについては、スズキ販売店またはスズキ代理店にご相談ください。

非常点滅表示灯スイッチ

エンジンスイッチの位置に関係なく使用できます。故障などでやむをえず路上駐車するときや非常時に使用します。

- スイッチを押すと、すべての方向指示器とメーター内の方向指示器表示灯が点滅します。
- もう一度押すと消灯します。



68PJ30031

注 記

エンジン停止中に長時間点滅させないでください。鉛バッテリーがあがる原因となります。

ワイパー/ウォッシャースイッチ

エンジンスイッチが ON のときに使用できます。

⚠注意

寒冷時は、ガラス面に吹きつけたウォッシャー液が凍結して、視界が悪くなることがあります。ガラス面をデフロスターで暖めてから、ウォッシャー液を噴射してください。
→ 5-19ページ（デフロスター）

注 記

- **ウインドーが乾いているときは、ウインドーをウォッシャー液で濡らしてからワイパーを動かしてください。空ぶきするとガラス面やワイパーブレード（ゴム部）に傷がつくおそれがあります。**
- **ワイパーブレードがガラスにはりついているときは、ワイパーを作動させないでください。ブレード部（ゴムの部分）が傷ついたり、ワイパーが故障したりするおそれがあります。**
- **ウォッシャー液が十分に出ないときは、ウォッシャースイッチを切ってください。ウォッシャーポンプが故障する原因となります。**

■ ワイパーが作動中に停止したときは

積雪などでワイパーに大きな負荷がかかる状態が続きワイパーモーターの温度があがると、モーターを保護するためにブレーカーが作動してワイパーが停止します。次の手順で対処してください。

1 安全な場所に停車し、エンジンスイッチを ACC または LOCK (OFF) にします。

2 ワイパースイッチをOFFにします。

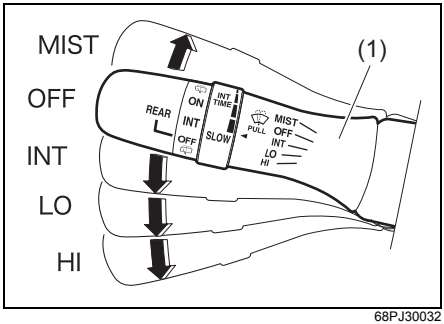
3 ワイパーの作動をさまたげる積雪などの障害物を取り除きます。

4 しばらくしてモーターの温度が下がると、ブレーカーが自動復帰してワイパーの使用が可能となります。

- しばらく待ってもワイパーが使用できない場合は、別の原因が考えられます。スズキサービス工場で点検を受けてください。

フロントワイパースイッチ

レバー（1）を上下に操作します。

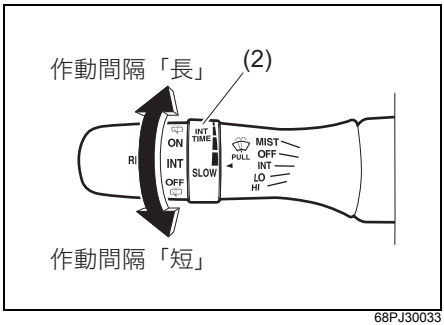


68PJ30032

MIST	レバーを押し上げている間作動
OFF	停止
INT	間欠作動
LO	低速作動
HI	高速作動

■ 間欠ワイパーの時間調節のしかた

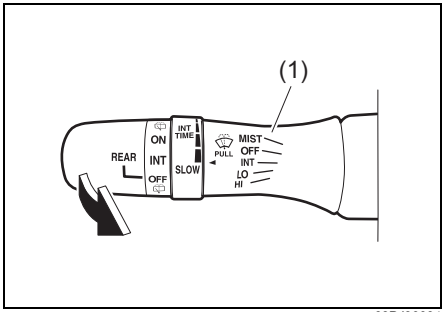
INT のときにリング（2）をまわすと、作動間隔を調節できます。



68PJ30033

フロントウォッシャースイッチ

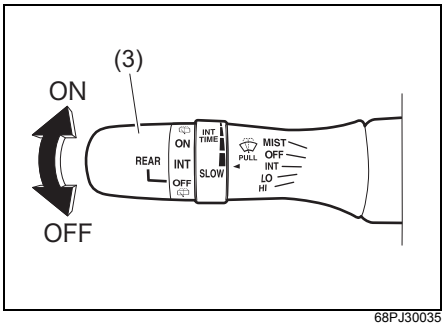
レバー(1)を手前に引くと、ウォッシャー液が噴射されワイパーが数回動きます。



68PJ30034

リヤワイパースイッチ

ツマミ（3）をまわします。

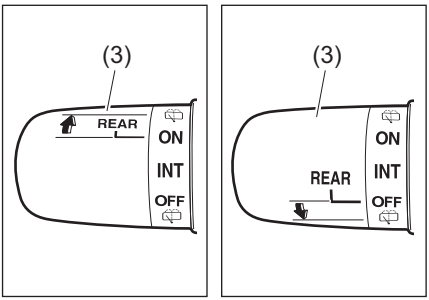


68PJ30035

ON	作動
INT	間欠作動
OFF	停止

リヤウォッシャースイッチ

- 図の ⬆ 方向にツマミ（3）をまわし、ON の上にある （ウォッシャー）にあわせるとウォッシャー液が噴射し、同時にリヤワイパーも連動して動きます。ツマミから手を離すと ON にもどります。
- 図の⬇方向にツマミ(3)をまわし、OFF の下にある （ウォッシャー）にあわせるとウォッシャー液が噴射します。ツマミから手を離すとOFFにもどります。



68PJ30036

ホーンスイッチ

エンジンスイッチの位置に関係なく使用できます。ハンドルのホーンマークがついている部分を押すと、ホーンが鳴ります。

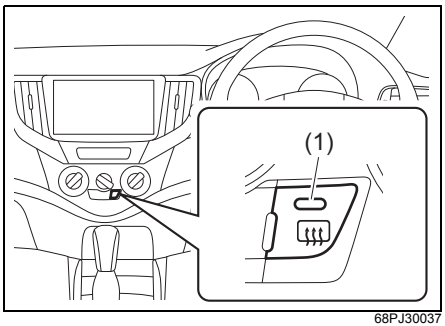


51K0187

リヤデフォッガースイッチ

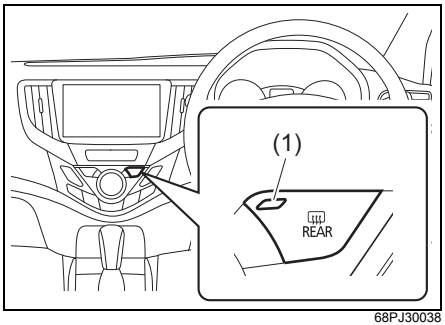
- スイッチを押すとバックウインドーガラスが暖められて、スイッチ内の表示灯（1）が点灯します。
  もう一度押すとスイッチが切れます。
- 約15分連続で使用すると、自動的にスイッチが切れます。
- 使用中にエンジンスイッチを ACC または LOCK（OFF）にすると、エンジンを再始動しても自動的にスイッチは入りません。

マニュアルエアコン装備車



68PJ30037

オートエアコン装備車



68PJ30038

注 記

●鉛バッテリー保護のため、くもりが取れたらすみやかにスイッチを切ってください。また、雪を溶かしたり、雨水を乾燥させたりする目的で使用しないでください。
●バックウインドーガラスの室内側をふくときは、熱線や端子を傷つけないように、水を含ませたやわらかい布で熱線に沿ってふいてください。

アドバイス

エンジン停止中はスイッチが入りません。

MEMO

4. 運転するときは

● **エンジン始動・停止**
エンジンスイッチの各位置のはたらき ····· 4-2
イモビライザーシステム ····· 4-3
キーレスプッシュスタートシステム ····· 4-4
エンジンのかけかた ····· 4-10
エンジンの止めかた ····· 4-13

● **パーキングブレーキ**
パーキングブレーキの操作 ····· 4-15

● **オートマチック車**
セレクトレバーの操作 ····· 4-17
オートマチック車の特性 ····· 4-23
オートマチック車を運転するとき ····· 4-24
オートマチック車の運転のしかた ····· 4-25

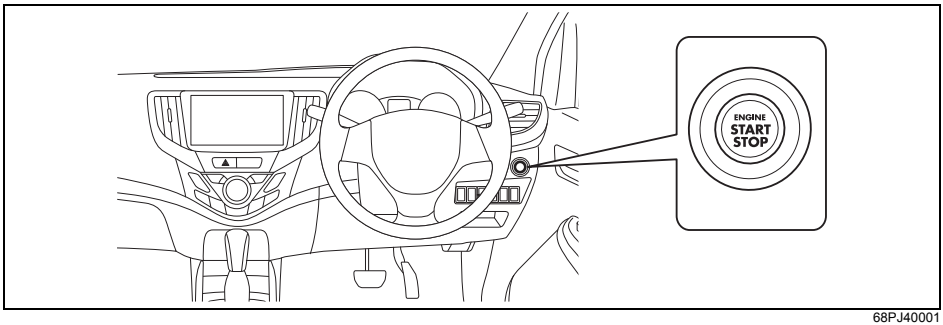
● **アダプティブクルーズコントロール**
アダプティブクルーズコントロール ····· 4-30

● **ABS**
ABS装備車の取扱い ····· 4-42

● **ESP®**
ESP®装備車の取扱い ····· 4-46
ヒルホールドコントロール ····· 4-49

● **運転支援機能**
レーダーブレーキサポートII（RBSII） ····· 4-50

エンジンスイッチの各位置のはたらき



68PJ40001

エンジンスイッチの位置(※1)	エンジンの状態	はたらき
LOCK (OFF)	停止	駐車するときの位置です。エンジンスイッチをLOCK（OFF）にもどして、いずれかのドアを開閉すると、ハンドルロックがかかります。
ACC	停止	エンジンをかけずにドアミラーやオーディオまたはナビゲーション、アクセサリーソケットなどの電装品（タイプ別装備）を使用するときの位置です。
ON	停止	エンジンをかけずにパワーウインドーやワイパーなどの電装品を使用するときの位置です。メーターが点灯します。
	回転中	すべての電装品が使えます。通常運転中の状態です。
START	始動	携帯リモコンを所持してセレクトレバーをPに入れ、ブレーキを踏んでエンジンスイッチを押すと、自動的に始動します。

（※1）エンジンスイッチ位置の切替えについては、**4-4ページ**の「**キーレスプッシュスタートシステム**」をお読みください。

- メーターのタイプ（A タイプ、B タイプ）によって、エンジンスイッチの各位置のはたらきに関する表示方法が異なります。
  → **3-58ページ（メーターの見かた）**
  → **3-100ページ（マルチインフォメーションディスプレイのメッセージ）**

注 記

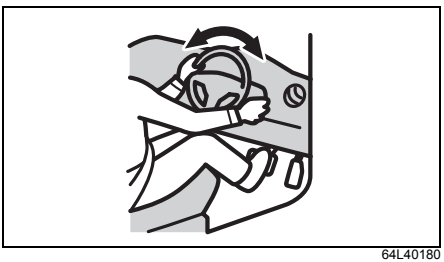
エンジンを止めているときは、エンジンスイッチを ACC または ON にしたままにしないでください。また、その状態で長時間ナビゲーション、またはオーディオなどを使用しないでください。鉛バッテリーがあがる原因となります。

アドバイス

- ハンドルロックは通常、エンジンスイッチを LOCK（OFF）から ACC または ON にしたときに解除されます。
- 強い電波やノイズの影響を受けると、メーター内のプッシュ表示灯の点滅、またはマルチインフォメーションディスプレイに「リモコンが検知できません」と表示され、電源の切替えやエンジンの始動ができない場合があります。

ハンドルロックが解除できないときは

エンジンの始動ができません。ハンドルを左右に軽く動かしながら、エンジンスイッチを押してください。



64L40180

■ ハンドルロック未解除警告

タイプ別装備

エンジンスイッチが ON のときに、ハンドルロックが未解除の場合、メーター内のマルチインフォメーションディスプレイにメッセージが表示されます。

→ **3-100ページ（マルチインフォメーションディスプレイのメッセージ）**

イモビライザーシステム

イモビライザーシステムは盗難防止のため、携帯リモコンが電波で車両と通信することによって、あらかじめ登録されたリモコン以外ではエンジンを始動できないようにするシステムです。

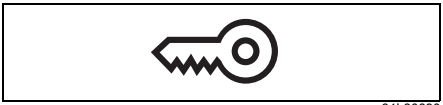
注 記

イモビライザーシステムの改造や取り外しをしないでください。システムが正常に作動しないおそれがあります。

アドバイス

イモビライザーシステムのメンテナンスは不要です。

イモビライザー警告灯



64L30690

メーター内にあります。

→ **1-16ページ（警告灯）**

- エンジンの始動が可能な場合は、エンジンをかけるときに、約２秒間点灯したあと消灯します。点滅または約５秒間点灯すると、エンジンがかからない場合があります。携帯リモコンの場所を確認し、エンジンスイッチを LOCK（OFF）にもどしてから、操作をやり直してください。
  → **4-11ページ（プッシュ表示灯が点滅してエンジンがかからないときは）**
  → **4-12ページ（⚠（マスターウォーニング）が点滅してエンジンがかからないときは）**
- 携帯リモコン車外持ち出し警告が作動したときにも点滅します。
  → **4-8ページ（携帯リモコン車外持ち出し警告）**

アドバイス

点灯または点滅すると、メーターのタイプによっては、マルチインフォメーションディスプレイにメッセージが表示される場合があります。
→ **3-100 ページ（マルチインフォメーションディスプレイのメッセージ）**

キーレスプッシュスタートシステム

所持している携帯リモコンが「**車内の作動範囲**」（**4-9 ページ**参照）に入っていると、エンジンスイッチによる始動および電源の切替えが可能となります。
また、そのほかに次の機能があります。

- キーレスエントリー
  → **3-9ページ（キーレスエントリー）**
- リクエストスイッチによるドアの施錠・解錠
  → **3-11ページ（携帯リモコン）**
- イモビライザー（車両盗難防止装置）
  → **4-3ページ（イモビライザーシステム）**

キーレスプッシュスタートシステムの表示灯

■ ACC表示灯

タイプ別装備



82K097

メーター内にあります。

- エンジンスイッチが ACC 位置にあると点灯します。
  → **1-19ページ（表示灯）**
  → **4-6ページ（電源の切替えのしかた）**

■ IG ON表示灯

タイプ別装備



82K098

メーター内にあります。

- エンジン停止状態で、エンジンスイッチが ON 位置にあると点灯します。
  → **1-19ページ（表示灯）**
  → **4-6ページ（電源の切替えのしかた）**

■ プッシュ表示灯

タイプ別装備



82K174

メーター内にあります。

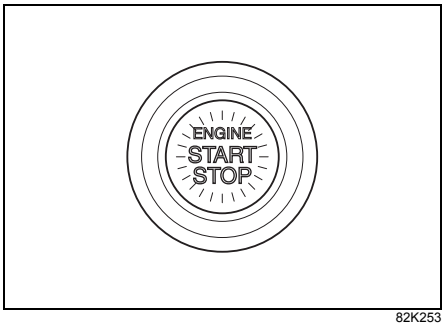
- ブレーキペダルを踏んで点灯したときは、通常エンジンの始動が可能です。ただし、始動できず点滅したときは、**4-11 ページ**の「**プッシュ表示灯が点滅してエンジンがかからないときは**」をお読みください。
- ブレーキペダルを踏まずにエンジンスイッチを押して点滅したときは、**4-7 ページ**の「**プッシュ表示灯が点滅して電源が切り替わらないときは**」をお読みください。

アドバイス

メーターのタイプによっては、マルチインフォメーションディスプレイにメッセージが表示される場合があります。
→ **3-100 ページ（マルチインフォメーションディスプレイのメッセージ）**

エンジンスイッチ照明

- エンジン停止中に運転席ドアを開けると点灯します。運転席ドアを閉めると約 15 秒間点灯し、徐々に減光しながら消灯します。
- ヘッドライトや車幅灯が点灯している間、点灯します。ライトを消すと消灯します。



82K253

アドバイス

鉛バッテリー保護のため、次の条件をすべてみたすと、自動的に消灯します。(バッテリーセーバー機能)

- ヘッドライトや車幅灯が消灯
- 運転席ドアを開けたまま約 15 分が経過

4

電源の切替えのしかた

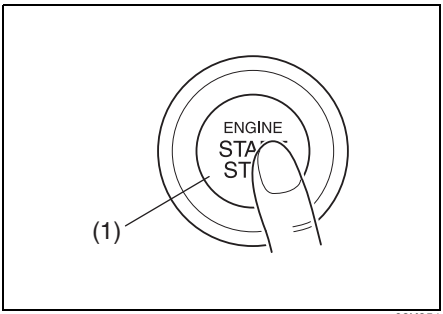
エンジンをかけずに電装品の使用やメーターの確認をしたいときは、次のようにしてエンジンスイッチの位置を切り替えます。

なお、この切替えのことを「**電源の切替え**」といいます。

- メーターのタイプによっては、電源の切替え時にマルチインフォメーションディスプレイにメッセージが表示されます。
  → **3-100 ページ（マルチインフォメーションディスプレイのメッセージ）**

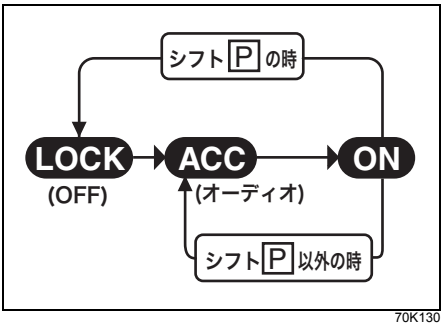
1 携帯リモコンを所持して運転席にすわります。

2 ブレーキペダルを踏まずにエンジンスイッチ（1）を押します。



82K254

- 押すごとに次のようにエンジンスイッチの位置が切り替わります。



70K130

アドバイス

- セレクトレバーが P 以外に入っていると、LOCK（OFF）にはもどせません。
- セレクトレバーの故障などで、エンジンスイッチを LOCK（OFF）にもどせないことがあります。
  → **4-14 ページ（エンジンスイッチをもどすときは）**

■ プッシュ表示灯 が点滅して電源が切り替わらないときは

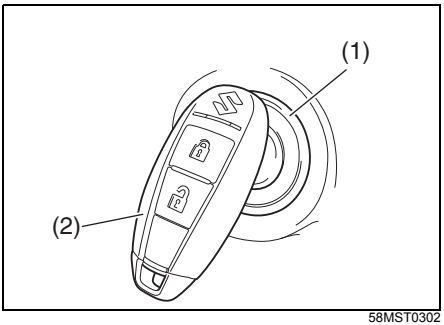
Aタイプメーター装備車

携帯リモコンが「**車内の作動範囲**」（**4-9ページ**参照）で検知されていないことが考えられます。運転者は携帯リモコンを身につけ、メーター内のプッシュ表示灯 の消灯後、操作をやり直してください。それでも切り替わらないときは、携帯リモコンの電池切れのおそれがあります。次の手順で切り替えてください。

1 ブレーキペダルを踏まずにエンジンスイッチ（1）を押します。

2 メーター内のプッシュ表示灯 が点滅している約10秒以内に、携帯リモコン（2）の先端（ロックスイッチ側）をエンジンスイッチに約2秒間当てます。

- プッシュ表示灯 の点滅中に、イモビライザー警告灯が約5秒間点灯します。



58MST0302

※前記の手順を行なっても切り替わらないときは、鉛バッテリーあがりなどの別の原因が考えられます。スズキ販売店またはスズキ代理店にご連絡ください。

アドバイス

- 設定の切替え（カスタマイズ）をすると、携帯リモコン検出範囲外警告ブザー（室内ブザー）を1回鳴らすことができます。設定の切替えについては、スズキ販売店またはスズキ代理店にご相談ください。
- 携帯リモコンの電池切れが近いと、エンジンスイッチを ON にしたときに、メーター内の携帯リモコン電池消耗警告灯が約15秒間点灯します。
  → **3-13ページ（携帯リモコン電池消耗警告表示）**
  → **6-8ページ（携帯リモコンの電池交換）**

■ ⚠（マスターウォーニング）が点滅して電源が切り替わらないときは

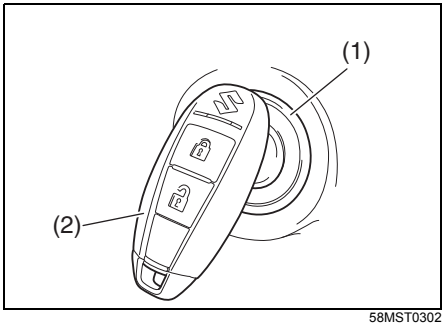
Bタイプメーター装備車

携帯リモコンが「**車内の作動範囲**」（**4-9ページ**参照）で検知されていないことが考えられます。運転者は携帯リモコンを身につけ、操作をやり直してください。それでも切り替わらないときは、携帯リモコンの電池切れのおそれがあります。次の手順で切り替えてください。

1 ブレーキペダルを踏まずにエンジンスイッチ（1）を押します。

2 メーター内の ⚠（マスターウォーニング）が点滅している約10秒以内に、携帯リモコン(2)の先端(ロックスイッチ側)をエンジンスイッチに約2秒間当てます。

- ⚠（マスターウォーニング）の点滅中に、イモビライザー警告灯が約5秒間点灯します。



58MST0302

※前記の手順を行なっても切り替わらないときは、鉛バッテリーあがりなどの別の原因が考えられます。スズキ販売店またはスズキ代理店にご連絡ください。

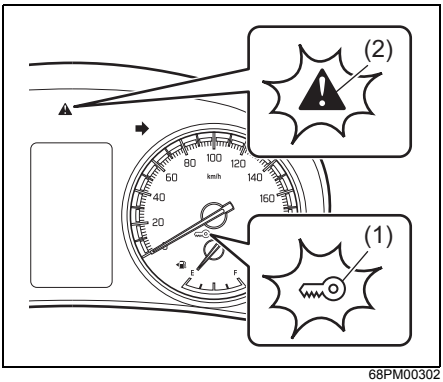
アドバイス

- 設定の切替え（カスタマイズ）をすると、携帯リモコン検出範囲外警告ブザー（室内ブザー）を1回鳴らすことができます。設定の切替えについては、スズキ販売店またはスズキ代理店にご相談ください。
- 携帯リモコンの電池切れが近いと、エンジンスイッチを ON にしたときに、マルチインフォメーションディスプレイにメッセージが表示されます。
  → **3-13 ページ（携帯リモコン電池消耗警告表示）**
  → **6-8ページ（携帯リモコンの電池交換）**

携帯リモコン車外持ち出し警告

次のような場合、室内／車外ブザーが約2秒間断続的に鳴るとともに、メーター内のイモビライザー警告灯およびマスターウォーニングが点滅し、携帯リモコンの車外持ち出しを警告します。

- エンジン回転中、またはエンジンスイッチが ACC または ON 位置にある状態で、いずれかのドアを開け、そのあとすべてのドアを閉めたときに携帯リモコンが車内にない場合
- エンジンスイッチが ACC または ON 位置にある状態で、エンジンを始動しようとしたときに携帯リモコンが車内にない場合



68PM00302

(1) イモビライザー警告灯(点滅)
(2) マスターウォーニング(点滅)

- 上図のメーターは代表例です。お車のタイプにより異なります。

警告が作動したときは、すみやかに携帯リモコンを車内にもどしてください。

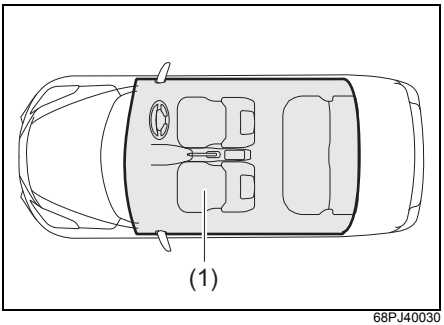
- 警告の作動中は、エンジンの再始動ができません。
- イモビライザー警告灯の点滅は、通常、携帯リモコンが車内にもどってきてから少しすると消灯します。消灯しない場合は、一度エンジンスイッチをLOCK（OFF）にもどしてから再操作してください。

アドバイス

携帯リモコンは運転者が所持し、管理してください。

エンジン始動／電源切替え／携帯リモコン車外持ち出し警告の作動範囲（車内）

「**車内の作動範囲**」（1）は、インパネの上や荷室などを除く車室内です。



68PJ40030

アドバイス

- 「**車内の作動範囲**」に携帯リモコンがあっても、次のような状況にあるとリモコンが検知されず、エンジン始動や電源切替えができない場合があります。また、携帯リモコン車外持ち出し警告が作動する場合があります。
  - 携帯リモコンの電池が消耗している
  - 携帯リモコンが強い電波やノイズの影響を受けている
  - 携帯リモコンが金属製のものと接していたり、覆われたりしている
  - 携帯リモコンが奥まったところや収納スペースなどにある
    → **5-10ページ（ドリンクホルダー・収納スペース）**
  - 携帯リモコンがメーターの手前やサンバイザー、床にある

アドバイス

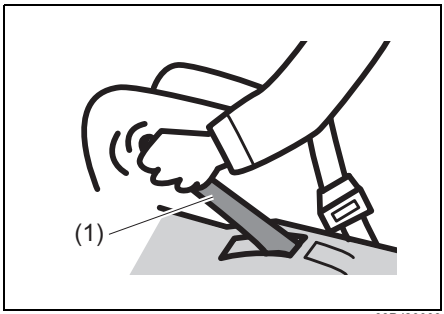
- 「**車内の作動範囲**」に携帯リモコンがなくても、次のような状況にあるとリモコンが検知され、エンジン始動や電源切替えができる場合があります。また、携帯リモコン車外持ち出し警告が作動しない場合があります。
  - 車外に携帯リモコンがあっても、ドアに近づきすぎている
  - 携帯リモコンがインパネの上や荷室にある

エンジンのかけかた

2-13 ページの「**エンジンをかけるときは**」もあわせてお読みください。

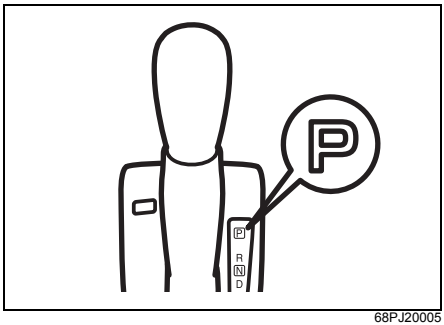
Aタイプのメーター装備車

1 パーキングブレーキ（1）がしっかりかかっていることを確認します。



68PJ20003

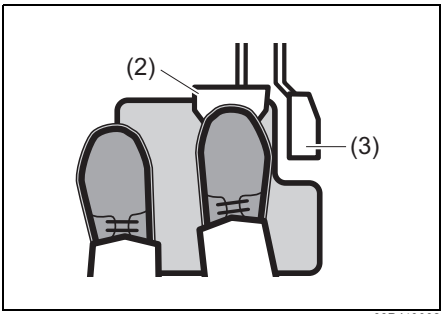
2 セレクトレバーが P になっていることを確認します。



68PJ20005

3 右足でブレーキペダル（2）をしっかり踏み続けます。

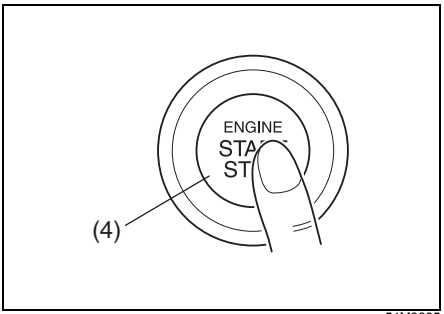
- アクセルペダル（3）は踏まないでください。



68PJ40002

4 メーター内のプッシュ表示灯 が点灯したら、エンジンスイッチ（4）を押します。エンジンがかかったら、スターターは自動的に停止します。

- エンジンがかからなくても、スターターはしばらくすると自動的に停止します。自動停止後またはシステム異常時は、エンジンスイッチを押している間だけ、スターターがまわります。



54M3095

アドバイス

- ヘッドライトやエアコンなどのスイッチを切った方が、エンジンはかかりやすくなります。
- ハンドルロックが解除できなくて、エンジンの始動ができない場合があります。
  → **4-3ページ（ハンドルロックが解除できないときは）**

■ プッシュ表示灯 が点滅してエンジンがかからないときは

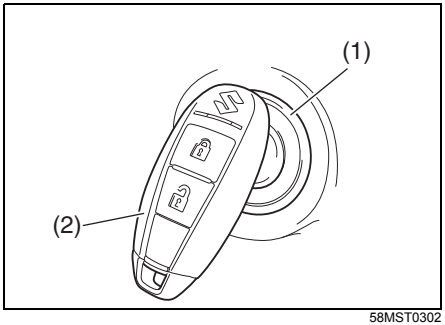
携帯リモコンが「**車内の作動範囲**」（**4-9ページ**参照）で検知されていないことが考えられます。運転者は携帯リモコンを身につけ、メーター内のプッシュ表示灯 の消灯後、操作をやり直してください。それでもエンジンがかからないときは、携帯リモコンの電池切れのおそれがあります。次の手順を行なってください。

1 セレクトレバーが P に入っていることを再確認し、ブレーキペダルをしっかり踏み続けます。

2 メーター内のプッシュ表示灯 が点灯したら、エンジンスイッチ（1）を押します。

3 メーター内のプッシュ表示灯 が点滅している約10秒以内に、携帯リモコン（2）の先端（ロックスイッチ側）をエンジンスイッチに約2秒間当てます。

- プッシュ表示灯 の点滅中に、イモビライザー警告灯が約5秒間点灯します。



58MST0302

※前記の手順を行なってもエンジンがかからないときは、鉛バッテリーあがりなどの別の原因が考えられます。スズキ販売店またはスズキ代理店にご連絡ください。

アドバイス

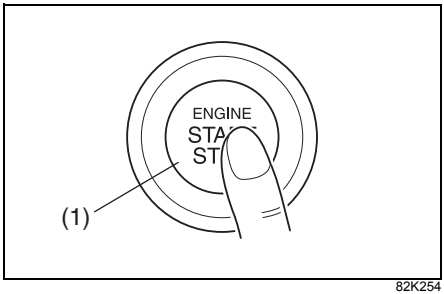
- 設定の切替え（カスタマイズ）をすると、携帯リモコン検出範囲外警告ブザー（室内ブザー）を1回鳴らすことができます。設定の切替えについては、スズキ販売店またはスズキ代理店にご相談ください。
- 携帯リモコンの電池切れが近いと、エンジンスイッチを ON にしたときに、メーター内の携帯リモコン電池消耗警告灯が約15秒間点灯します。
  → **3-13ページ（携帯リモコン電池消耗警告表示）**
  → **6-8ページ（携帯リモコンの電池交換）**

Bタイプのメーター装備車

1 、2 、3 は、Aタイプのメーター装備車と同じ操作です。

4 メーター内のマルチインフォメーションディスプレイに「スタートスイッチを押して下さい」が表示されたらエンジンスイッチ（1）を押します。エンジンがかかったら、スターターは自動的に停止します。

- エンジンがかからなくても、スターターはしばらくすると自動的に停止します。自動停止後またはシステム異常時は、エンジンスイッチを押している間だけ、スターターがまわります。



82K254

■ ⚠（マスターウォーニング）が点滅してエンジンがかからないときは

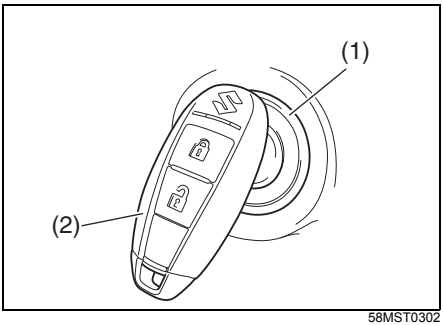
携帯リモコンが「**車内の作動範囲**」（**4-9ページ**参照）で検知されていないことが考えられます。運転者は携帯リモコンを身につけ、操作をやり直してください。それでもエンジンがかからないときは、携帯リモコンの電池切れのおそれがあります。次の手順を行なってください。

1 セレクトレバーが P に入っていることを再確認し、ブレーキペダルをしっかり踏み続けます。

2 メーター内のマルチインフォメーションディスプレイに「スタートスイッチを押して下さい」が表示されたらエンジンスイッチ（1）を押します。

3 メーター内の ⚠（マスターウォーニング）が点滅している約 10 秒以内に、携帯リモコン（2）の先端（ロックスイッチ側）をエンジンスイッチに約2秒間当てます。

- ⚠（マスターウォーニング）の点滅中に、イモビライザー警告灯が約５秒間点灯します。またマルチインフォメーションディスプレイにメッセージが表示されます。



58MST0302

※前記の手順を行なってもエンジンがかからないときは、鉛バッテリーあがりなどの別の原因が考えられます。スズキ販売店またはスズキ代理店にご連絡ください。

アドバイス

- 設定の切替え（カスタマイズ）をすると、携帯リモコン検出範囲外警告ブザー（室内ブザー）を1回鳴らすことができます。設定の切替えについては、スズキ販売店またはスズキ代理店にご相談ください。
- 携帯リモコンの電池切れが近いと、エンジンスイッチを ON にしたときに、メーター内のマルチインフォメーションディスプレイにメッセージが表示されます。
  → **3-100ページ（マルチインフォメーションディスプレイのメッセージ）**
  → **6-8ページ（携帯リモコンの電池交換）**

エンジンの止めかた

エンジンを止めるときは

車両の状態	エンジン停止方法
停車中	エンジンスイッチを押す
走行中（緊急時）	エンジンスイッチを3連打以上、または2秒以上長押しする

⚠ 警告

緊急時以外は、走行中にエンジンを止めないでください。

- **ブレーキ倍力装置が働かないため、ブレーキペダルを踏むときに強い力が必要になります。**
- **パワーステアリング装置が働かないため、ハンドルが重くなります。**
- **次の機能が作動しません。**
  - **ABS**
  - **ESP®**
  - **レーダーブレーキサポートII（RBSII）**
  - **エマージェンシーストップシグナル（ESS）**

注 記

走行中にエンジンを止めると、オートマチックトランスミッションが損傷するおそれがあります。

4

- 停車中にエンジンを停止できないときは、エンジンスイッチを3連打以上、または 2 秒以上長押ししてください。この場合、システムの異常が考えられますので、スズキサービス工場で点検を受けてください。

エンジンスイッチをもどすときは

1 セレクトレバーを P に入れ、セレクトレバーのボタンから手を離します。
→ **4-17ページ（セレクトレバーの操作）**

2 エンジンスイッチを押して LOCK（OFF）にもどします。

アドバイス

メーターのタイプによっては、エンジンスイッチをもどすときに、マルチインフォメーションディスプレイにメッセージが表示される場合があります。
→ **3-100ページ（マルチインフォメーションディスプレイのメッセージ）**

- エンジンスイッチを LOCK（OFF）にもどしていずれかのドアを開閉すると、ハンドルロックがかかります。
- 誤操作防止のため、次のようなときはエンジンスイッチを LOCK（OFF）にもどせません。
  - セレクトレバーの位置が P 以外
  - セレクトレバーの位置が P に入っていても、セレクトレバーのボタンを押しているとき
  → **4-28ページ（駐車）**

- セレクトレバーの故障などで、エンジンスイッチを LOCK（OFF）にもどせないことがあります。スズキサービス工場で点検を受けてください。なお、点検前には次の作業をしてください。
  - 盗難を防ぐため、キー操作にてドアを施錠してください。（リクエストスイッチやキーレスエントリーでは施錠できません）
  - 鉛バッテリーあがりを防ぐため、バッテリーのマイナス端子を外してください。（10 mm スパナなどの市販工具が必要です）

■ エンジンスイッチもどし忘れ警告ブザー

エンジンスイッチのもどし忘れを防止するためのブザーです。

- エンジンスイッチを ACC にしたまま運転席ドアを開けると、室内ブザーが“ピー、ピー、”と断続的に鳴ります。
- セレクトレバーを P に入れ、セレクトレバーのボタンから手を離します。エンジンスイッチを2回押して LOCK（OFF）にもどすと、室内ブザーが止まります。

LOCK（OFF）にもどさないと、リクエストスイッチや携帯リモコンでドアが施錠できません。

■ ハンドルロック未作動警告ブザー

故障などで、エンジンスイッチを LOCK（OFF）にもどして、いずれかのドアを開閉してもハンドルがロックされない場合、運転席ドアを開けると、室内ブザーが“ピッ、ピッ、”と断続的に鳴ります。スズキサービス工場で点検を受けてください。

パーキングブレーキの操作

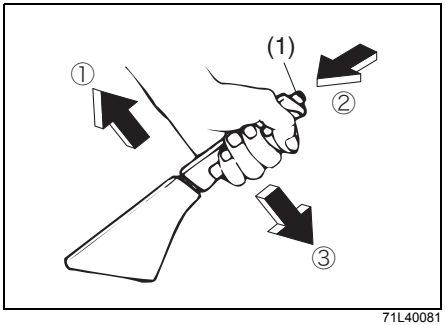
パーキングブレーキは後輪にかかります。駐車するときはパーキングブレーキをしっかりとかけてください。

駐車するときは

ボタン（1）を押さずにパーキングブレーキレバーをいっぱいに引き上げます。

解除するときは

- レバーを少し引き上げながら（①）レバー先端のボタン（1）を押し込み（②）、そのまま下まで完全におろします（③）。
- 坂道発進するときは、パーキングブレーキをかけたまま右足でアクセルペダルを慎重に踏み、車が動き出す感触を確認しながらパーキングブレーキを解除してください。



71L40081

⚠警告

パーキングブレーキを解除したときは、メーター内のブレーキ警告灯が消灯しているか確認してください。万一、パーキングブレーキをかけたまま走行した場合、ブレーキ装置が過熱してブレーキが効かなくなるおそれがあります。

→ 1-16ページ（警告灯）

■ パーキングブレーキ解除忘れ警告ブザー

パーキングブレーキを解除し忘れたまま走行すると、室内ブザーが“ピピピッ、ピピピッ”と鳴り続けます。

⚠警告

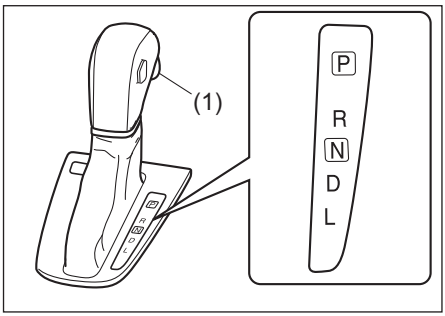
警告ブザーが鳴ったときは、ただちに安全な場所に停車し、パーキングブレーキを解除してください。走行中の解除は、操作に気を取られて思わぬ事故を起こすおそれがあります。

セレクトレバーの操作

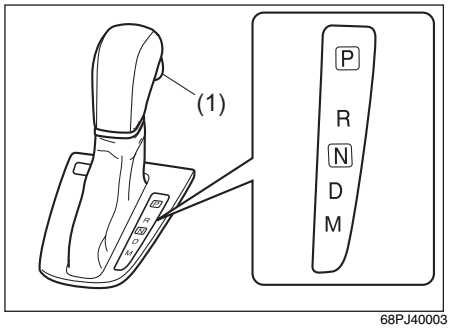
※ 本書で「オートマチック車」と記載されている場合は、「オートマチック車」または「CVT車」を示しています。

セレクトレバーの各位置のはたらき

CVT車



マニュアルモード付オートマチック車



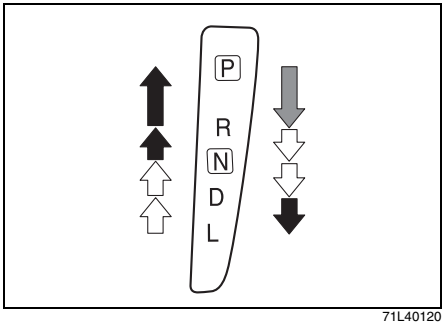
68PJ40003

(1) ボタン

P パーキング	駐車するとき、エンジンを始動・停止するときの位置 ●駆動輪（前輪）が固定されます。
R リバース	車を後退させるときの位置 ●室内で警告ブザーが鳴り、運転者にセレクトレバーが R に入っていることを知らせます。
N ニュートラル	エンジンの動力が伝わらない状態の位置 ●エンジンを始動できますが、安全のため P の位置で始動してください。
D ドライブ	通常走行の位置 ●車の速度とアクセルペダルの踏み込み量により、自動的に変速され走行できます。
L ロー (CVT車)	強力なエンジンブレーキを効かせるときなどの位置 ●急な下り坂を走行するときなどに使用します。
M マニュアル (マニュアルモード付オートマチック車)	マニュアルモードで走行するときの位置 ●マニュアル感覚で走行したいとき、坂道や山間路を走行するときなどに使用します。 → **4-21ページ（マニュアルモードの使いかた）**

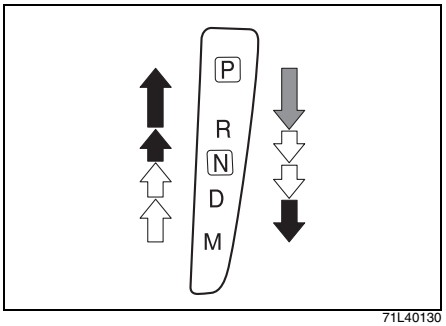
セレクトレバーの動かしかた

CVT車



71L40120

マニュアルモード付オートマチック車



71L40130

⇩	ブレーキペダルを踏み、ボタンを押したままセレクトレバーを動かします。
⇧ ⇩	ボタンを押さずにセレクトレバーを動かします。
⇧ ⇩	ボタンを押したままセレクトレバーを動かします。

⚠注意

運転席および助手席にお乗りの方の乗車姿勢によってはひざなどが当たって、セレクトレバーを動かしてしまうことがあります。

注 記

完全に停車させてから、セレクトレバーを R に入れてください。車が動いていると、トランスミッションが故障する原因となります。なお、トランスミッション保護のため、前進車速が約10 km/h以上のときは変速されません。（ニュートラルのまま）

アドバイス

⇧⇩ の操作は、セレクトレバーのボタンを押さない習慣を付けてください。常にボタンを押して操作していると、間違って次の位置へ入れてしまうおそれがあります。

- CVT車は、
  P R L
- マニュアルモード付オートマチック車は、
  P R M

■ シフトロックシステム

発進するときなどに、セレクトレバーの誤操作を防ぐシステムです。

- エンジンスイッチが ON でブレーキペダルを踏んでいるときだけ、セレクトレバーを P からほかの位置に動かせます。
- エンジンスイッチが ACC または LOCK（OFF）のときは、ブレーキペダルを踏んでいても、セレクトレバーを P からほかの位置に動かせません。
- セレクトレバーのボタンを押してから、ブレーキペダルを踏まないでください。シフトロックが解除されないことがあります。
- 万一、エンジンスイッチを ON にして、ブレーキペダルを踏んでもセレクトレバーを P からほかの位置へ動かせない場合、次の手順でシフトロックを解除してください。
  この場合は、シフトロックシステムなどの故障が考えられます。ただちにスズキサービス工場で点検を受けてください。

⚠警告

セレクトレバー可動部に飲み物などをこぼしたり、内部に異物が入ったりした場合、そのまま使用を続けるとシフトロックシステムが正常に機能しなくなるおそれがありますので、すみやかにスズキサービス工場で点検を受けてください。

⚠注意

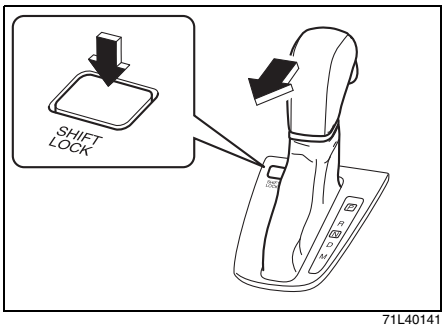
発進するときは、ブレーキペダルをしっかり踏んだままセレクトレバーを操作してください。

■ シフトロックの解除のしかた

シフトロックシステムの故障や鉛バッテリーあがりなどで、セレクトレバーを P からほかの位置へ動かせないときは、次の手順でシフトロックを解除します。

1 安全のため、パーキングブレーキをしっかりとかけ、ブレーキペダルを踏んだ状態にします。

2 セレクトレバーパネルにあるシフトロック解除ボタンを押しながら、セレクトレバーを操作します。



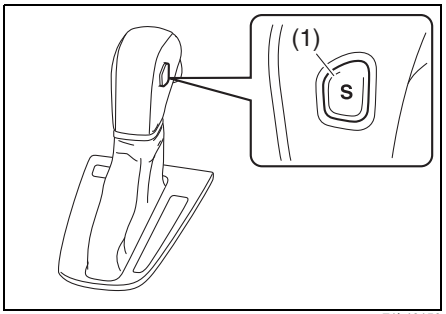
71L40141

- 上図のセレクトレバーは代表例です。お車のタイプにより異なります。

S（スポーツ）モードスイッチ

CVT車

- スイッチを押すごとに、ON と OFF が切り替わります。
- ON のとき、メーター内のマルチインフォメーションディスプレイに S（スポーツ）モード表示が表示されます。
- S（スポーツ）モードスイッチは、エンジン始動時にはOFF状態にもどります。



71L40150

(1) S(スポーツ)モードスイッチ

■ スイッチがONのとき

坂道や山間路の走行に適しています。

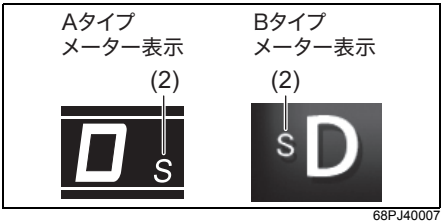
- 下り坂では、エンジンブレーキがかかります。
- 上り坂や山間路ではエンジン回転数を高く保ち、エンジン回転の変化が少ない力強くなめらかな走行ができます。

■ スイッチがOFFのとき

通常走行に適しています。

- 燃費性能と静粛性の高い走行ができます。

■ S（スポーツ）モード表示



68PJ40007

(2) S(スポーツ)モード表示

メーター内のマルチインフォメーションディスプレイにあります。

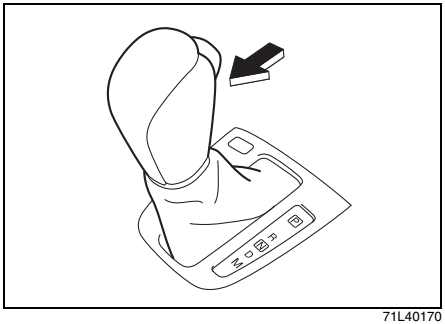
- S（スポーツ）モードスイッチがONのときに表示されます。
  → **3-75ページ（マルチインフォメーションディスプレイ（Aタイプ））**
  → **3-85ページ（マルチインフォメーションディスプレイ（Bタイプ））**

マニュアルモードの使いかた

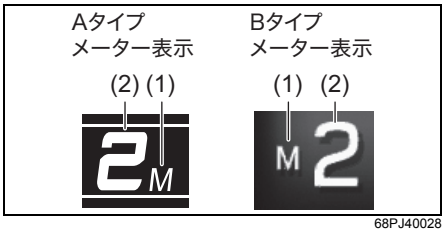
マニュアルモード付オートマチック車

AT 車は自動的に変速しますが、マニュアルモード（手動変速モード）にすると、任意に変速することができます。マニュアルモードにするときは、セレクトレバーを D から M に動かします。

- メーター内のマルチインフォメーションディスプレイに、M（マニュアル）モード表示（1）と現在のギヤポジションが表示されます。
- セレクトレバーを D から M に動かした直後のギヤポジションは、D のときに自動的に選択されていたギヤポジションです。



71L40170



68PJ40028

(1) M（マニュアル）モード表示
(2) ギヤポジション表示

- セレクトレバーを M に動かさなくても、走行中 D のままパドルシフトスイッチを手前に引くと、一時的にマニュアルモードにすることができます。
  → **4-22 ページ（一時的にマニュアルモードにするときは）**

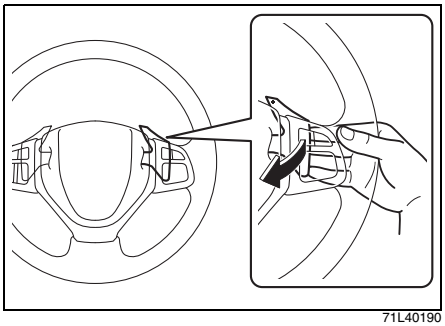
■ マニュアルモード時のシフト操作

ギヤポジションは、走行速度に応じて 1 速から 6 速まで選択できます。

- エンジンおよびトランスミッション保護のため、シフト操作をしなくてもエンジンが高回転になると、自動的にシフトアップします。
- シフト操作をしなくても車のスピードが低下すると、自動的にシフトダウンし、停車するとギヤポジションは **1** になります。
- アクセルペダルを大きく踏み込むと、マニュアルモード時でもキックダウンすることがあります。
  → **4-23ページ（キックダウン）**

シフトアップしたいとき

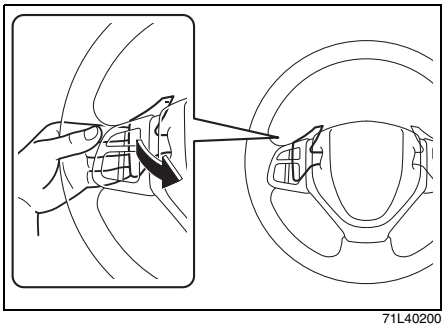
ハンドルの右側にあるパドルシフトスイッチ（**+**側）を手前に引きます。手を離すと、スイッチは自動的にもとの位置にもどります。



71L40190

シフトダウンしたいとき

ハンドルの左側にあるパドルシフトスイッチ（**ー**側）を手前に引きます。手を離すと、スイッチは自動的にもとの位置にもどります。



71L40200

アドバイス

- 連続して変速したいときは、パドルシフトスイッチから手を離してから、スイッチを引き直す必要があります。スイッチを引いた状態のままでは、連続して変速できません。
- 左右のパドルシフトスイッチを同時に操作すると、変速しないことがあります。

■ マニュアルモードシフト警告

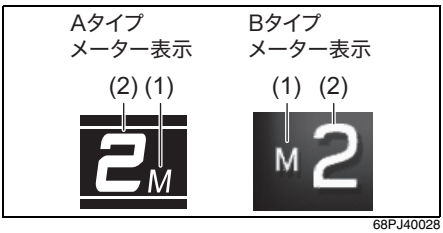
走行性能を確保するため、またはトランスミッションの保護のため、シフト操作をしても希望するギヤポジションに変速されない場合があります。
このようなときは、警告ブザーが「ピピッ」と鳴ります。

■ マニュアルモードを解除するときは

セレクトレバーを M から D にもどすと、マニュアルモードが解除されます。

■ 一時的にマニュアルモードにするときは

D で走行中（低車速時を除く）に、パドルシフトスイッチを手前に引きます。メーター内のマルチインフォメーションディスプレイに、M（マニュアル）モード表示（1）と現在のギヤポジションが表示されます。



68PJ40028

(1) M(マニュアル)モード表示
(2) ギヤポジション表示

- 次のような操作または状況になると、マニュアルモードが自動的に解除され、もとの制御にもどります。
  - 変速しないで、一定時間アクセルペダルを踏み続けたとき
  - 低車速になったとき

オートマチック車の特性

オートマチック車は、クラッチ操作とギヤチェンジから解放されて運転操作が楽になりますが、オートマチック車特有の現象や操作上の注意があります。

クリープ現象に注意して

エンジンをかけて停車しているとき、セレクトレバーが P N 以外に入っていると、アクセルペダルを踏まなくても車がゆっくり動きます。これをクリープ現象といいます。

⚠注意

●セレクトレバーを P N 以外に入れているときは、ブレーキペダルをしっかり踏んでください。
●エンジン始動直後やエアコン作動時は、クリープ現象が強くなることがあります。とくにしっかりブレーキペダルを踏んでください。

アドバイス

CVT車もクリープ現象があります。

キックダウン

走行中（低車速時を除く）にアクセルペダルをいっぱいに踏み込むと、自動的にシフトダウンしてエンジン回転が上昇して、力強い加速ができます。これをキックダウンといいます。

- 追い越しなどをしたいときは、アクセルペダルをいっぱいに踏み込みます。キックダウンして力強い加速が得られます。

⚠注意

通常の加速をするときは、アクセルペダルをゆっくり踏み込んでください。いっぱいに踏み込むと、キックダウンして思わぬ急加速のおそれがあります。

登降坂変速制御

セレクトレバーが D の位置で作動する制御です。

- 登坂中と判断するとシフトダウンしてエンジン回転数を高く保ち、少ないアクセル操作でなめらかな走行ができます。
- 降坂中と判断するとシフトダウンし、エンジンブレーキがかかります。

オートマチック車を運転するとき

トランスミッション警告灯



80J219

メーター内にあります。

- AT または CVT のシステムに異常があると、エンジンスイッチが ON のときに点灯します。
  → **3-61ページ（警告灯・表示灯の見かた）**

R（リバース）ポジション警告ブザー

セレクトレバーを R に入れると室内で警告ブザーが鳴り、セレクトレバーが R に入っていることを運転者に知らせます。

アドバイス

R（リバース）ポジション警告ブザーは、車外の人に車の後退を知らせるためのものではありません。

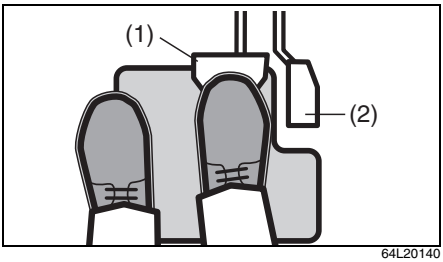
ペダルの踏み間違いに注意

ペダルの踏み間違いを防ぐため、エンジンをかける前にアクセルペダルとブレーキペダルを実際に足で踏んで、位置を確認してください。

⚠ 警告

アクセルペダルとブレーキペダルを踏み間違えると、思わぬ事故につながるおそれがあります。

ブレーキペダルは右足で踏む



64L20140

(1) ブレーキペダル
(2) アクセルペダル

左足では適切なブレーキ操作ができません。ブレーキペダルは右足で踏む習慣をつけてください。

セレクトレバーを操作するときは

- 前進と後退を繰り返すときなどは、セレクトレバーを R に入れたことを忘れることがあります。車を後退させたあとは、すぐに R から N に入れる習慣をつけてください。
- 切り返しなどで前進と後退を繰り返すときは、完全に停車してからセレクトレバーを操作してください。

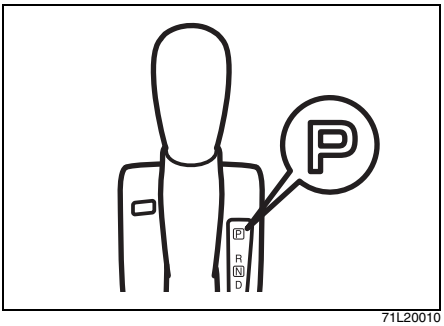
⚠ 警告

アクセルペダルを踏んだままセレクトレバーを操作しないでください。急発進して事故を起こすおそれがあります。

セレクトレバーの位置は目で確認

始動時や降車時は P 、前進時は D 、後退時は R にあることを目で確認してください。

車から離れるときは



71L20010

⚠ 警告

エンジンをかけたまま車から離れないでください。万一、セレクトレバーが P 以外に入っていると、車がひとりでに動き出すおそれがあります。また、車に乗り込むときに誤ってセレクトレバーを動かしたりアクセルペダルを踏み込んだりして、思わぬ急発進のおそれがあります。

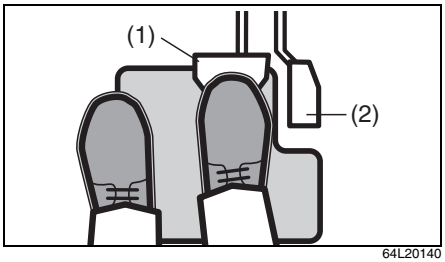
オートマチック車の運転のしかた

4-17 ページの「**セレクトレバーの操作**」もあわせてお読みいただき、正しい取扱いをしてください。

運転席にすわって

1 ペダルが確実に踏めて、ハンドル操作が楽に行なえる位置にシートを調節し、ハンドルを調節します。
→ **3-26ページ（前席シート）**
→ **3-26 ページ（テレスコピック & チルトステアリング）**

2 アクセルペダル（2）とブレーキペダル（1）の位置を右足で確認します。



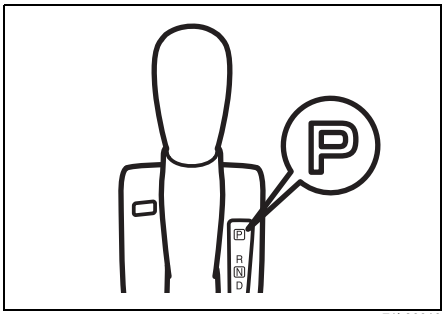
64L20140

エンジンの始動

エンジンのかけかたの詳細は、**4-10 ページ**の「**エンジンのかけかた**」をお読みください。

1 パーキングブレーキをしっかりとかけます。

2 セレクトレバーが P にあるか確認します。



71L20010

アドバイス

セレクトレバーが N の位置でもエンジンがかかりますが、安全のため P でエンジンをかけてください。

3 ブレーキペダルを右足で踏みます。

4 エンジンを始動します。

発進

■ 通常の発進

1 ブレーキペダルを右足でしっかり踏み込みます。

2 前進時は D 、後退時は R にセレクトレバーを入れ、レバーの位置を目で確かめます。

3 パーキングブレーキを解除し、メーター内のブレーキ警告灯の消灯を確認します。

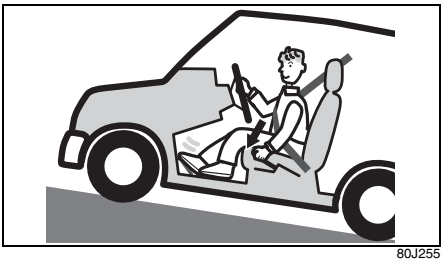
4 ブレーキペダルからゆっくりと足を離し、アクセルペダルをゆっくり慎重に踏んで発進します。

■ 急な上り坂での発進

1 、2 は「**通常の発進**」と同じ操作です。

3 ブレーキペダルからゆっくりと右足を離し、アクセルペダルを慎重に踏みます。

4 車が動き出す感触を確認しながら、パーキングブレーキレバーを解除して発進します。



80J255

アドバイス

パーキングブレーキをかけると、ヒルホールドコントロールが作動しません。

→ **4-49ページ（ヒルホールドコントロール）**

走行

■ 通常走行

セレクトレバーを D に入れて発進すると、走行速度とアクセルペダルの踏み込み量により、自動的に変速され走行できます。

⚠注意

緊急時以外は、走行中にセレクトレバーを N にしないでください。エンジンブレーキがまったく効かないため、思わぬ事故の原因となります。

■ 急加速走行

追い越しなどをしたいときは、アクセルペダルをいっぱいに踏み込みます。
キックダウンして力強い加速が得られます。

■ 上り坂走行

上り坂を D で走行しているときに、スピードを保つためにアクセルペダルを踏み込んでいくと、キックダウンしてエンジンの回転が急に上がることがあります。

CVT車

坂の勾配に応じて、あらかじめ S（スポーツ）モードスイッチを ON にしておくと、エンジン回転の変化が少ない力強くなめらかな走行ができます。

■ 下り坂走行

下り坂を D のままで走行すると、エンジンブレーキの効きが弱くてスピードが出すぎてしまうことがあります。

CVT車

- 坂の勾配に応じて、あらかじめ S（スポーツ）モードスイッチを ON にしてエンジンブレーキを併用します。
- 急な下り坂で、強力なエンジンブレーキが必要なときには L に入れます。

マニュアルモード付オートマチック車

坂の勾配に応じて、あらかじめパドルシフトスイッチ（－側）を操作して適切なギヤポジションにして、エンジンブレーキを併用します。

⚠警告

急な下り坂や長い下り坂では、エンジンブレーキを併用してください。下り坂でブレーキペダルを踏み続けると、ブレーキ装置が過熱してブレーキが効かなくなるおそれがあります。

一時停止

1 セレクトレバーは走行位置のままで停車し、ブレーキペダルをしっかり踏み込みます。

- 急な坂道で一時停止するときは、必要に応じてパーキングブレーキをかけます。
- 停車時間が長くなりそうなときは、セレクトレバーを N に入れます。

2 再発進するときに間違えないよう、セレクトレバーの位置とパーキングブレーキの解除を目で確かめます。

⚠ 警告

一時停止しているときに、空ぶかしをしないでください。万一、セレクトレバーが P N 以外に入っていると、急発進して思わぬ事故につながるおそれがあります。

注 記

上り坂などで、アクセル操作でバランスをとるなどして車を停止させようとしないでください。トランスミッションフルードが過熱し、故障の原因となります。

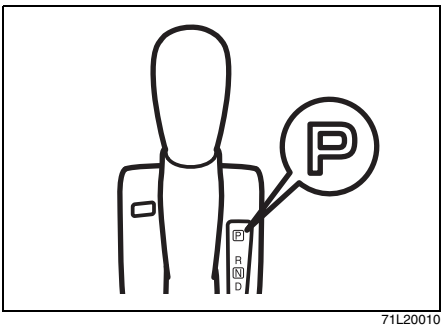
駐車

1 車を完全に止めます。

2 ブレーキペダルを踏んだまま、パーキングブレーキをしっかりとかけます。

3 セレクトレバーを P に入れてからエンジンを止め、ブレーキペダルからゆっくりと足を離します。

- セレクトレバーが P の位置になっているか目で確かめます。



71L20010

⚠ 警告

駐車するときは、必ずセレクトレバーを P に入れてからエンジンを止めてください。P 以外の位置ではシフトロックが作動せず、誤操作などで思わぬ事故につながるおそれがあります。

4 エンジンスイッチを LOCK (OFF) にもどします。

→ **4-14 ページ（エンジンスイッチをもどすときは）**

後退

■ 正しい運転姿勢

車を後退させるときは身体をひねった運転姿勢になり、ペダルが踏みにくくなります。ブレーキペダルやアクセルペダルが確実に踏める姿勢で運転操作をしてください。

■ 前進や後退を繰り返すとき

車庫入れなどで前進や後退を繰り返すときは、完全に停車させてから、次の前進あるいは後退の操作を行なってください。

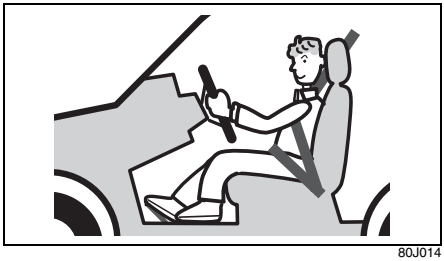
アドバイス

前進と後退を繰り返すときなどは、セレクトレバーを R に入れていたことを忘れることがあります。車を後退させたあとは、すぐに R から N に入れる習慣をつけてください。

こんなことにも気をつけて

■ 車を少し移動させるとき

少しだけ移動するときでも、ブレーキペダルやアクセルペダルが確実に踏める正しい運転姿勢をとってください。



80J014

⚠注意

坂道などで、セレクトレバーを前進の位置（※）にしたまま惰性で後退したり、後退の位置（ R ）にしたまま惰性で前進したりしないでください。エンストしてブレーキの効きが悪くなったり、ハンドルが重くなったりして、思わぬ事故につながるおそれがあります。また、故障の原因になります。
※CVT車の
D L
マニュアルモード付オートマチック車の
D M

■ 停車するとき

注 記

車が少しでも動いているときは、セレクトレバーを P に入れないでください。トランスミッションが故障する原因となります。

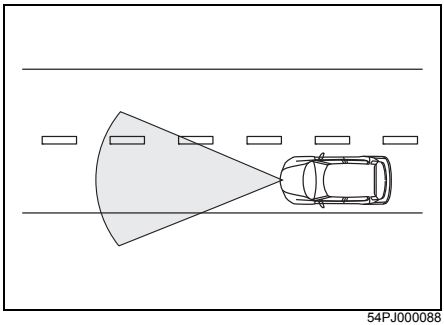
アダプティブクルーズコントロール

アダプティブクルーズコントロールは次の条件をすべてみたしているときに使用できます。

- 車速が 約40km/h～約100km/hのとき
- セレクトレバーが D または M （マニュアルモード）で３速から６速のとき
- ESP® OFFスイッチが押されていないとき
- シートベルトを着用しているとき
- 半ドア警告灯が消灯しているとき
- パーキングブレーキが確実に解除されているとき

①定速制御（先行車がいないとき）

セットした目標車速で定速走行します。

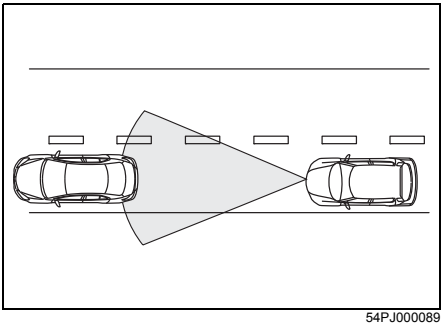


54PJ000088

- 目標車速は、約40km/h～約100km/hの間でセットできます。

②減速制御（セット車速より遅い先行車が現れたとき）

レーダーが先行車を検知すると、先行車の車速に応じて、設定した車間距離を保ちながら自動減速し、先行車に追従します。

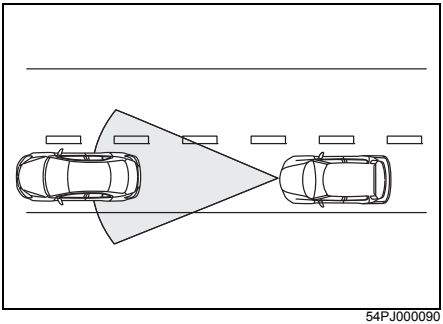


54PJ000089

- レーダーが検知可能な先行車との車間距離は、前方約100m以内です。

③追従制御（セット車速より遅い先行車に追従するとき）

先行車の車速に応じて、設定した車間を保ちながら自動減速・自動加速し、先行車に追従します。



54PJ000090

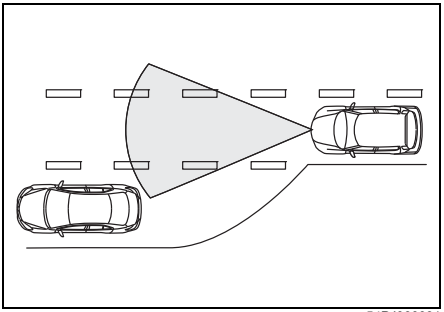
アドバイス

減速・追従制御時に、先行車に接近した場合は、前方衝突警報が作動します。

→ **4-55ページ（前方衝突警報）**

④加速制御（セット車速より遅い先行車がいなくなったとき）

セット車速までゆっくり加速し、定速走行します。



54PJ000091

⚠警告

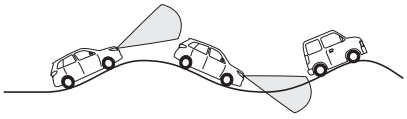
システムを過信しない

常に周囲の状況を確認して、必要に応じてブレーキペダルやアクセルペダルを操作して安全運転に努めてください。アダプティブクルーズコントロールによる制御には限界があります。

次のような状況では使用しない

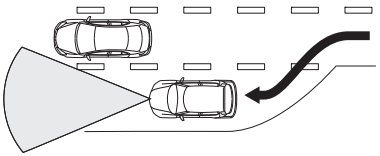
適切な制御が行われず、思わぬ事故につながるおそれがあります

- **交通量の多い道。交通状況にあった速度で走行できないおそれがあります。**
- **急カーブのある道。道路状況にあった速度で走行できないおそれがあります。**
- **凍結や積雪などで滑りやすい道。タイヤが空転し、コントロールを失うおそれがあります。**
- **急な下り坂。定速走行時はブレーキ制御を行わないため、セットした目標車速を超えるおそれがります。また、追従制御時は十分に減速できず、先行車に接近するおそれがあります。**
- **急な上り坂、下り坂が繰り返される道。レーダーが先行車を検知できず、先行車に接近するおそれがあります。**



54P000376

- **けん引されているとき**
- **高速道路の出口など。本線でセット車速より遅い車に追従している場合、出口に向けて本線を外れて先行車がいない状態になると、セット車速まで加速をはじめます。**



54PJ000092

- **事故や故障によって、まっすぐ走行できないとき**
- **右折専用車線や左折専用車線を走行しているとき**
- **前方衝突警報が頻繁に作動するとき**

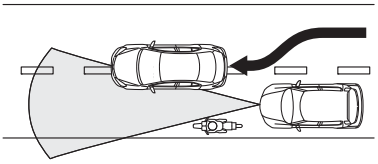
→ 4-55ページ（前方衝突警報）

- **雨、霧、雪、砂嵐などの悪天候時や、レーダーセンサーが設置されているグリルカバーに水滴や雪、汚れなどが付着しているとき。レーダーが先行車との車間距離を正確に測定できないおそれがあります。**

→ 4-59ページ（レーダーセンサーの取扱い）

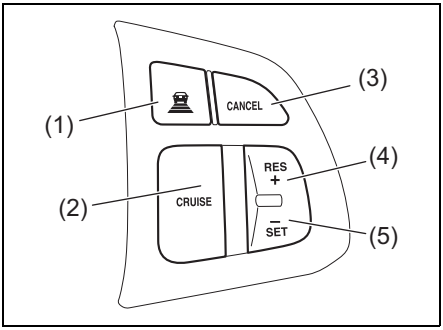
次のような状況に注意して

- 料金所や渋滞の最後尾などで先行車が停車中または低速走行中のときは、レーダーが先行車を検知できず、前方衝突警報も作動しません。ブレーキで減速してください。
- 次のようなときは、レーダーが先行車を正しく検知できないおそれがあります。また、前方衝突警報が作動しないおそれもあります。必要に応じてブレーキで減速してください。
  - 先行車などが路上の水や雪を巻き上げて走行しているとき。
  - 先行車が空荷のトレーラーなど車両の後部が小さすぎるとき
  - 荷室や後席に重い荷物を積むなどして、自車が傾いているとき
- 次のようなときは、レーダーが隣車線の車両や路側などを検知して、前方衝突警報が作動するおそれがあります。
  - カーブ路や、車線幅が狭いとき
  - ハンドル操作などにより、自車の車線内の位置が不安定なとき
- 近距離ではレーダーの検知範囲が狭いため、次のようなときは、先行車の検知が遅れたり検知できなかったりするおそれがあります。必要に応じてブレーキで減速してください。
  - 先行車が急に割り込んできたとき
  - 先行車が車線の端を走行している二輪車のとき



54PJ000093

アダプティブクルーズコントロールスイッチ



54PJ000094

(1) 車間距離設定スイッチ
(2) クルーズスイッチ
(3) キャンセルスイッチ
(4) RES ＋スイッチ
(5) SET －スイッチ

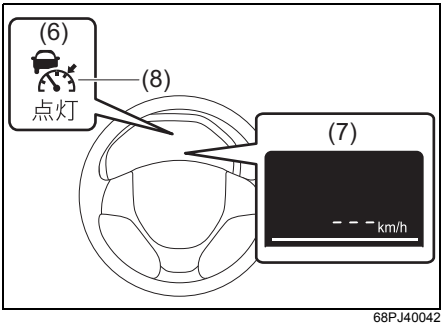
セットのしかた

定速走行時の目標車速をセットします。

1 クルーズスイッチ(2)を押します。

●メーター内もしくはマルチインフォメーションディスプレイに次のような画面が表示されます。

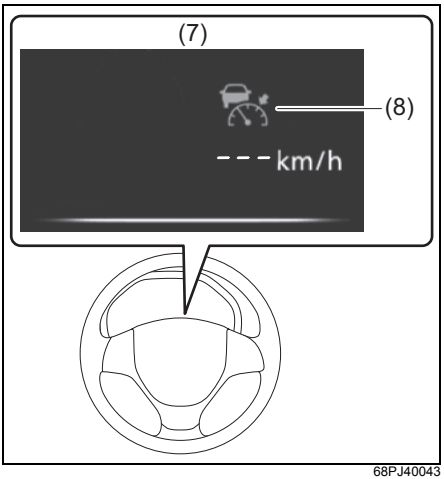
Aタイプメーター装備車



68PJ40042

(6) メーター内表示
(7) マルチインフォメーションディスプレイ表示
(8) クルーズ表示

Bタイプメーター装備車

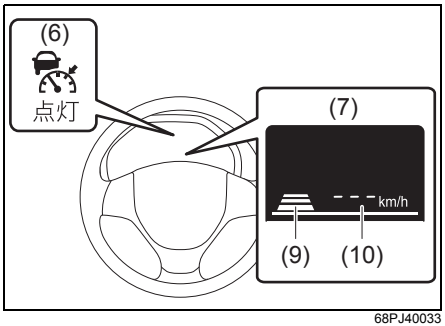


68PJ40043

(7) マルチインフォメーションディスプレイ表示
(8) クルーズ表示

●メーター内もしくはマルチインフォメーションディスプレイに次のような画面が表示されると、目標車速が設定できる状態（待機状態）になります。

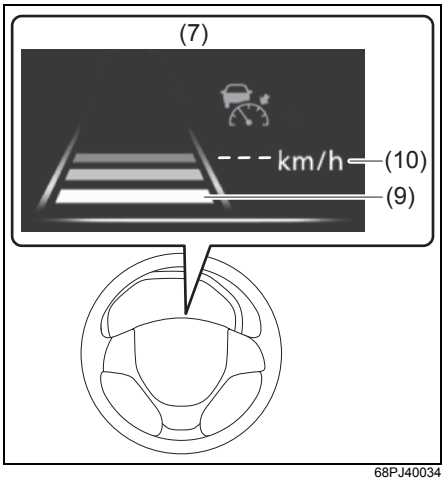
Aタイプメーター装備車



68PJ40033

(6) メーター内表示
(7) マルチインフォメーションディスプレイ表示
(9) 車間距離設定表示(約5秒間表示)
(10)設定速度表示

Bタイプメーター装備車



68PJ40034

(7) マルチインフォメーションディスプレイ表示
(9) 車間距離設定表示(約5秒間表示)
(10)設定速度表示

アドバイス

車間距離設定表示（9）は、待機状態でも切替えることができます。

→ **4-35ページ**
（車間距離設定の切替えかた）

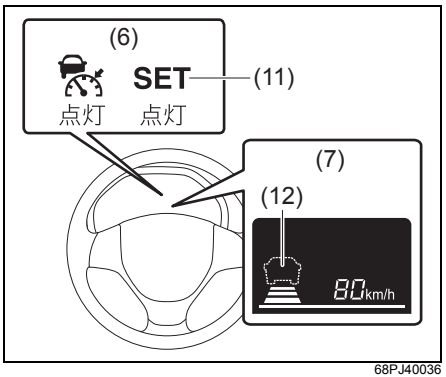
2 アクセルペダルの加減で、希望の車速に調節します。

- 目標車速 約40km/h～100 km/hの間に設定可能です。

3 **SET −**スイッチ（5）を押します。

- メーター内もしくはマルチインフォメーションディスプレイに次のような画面が表示されるとアクセルペダルから足を離しても走行できます。

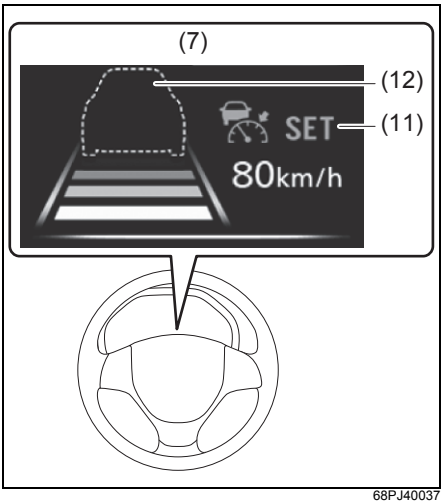
Aタイプメーター装備車



68PJ40036

(6) メーター内表示
(7) マルチインフォメーションディスプレイ表示
(11)クルーズコントロール作動表示
(12)先行車検知表示（先行車なし）

Bタイプメーター装備車



68PJ40037

(7) マルチインフォメーションディスプレイ表示
(11)クルーズコントロール作動表示
(12)先行車検知表示（先行車なし）

アドバイス

先行車検知表示（12）において先行車が検知されている場合は、表示が変わります。

→ **4-35ページ**
（先行車検知表示の見かた）

⚠警告

アダプティブクルーズコントロールを使用しないときは、必ずクルーズスイッチ（2）を押してクルーズ表示（8）を消灯させてください。誤ってアダプティブクルーズコントロールを作動させると、思わぬ事故につながるおそれがあります。

アドバイス

- セットできる車速の上限をこえて走行しているときは、約100 km/hにセットされます。
- 目標車速は、標識や標示で指定された最高速度をこえないようにセットしてください。

→ **4-37ページ（セット車速の変えかた）**

- 次のようなときは、セットできません。
  - セレクトレバーが P R N L および M（マニュアルモード）の1速または2速のとき
  - アダプティブクルーズコントロールが一時機能停止中のとき
- エンジンスイッチを ACC または LOCK（OFF）にすると、自動的にシステムが解除されます。

■ 先行車検知表示の見かた

Aタイプメーター装備車

表示	状況
 68PJ40008	先行車が検知されていないとき（定速制御になります）
 68PJ40009	先行車が検知されているとき（減速・追従制御になります）

Bタイプメーター装備車

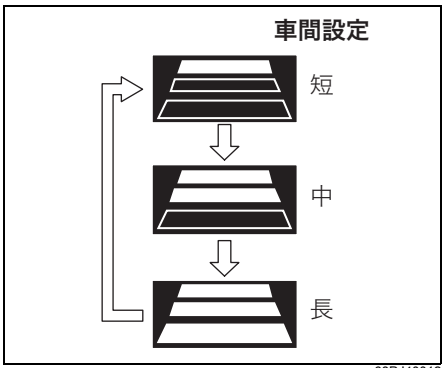
表示	状況
 68PJ40010	先行車が検知されていないとき（定速制御になります）
 68PJ40011	先行車が検知されているとき（減速・追従制御になります）

■ 車間距離設定の切替えかた

先行車の車間距離は、交通状況に応じて「短」、「中」、「長」の３段階から選択できます。

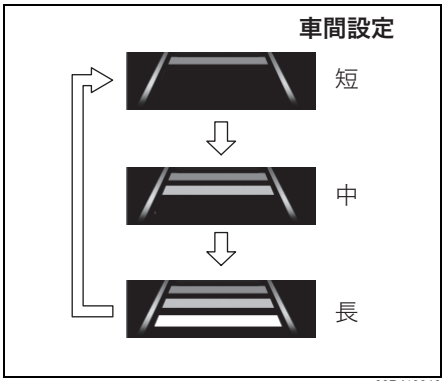
- クルーズコントロール作動表示（11）が点灯しているときに、車間距離設定スイッチ（1）を押すと、車間距離設定表示（9）が次のように切替わります。

Aタイプメーター装備車



68PJ40012

Bタイプメーター装備車



68PJ40013

アドバイス

- エンジンを切ると記憶が消去され、初期状態にもどります。
- 車速や道路状況に応じて適切な車間距離は増減しますが、次の表を参考に設定してください。

＜車速80 km/h走行時の目安＞

車間設定	車間距離
「短」	約35m
「中」	約45m
「長」	約65m

一時的に加減速したいときは

■ 加速したいとき

アクセルペダルを踏んでください。制御が一時的に解除され、通常走行と同様に加速できます。

- アクセルペダルから足を離すと、自動的にもとの制御にもどります。

■ 減速したいとき

ブレーキペダルを踏んでください。制御が解除され、マルチインフォメーションディスプレイのクルーズコントロール作動表示（11）が消えて、待機状態になります。

もとの制御にもどすには

車速が約40 km/h以上のときに、**RES +** スイッチ（4）を押します。マルチインフォメーションディスプレイの表示がもとにもどります。

アドバイス

M モード（マニュアルモード付オートマチック車）で走行中、減速するときは車速に応じてシフトダウンしますが、加速時に自動シフトアップしないので、手動で行なう必要があります。

セット車速の変えかた

■ アクセルペダルを使って

希望の車速まで加速し、**SET −**スイッチ（5）を押します。

■ ブレーキペダルを使って

希望の車速まで減速し、**SET −**スイッチ（5）を押します。

アドバイス

ブレーキペダルを踏んでから再設定するまでは、マルチインフォメーションディスプレイにクルーズコントロール作動表示（11）が表示されません。（待機状態）

■ RES +／SET −スイッチを使って

- 加速するときは、**RES +**スイッチ（4）を押し続けます。
- 減速するときは、**SET −**スイッチ（5）を押し続けます。

希望の車速になったら、スイッチから手を離します。

アドバイス

- 先行車を検知している減速・追従制御時は、**RES +**スイッチ（4）を押し続けてセット車速を上げても加速しません。ただし、先行車がいなくなると、自動的にセット車速まで加速しますので気をつけてください。
- スイッチを短押しすると、希望の車速の微調整（1km/h）ができます。

解除のしかた

■ 制御の一時的な解除

- キャンセルスイッチ（3）を押したとき
- ブレーキペダルを踏んだとき

同時にマルチインフォメーションディスプレイのクルーズコントロール作動表示（11）が消えて、待機状態になります。

もとの制御にもどすには

車速が約40 km/h以上のときに、**RES +**スイッチ（4）を押します。マルチインフォメーションディスプレイのクルーズコントロール作動表示（11）が表示され、もとにもどります。

■ 制御の自動解除

- 車速が約40 km/h以下になったとき
- 車が横滑りしそうになったとき（ESP®作動時を含む）

同時にマルチインフォメーションディスプレイ表示が待機状態になり、室内ブザーが“ピッ”と鳴ります。

- セレクトレバーが P R N L および M （マニュアルモード）の1速または2速のとき

もとの制御にもどすには

制御が解除されたときの状況が改善されるなどしてから、車速が約40 km/h以上のときに**RES +**スイッチ(4) を押します。マルチインフォメーションディスプレイのクルーズコントロール作動表示（11）がもとにもどります。

■ システムの解除

- クルーズスイッチ（2）を押したとき

アドバイス

システム異常があると自動的に解除され、同時にアダプティブクルーズコントロール警告灯が点灯します。

→ **4-39 ページ（アダプティブクルーズコントロール警告灯）**

前方衝突警報

減速・追従制御に先行車が急減速したり、他車が割り込んできたりして、十分に自動減速ができず先行車に接近すると、前方衝突警報が作動して注意を促します。

室内ブザーが、“ピピピピッ”と鳴り、マルチインフォメーションディスプレイに次のメッセージが表示されます。



68PJ40038

- 前方衝突警報が作動したときは、ブレーキペダルを踏んで減速し、適切な車間距離を確保してくだい。

⚠ 警告

- **前方衝突警報が頻繁に作動するような状況では、アダプティブクルーズコントロールを使用しないでください。**
- **次のようなときは、短い車間距離でも前方衝突警報が作動しない場合があります。**
  - **先行車とほぼ同じ速度で走行してるとき**
  - **先行車の方が速く、次第に離れていくとき**
  - **目標車速をセットした直後**
  - **アクセルペダルを踏んでいるときや離した直後**
- **4-32ページの 次のような状況に注意して もあわせてお読みください。**
- **衝突のおそれがあると判断されると、前方衝突警報ブレーキが作動します。**

→ **4-50 ページ（レーダーブレーキ サポートII（RBSII））**

■ アダプティブクルーズコントロール警告灯

Aタイプメーター装備車



54P000233

メーター内にあります。

→ **1-16ページ（警告灯）**

- アダプティブクルーズコントロールのシステムに異常があると、エンジンスイッチが ON のときにオレンジ色に点灯します。スズキサービス工場で点検を受けてください。
- システムが正常な場合はエンジンスイッチを ON にしたときに、約3秒間点灯したあと消灯します。

Bタイプメーター装備車



68PJ40029

マルチインフォメーションディスプレイ内にあります。

→ **4-40ページ（アダプティブクルーズコントロールのメッセージ）**

- アダプティブクルーズコントロールのシステムに異常があると、エンジンスイッチが ON のときにマルチインフォメーションディスプレイ内に表示されます。スズキサービス工場で点検を受けてください。
- システムが正常な場合はエンジンスイッチを ON にしたときに、約3秒間点灯したあと消灯します。

アダプティブクルーズコントロールのメッセージ

システムの異常など、お知らせしたい情報があると、メーター内またはマルチインフォメーションディスプレイに警告灯もしくはメッセージが表示されます。

- メッセージの種類によっては、同時にメーター内のマスターウォーニングが点滅したり、室内ブザーが鳴ったりする場合があります。
- メッセージが表示されたときは、その指示にしたがってください。

Aタイプメーター装備車

メッセージ	マスターウォーニング	ブザー音(室内ブザー)	原因と対処方法
ディスプレイ内 **システムー時停止** 点灯  68PJ40015	 点灯	なし	レーダーブレーキサポートシステムー時停止中表示が表示された状態が解消されないときは、やわらかい布で汚れをふき取ってください。 → **4-59ページ（レーダーセンサーの取扱い）**
ディスプレイ内  68PJ40039	消灯	ピピピ…	先行車に接近しています。ブレーキペダルを踏んで減速し、適切な車間距離を確保してください。 → **4-55ページ（前方衝突警報）**

Bタイプメーター装備車

メッセージ	マスター ウォーニング	ブザー音 (室内ブザー)	原因と対処方法
 54PJ000111	 点滅	ポーン (1回)	アダプティブクルーズコントロールのシステムに異常が考えられます。スズキサービス工場で点検を受けてください。 → **4-39 ページ（アダプティブクルーズコントロール警告灯）**
 68PJ40044	 点滅	ポーン (1回)	レーダーブレーキサポートシステム一時機能停止中表示が表示された状態が解消されないときは、やわらかい布で汚れをふき取ってください。 → **4-59ページ（レーダーセンサーの取扱い）**
 68PJ40045	 点滅	ポーン (1回)	レーダーブレーキサポート II のシステムに異常が考えられます。 スズキサービス工場で点検を受けてください。
 68PJ40040	消灯	ピピピ…	先行車に接近しています。ブレーキペダルを踏んで減速し、適切な車間距離を確保してください。 → **4-55ページ（前方衝突警報）**

ABS装備車の取扱い

ABS（アンチロックブレーキシステム）とは

ABSとは Antilock Brake System（アンチロックブレーキシステム）の略です。ABSはブレーキをかけたときのタイヤのロックを自動的に防止することで、走行安定性や操舵性を確保しようとする装置です。

⚠警告

- **常に周囲の状況を確認して、安全運転に努めてください。ABS による制御には限界があります。**
- **ABS は、タイヤのグリップ限界を超えたり、ハイドロプレーニング現象（※）が起こったりした場合は効果を発揮できません。**
  ※雨天の高速走行などで、タイヤと路面の間に水膜が発生し、接地力を失ってしまう現象

制動距離について

ABSは制動距離を短くするものではありません。

⚠注意

- **急ブレーキをかけたときや、滑りやすい路面でブレーキをかけたときの制動距離は、ABS がついていない車と同等です。**
- **次のようなときは、ABS のついていない車より制動距離が長くなることがあります。スピードを控えめにして、車間距離を十分にとってください。**
  - **凸凹道や石だたみなどの悪路**
  - **じゃり道、新雪路**
  - **道路の継ぎ目などの段差を乗り越えるとき**
  - **マンホールなど鉄板の上を通過するとき**
  - **タイヤチェーンの装着時**
- **急ブレーキ時には、ポンピングブレーキ（※）をせずに、ブレーキペダルを思い切り強く踏み込んでください。ポンピングブレーキをすると、制動距離が長くなります。**
  ※ブレーキペダルを数回に分けて小刻みに踏むブレーキのかけかた
- **路面の状況によりますが、約10 km/h以下ではABSが作動しません。**

ABS作動時の振動や音

ブレーキペダルを強く踏むと、ブレーキペダル、ハンドル、車体の小刻みな振動を感じることがあります。これはABSの作動によるもので、異常ではありません。ブレーキペダルをそのまま強く踏み続けてください。

アドバイス

エンジンをかけて発進した直後に、一時的にモーター音などが聞こえることがあります。これはシステムをチェックしている音で、異常ではありません。

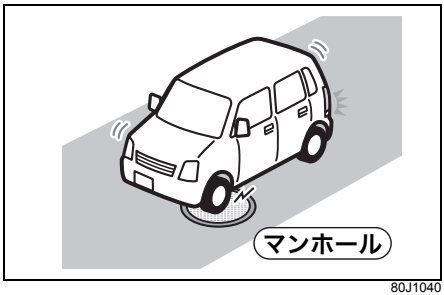
タイヤについて

⚠警告

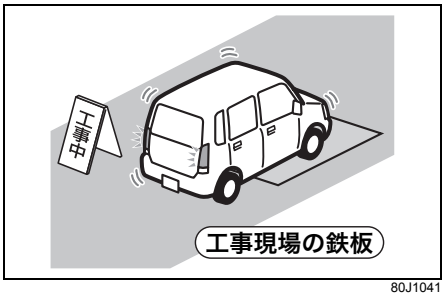
ABSは、各車輪の回転速度をセンサーで検出しています。タイヤ交換時は指定のサイズで、4輪ともサイズ、銘柄、トレッドパターン（溝模様）が同一のものを装着してください。また、著しく摩耗状態の異なるタイヤを使用しないでください。タイヤ回転速度に悪影響をあたえて、ABSが正常に機能しなくなり、思わぬ事故につながるおそれがあります。

ABSは、こんな場合にもブレーキをかけると作動することがあります

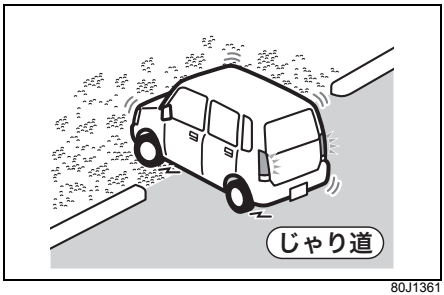
- 滑りやすい路面を走行しているとき



80J1040

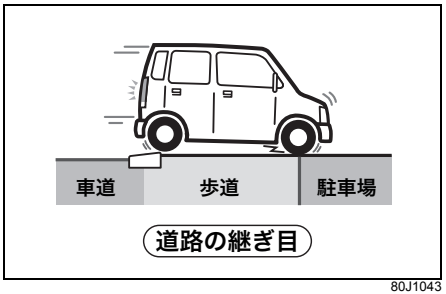


80J1041

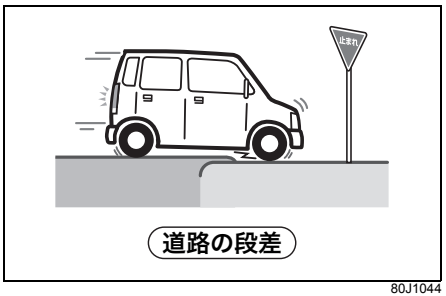


80J1361

● 道路の継ぎ目などの段差を乗り越えるとき

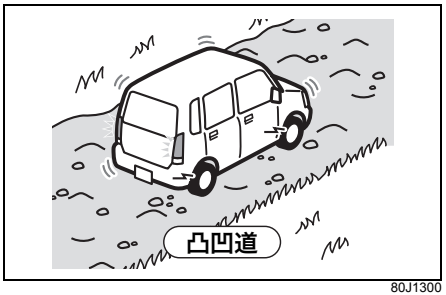


80J1043

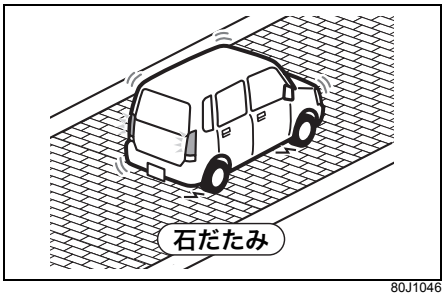


80J1044

● 悪路を走行しているとき



80J1300



80J1046

ABS警告灯



80J127

メーター内にあります。

● ABSの電子制御システムに異常があると、エンジンスイッチが ON のときに点灯します。
→ **1-16ページ（警告灯）**

ブレーキアシスト

ブレーキ踏力を補助する装置です。急ブレーキをかけたときに、ABSの効果が十分に発揮されるまでの時間を短縮します。

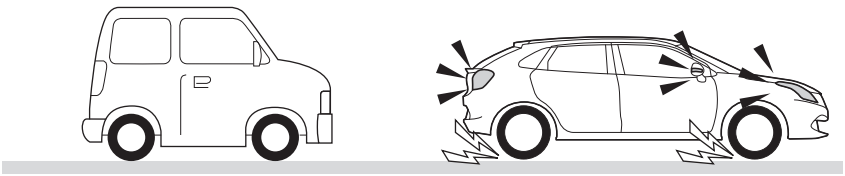
● しっかりとブレーキペダルを踏まないと、ブレーキアシストは作動しません。
● ブレーキアシストは、本来のブレーキ性能を超えた制御をする装置ではありません。

エマージェンシーストップシグナル（ESS）

ESS とは Emergency Stop Signal（エマージェンシーストップシグナル）の略です。ESSは次の条件をすべてみたしているときに、非常点滅表示灯を通常よりも速く点滅させることで、後続車へ注意をうながす機能です。またその際、メーター内の方向指示器表示灯もあわせて点滅します。

- ブレーキペダルを勢いよく踏み込んだときの車速が約55 km/h以上のとき
- ABSが作動しているとき、またはABSが作動するような急ブレーキのとき

作動イメージ



68PM00346

ESSは次の状態になると機能が停止します。

- ブレーキペダルを離したとき
- ABSの作動が終了したとき
- 非常点滅表示灯スイッチの位置を ON にしたとき
- 急減速でなくなったとき

⚠警告

ESS は走行中の急ブレーキ時に、後続車に注意をうながすことで追突されるおそれを軽減する機能で、すべての追突を防ぐものではありません。減速や停車するときは不要な急ブレーキは避け、常に安全運転に努めてください。

アドバイス

- ESSの機能を停止させることはできません。
- ESSの機能よりも、非常点滅表示灯スイッチの操作が優先されます。
- 次のような路面を走行中に、一瞬しかABSが作動しなかったときは、ESS は作動しないことがあります。
  - 滑りやすい路面を走行しているとき
  - 道路の継ぎ目などの段差を乗り越えるとき

ESP®装備車の取扱い

ESP®（※）は、ABS、ブレーキアシスト、トラクションコントロール、スタビリティコントロール（横滑り防止機能）などを総合的に制御して、車両の走行安定性を補助しようとするシステムです。

※ESP®は、Electronic Stability Program（エレクトロニック スタビリティ プログラム）の略で、Daimler AGの登録商標です。

■ ABS（アンチロックブレーキシステム）

4-42ページをお読みください。

■ ブレーキアシスト

ABSのブレーキアシストと同様です。

■ トラクションコントロール

滑りやすい路面での発進時や加速時に起こる駆動輪の過度の空転を、ブレーキ制御およびエンジン出力制御により防ぎ、適切な駆動力を確保しようとする補助機能です。

■ スタビリティコントロール（横滑り防止機能）

急激なハンドル操作をしたり、滑りやすい路面で旋回したりするときの車の横滑りなどを抑制することで、車両の走行安定性を補助しようとする機能です。

⚠警告

常に周囲の状況を確認して、安全運転に努めてください。ESP® による制御には限界があります。

⚠注意

●次のことをお守りください。
守らないと ESP® が正常に作動しなくなったり、誤作動につながったりするおそれがあります。
- **タイヤの空気圧を指定空気圧に調整する**
  → 8-5ページ（タイヤの空気圧）
- **タイヤ交換時は指定のサイズで、4 輪ともサイズ、銘柄、トレッドパターン（溝模様）が同一のものを装着する**
- **著しく摩耗状態の異なるタイヤを使用しない**
- **サスペンションやブレーキを改造しない（車高やサスペンションの硬さ変更など）**
- **サスペンションやブレーキが著しく劣化した状態で走行しない**
- **エンジンを改造しない（マフラーの改造など）**
- **LSD（リミテッドスリップデフ）を装着するなどの改造をしない**

●タイヤチェーンやスペアタイヤ（市販品）を装着したときなどには、ESP® が正常に作動しない場合があります。

アドバイス

●次のような操作をすると、一時的にモーター音やカチッという音が聞こえることがあります。これはシステムをチェックしている音で異常ではありません。
- エンジンスイッチを ON にしたとき
- ブレーキペダルを踏んだ状態でエンジンスイッチを ON にし、最初にブレーキペダルから足を離したとき
- エンジンをかけたとき
- エンジンをかけ、最初の発進時

●エンジン回転が高いときにESP®が作動すると、エンジン回転の変動や車体の振動を感じることがありますが、異常ではありません。

ESP®作動表示灯



79K019

メーター内にあります。
→ **1-19ページ（表示灯）**

● ESP® の電子制御システムに異常があると、エンジンスイッチが ON のときに点灯します。点灯中は次のようになりますので、スズキサービス工場で点検を受けてください。
- 次の機能が作動しません。
  ・トラクションコントロール
  ・スタビリティコントロール
- ヒルホールドコントロールも作動しない場合があります。
  → **4-49ページ（ヒルホールドコントロール）**
- ABSは作動します。
- ブレーキアシストは、故障状況によっては作動しない場合があります。

● 次のような状況になると、0.2秒間隔で小刻みに点滅します。
- 発進時や加速時にトラクションコントロールが作動している
- 急ハンドル時や旋回時にスタビリティコントロールが作動している

● システムが正常な場合はエンジンスイッチを ON にしたときに、約2秒間点灯したあと消灯します。

⚠注意

小刻みに点滅したときは、滑りやすい路面で、車がスタックまたは横滑りしやすい状態になっています。とくに慎重に運転してください。

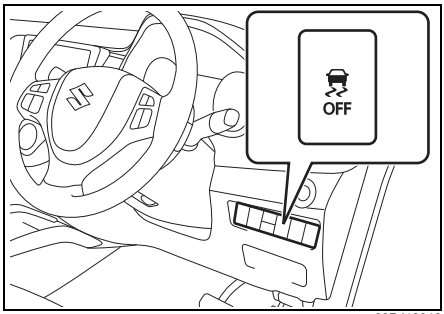
アドバイス

点灯中はトラクションコントロールおよびスタビリティコントロールは作動しませんが、ABSは使用することができます。

ESP® OFFスイッチ

- 次のようなときは、メーター内のESP® OFF 表示灯が点灯するまでESP® OFF スイッチを押し続けてください。トラクションコントロールおよびスタビリティコントロールが作動しなくなります。
  - 車検を受けるときなどテスターに載せる場合。トラクションコントロールおよびスタビリティコントロールを作動停止の状態にする必要があります。
  - スタックからの脱出などの場合。トラクションコントロールが脱出に適さないときがあります。

- 次のような操作をすると、ESP® OFF 表示灯が消灯し、トラクションコントロールおよびスタビリティコントロールが作動可能な状態にもどります。
  - もう一度ESP® OFFスイッチを押す
  - 一度エンジンを止め、再始動する



68PJ40016

- スタックからの脱出などのあとに通常走行するときは、ESP® OFF スイッチを再度押してESP® OFF表示灯を消灯させ、もとの状態にもどしてください。トラクションコントロールおよびスタビリティコントロールは自動復帰しません。(一度エンジンを止め、再始動したときを除く)

アドバイス

- 安全のため、ESP® OFFスイッチを操作しても、ABS は作動停止の状態になりません。
- ESP® OFF 表示灯の点灯中は、レーダーブレーキサポート II（RBSII）も停止し、RBSII OFF 表示が表示されます。

→ **4-50ページ（レーダーブレーキサポートII（RBSII））**

ESP® OFF表示灯



57L30045

メーター内にあります。

→ **1-19ページ（表示灯）**

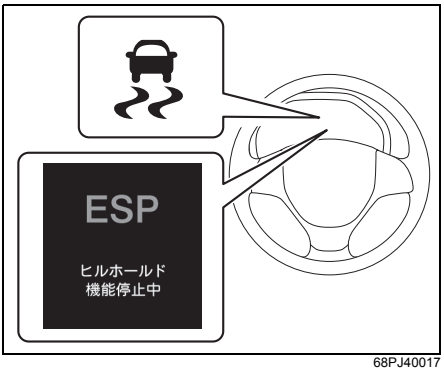
- エンジンスイッチが ON のときに、ESP® OFF スイッチを長押しすると点灯します。
  - トラクションコントロールおよびスタビリティコントロール
  - レーダーブレーキサポート II（RBSII）

- システムが正常な場合はエンジンスイッチを ON にしたときに、約2秒間点灯したあと消灯します。

ヒルホールドコントロール

ヒルホールドコントロールは、急な上り坂での発進時に、ブレーキペダルからアクセルペダルへの踏み替えの間に車が後退することを一時的に（約2秒間）防ぎ、スムーズな発進を補助するシステムです。

- ヒルホールドコントロールは、坂道で車を停止させるシステムではありません。
- 本システムに異常があると、メーター内の ESP® 作動表示灯が点灯し、ヒルホールドコントロールが作動しない場合があります。



68PJ40017

- 上図のメーター内表示は、代表例です。お車のタイプにより異なります。

⚠警告

●常に周囲の状況を確認して、必要に応じてブレーキペダルを操作して安全運転に努めてください。ヒルホールドコントロールによる制御には限界があります。

●極端に急な坂道、凍結路、泥道を上るときや、積載重量によっては、発進時に車両が後退する場合があります。

●ブレーキペダルから足を離したら、すみやかに発進操作を行なってください。ブレーキペダルから足を離したまま 2 秒以上たつとヒルホールドコントロールが解除されるため、勾配によっては自重で坂道を下り、思わぬ事故につながるおそれがあります。また、エンストしてブレーキを踏むときに強い力が必要になったり、ハンドルが重くなったりして思わぬ事故や故障の原因となるおそれがあります。

■ ヒルホールドコントロールの作動条件

ヒルホールドコントロールは、次の条件をすべてみたしているときに、ブレーキペダルから足を離すと約 2 秒間、車が後退することを防ぎます。

- セレクトレバーが前進または後退の位置に入っている
- パーキングブレーキを解除している
- 進行方向が坂の上りである

アドバイス

作動中にエンジンルームから音が聞こえることがありますが、異常ではありません。

レーダーブレーキサポートII（RBSII）

RBSIIとはRadar Brake SupportII（レーダーブレーキサポートII）の略です。
走行中に、自車が走行する車線の前方車両との相対速度や距離をレーダーで測定し、警報によって衝突の回避をうながしたり、ブレーキ制御によって衝突時の被害軽減を図ったりします。

⚠警告

●RBSII の検知・制御性能には限界があり、周囲の状況によっては作動しない可能性があります。RBSII にたよった運転はせず、常に安全運転に努めてください。
●安全のため、お客様自身で RBSII の作動確認を行なわないでください。
●走行中は、すべての乗員がシートベルトを正しく着用してください。RBSII が作動したときなどに、身体が投げ出されて重大な傷害を受けるおそれがあります。
●次のような路面を走行しているときは、前方衝突被害軽減ブレーキアシストや自動ブレーキが作動しても、十分に減速できないおそれがあります。
・急カーブや、凸凹のはげしい路面
・次のような滑りやすい路面
・凍結路や積雪路
・マンホールや工事用の鉄板の上
・じゃり道
●次のような場合は、車高や車両の傾きが変わり、RBSII が正常に機能せず、思わぬ事故につながるおそれがあります。
・サスペンションの改造（車高の変更など）
・指定サイズ以外のタイヤやホイールの装着
・摩耗したタイヤや摩耗差のはげしいタイヤの装着
・タイヤの空気圧が適正でない
→ 4-58ページ
（レーダーブレーキサポート II（RBSII）OFFスイッチ）

アドバイス

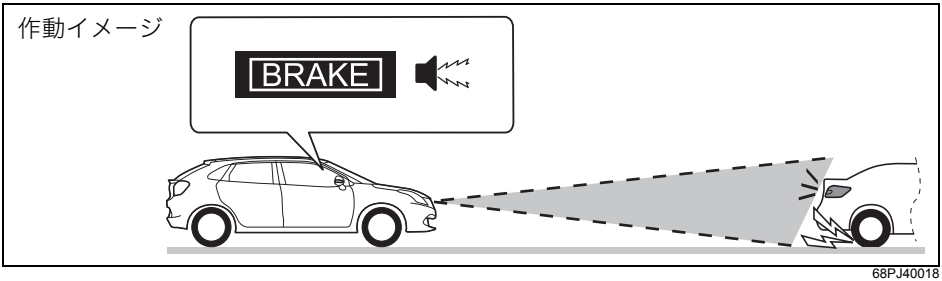
●RBSII作動中に、前方車両がレーダーの検知範囲外に移動するなど、検知されなくなったときは、途中で作動が解除されることがあります。
●RBSII作動中にブレーキペダルを踏んでいなくてもブレーキの制御音が聞こえることがありますが、異常ではありません。

● 次の項目もあわせてお読みください。
→ 2-29ページ
（車検を受けるときの注意）
→ 7-32ページ
（けん引してもらうときは）

● 前方衝突警報

• 前方車両に衝突する可能性があるとき、表示と音によって注意をうながします。

→ **4-55ページ（前方衝突警報）**

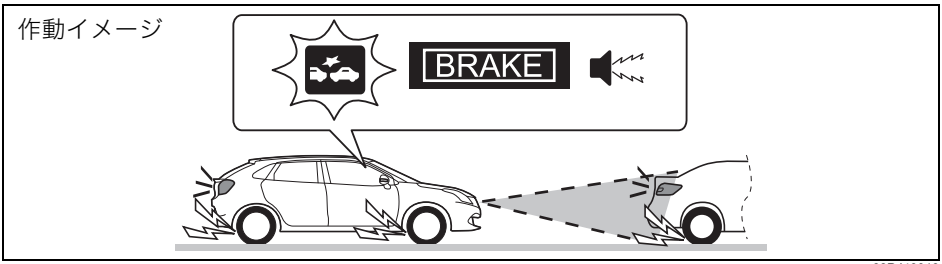


68PJ40018

● 前方衝突警報ブレーキ

• 前方車両に衝突する可能性が高いとき、自動的に弱いブレーキをかけることで運転者に衝突回避をうながします。

→ **4-57ページ（前方衝突警報ブレーキ）**

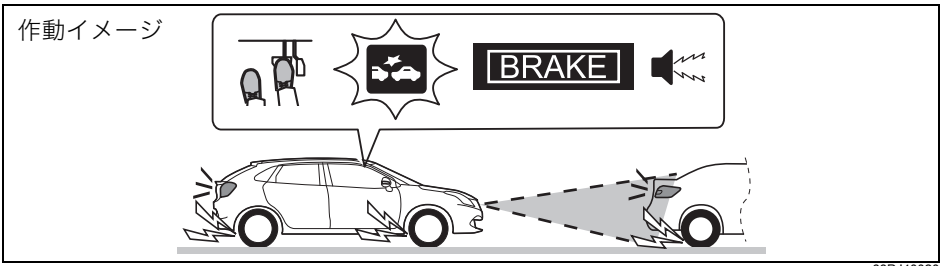


68PJ40019

● 前方衝突被害軽減ブレーキアシスト

• 前方車両に衝突する可能性が高いときにブレーキペダルを強く踏むと、制動力を増強します。

→ **4-57ページ（前方衝突被害軽減ブレーキ アシスト）**



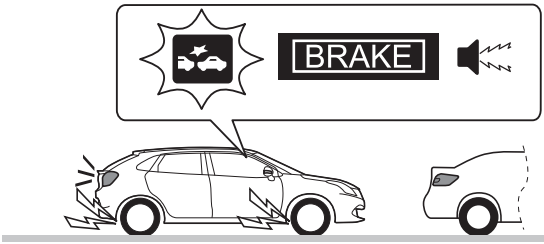
68PJ40020

●自動ブレーキ

• 走行中に前方車両との衝突が避けられないと判断したとき、自動で強いブレーキがかかります。

→ **4-57ページ（自動ブレーキ）**

作動イメージ



68PJ40021

※自動ブレーキによる車両停止後、ブレーキ制御が解除されるまでの間は前方衝突警報およびRBSII作動表示の点滅は継続されます。

⚠注意

自動ブレーキによる車両停止後は、すみやかにブレーキペダルを強く踏み込んでください。ブレーキペダルの踏み込みが弱いとクリープ現象により車両が動き出し、思わぬ事故につながるおそれがあります。

■ こんな場合は作動しません

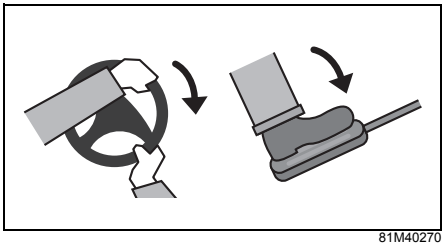
次のときは、RBSIIが作動しません。

- エンジン停止中
- セレクトレバーの位置が P または R のとき
- 対向車に対して
- 次のスイッチを操作して RBSII を作動停止の状態にしている
  - RBSII OFFスイッチ → **4-58ページ**
  - ESP® OFFスイッチ → **4-48ページ**
- RBSII の一時停止や異常を示す、次の警告灯・ディスプレイ表示が点灯している
  - RBSII OFF表示
  - レーダーブレーキサポートシステム一時機能停止中
  - レーダーブレーキサポートシステム要点検

■ こんな場合は作動しないことがあります

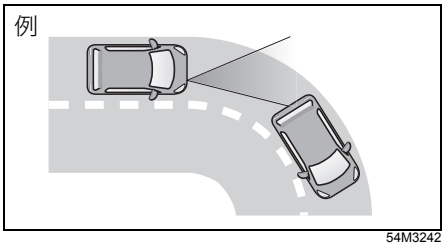
- 次のようなときはレーダーが前方車両を正しく検知できず、RBSII が作動しない場合があります。
  - レーダーセンサー前方のセンサーカバー表面に雪や氷、汚れなどが付着しているとき

    → **4-59ページ（レーダーセンサーの取扱い）**
  - 大雨、濃霧、吹雪、砂嵐などの悪天候時や、前方車両が水、雪、砂ぼこりなどを巻き上げているとき
  - 車線幅が狭い道路を走行しているとき
  - 他車が急に飛び出してきたとき
  - 追い越しなどのために急加速して、前方車両に接近しているとき
  - ふらついた走行をしているとき
  - 事故や故障の影響で、常にハンドル操作をしないとまっすぐ走行できないとき
  - ハンドルやアクセルペダル操作による回避行動をしているとき



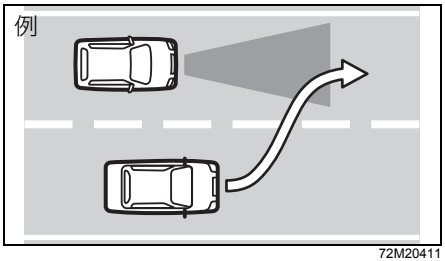
81M40270

  - カーブ路などで、レーダー検知範囲内に前方車両の一部分しかないとき



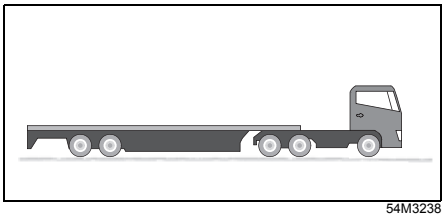
54M3242

  - 他車が急な割込みや車線変更をしてきたとき



72M20411

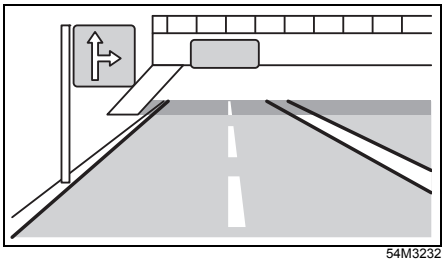
- 次のような前方車両はレーダーが検知できず、RBSII が作動しない場合があります。
  - 停車中または極端に速度が遅い車両
  - 自転車など特殊な形状の積荷を車体の上部や後方に載せていたり、車体の周囲に車外用品がはみ出したりしている車両
  - 荷台の低いトラック
  - キャリアカーなど、特殊な形状をした車両



54M3238

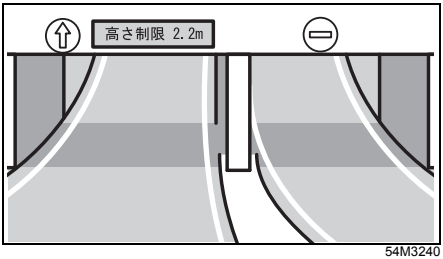
■ こんな場合にも作動することがあります

- 次のようなものはレーダーが前方車両と判断して RBSII が作動する場合があります。
  - 歩道橋、高架橋、陸橋、道路の案内板



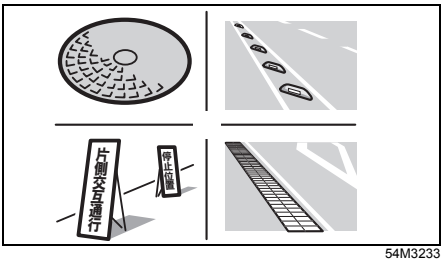
54M3232

- 進行方向に ETC ゲートや駐車場のバー、遮断機、高さ制限の看板などがあるとき



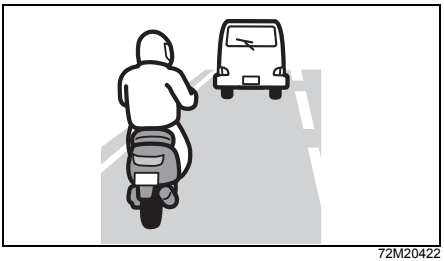
54M3240

- 排水溝のふたや路上の看板など金属製のもの、路面上の突起物、落下物、段差など



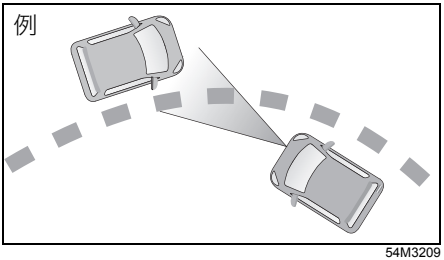
54M3233

- 次のようなときはレーダーが前方車両と判断して RBSII が作動する場合があります。あわてず注意して走行してください。
  - 狭い鉄橋などを渡るとき
  - 路面の勾配が急に変化するような坂道を走行するとき
  - 隣車線の先行車に急接近したとき
  - 動物や立木などを検知したとき
  - 歩行者、自転車、二輪車を検知したとき



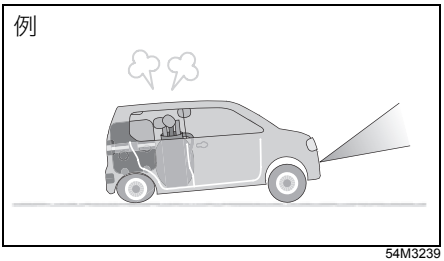
72M20422

- カーブ路で対向車とすれ違うとき



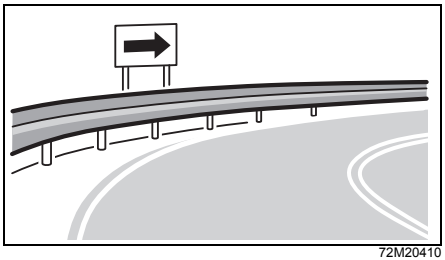
54M3209

- 荷室や後席に重い荷物を積むなどして、自車が傾いているとき



54M3239

- カーブ入口にガードレールや看板などの路側物があるとき

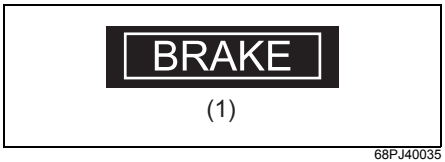


72M20410

前方衝突警報

走行中（約 5 km/h ～ 100 km/h）に、前方車両に衝突する可能性があると、警報が鳴って注意をうながします。

- 室内ブザーが“ピピピピピ”と断続的に鳴り、マルチインフォメーションディスプレイに前方衝突警告表示（1）が表示されます。



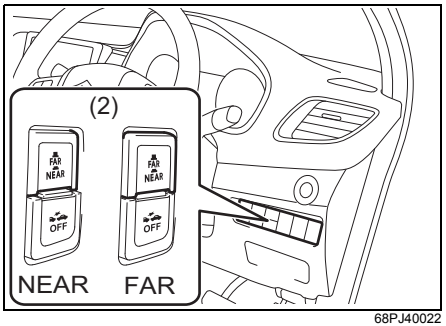
68PJ40035

- 前方衝突警報が鳴ったときは、前方車両との距離や周囲の状況に応じて、ブレーキ、ハンドル操作などの回避行動をしてください。

■ FAR／NEAR切替スイッチ（2）

RBSII が作動状態にあるとき、前方衝突警報が鳴るタイミングを変更できます。

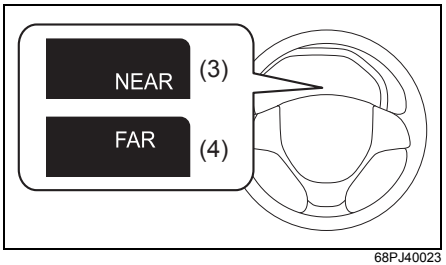
- 前方車両との相対速度や距離が同じ状況では、スイッチがFAR（遠め）位置のときの前方衝突警報はNEAR（近め）位置にくらべてより早く、手前で鳴りだします。通常はFAR（遠め）位置にしておくことをおすすめします。



68PJ40022

- 警報タイミングを近め（NEAR）にするときは、スイッチを押し込みます。
- 警報タイミングを遠め（FAR）にするときは、スイッチを押しもどします。
- スイッチを押すたびに室内ブザーが“ピッ”と鳴り、マルチインフォメーションディスプレイにNEARまたはFARが数秒間表示されます。

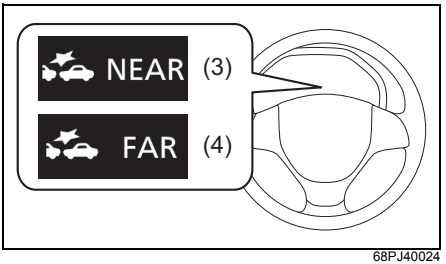
Aタイプメーター装備車



68PJ40023

(3) 警報タイミングNEAR表示
(4) 警報タイミングFAR表示

Bタイプメーター装備車



68PJ40024

(3) 警報タイミングNEAR表示
(4) 警報タイミングFAR表示

⚠警告

走行中は、安全のためスイッチ操作をしないでください。操作に気を取られて、思わぬ事故につながるおそれがあります。

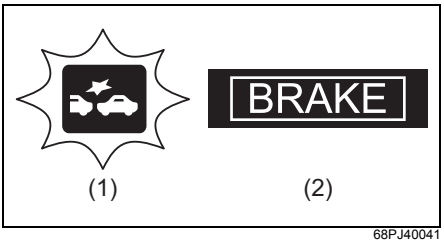
アドバイス

警報タイミングを切替えても、前方衝突被害軽減ブレーキアシストおよび自動ブレーキの作動タイミングは変わりません。

前方衝突警報ブレーキ

車速が約 5 km/h～100 km/hの間で走行中に、前方の移動車両などと衝突する可能性が高いと判断した場合、自動的に弱いブレーキをかけることで運転者に衝突回避をうながします。

- 室内ブザーが“ピピピピピ”と断続的に鳴り、RBSII 作動表示灯（1）が点滅し、マルチインフォメーションディスプレイに前方衝突警報表示（2）が表示されます。



68PJ40041

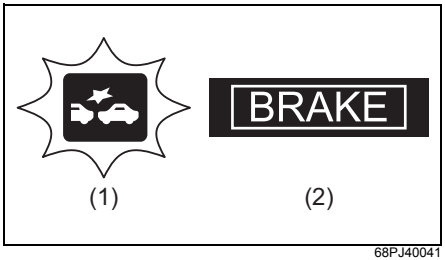
アドバイス

前方衝突警報が作動した後にブレーキ操作を行なった場合は、前方衝突警報ブレーキは作動しません。前方衝突被害軽減ブレーキアシストは作動します。

前方衝突被害軽減ブレーキアシスト

走行中（約 5 km/h ～ 100 km/h）に、前方車両に衝突する可能性が高いときにブレーキペダルを強く踏むと、通常のブレーキ操作以上の制動力が発生します。

- 前方衝突被害軽減ブレーキアシストの作動中は、RBSII 作動表示（1）が点滅し、マルチインフォメーションディスプレイに前方衝突警報表示（2）が表示されます。

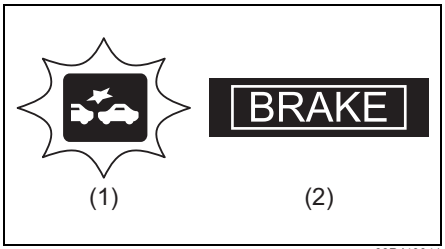


68PJ40041

自動ブレーキ

車速が約 5 km/h～100 km/hの間で走行中に、前方の車両（移動：約 5 km/h ～ 100 km/h、静止：約 5 km/h～30 km/h）との衝突が避けられないと判断したとき、自動で強いブレーキがかかり、衝突の回避または衝突時の被害軽減を図ります。

- 前方車両との速度差が約15 km/h以下であれば、衝突を回避できる場合があります。
- 自動ブレーキの作動中は、RBSII 作動表示（1）が点滅し、マルチインフォメーションディスプレイに前方衝突警報表示（2）が表示されます。

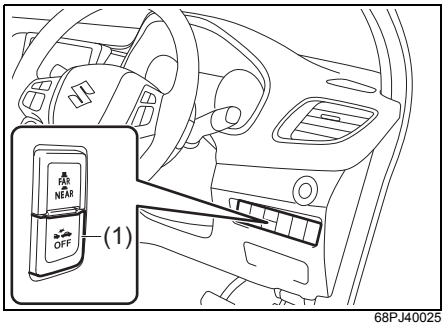


68PJ40041

レーダーブレーキサポートII（RBSII）OFFスイッチ

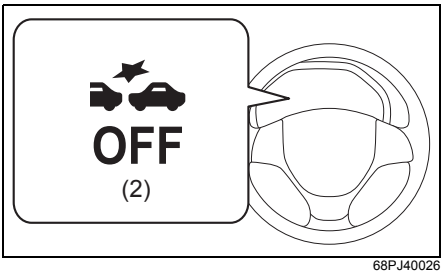
RBSIIを作動停止の状態にできます。

- 次のような状況では、RBSII が予期せず作動するおそれがあるため、事前にRBSII OFF スイッチ（1）を操作して作動停止の状態にしてください。
  - 車検を受ける場合などテスターに載せるとき
  - けん引されるとき
  - キャリアカーなどに積載するとき
  - フェリーに乗降するとき
  - サーキット場などでスポーツ走行をするとき
  - 自動車用エレベーターや、機械式駐車場を利用するとき
  - スペアタイヤやタイヤチェーンを装着したとき
  - パンクを応急修理したとき
  - 事故にあったときや、故障したとき
- 次のような場合は、レーダーセンサーの異常が考えられるため、作動停止の状態にしたうえで、スズキサービス工場で点検を受けてください。
  - 接触事故などでレーダーセンサー周辺部が変形・損傷した場合
  - 自動ブレーキが必要以上に何度も作動する場合



68PJ40025

- 停止させるときは、室内ブザーが“ピッ”と鳴り、メーター内のRBSII OFF表示（2）が表示されるまで、RBSII OFFスイッチ（1）を押し続けます。



68PJ40026

次のような操作をすると、作動可能な状態にもどります。

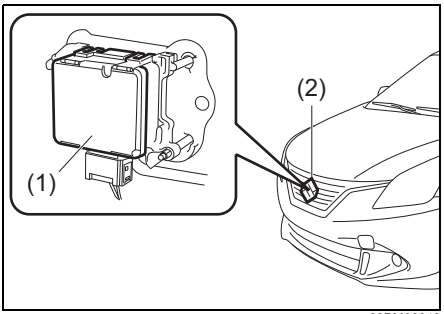
- 室内ブザーが“ ピッ”と鳴り、RBSII OFF 表示が消えるまでスイッチを長押しする。
- 一度エンジンを止め、再始動する。

⚠警告

走行中は、安全のためスイッチ操作をしないでください。操作に気を取られて、思わぬ事故につながるおそれがあります。

レーダーセンサーの取扱い

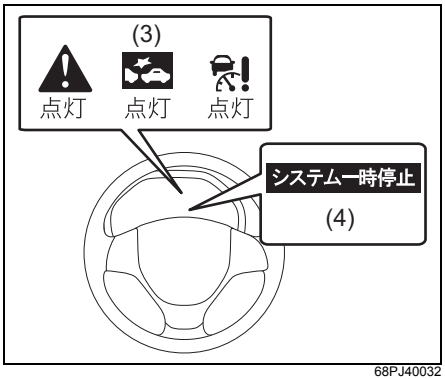
レーダーセンサー（1）は、ラジエーターグリルにある、センサーカバー（2）の内側にあります。



68PM00343

レーダーセンサー前方のセンサーカバー表面の汚れを検知すると、RBSII は停止状態になり、次の警告灯、表示が点灯また点滅して注意をうながします。

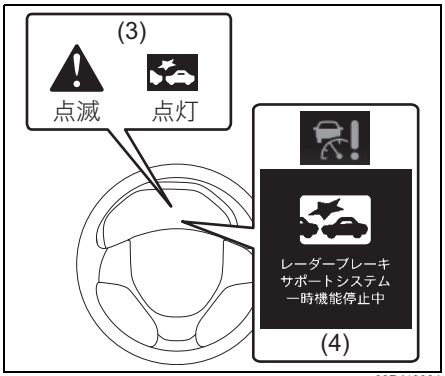
Aタイプメーター装備車



68PJ40032

(3) メーター内表示
(4) マルチインフォメーションディスプレイ表示

Bタイプメーター装備車



68PJ40031

(3) メーター内表示
(4) マルチインフォメーションディスプレイ表示

⚠警告

センサーカバー表面は、常にきれいな状態を保ってください。汚れたときは、傷つけないようにやわらかい布でふいてください。また、次のようなものが付着しているときは、汚れとして検知するのに時間がかかったり、検知できなかったりする場合があります。このようなときはRBSII が正常に作動せず、思わぬ事故につながるおそれがあります。

- ビニール袋（透明、半透明、有色、金属コーティング品など）
- 氷や雪など

●以下の状況において、センサーが汚れていなくても、電波異常を検知して、安全のためにシステムを一時停止することがあります。

- 雨天時、トンネルや高架道路の下等を走行するとき
- 道路両側が高いコンクリートの壁や金属のフェンスがある道路を走行するとき
- トンネルの中を走行するとき
- 積雪道路を走行しているとき

電波の異常が改善され次第、一時停止状態が自動的に解除されます。

●レーダーセンサーを正しく作動させるために、次のことをお守りください。取扱いを誤ると、レーダーセンサーが前方車両を正しく検知できなくなり、RBSII が正常に作動せず、思わぬ事故につながるおそれがあります。

- レーダーセンサーに強い衝撃をあたえないでください。接触事故などでレーダーセンサー周辺部が変形・損傷した場合は、RBSII OFFスイッチを操作して機能を停止状態にし、スズキサービス工場で点検を受けてください。
  → 4-58ページ
  （レーダーブレーキサポートII（RBSII）OFFスイッチ）
- センサーカバーにステッカーなどを貼ったり、ものを取り付けたりしないでください。透明のものでも貼らないでください。
- ラジエーターグリルやフロントバンパーなど、レーダーセンサー周辺部の改造や塗装、純正部品以外への交換はしないでください。修理や交換の際は、スズキ販売店またはスズキ代理店にご連絡ください。
- レーダーセンサーや周辺部品を取り外したり、分解したりしないでください。
- フロントバンパーに腰かけたり、寄りかかったりしないでください。
- 高圧洗浄機を使うときは、洗車ノズルをセンサーカバー付近に向けないでください。

■ センサーカバー表面の汚れを検知したときは

レーダーブレーキサポートシステム一時停止中表示が表示された状態が解消されないときは、次のようにしてください。

1 安全な場所に停車し、エンジンスイッチを LOCK（OFF）にします。

2 センサーカバー表面をきれいにします。

3 エンジンスイッチを ON にします。

4 レーダーブレーキサポートシステム一時停止中表示が約3秒間表示されたあと、消灯することを確認します。

- センサーカバー表面をきれいにして再び走行したとき、レーダーブレーキサポートシステム一時停止中表示が再度表示される場合は、別の異常が考えられます。スズキ販売店またはスズキ代理店にご連絡ください。

アドバイス

センサーカバー表面が汚れていなくても、次のような状況ではRBSII OFF表示（3）、レーダーブレーキサポートシステム一時機能停止中表示（4）が点灯し、RBSIIが停止状態になる場合があります。

- トンネル内
- 両側にコンクリート壁がある道路
- 金属製のフェンスがある道路
- 高架橋、立体交差の下や付近
- 大雨や、大雪などの悪天候時
- 水たまりがある路面や、積雪路

これらの状況下では、レーダーセンサーから発する電波が乱反射して、前方車両の位置が正しく検知できなくなるため、一時的に機能を停止しています。
上記のような状況が改善したあと約2分間走行すると、警告灯および表示が消えて、RBSIIは作動状態にもどります。

MEMO

5. 装備の取扱い

● **主な装備**

燃料給油口 ····· 5-2
ボンネット ····· 5-4
サンバイザー ····· 5-6
室内灯 ····· 5-7
ラゲッジルームランプ ····· 5-8
前室室内灯 ····· 5-8
アクセサリーソケット ····· 5-9
ドリンクホルダー・収納スペース ····· 5-10
可動式アシストグリップ ····· 5-15
フットレスト ····· 5-15
ショッピングフック ····· 5-16
ラゲッジシェルフ（荷室カバー） ····· 5-16
ラゲッジボード ····· 5-17
ラゲッジフロアカーペット ····· 5-18

● **エアコン、ヒーター**

エアコンの吹出し口 ····· 5-19
マニュアルエアコン ····· 5-21
オートエアコン ····· 5-25
エアコンの上手な使いかた ····· 5-31

● **オーディオ**

オーディオ機能について ····· 5-34
アンテナ ····· 5-34
ステアリングオーディオスイッチ ····· 5-35

燃料給油口

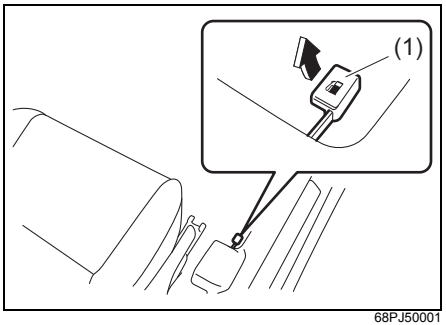
2-22 ページの「**給油するときは**」もあわせてお読みください。

⚠警告

必ず次のことをお守りください。
- **エンジンを止めてください。**
- **給油中はドアや窓を閉めてください。**
- **ガソリンは引火性が高いため、タバコなどの火気は厳禁です。**

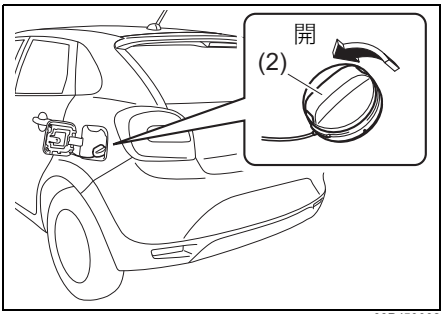
開けかた

1 フューエルリッドを開けます。
- 運転席足元のフューエルリッドオープナー（1）を引き上げます。



68PJ50001

2 フューエルキャップ（2）を開けます。
- 反時計方向にゆっくりまわします。

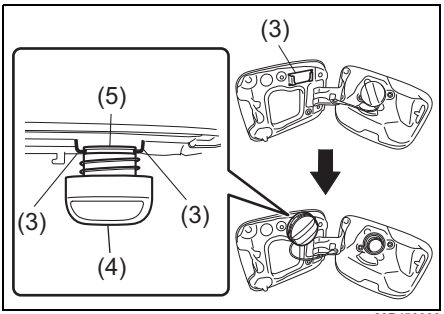


68PJ50002

⚠警告

フューエルキャップはゆっくりとゆるめ、空気の抜ける音が止まったらキャップを開けます。急に開けると燃料タンク内の圧力が急激に抜け、燃料が吹き出すおそれがあります。

3 外したフューエルキャップが車体に当たらないように、キャップホルダーにかけます。
キャップ先端の溝部を、ホルダーへ差し込みます。



68PJ50003

(3) キャップホルダー
(4) フューエルキャップ
(5) キャップ先端の溝部

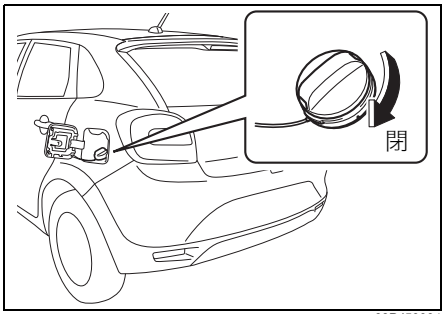
4 給油口に、給油ノズルを止まるところまで確実に差し込んでから、給油を開始します。

⚠ 警告

給油中は燃料をこぼさないようにしてください。こぼれた場合は、ただちにやわらかい布などでふき取ってください。火災など思わぬ事故につながるおそれがあります。また、そのまま放置すると、塗装のしみ、変色、ひび割れの原因となります。

閉めかた

1 フューエルキャップを閉めます。
- 時計方向に、カチッという音が 2 回以上するまでまわします。



68PJ50004

⚠ 警告

●給油後は、フューエルキャップをカチッという音が２回以上するまで時計方向にまわしてください。キャップが確実に閉まっていないと、燃料が漏れたり、火災が発生したりするおそれがあります。
●指定のスズキ純正フューエルキャップ以外は使用しないでください。燃料漏れのおそれがあります。

2 フューエルリッドを手で押し付けて閉めます。

ボンネット

⚠警告

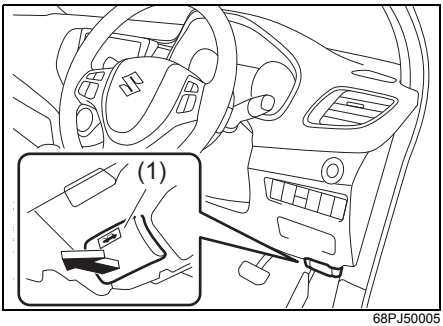
●お子さまにはボンネットを開閉させないでください。ボンネットは重いため、けがのおそれがあります。また、エンジンルーム内は高温になるため、やけどのおそれがあります。
●ボンネットを開けているときは、お子さまを近づけないでください。
●点検や清掃に使用した工具や布などは、エンジンルーム内に置き忘れないでください。故障の原因となったり、エンジンルーム内は高温になるため車両火災につながったりするおそれがあります。

⚠注意

動いているドライブベルトや冷却ファン（ラジエーターファン）に近づかないでください。特に冷却ファンは動いていなくても、いきなり動き出すことがあります。手や髪、衣類などが巻き込まれると、けがのおそれがあります。

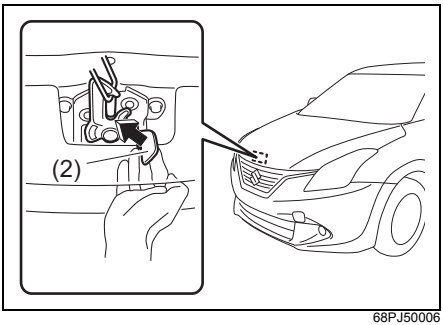
開けかた

1 運転席足元のボンネットオープナー（1）を引くと、ボンネットの先端が少し浮き上がります。



68PJ50005

2 浮き上がったすきまからロックレバー（2）の位置を確認し、手を入れ、ロックレバーを左側へ押し付けながら、ボンネットを持ち上げます。



68PJ50006

⚠注意

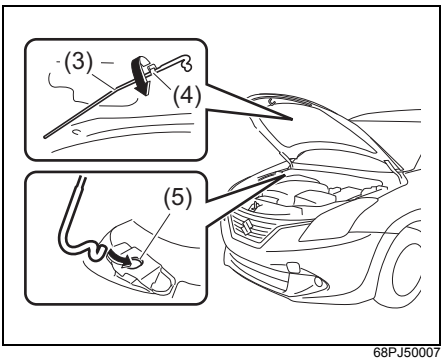
エンジン回転中や停止直後は、ロックレバーが熱くなっていることがあります。やけどのおそれがありますので、ロックレバーを操作する前に確認してください。

注 記

ワイパーアームを起こした状態で、ボンネットを開けないでください。ワイパーアームやボンネットが傷つくおそれがあります。

3 ボンネットを固定します。

- ボンネット側にあるステー（3）をホルダー（4）から外し、車体側の固定穴（5）に差し込みます。



68PJ50007

⚠注意

- **エンジン回転中や停止直後は、ステーが熱くなっていることがあります。やけどのおそれがありますので、ステーを持つ前に確認してください。**
- **ステーは固定穴に確実に差し込んでください。ステーが外れると、ボンネットに身体がはさまれることがあります。**
- **ボンネットが風にあおられて、ステーが外れることがあります。とくに風の強い日は注意してください。**

注 記

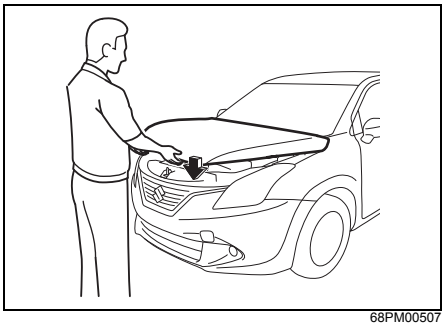
ステーをホルダーから外すときは、ステーが曲がらないように、グリップの部分を持ってください。

閉めかた

1 ボンネットを片手でささえながら、ステーを外して、もとのホルダーに固定します。

2 ボンネットを閉めます。

- ボンネットを20 cmぐらいの高さまでゆっくりと下げて、手を離します。



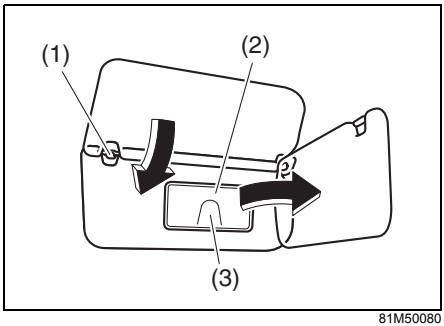
68PM00507

⚠注意

- **ボンネットを閉めるときは、手などをはさまないように気をつけてください。また、強く押さえると、ボンネットがへこむおそれがあります。**
- **ボンネットが完全に閉まっているか確認してください。完全に閉まっていないと、走行中に開くおそれがあります。**

サンバイザー

日差しがまぶしいときに使用します。横からの日差しがまぶしいときは、フックから外して横にまわします。



81M50080

(1) フック
(2) ミラーカバー
(3) チケットホルダー

チケットホルダー

サンバイザーの裏側（ミラーカバーの外側）にあります。有料道路の通行券などがはさめます。

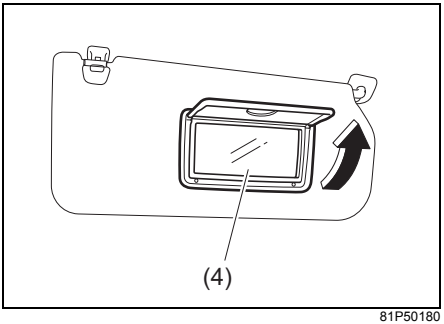
注 記

炎天下で駐車するときは、チケットホルダーなどにプラスチック素材のカードを放置しないでください。車内が高温になるため、カードの変形やひび割れを起こすおそれがあります。

→ 2-22 ページ（ライターやメガネなどを放置しない）

バニティーミラー

ミラーカバーを開けた場所にあります。



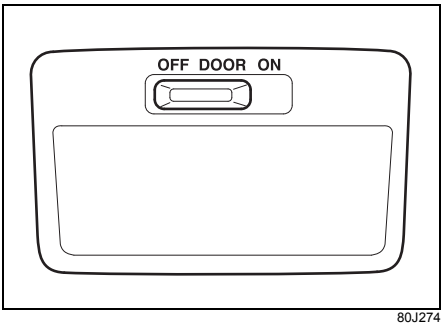
81P50180

(4) バニティーミラー

⚠警告

- **走行中はバニティーミラーを使用しないでください。前方不注意で思わぬ事故につながるおそれがあります。**
- **バニティーミラーを使用するときは、SRS エアバッグの収納場所に近づいたり、寄りかかったりしないでください。SRS エアバッグが作動したとき、強い衝撃を受けるおそれがあります。**

室内灯



80J274

ON

ドアの開閉に関係なく点灯します。

アドバイス

室内灯は点灯したまま 15 分経過すると消灯します。

DOOR

いずれかのドアを開けると点灯します。

- すべてのドアを閉めると約 15 秒間点灯し、徐々に減光しながら消灯します。
- すべてのドアが閉まっているとき、エンジンスイッチの位置を ON から LOCK（OFF）に切替えると約15秒間点灯し、徐々に減光しながら消灯します。

また、点灯中であっても次のような操作をすると、徐々に減光しながら消灯します。

- エンジンスイッチを ACC または ON の位置にする
- リクエストスイッチ、キーレスエントリーまたはキーによる施錠

OFF

ドアの開閉に関係なく消灯します。

注 記

エンジン停止中に長時間点灯させないでください。鉛バッテリーあがりの原因となります。

アドバイス

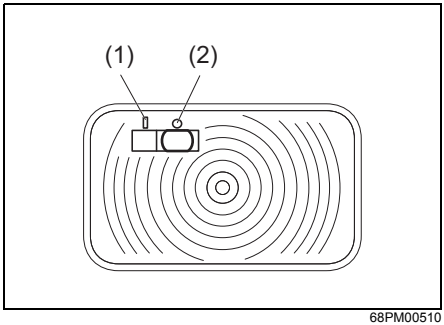
- 鉛バッテリー保護のため、次の条件をすべてみたすと、室内灯が自動的に消灯します。（バッテリーセーバー機能）
  - エンジンスイッチがLOCK(OFF)の位置
  - 室内灯スイッチがDOOR位置
  - いずれかのドアを開けて点灯させたまま、約15分が経過
- 室内灯スイッチが DOOR 位置のときに、リクエストスイッチまたはキーレスエントリーを作動させると、室内灯が点灯または点滅します。

→ **3-10ページ（アンサーバック機能）**

- 室内灯スイッチが ON の位置で点灯し続け、車両操作がない状態が15分続くと自動で消灯します。

ラゲッジルームランプ

スイッチを ON の位置（1）にすると、バックドアを開けたときに点灯し、閉めると消灯します。
スイッチを OFF の位置（2）にすると、バックドアの開閉に関係なく消灯します。



68PM00510

注 記

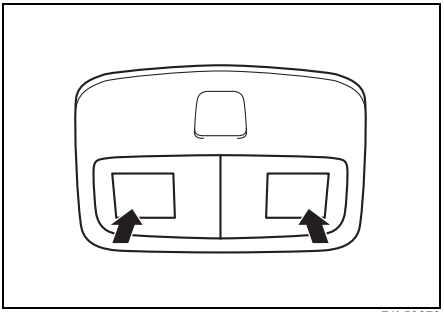
エンジン停止中に長時間点灯させないでください。鉛バッテリーあがりの原因となります。

アドバイス

ラゲッジルームランプは、点灯したまま15分経過すると消灯します。

前室室内灯

ランプを押すと点灯し、もう一度押すと消灯します。



71L50370

注 記

エンジン停止中に長時間点灯させないでください。鉛バッテリーあがりの原因となります。

アドバイス

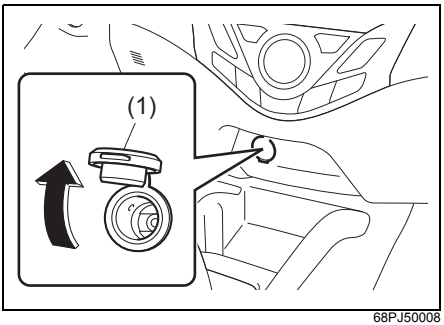
- 鉛バッテリー保護のため、次の条件をすべてみたすと、前室室内灯が自動的に消灯します。（バッテリーセーバー機能）
  - エンジンスイッチがLOCK(OFF)の位置
  - 室内灯スイッチがDOOR位置
  - 点灯したまま15分が経過

アクセサリーソケット

インパネポケット内に1か所、リヤコンソールボックス（タイプ別装備）、センターコンソールトレー（リヤ）（タイプ別装備）に1か所あります。
エンジンスイッチが ACC または ON のときに、電気製品の電源（規定容量12V 120W以下）として使用できます。

- 使用するときは、ふた (1) を開けます。

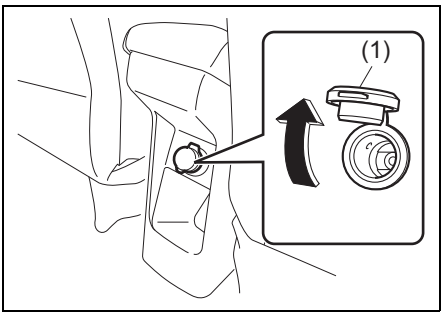
インパネポケット内



68PJ50008

リヤコンソールボックス（タイプ別装備）

センターコンソールトレー（リヤ）（タイプ別装備）



68PJ50009

- 上図のイラストは代表例です。お車のタイプにより異なります。

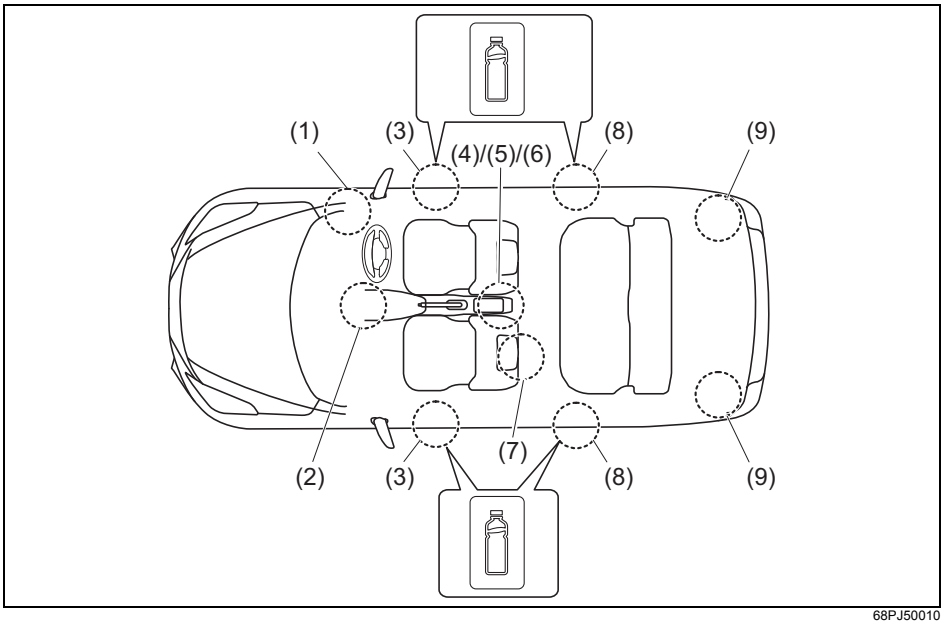
⚠警告

- **使わないときは、ふたを閉めてください。ソケット内に異物が入ると、故障やショートの原因となります。**
- **事故防止のため、スズキ純正用品以外の電気製品を使用しないでください。**

注記

- **規定容量を超える電気製品を使用すると、ヒューズが切れることがあります。**
- **エンジン停止中に長時間使用すると、鉛バッテリーあがりの原因となります。また、エンジンがかかっていてもアイドリング状態で長時間使用すると、バッテリーがあがることがあります。**

ドリンクホルダー・収納スペース



68PJ50010

(1) インパネロアポケット
(2) 前席ドリンクホルダー付インパネポケット
(3) ペットボトルホルダー(前席)
(4) コンソールボックス付アームレスト(タイプ別装備)
(5) センターコンソールトレー(リヤ)(タイプ別装備)
(6) リヤコンソールボックス(タイプ別装備)
(7) シートバックポケット(助手席)
(8) ペットボトルホルダー(後席)
(9) ラゲッジポケット

アドバイス

携帯リモコンをいずれかのドリンクホルダー・収納スペースに置いた場合、検知できないことがあります。

ドリンク／ペットボトルホルダーの取扱い

- 前席ドリンクホルダー付インパネポケット
- ペットボトルホルダー（前席／後席）

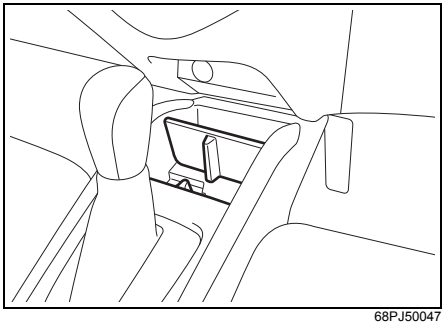
⚠警告

飲み物には、ふたを閉めるなどしてこぼさないように注意してください。熱い飲み物がこぼれると、やけどのおそれがあります。また、飲み物が次のような部品にかかると、火災や故障の原因になったり、SRS エアバッグシステムが正常に作動しなくなったりするおそれがあります。

- **ナビゲーション、またはオーディオやスイッチ類**
- **フロア下の配線、電気部品やセレクトレバーなどの可動部**

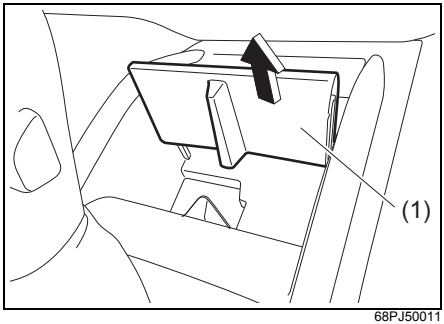
■前席ドリンクホルダー付インパネポケット

缶ジュースやカップが置けます。



68PJ50047

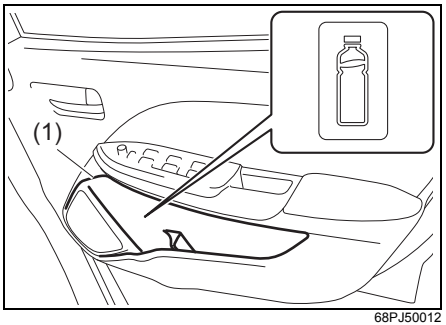
パーテーション（1）を外すことが可能で、手回り品や小物などの収納にご使用いただくことも可能です。



68PJ50011

■ドアポケット（前席ドア）

手回り品や小物などの収納にご使用ください。



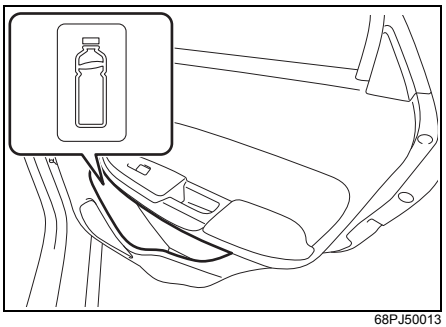
68PJ50012

(1) ペットボトルホルダー

■ ペットボトルホルダー（前席)

ドアポケットの中にあります。

■ ペットボトルホルダー（後席)



68PJ50013

⚠ 警告

飲み物には、ふたを閉めるなどしてこぼさないように注意してください。熱い飲み物がこぼれると、やけどのおそれがあります。また、飲み物が次のような部品にかかると、火災や故障の原因になったり、SRS エアバッグシステムが正常に作動しなくなったりするおそれがあります。

- **ナビゲーション、またはオーディオやスイッチ類**
- **フロア下の配線、電気部品やセレクトレバーなどの可動部**
- **シートベルトバックル**

ふたがない収納スペースの取扱い

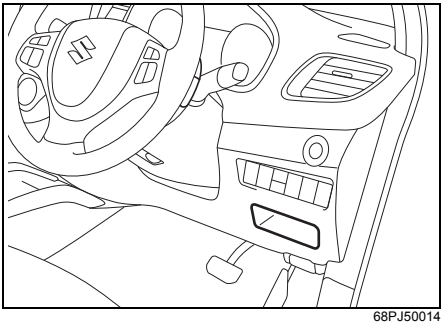
- インパネロアポケット
- リヤコンソールボックス（タイプ別装備）
- センターコンソールトレー（リヤ）（タイプ別装備）
- シートバックポケット（助手席)

⚠ 警告

ふたがない収納スペースの場合、走行中に転がり落ちるようなものを入れないでください。ブレーキペダルやアクセルペダルにものがはさまると確実なペダル操作ができなくなり、事故を起こすおそれがあります。

■ インパネロアポケット

手回り品や小物などの収納にご使用ください。

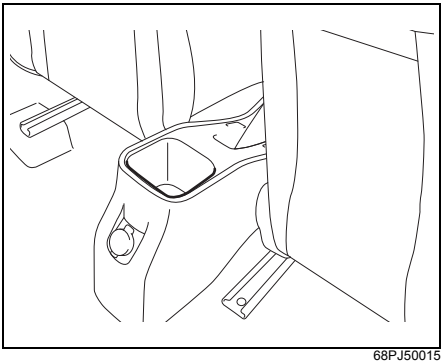


68PJ50014

■ リヤコンソールボックス

タイプ別装備

手回り品や小物などの収納にご使用ください。

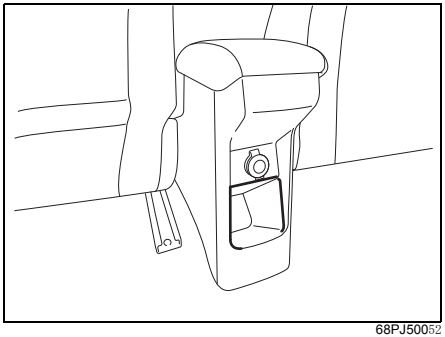


68PJ50015

■ センターコンソールトレー（リヤ）

タイプ別装備

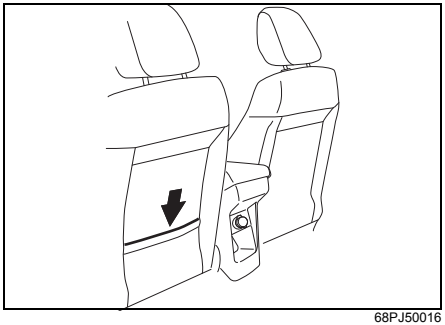
手回り品や小物などの収納にご使用ください。



68PJ50052

■ シートバックポケット（助手席）

雑誌や手荷物などの収納にご使用ください。



68PJ50016

注 記

シート表皮を破損するような鋭利なものや、重たいものを収納しないでください。

ふた付収納スペースの取扱い

- ラゲッジポケット
- グローブボックス
- コンソールボックス付アームレスト（タイプ別装備）

⚠注意

ふた付収納スペースの場合、ふたを開けたまま走行しないでください。（ラゲッジポケットを除く）ブレーキや加速、衝突のときなどに、身体がふたに当たったり、中のものが飛び出したりするおそれがあります。

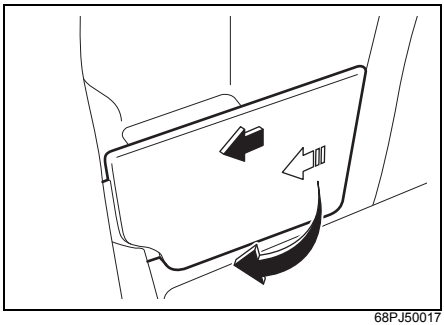
■ ラゲッジポケット

荷室の左右側面にあります。手回り品などの収納にお使いください

- 仕切り板を外すと、より長い荷物が横方向に積めます。

〔仕切り板の外しかた〕

仕切り板を車の後方向にスライドさせながら手前に引いて外します。



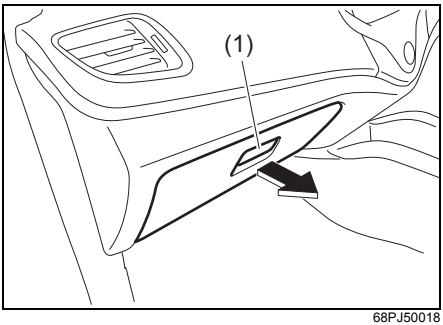
68PJ50017

〔もとにもどすときは〕

仕切り板を溝に差し込み、外す時と逆の手順で固定します。

- もどしたら軽くゆすって、しっかりと固定されているか確認してください。

■ グローブボックス



68PJ50018

- レバー（1）を手前に引いてふたを開けます。
- 閉めるときは“カチッ”と音がするまで確実に閉めます。
- ものを出し入れするとき以外は、ふたを閉めてください。

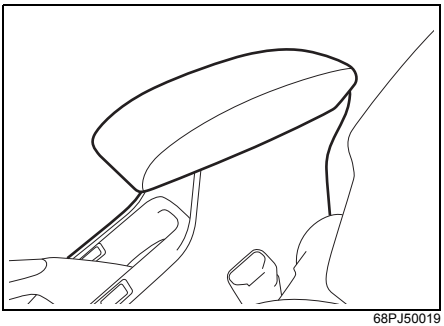
⚠注意

ふたを開けたまま走行しないでください。ブレーキや加速、衝突のときなどに、身体がふたに当たったり、中のものが飛び出したりするおそれがあります。

■ コンソールボックス付アームレスト

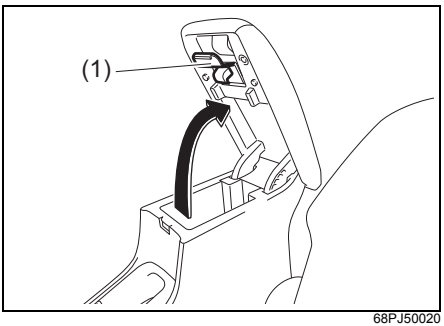
タイプ別装備

〔アームレスト〕
ひじ掛けとして使用することができます。


68PJ50019

〔コンソールボックス〕
手回り品や小物などの収納にお使いください。

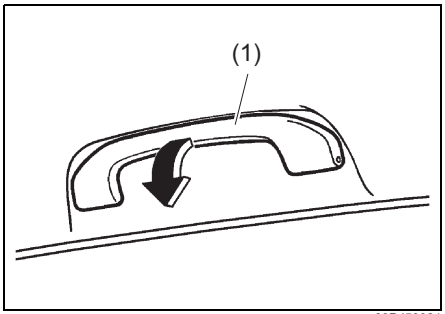
- 開けるときは、レバー（1）を引き上げたまま、ふたを持ち上げます。
- ものを出し入れするとき以外は、ふたを閉めてください。



68PJ50020

可動式アシストグリップ

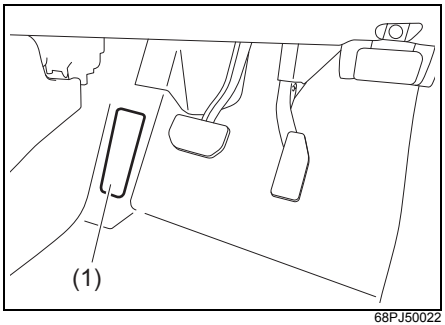
アシストグリップ（1）を手前に倒して使用します。



68PJ50021

フットレスト

左足のささえとして使用します。



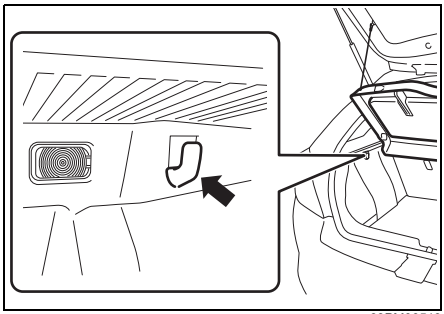
68PJ50022

(1) フットレスト

ショッピングフック

荷室側面にあります。

- 買い物袋などをひっかけるときにご使用ください。



68PM00519

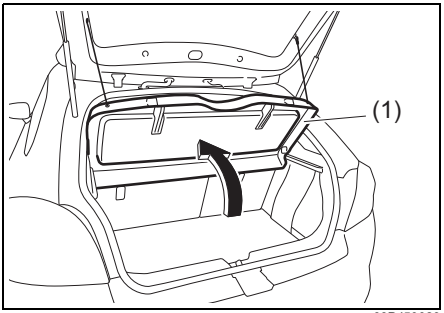
注 記

フックにかけるものは、2kg 以下としてください。フックが破損するおそれがあります。

ラゲッジシェルフ（荷室カバー）

後席の後ろにあります。

- ラゲッジシェルフ（1）は、持ち上げた状態で固定できますが、次の手順で正しく取り付ける必要があります。



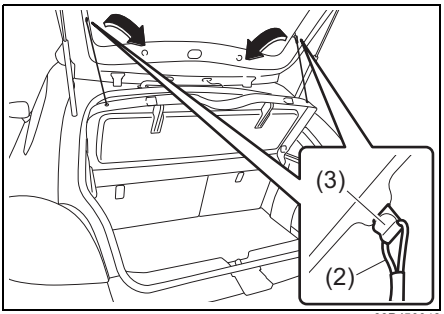
68PJ50023

⚠注意

ラゲッジシェルフにものを載せないでください。後方視界をさまたげるばかりでなく、急ブレーキのときなどにものが飛び出して、身体に当たるおそれがあります。

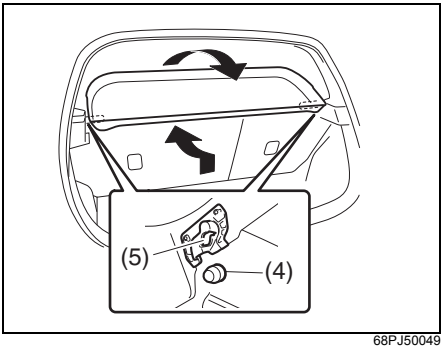
■ 取り外しかた

1 ラゲッジシェルフ（1）の両端にあるひも（2）をフック（3）から外します。



68PJ50048

2 ラゲッジシェルフを取り外します。
- 少し持ち上げながら前方にずらし、バー（4）からホルダー部（5）を取り外します。



68PJ50049

■ 取り付けかた

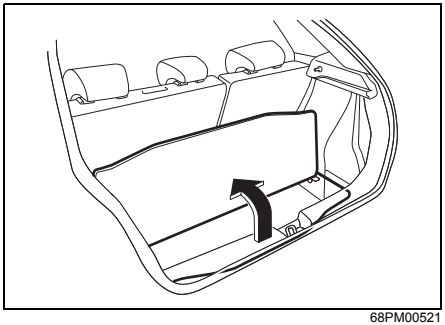
1 ラゲッジシェルフを取り付けます。
- ホルダー部（5）をバー（4）にはめ込みます。

2 ラゲッジシェルフ（1）の両端にあるフック（3）にひも（2）を取り付けます。

ラゲッジボード

荷室にあります。
- ボードの下にも荷物が収納できます。

ボードを取り外すと、背の高い荷物が積めます。


68PM00521

⚠注意

後席よりも高い位置に荷物を積み重ねないでください。後方視界のさまたげになるばかりでなく、急ブレーキのときなどに荷物が飛び出して、身体に当たるおそれがあります。

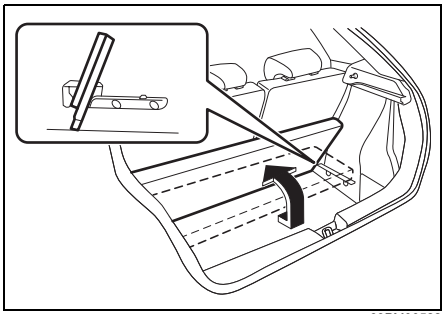

61M0316

- **バックドアを閉めるときに、ドアに当たらないように荷物を積んでください。ドアや荷物が破損するおそれがあります。**

5

■ 持ち上げたままにするときは

ボード下の荷物を出し入れするときに便利です。
ボードを荷室前方の両側にある溝に沿って差し込みます。



68PM00522

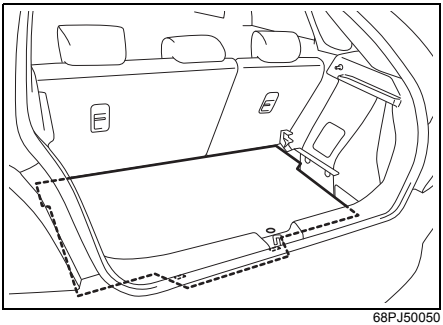
注 記

持ち上げたボードに無理に力をかけたり、持ち上げたまま走行したりしないでください。ボードや内装が破損するおそれがあります。

ラゲッジフロアカーペット

荷室にあります。

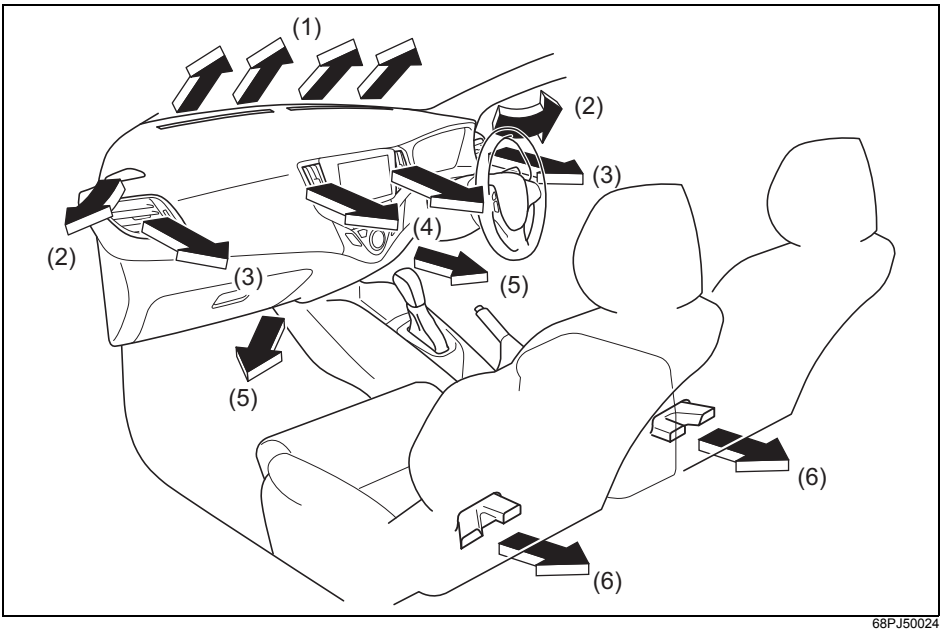
- ラゲッジフロアカーペットの下に工具、ジャッキ、タイヤパンク応急修理セットが収納されています。
  → **7-2ページ（工具、ジャッキの収納場所）**



68PJ50050

5

エアコンの吹出し口

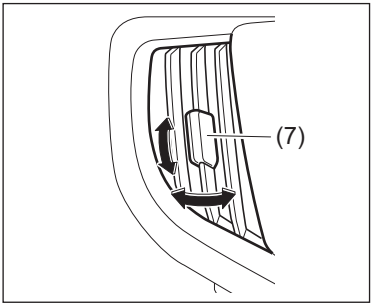


68PJ50024

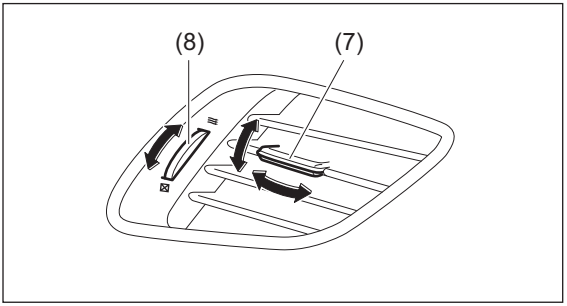
(1) デフロスター　(2) サイドデミスター　(3) サイド吹出し口
(4) 中央吹出し口　(5) 足元吹出し口
(6) 後席足元吹出し口(リヤヒーターダクト)

- サイド吹出し口（3）および中央吹出し口（4）は、ノブ（7）を上下左右に動かすと、風の向きが調節できます。
- サイド吹出し口は、ダイヤル（8）を上下に動かすと開閉ができます。

中央吹出し口



サイド吹出し口



68PJ50025

⚠注意

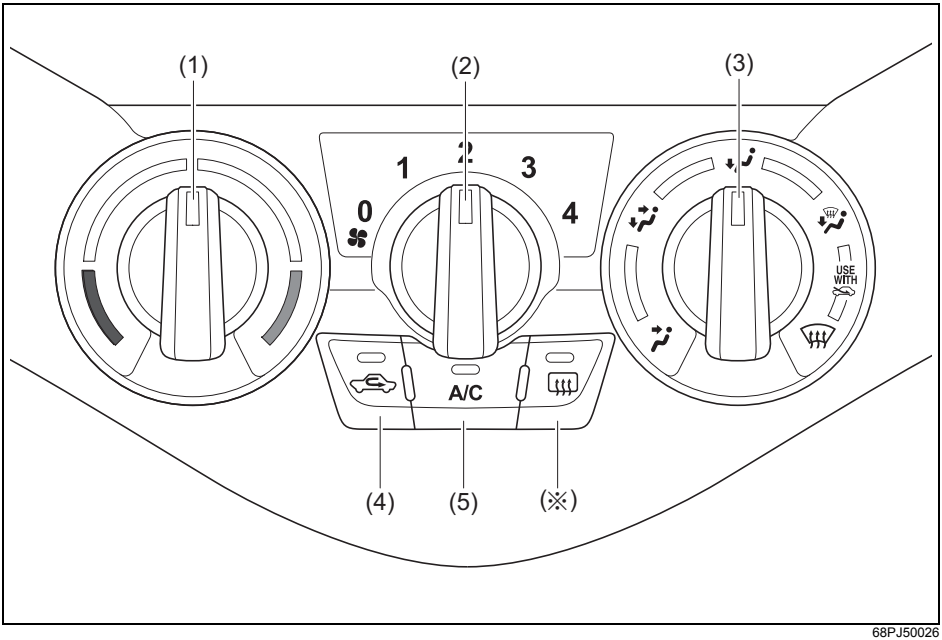
エアコンやヒーターからの温風に長時間さらされると、低温やけどのおそれがあります。とくに、お子さま、お年寄り、皮膚の弱い方が乗車される場合や、同乗者が仮眠される場合には、足元の吹出し口からの温風に長時間さらされないように注意してください。

アドバイス

運転席や助手席のドアガラスがくもったときは、ドアガラスに風が直接当たるようにサイド吹出し口を調節すると、より早くくもりが取れます。

マニュアルエアコン

タイプ別装備



68PJ50026

(1) 温度調節ダイヤル
(2) ファン(風量)調節ダイヤル
(3) 吹出し口切替えダイヤル
(4) 内外気切替えスイッチ
(5) エアコンスイッチ

※リヤデフォッガースイッチについては、**3-113ページ**をお読みください。

各ダイヤル、スイッチ、レバーの使いかた

(1) 温度調節ダイヤル

温度調節ダイヤルを時計方向にまわすと、温度が高くなります。反時計方向にまわすと、温度が低くなります。

頭寒足熱暖房

吹出し口切替えダイヤルの位置が のときに、温度調節ダイヤルを中間の位置に操作すると、頭寒足熱暖房になります。

- 足元に温かい風が吹き出し、上半身には比較的低い温度の風が吹き出します。
- エアコンを作動させると、さらに温度差のある効果的な頭寒足熱暖房ができます。

(2) ファン(風量)調節ダイヤル

ファン（風量）調節ダイヤルをまわすと、風量が調節できます。

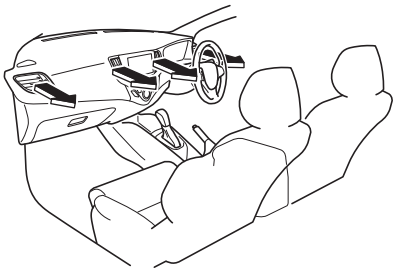
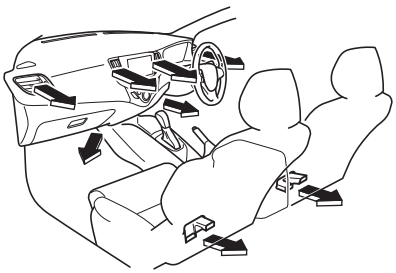
ダイヤル位置	0	1 2 3 4
風量	停止	弱⟷強

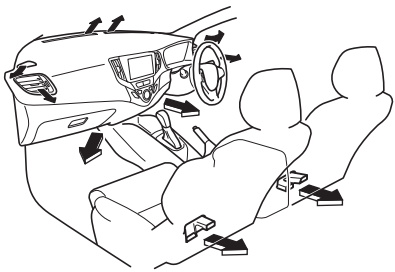
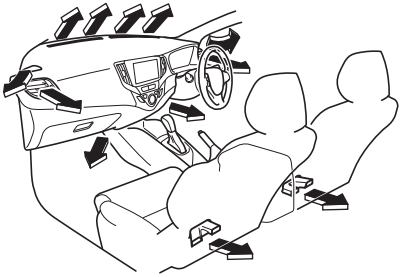
注 記

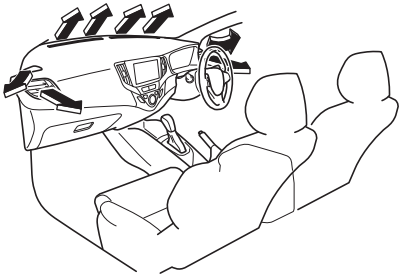
長時間の停車や渋滞では、鉛バッテリー保護のため風量を弱くしてください。

(3) 吹出し口切替えダイヤル

使用目的にあわせて、吹出し口切替えダイヤルを左右にまわして切り替えます。

目的	上半身に送風したいとき	上半身、足元に送風したいとき
ダイヤル		
吹出し口	 68PJ50027	 68PJ50028

目的	足元に送風したいとき	足元への送風と窓ガラスのくもりを取りたいとき
ダイヤル		
吹出し口	 68PJ50029	 68PJ50030

目的	窓ガラスのくもりを取りたいとき
ダイヤル	
吹出し口	 68PJ50031

5

アドバイス

USE WITH

- このマークは、窓ガラスのくもりを取るためのアドバイスです。
  吹出し口切替えダイヤルを または にして内外気切替えレバーを外気導入にすると、効果的にくもりを取ることができます。
- 運転席や助手席のドアガラスがくもったときは、ドアガラスに風が直接あたるようにサイド吹出し口を調節すると、より早くくもりが取れます。

(4) 内外気切替えスイッチ

内外気切替えスイッチを押すごとに、内気循環と外気導入が交互に切り替わります。内気循環のときに、スイッチ内の表示灯が点灯します

位 置	状 態
(消灯)  (外気導入)	外気を導入しています。 ●通常はこの位置でお使いください。
(点灯)  (内気循環)	外気をしゃ断しています。 ●トンネル内や渋滞時など外気が汚れているときや、早く冷暖房したいときにお使いください。

アドバイス

- 長時間、内気循環にするとガラスがくもりやすくなります。
- エアコンシステムへの不快な臭いの吸着・発生を抑えるために、長時間駐車するときは「外気導入」にしておくことをおすすめします。

(5) エアコンスイッチ

エンジンをかけ、ファン（風量）調節ダイヤルを停止の位置から時計方向にまわし、エアコンスイッチを押します。除湿された風が吹き出すとともに、スイッチ内の表示灯が点灯します。
止めるときは、スイッチをもう一度押します。

除湿暖房

暖房しているときにエアコンスイッチを入れると、除湿された温風が吹き出して、ここち良い暖房になります。

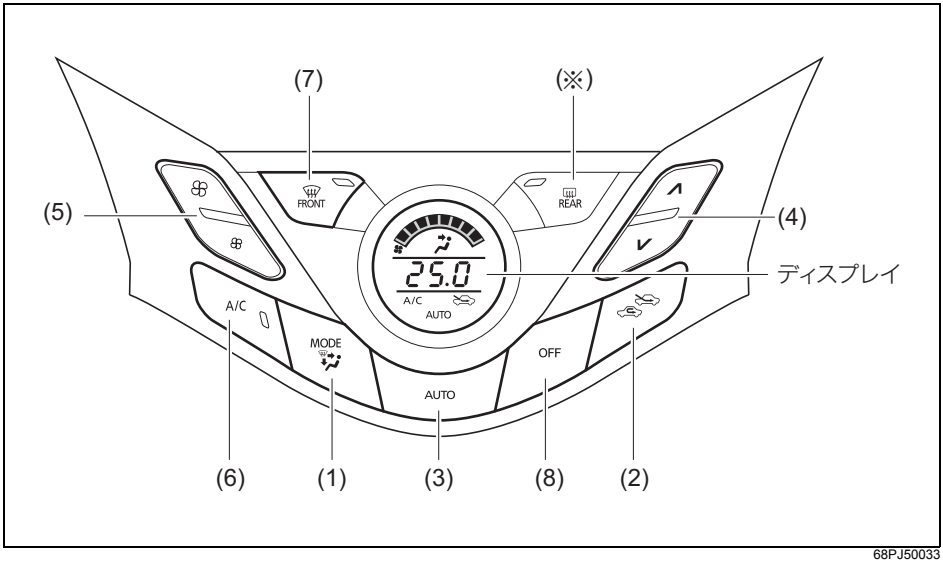
アドバイス

- 装置保護のため、エアコンの冷却器を通る空気の温度が0℃近くまで下がると、エアコンが切れます。このため、外気温が0℃近くまで下がっているときに外気導入にすると、エアコンが作動しません。
- エアコンスイッチを入れると、しばらくの間白い霧が吹き出すことがあります。これはしめった空気が急に冷やされて発生するもので、異常ではありません。

オートエアコン

タイプ別装備

次の図は代表例です。お車のタイプにより異なります。



68PJ50033

(1) モード(吹出し口)切替えスイッチ
(2) 内外気切替えスイッチ
(3) オートスイッチ
(4) 温度調節スイッチ
(5) ファン(風量)調節スイッチ
(6) エアコンスイッチ
(7) デフロスタースイッチ
(8) OFFスイッチ

※リヤデフォッガースイッチについては、**3-113ページ**をお読みください。

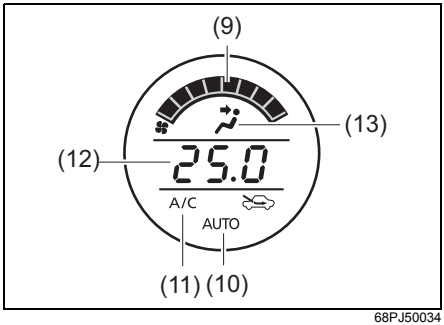
オートエアコンの使いかた

■ 通常の使いかた（自動で使うとき）

オートスイッチ（3）を押して温度調節スイッチ（4）で希望の温度を設定すると、各機能が自動制御されます。ただし、デフロスター位置へは自動で切り替わりません。

→ **5-29ページ（オートスイッチ）**

1 エンジンをかけ、オートスイッチ（3）を押します。ディスプレイに次のように表示（代表例）されます。



68PJ50034

(9) 風量
(10)**AUTO**表示
(11)**A/C**表示
(12)設定温度
(13)吹出し口

- 冷房や除湿をしないときは、エアコンスイッチ（6）を押してエアコンを止めてください。エンジンへの負荷が軽減され、燃費の向上につながります。ただし、エアコンを止めると、室内温度を外気温度以下にはできません。
- フロントガラス、運転席・助手席ドアガラスがくもったときは、デフロスタースイッチ を 押すか、モード（吹出し口）切替えスイッチを押して 「デフロスター／足元」位置へ切り替えてください。

→ **5-28ページ（モード切替えスイッチ）**
→ **5-30ページ（デフロスタースイッチ）**

2 温度調節スイッチ（4）を操作して希望の温度を設定します。設定温度はLO、18℃～32℃、HIの間で、0.5℃間隔で設定できます。

- 25℃を基準に、希望の温度を設定してください。ただし、外気温によっては、希望の設定温度にならないことがあります。

3 作動を停止するときは、OFFスイッチ（8）を押します。

アドバイス

- エンジンを停止しても設定温度を記憶しています。
- AUTO作動中に、ファン（風量）調節スイッチ（5）、モード（吹出し口）切替えスイッチ（1）のいずれかを操作すると、操作したスイッチの機能が優先されて**AUTO**表示（10）が消えます。ただし、操作したスイッチ以外は自動制御となります。
- AUTO 作動中にデフロスタースイッチ（7）を押すと、**AUTO**表示（10）が消えて風量が増加し、外気導入となってエアコンが作動します。ただし外気温が低いと、エアコンが作動しないこともあります。
- 外気温が低くエンジンが冷えているときや、外気温が高いときは、冷風や熱風が吹き出すのを防ぐため、しばらくの間、風が少量しか吹き出さないことがあります。
- エンジンスイッチが ON のときに**AUTO**表示（10）が点滅したときは、システムの異常が考えられます。スズキサービス工場で点検を受けてください。

■ 手動で使うとき

好みにあわせてスイッチを操作してください。

- AUTO 作動中でも、操作したスイッチの機能が優先され、操作したスイッチ以外は自動制御されます。
- すべての作動をAUTOにもどすときは、オートスイッチ（3）を押します。
- 止めるときは、OFFスイッチ（8）を押します。

アドバイス

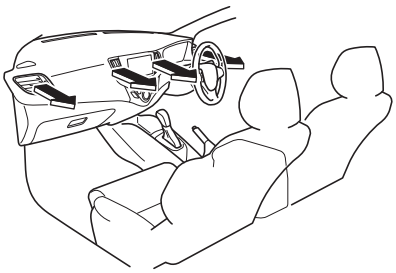
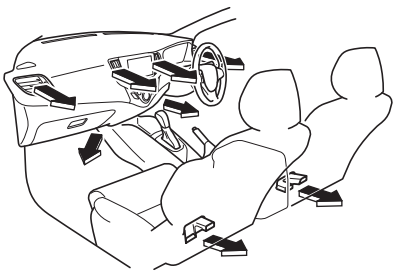
手動で内気循環を選択しているときは、オートスイッチ（3）を押しても内気循環はそのままでAUTOにもどりません。ただし、それ以外の作動はAUTOにもどります。

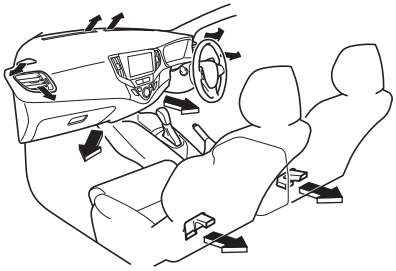
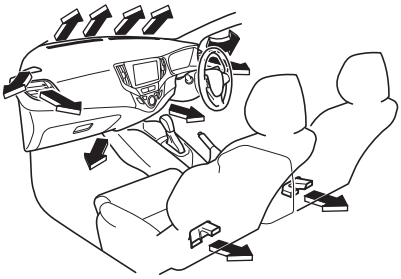
→ **5-29ページ（内気循環／外気導入の自動制御）**

各スイッチ、ダイヤルの使いかた

(1) モード(吹出し口)切替えスイッチ

モード（吹出し口）切替えスイッチを押すごとに吹出し口が切り替わり、ディスプレイの表示も切り替わります。

目的	上半身に送風したいとき	上半身、足元に送風したいとき
表示		
吹出し口	 68PJ50035	 68PJ50036

目的	足元に送風したいとき	足元への送風と窓ガラスのくもりを取りたいとき
表示		
吹出し口	 68PJ50037	 68PJ50038

アドバイス

運転席や助手席のドアガラスがくもったときは、ドアガラスに風が直接当たるようにサイド吹出し口を調節すると、より早くくもりが取れます。

(2) 内外気切替えスイッチ

内外気切替えスイッチを押すごとに、内気循環と外気導入が交互に切り替わり、ディスプレイの表示も切り替わります。

表示	状態
 (外気導入)	外気を導入しています。 ●通常はこの位置でお使いください。
 (内気循環)	外気をしゃ断しています。 ●トンネル内や渋滞時など外気が汚れているときや、早く冷暖房したいときにお使いください。

アドバイス

- 長時間、内気循環にするとガラスがくもりやすくなります。
- 外気と内気の温度差により、外気導入、内気循環のどちらかに固定される場合があります。必要に応じて、内外気切替えスイッチを押して切り替えてください。
- エアコンシステムへの不快な臭いの吸着・発生を抑えるために、長時間駐車するときは「外気導入」にしておくことをおすすめします。

(3) オートスイッチ

オートスイッチを押すと、ディスプレイに **AUTO A/C** が表示され、次の機能が自動制御されます。

- 吹出し風量の調節
- 吹出し口の切替え
- 内気循環／外気導入の切替え

内気循環／外気導入の自動制御

手動で内気循環を選択しているときは、オートスイッチを押しても内気循環はそのままで自動制御されません。内気循環／外気導入の切替えを自動制御にもどすには、次のようにします。

1 内外気切替えスイッチ（2)、またはデフロスタースイッチ（7）を押して外気導入に切り替えます。

2 オートスイッチ（3）を押します。

頭寒足熱暖房

AUTO 作動中、吹出し口切替え表示が  のときに、頭寒足熱暖房になります。

- 足元に温かい風が吹き出し、上半身には比較的低い温度の風が吹き出します。
- エアコンを作動させると、さらに温度差のある効果的な頭寒足熱暖房ができます。

(4) 温度調節スイッチ

温度調節スイッチを操作すると、LO、18℃～32℃、HIの間で設定温度を変更できます。設定温度はディスプレイに表示されます。

- 温度を高くするときは▲、低くするときは▼を押します。
- 連続調節するときは、長押しします。
- 18 ℃のときにスイッチの▼を押すと、ディスプレイに **LO** が表示され、最大冷房になります。また、32℃のときにスイッチの▲を押すと、ディスプレイに **HI** が表示され、最大暖房になります。

アドバイス

LO または **HI** が表示されているときは、急に風量が最大となったり、急に吹出し温度が変化したりする場合がありますが、異常ではありません。

(5) ファン(風量)調節スイッチ

ファン（風量）調節スイッチを押すと、風量が調節できます。風量はディスプレイに表示されます。

- 風量を大きくするときは▲、風量を小さくするときは▼を押します。
- 連続調節するときは、長押しします。
- ファンを停止するときは、OFF スイッチ（8）を押します。

(6) エアコンスイッチ

ファン作動中に使用できます。

- エアコンスイッチを押すごとに、エアコン（冷房・除湿機能）の作動と停止が交互に切り替わり、ディスプレイの表示も切り替わります。

除湿暖房

暖房しているときにエアコンスイッチを入れると、除湿された温風が吹き出して、ここち良い暖房になります。

アドバイス

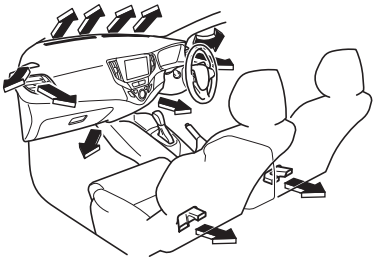
- 装置保護のため、エアコンの冷却器を通る空気の温度が0℃近くまで下がると、エアコンが切れます。このため、外気温度が0℃近くまで下がっているとき外気導入にすると、エアコンが作動しません。
- エアコンスイッチを入れると、しばらくの間白い霧が吹き出すことがあります。これはしめった空気が急に冷やされて発生するもので、異常ではありません。

(7) デフロスタースイッチ

デフロスタースイッチを押すと、自動的にエアコンが作動し、吹出し口が切り替わります。同時にスイッチ内の表示灯が点灯し、ディスプレイの表示も切り替わります。

もう一度押すと、デフロスタースイッチを押す前の制御にもどります。（オート制御の場合、吹出し口や内外気、風量の状態が変わることがあります）

- 内気循環になっているときは、外気導入に切り替わります。
- 風量が自動的に増加します。ファン（風量）調節スイッチを操作して、好みの風量にも調節できます。
- エアコンが必要ないときは、エアコンスイッチを押して停止してください。

目的	窓ガラスのくもりを取りたいとき
表示	
吹出し口	 68PJ50041

アドバイス

- 内気循環に切り替えると、くもりが取れにくくなります。
- 設定温度を低くすると、窓ガラスの外側に露がつくことがあります。
- 設定温度を高くすると、早くくもりが取れます。
- 外気温が低いときは、エアコンが作動しないこともあります。
- スイッチ内の表示灯は吹出し口表示がデフロスター位置にあると、ファンやエアコンを停止させた状態でも点灯します。
- 運転席や助手席のドアガラスがくもったときは、ドアガラスに風が直接当たるようにサイド吹出し口を調節すると、より早くくもりが取れます。

(8) OFFスイッチ

OFF スイッチを押すと、ファンが停止してエアコンも止まります。

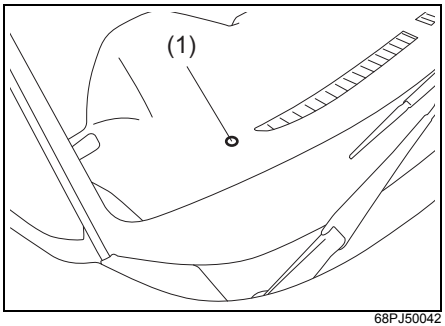
エアコンの上手な使いかた

温度感知装置

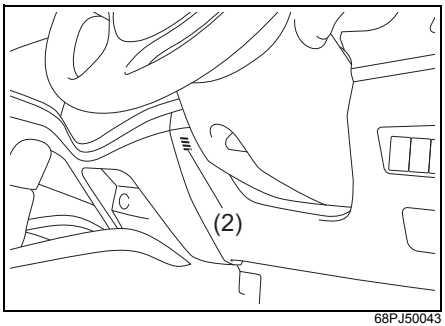
オートエアコン

オートエアコンは、日射センサー（1）、室温センサー（2)、外気温センサーなどによって周囲の状況を感知し、自動制御しています。

インパネ運転席側



68PJ50042



68PJ50043

アドバイス

日射センサーの上や周囲にものを置いたり、ガラスクリーナーなどを吹きかけたままにしたりしないでください。また、室温センサーにシールなどを貼って、ふさがないでください。センサー感度が低下し、正常に自動制御されなくなります。

エアコンガスを充填するときは

エアコンガスは､冷媒HFC134a(R134a)を使用してください。

- エアコンガスを充填するときは、スズキ販売店またはスズキ代理店にご相談ください。
- 地球環境を守るため、エアコンガスを大気中に放出しないでください。エアコンの修理や廃車時の処理は、スズキ販売店またはスズキ代理店にご相談ください。
- 冷房性能が低下してきたと感じた場合は、スズキサービス工場で点検を受けてください。

長期間使用しないときは

月に1 回程度はエアコンを作動させ、エアコン装置の各部にエアコンガスを循環させてください。エアコンガスには各部の潤滑に必要なオイルが含まれていますので油ぎれを防ぐことにより性能を維持します。

炎天下に駐車したときは

長時間、炎天下に駐車すると、室内が高温になります。ドアや窓を開けて室内を換気しながら、冷房をしてください。

エアフィルターを清掃、交換するときは

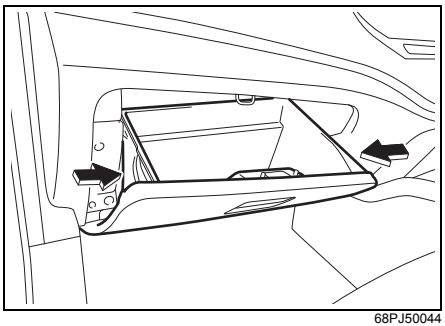
エアコンを快適に使用するために、エアフィルターを取り付けています。エアフィルターは定期的に清掃、交換してください。

- エアフィルターの清掃と交換は、スズキ販売店またはスズキ代理店にご相談ください。

地域	清掃時期の目安	交換時期の目安
寒冷地、粉じんの多い地域	**5,000km**ごと、または**6か月**ごと	車検ごと
上記以外の地域	**10,000km**ごと、または**12か月**ごと	車検ごと

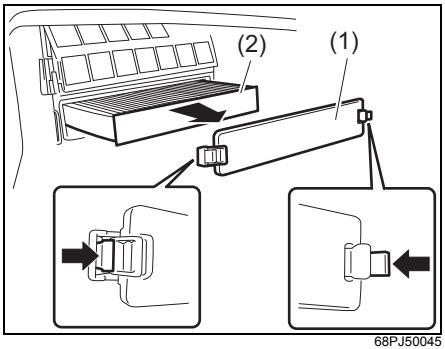
■ エアフィルターの取り外し

1 グローブボックスの側面を矢印の方向に押し込み、取り外します。



68PJ50044

2 ホルダー（1）を外し、エアフィルター（2）を取り出します。

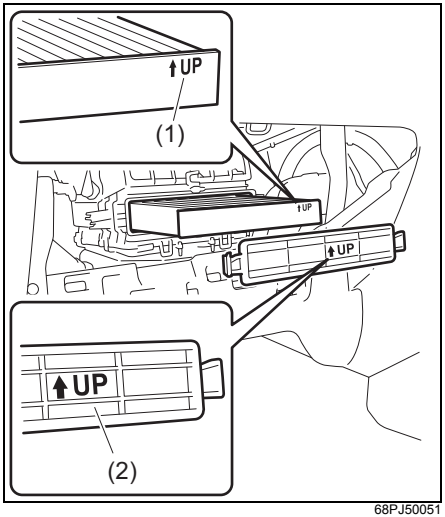


68PJ50045

■ エアフィルターの取り付け

1 エアフィルターは、取り付け方向マーク（1）の矢印を上向きにして挿入します。

2 ホルダーは、取り付け方向マーク（2）の矢印を上向きにして取り付けます。



68PJ50051

5

オーディオ機能について

安全運転のさまたげにならない音量でお聞きください

- 音楽などを聞いているときに、車内または車の近くで携帯電話を使用すると、スピーカーからノイズ（雑音）が聞こえることがあります。これは故障ではありません。
- ナビゲーションまたはオーディオが不法電波の影響を受けると、正常に作動しないことがあります。
- ナビゲーションまたはオーディオの機能については、付属の取扱説明書をお読みください。

⚠ 警告

走行中はナビゲーションまたはオーディオを操作しないでください。操作に気を取られて、思わぬ事故を起こすおそれがあります。

注 記

エンジンを停止したまま長時間ナビゲーションまたはオーディオを使うと、鉛バッテリーがあがる原因となります。

アンテナ

アドバイス

運転中にアンテナで受信できるラジオの電波は刻々と変わるため、ビルの谷間などでは良好な受信状態を保てないことがあります。

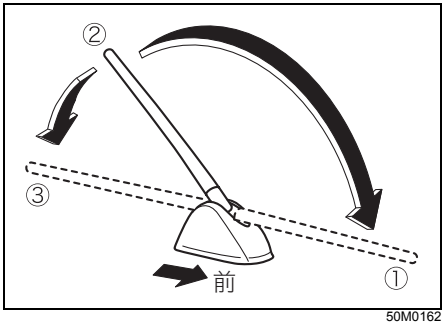
ルーフアンテナ

車両後部にあります。

■ アンテナの調節

アンテナの位置は 3 段階（①、②、③）に調節できます。

- 調節は手でアンテナを動かして行ないます。
- ラジオを聞くときは、アンテナを②の位置に固定してください。アンテナが①または③の位置に倒れていると、ラジオの受信が正常にできないことがあります。



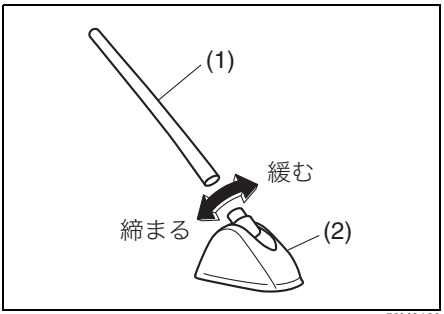
50M0162

注 記

車庫の天井などにアンテナが当たるときは、手でアンテナを①または③の位置に倒してください。

■ アンテナの脱着

- 取り外すときは、アンテナ（1）を反時計方向にまわします。
- 再び取り付けるときは手でアンテナをベース部（2）にねじ込み、しっかりと取り付けてください。



50M0160

注 記

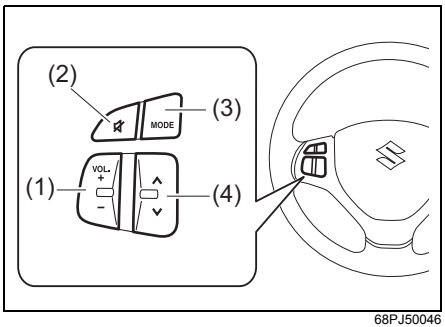
次のようなときには、アンテナを取り外してください。アンテナを損傷するおそれがあります。
- **自動洗車機にかけるとき**
- **ボディカバーをかけるとき**
- **降雪時に長時間駐車するとき**

ステアリング オーディオスイッチ

タイプ別装備

エンジンスイッチが ACC または ON のときに、手元でオーディオまたはナビゲーションの操作ができます。

- ご使用のオーディオまたはナビゲーション本体による操作については、付属の取扱い説明書をお読みください。
- ご使用のオーディションまたはナビゲーションによっては、操作内容が異なる場合があります。



68PJ50046

(1) 音量調節スイッチ
(2) ミュートスイッチ
(3) モードスイッチ
(4) 選局（選曲）スイッチ

音量調節スイッチ（1）

音量が調節できます。

- 大きくするときは、＋側へ押します
- 小さくするときは、－側へ押します
- 連続調節するときは、＋または－側へ長押しします

ミュートスイッチ（2）

ミュートスイッチを押すと、ラジオを消音できたり、CDやUSBなどの演奏を一時停止できたりします。

- もう一度押すと、消音が解除されたり、演奏が再開されたりします。

モードスイッチ（3）

モードスイッチを押すたびに、モード（ラジオやCDなど）が切替わります。

選局（選曲）スイッチ（4）

次の表のように、各モードの操作ができます。

使用モード	スイッチの短押し	スイッチの長押し
ラジオ	プリセット選局（P.CH)（※1）	自動選局（SEEK）（※2）
CD USB（iPod®)	トラック(曲）の選択	早送り／早戻し（※3）

※1 プリセットメモリー（放送局のメモリー）については、オーディオまたはナビゲーションに付属の取扱説明書をお読みください。

※2 受信電波が弱いところでは、自動選局ができないことがあります。自動選局を取り消したいときは、選局スイッチをもう一度押してください。

※3 ご使用のオーディオまたはナビゲーションによっては、長押ししても早送り／早戻しされないことがあります。

6. お車との上手なつきあいかた

● **お手入れ**
外装のお手入れ ····· 6-2
内装のお手入れ ····· 6-4
タイヤの交換 ····· 6-6
携帯リモコンの電池交換 ····· 6-8
ワイパーブレードラバーの交換 ····· 6-10

● **寒冷時の取扱い**
冬期に入る前の準備 ····· 6-12
出発の前に ····· 6-13
雪道を走行するとき ····· 6-15
駐車するとき ····· 6-16
タイヤチェーンを装着するとき ····· 6-18

外装のお手入れ

塗装面を美しく保つために

お車をいつまでも美しく保つためには、日頃のお手入れが大切です。

- 駐車、車の保管は風通しの良い車庫や屋根のある場所をおすすめします。
- 次のようなときはサビや塗装の変色などの原因となります。すみやかに洗車をしてください。
  - 海岸地帯や凍結防止剤を散布した道を走行したとき。とくに車体の下まわり、足まわりを洗車してください。
  - 鳥のふん、虫の死がい、樹液、鉄粉、ばい煙、コールタールなどが付着したり、酸性雨に濡れたりしたとき。
  - ほこりや泥でひどく汚れたとき。
- ワックスがけは月に 1 回程度、または水のはじきが悪くなったら行なってください。ワックスがけのしかたは、ワックス（別売り）の容器に書かれている取扱説明にしたがってください。

アドバイス

ワックスがけのときに塗装されていない樹脂部品にワックスを使わないでください。ワックスが付着すると白くなったりムラになったりするおそれがあります。



80J302

- 飛び石の傷や、ひっかき傷などはサビの原因となります。見つけたら早めに補修してください。

注 記

塗装面の傷を補修するときは、スズキ販売店またはスズキ代理店にご相談ください。不適切な塗料を使用すると、塗装がはがれる原因となります。

洗車のときのご注意

⚠注意

●車体の下まわりや足まわりを洗うときは、けがをしないように気をつけてください。
●洗車したあとはブレーキの効きが悪くなることがあります。
→ 2-18ページ
（水たまりを走行したあとや洗車後はブレーキの効きを確認）

注 記

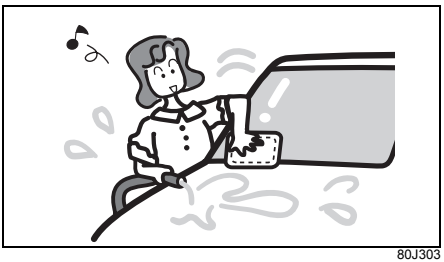
- **エンジンルームに水などをかけないでください。エンジンの始動不良や電気部品が故障する原因となります。**
- **フロントワイパーは運転席側から順に起こし、助手席側から順にもどしてください。助手席側を先に起こす、または運転席側を先にもどすと、ワイパー同士があたって傷つきの原因となります。**

手洗い洗車をするときは

1 十分に水をかけながら、スポンジやセーム皮のようなやわらかいものを使って汚れを洗い落とします。

2 汚れがひどいところは中性洗剤を使って洗い、さらに真水で洗って洗剤を落とします。

3 やわらかい布で水をよくふき取り、水滴のあとが残らないようにします。



80J303

自動洗車機を使うときは

注 記

- **ドアミラーを格納し、アンテナを取り外してください。洗車機にひっかかり、ドアミラーやアンテナを損傷するおそれがあります。**
- **ルーフエンドスポイラー装備車は、自動洗車機での洗車を避けてください。洗車機にひっかかり、スポイラーを損傷するおそれがあります。**
- **自動洗車機によっては、ブラシで傷がついて塗装面の光沢が失われたり、塗装の劣化が早まったりすることがあります。**

高圧洗浄機を使うときは

洗車ノズルを車体から十分に離してください。

注 記

- **洗車ノズルを車体に近づけすぎたり、バンパーなどの開口部に向けたりすると、車体や部品の変形や損傷の原因となります。**
- **洗車ノズルをドアガラスやドアまわりなどの開閉部分に向けると、車内に水が入るおそれがあります。**

フロントウインドーガラスの手入れ

油膜などが付着してワイパーのふき残しが出たときは、ガラスクリーナー（別売り）で汚れを取ってください。

アルミホイール（タイプ別装備）の手入れ

6-3ページの「**手洗い洗車をするときは**」をお読みください。

注 記

- **酸性、アルカリ性の洗剤、石油系溶剤を含むクリーナーを使用しないでください。塗装のしみ、変色、ひび割れ、およびセンターキャップの損傷の原因となります。**
- **硬いブラシや砂入り石けんを使用しないでください。傷つきの原因となります。**

内装のお手入れ

- 砂、ほこりなどは掃除機などで吸い取るか、水またはぬるま湯を固くしぼったやわらかい布でふき取ってください。そのまま放置すると、傷つきの原因となります。
- 液体芳香剤やジュースなど液体類が付着したときは、すみやかにティッシュペーパーややわらかい布でふき取ってください。こぼしたままにしておくと、しみ、変色、ひび割れの原因となります。

⚠警告

車内に水などをかけないでください。ナビゲーション、またはオーディオやスイッチ類、フロア下の配線や電気部品などにかかると、火災や故障につながったり、SRS エアバッグシステムが正常に作動しなくなったりするおそれがあります。

注 記

●次のような成分が含まれているケミカル用品は使用しないでください。しみ、変色、変形、強度低下などの原因となります。
- **ベンジン、ガソリン、シンナー、ステッカーはがし剤などの溶剤**
- **酸性、アルカリ性の洗剤**
- **漂白剤や染料**

●エアコン、オーディオまたはナビゲーションなどの電装品や各種スイッチおよびこれら周辺の清掃にはシリコンを含むケミカル用品を使用しないでください。シリコンが付着した場合、故障の原因となるおそれがあります。

●色物の革製品・毛皮・ビニールなどを長時間、放置しないでください。内装の変色や変質の原因となります。

アドバイス

液体芳香剤はこぼさないように容器を固定するか、固形タイプのもののご使用をおすすめします。

布地、ビニールレザー、樹脂部品などの手入れ

1 中性洗剤の水溶液をやわらかい布に軽く含ませ、汚れをふき取ります。

2 真水を含ませたやわらかい布で、残った洗剤分をふき取ります。

3 残った水分をふき取り、風通しの良い日陰で乾燥させます。

本革の手入れ

タイプ別装備

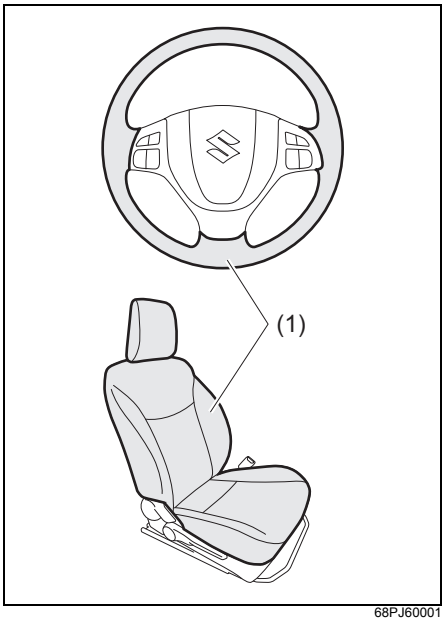
1 ウール用中性洗剤を次の比率でうすめたものをやわらかい布に軽く含ませ、汚れをふき取ります。
ウール用中性洗剤：水＝1：20

2 真水を含ませたやわらかい布を固くしぼり、残った洗剤分をふき取ります。

注 記

洗剤のふき残しがあると、本革部分を傷めるおそれがあります。

3 乾いたやわらかい布で乾ぶきし、風通しの良い日陰で乾燥させます。



68PJ60001

(1)本革部分

注 記

化粧液やハンドクリームなどに含まれるオレイン酸は変色、しみの原因となります。万一、ハンドクリームなどがハンドルの本革部分に付着した際は、すみやかにティッシュペーパーや、やわらかい布でふき取り、前記手順でお手入れをしてください。

アドバイス

- 外観品質を長く保つため、年に2回程度は定期的にお手入れをしてください。
- 水が付着したときは、すみやかにティッシュペーパーややわらかい布でふき取ってください。ぬれたままにしておくと、硬くなって縮むことがあります。
- 炎天下に駐車するときは、日よけなどを使用してください。直射日光に長時間さらすと、色あせや縮みの原因となります。
- 天然素材のため、シボ（皮革表面肌の凹凸）の不均一や、皮革本来の傷などがあっても、皮革としての物性に影響はありません。

バックウインドーガラスの室内側の手入れ

熱線や端子を傷つけないように、水を含ませたやわらかい布で熱線に沿ってふいてください。

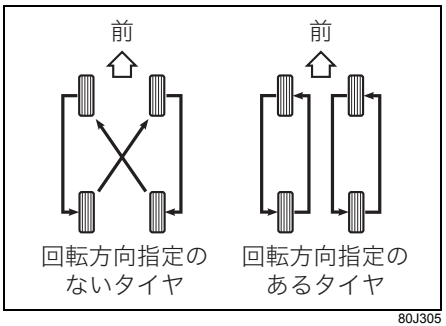
タイヤの交換

タイヤのローテーション

タイヤのかたよった摩耗を防止して寿命をのばすために、約**5,000 km**走行ごとに行なってください。（次の図参照）

- 車載ジャッキでタイヤのローテーションを行なうときは、スペアタイヤ（市販品）などを使用して１輪ずつ交換します。
  → **7-11ページ（ジャッキアップ）**

- タイヤパンク応急修理セット装備車には、応急用スペアタイヤが装備されていないため、スズキ販売店またはスズキ代理店にご相談ください。



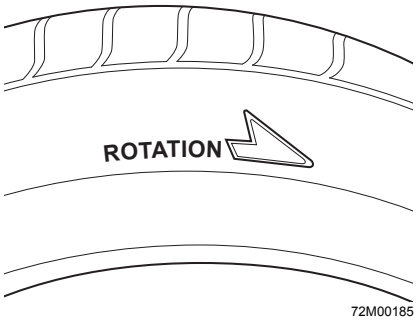
80J305

⚠注意

回転方向指定のあるタイヤをローテーションするときは、回転方向を逆にしないでください。走行に悪影響をおよぼすおそれがあります。

アドバイス

回転方向指定のあるタイヤは、側面に図のような “**ROTATION**” の文字と、回転方向を示す矢印が刻印されています。

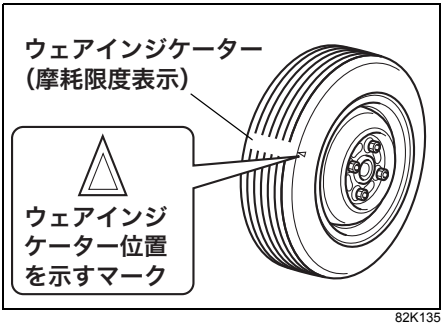


72M00185

- 上図のタイヤは代表例です。

タイヤ交換するときは

- 指定タイヤのサイズと空気圧は、お車のタイプにより異なります。運転席ドアの開口部に貼付してある「**空気圧ラベル**」で確認してください。
- 走行中にハンドルや車体に振動が出る場合は、タイヤのバランスを点検してください。
- 取り付ける前にタイヤの摩耗状態を点検してください。ウェアインジケーター（溝の深さが 1.6 mm 浅い部分）が現れて溝の一部が消えていたら、ほかのタイヤと交換してください。



82K135

⚠ 警告

指定のサイズで、４輪ともサイズ、銘柄、トレッドパターン（溝模様）が同一のタイヤを装着してください。また、摩耗状態が著しく異なるタイヤを使用しないでください。燃費や走行安定性が悪化するだけでなく、思わぬ事故につながるおそれがあります。また、故障の原因となります。(冬用タイヤも同様です)

- **タイヤ回転速度に悪影響をあたえて、次の機能が正常に作動しない場合があります。**
  - **ABS**
  - **ESP®**
  - **レーダーブレーキサポートII（RBSII）**
  - **エマージェンシーストップシグナル（ESS）**
  - **アダプティブクルーズコントロール（ACC）**

携帯リモコンの電池交換

⚠警告

電池および取り外した部品は、お子さまが誤って飲み込まないよう注意してください。

注 記

故障を防ぐため、次のことをお守りください。
- **濡れた手で電池交換しない**
- **電池以外の端子や電子部品に触れない**
- **端子を曲げない**
- **油や異物を付着させない**
- **お客様ご自身で電池を交換される場合は、静電気により携帯リモコンが破損するおそれがあるため、金属物に触れて身体や衣服の静電気を除去してください。**

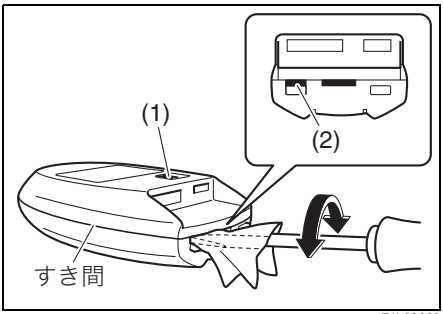
アドバイス

- 電池交換の際、携帯リモコンを破損するおそれがありますので、スズキ販売店またはスズキ代理店での交換（有料）をおすすめします。
- 電池は、製造年をお確かめのうえ、スズキ販売店や家電量販店･ホームセンターなどでご購入ください。

使用電池	リチウム電池CR2032

1 携帯リモコンからキーを取り出します。
→ **3-2ページ（キー）**

2 携帯リモコンのケースを分割します。
- ケースは、ロック解除レバー（1）側を上にします。（内部ユニットの落下防止のため）
- 傷つき防止のため、マイナスドライバー（市販品）に布などをかぶせます。キー格納穴の両側にある溝（2）へ差し込み、ケースを分割します。



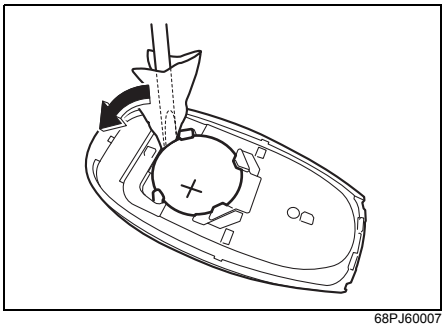
71L60060

注 記

- **ケースを分割するときは、ロック解除レバー（1）側を下にしないでください。内部ユニットが落下して破損するおそれがあります。**
- **ドライバーで、内部ユニットを破損しないよう注意してください。**

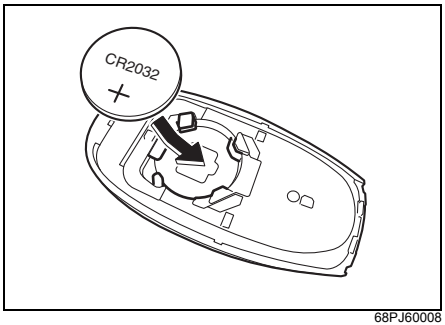
3 電池を交換します。

- 古い電池を取り出します。傷つき防止のため、布などをかぶせたマイナスドライバー（市販品）を使用します。



68PJ60007

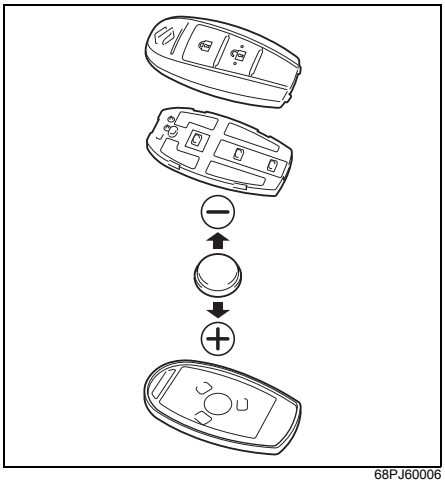
- 電池は、＋極を上にして取り付けます。



68PJ60008

4 ケースを組み付けます。

- ケースのあわせ部分のすきまが均等になるように確実にはめ込みます。
- 万一部品がばらけてしまった場合は、次の図を参考に組み付けてください。



68PJ60006

5 キーを格納します。

6 携帯リモコンが正常に作動するか確認します。

■ 携帯リモコン電池消耗警告灯のリセットのしかた

電池交換前に携帯リモコン電池消耗警告灯が点灯していた場合は、電池交換後に次の操作を行なって警告灯をリセットしてください。

- キーレスエントリーによるドアの施錠・解錠を2回以上繰り返す
  → **3-9ページ（キーレスエントリー）**
  → **3-13ページ（携帯リモコン電池消耗警告表示）**

アドバイス

所有している予備の携帯リモコンの電池が正常な場合、予備の携帯リモコンで上記の操作を行なっても警告灯をリセットできます。

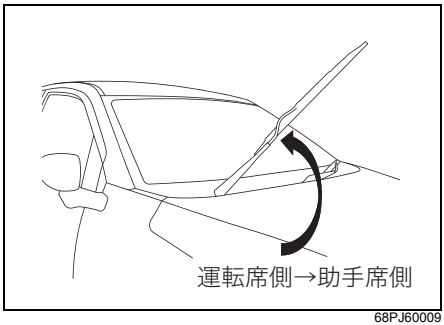
ワイパーブレードラバーの交換

注記

- **ワイパーブレード、ブレードラバーはスズキ純正品の使用をおすすめします。スズキ純正品以外のものを使用すると適切に取り付けできないおそれがあります。**
- **ワイパーブレードラバーは傷んでいると、拭き取りがきれいにできなかったり、ガラスに傷が付くおそれがあります。定期的にワイパーブレードラバーを点検し、傷んでいる場合は交換してください。**
- **ワイパーブレード、ブレードラバーを交換するときはワイパーアームおよびワイパーブレードがガラスに当たらないようにしてください。ガラスに当たるとガラスが破損したり傷が付くおそれがあります。**

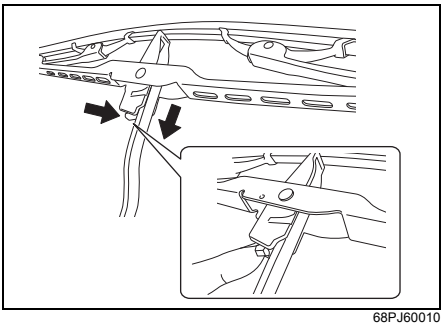
フロントワイパーブレードラバーの交換

1 運転席側、助手席側の順にワイパーアームを起こします。



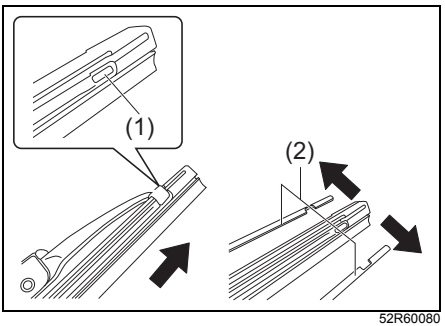
68PJ60009

2 ツメを押しながらワイパーブレードをワイパーアームから外します。



68PJ60010

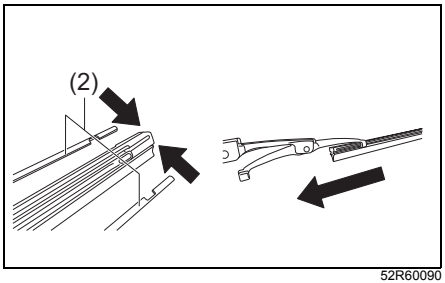
3 ブレードラバーをワイパーブレードのストッパー（1）から外れるまで引っ張り取り外します。ブレードラバーからリテーナー（2）を取り外します。



52R60080

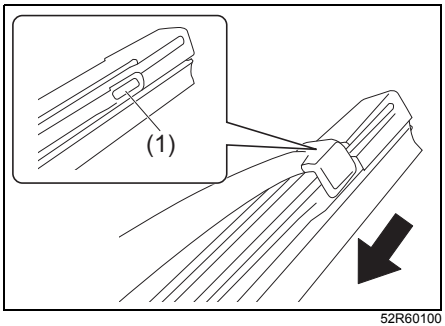
(1) ストッパー　　(2) リテーナー

4 新品のブレードラバーにリテーナー（2）を取り付けます。そのあと、ワイパーラバーをワイパーブレードに差し込みます。ワイパーラバーを取付けるときは、ストッパーのない方からワイパーブレードに差し込みます。



52R60090

5 ブレードラバーを差し込んだあとは、ワイパーブレードーのストッパーに押し込んでブレードラバーを確実に固定します。



52R60100

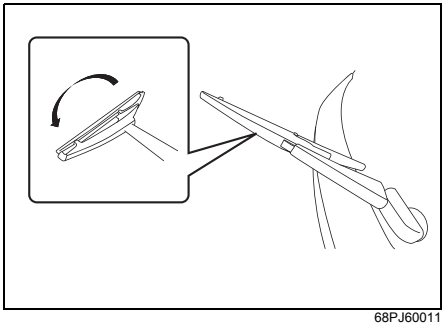
(1) ストッパー

6 ワイパーアームにワイパーブレードを取り外したときと逆の手順で取り付けます。ワイパーブレードがワイパーアームに確実に固定されていることを確認してください。

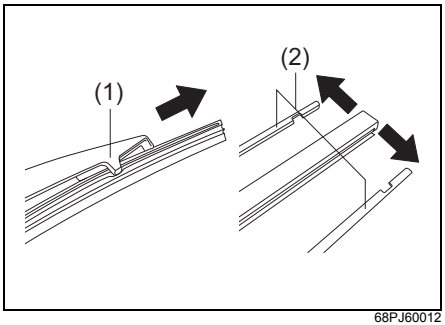
助手席側、運転席側の順にワイパーアームを戻します。

リヤワイパーブレード ラバーの交換

1 ワイパーアームを起こします。起こしたあと、ワイパーブレードを回転させてワイパーブレードをワイパーアームから外します。


68PJ60011

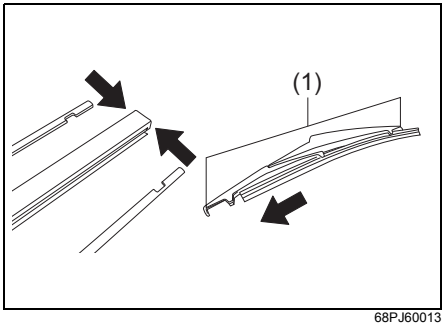
2 ワイパーラバーの先端を引っ張りワイパーブレードのストッパー（1）から外し取り外します。取り外したブレードラバーからリテーナー（2）を取り外します。



68PJ60012

(1) ストッパー　　(2) リテーナー

3 新品のブレードラバーにリテーナーを取り付けます。そのあと、ブレードラバーをワイパーブレードに差し込みます。ブレードラバーの両端がワイパーブレードの両端のストッパー（1）内に収まるように確実に取り付けます。



68PJ60013

4 ワイパーアームにワイパーブレードを取り外したときと逆の手順で取り付けます。ワイパーブレードがワイパーアームに確実に固定されていることを確認してください。そのあと、ワイパーアームを戻します。

冬期に入る前の準備

ウインドーウォッシャー液

凍結を防ぐため、外気温に応じた割合で配合してください。

〈スズキ純正ウォッシャー液の場合〉

使用地域・季節	薄める割合	凍結温度
通　常	原液1に水3	約−7℃
温暖地の冬期	原液1に水2	約−10℃
寒冷地の冬期	原液1に水1	約−20℃
極寒冷地の冬期	原液のまま	約−50℃

鉛バッテリー

鉛バッテリーの液量や比重を点検してください。寒くなるとバッテリーの性能が下がり、弱っているバッテリーではエンジンがかかりにくくなります。

→ **2-3ページ（バッテリーを点検して）**

冷却水

エンジン内部の腐食および凍結防止のため、指定の冷却水をお使いください。

→ **8-1ページ（サービスデータ）**
→ **メンテナンスノート（日常点検）**

アドバイス

冷却水の濃度点検および交換は、スズキ販売店またはスズキ代理店へお申し付けください。

スノーブレード（別売り）

スノーブレード（降雪地用ワイパーブレード）は、金属部分をゴムで覆って雪の付着を少なくするものです。
標準装備のワイパーブレードでは、降雪時に雪が付着し、ふき取りにくくなることがありますので、必要に応じて交換してください。

⚠注意

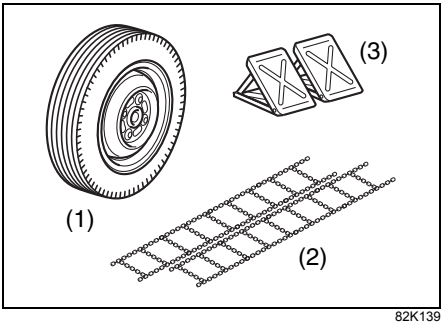
高速走行時は、通常のワイパーブレードよりふき取りにくくなることがあります。その場合には、車のスピードを落としてください。

アドバイス

雪の降らない時季は、通常のワイパーブレードのご使用をおすすめします。

冬用タイヤ、タイヤチェーン、輪止め（別売り）

雪道や凍結路を走行するために必要です。



82K139

(1) 冬用タイヤ　　(3) 輪止め(市販品)
(2) タイヤチェーン(別売り)

出発の前に

屋根に積もった雪

- 出発の前に取り除いてください。走行時に落下して、視界をさまたげるおそれがあります。
- レーダーセンサー前方のセンサーカバー表面に雪や氷などが付着していると、レーダーブレーキサポート II（RBSII）が正常に作動しないおそれがあります。

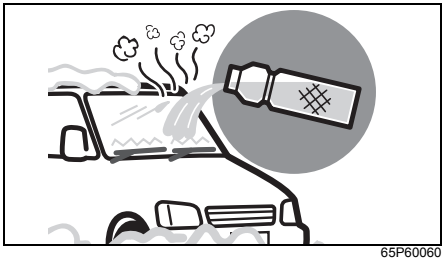
→ **4-59ページ（レーダーセンサーの取扱い）**



80J308

ワイパーの凍結

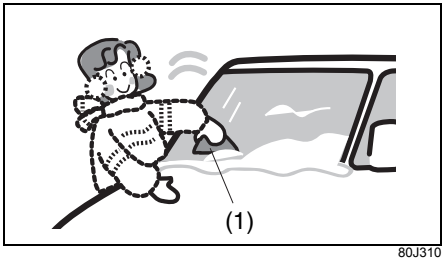
ぬるま湯をかけて氷を溶かします。溶かしたあとは、再び凍結しないように水分をふき取ってください。凍結したまま無理にワイパーを作動させると、ブレード部(ゴムの部分)が傷ついたり、ワイパーが故障したりするおそれがあります。



65P60060

ガラス面の雪や霜

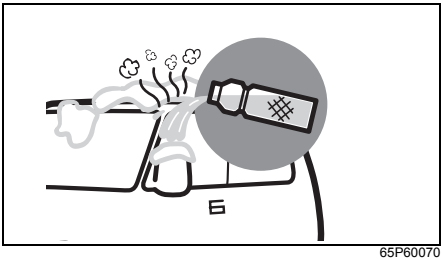
プラスチックの板（1）を使うと、ガラスを傷つけずに落とせます。



80J310

ドアミラーの凍結

ぬるま湯をかけて氷を溶かします。溶かしたあとは、再び凍結しないように水分をふき取ってください。凍結したまま無理にドアミラーを動かそうとすると、故障のおそれがあります。



65P60070

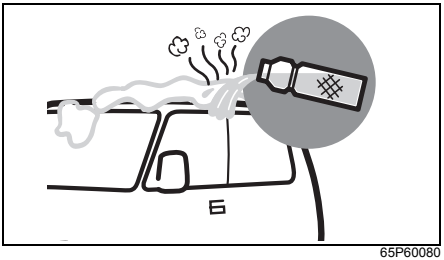
注 記

ドアミラー格納スイッチの場合、ミラーを手で動かすことが可能かを確認してから、スイッチ操作を行なってください。凍結したまま操作を繰り返すと、故障の原因となります。

→ 3-25ページ（ドアミラー格納スイッチ）

ドアの凍結

ぬるま湯をドアキーの穴を避けてかけます。ドアが開いたあとは水分をふき取ってください。凍結したまま無理に開けようとすると、ドアまわりのゴムがはがれたり、破損したりするおそれがあります。



65P60080

靴に付着した雪

乗車するときによく落としてください。そのまま乗車すると、ペダル操作時に滑ったり、車内の湿気が多くなってガラスがくもりやすくなったりします。



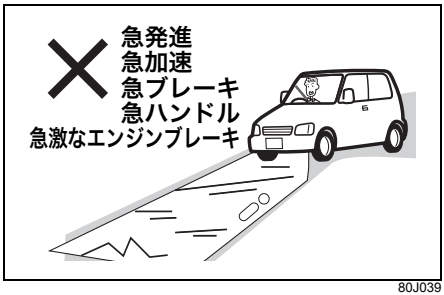
80J312

雪道を走行するとき

雪道や凍結路はゆっくり走行

⚠注意

スピードを控えめにし、急発進、急加速、急ブレーキ、急ハンドル、急激なエンジンブレーキなど「急」のつく運転はしないでください。雪道や凍結路は路面が滑りやすく、スリップ事故を起こすおそれがあります。



80J039

ブレーキの効き具合を確認

ブレーキ装置に付着した雪や氷が凍結して、ブレーキの効きが悪くなることがあります。

- 周囲の安全を確かめてから低速でブレーキペダルを数回踏み、ブレーキの効きを確かめてください。
- ブレーキの効きが悪いときは、効きが回復するまで低速で繰り返しブレーキペダルを軽く踏み、ブレーキ装置のしめりを乾かしてください。

冬用タイヤ、タイヤチェーンを装着

雪道や凍結路では、冬用タイヤまたはタイヤチェーンを装着してください。

- 走行する地区の条例などにしたがって装着してください。
  → **6-7ページ（タイヤ交換するときは）**
  → **6-18ページ（タイヤチェーンを装着するとき）**

フェンダー裏側に付着した雪を取り除く

雪道を走行すると、フェンダーの裏側に雪が付着してタイヤと接触し、ハンドルの切れが悪くなることがあります。

- ときどき車を止めてフェンダーの裏側を点検してください。雪の塊が付着しているときは、周囲の部品を傷つけないように雪を取り除いてください。



80J313

駐車するとき

パーキングブレーキ

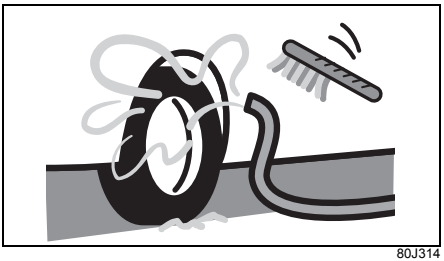
パーキングブレーキが凍結すると解除できなくなります。

- 長時間駐車するときはパーキングブレーキをかけず、セレクトレバーを P に入れ、輪止め（市販品）をします。

凍結防止剤が散布してある道を走行したあとは

すみやかに凍結防止剤を洗い落としてください。とくに車体の下まわり、足まわりを念入りに洗ってください。放置するとサビの原因となります。
凍結を防ぐため、洗車後はドアまわりなどの水分をふき取ってください。

- ドアキーの穴を避けて洗車してください。キー穴が凍結すると、ドアが解錠できなくなります。
- ドアまわりのゴム部品の水分は、とくによくふき取ってください。凍結すると、ドアが開かなくなります。



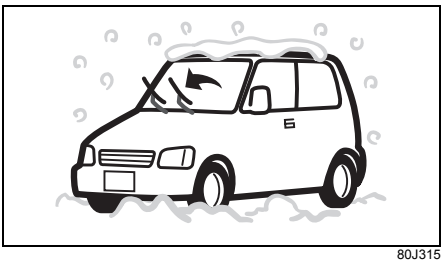
80J314

屋外に駐車するときは

注 記

- 軒下や樹木の下には駐車しないでください。積雪や落雪で車の屋根がへこむことがあります。
- 降雪時に長時間駐車するときは、アンテナを取り外してください。
  → 5-35ページ（アンテナの脱着）

- 駐車するときはワイパーアームを立ててください。雪の重みでワイパーアームが変形したり、ブレード部（ゴムの部分）がガラスに凍結したりすることがあります。
  - フロントワイパーは運転席側から順に起こし、助手席側から順にもどしてください。助手席側を先に起こす、または運転席側を先にもどすと、ワイパー同士があたって傷つきの原因となります。

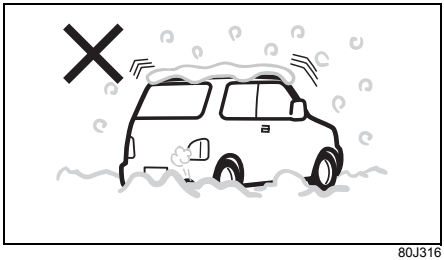


80J315

排気管のまわりが雪で覆われたときは

⚠警告

排気管のまわりが雪で覆われたままエンジンを回転させないでください。
排気ガスが車内に侵入し、一酸化炭素中毒のおそれがあります。



80J316

タイヤチェーンを装着するとき

タイヤチェーン

この車に適合したスズキ純正品を装着してください。適合するタイヤチェーンについては、スズキ販売店またはスズキ代理店にご相談ください。

⚠警告

- **適合品以外を装着しないでください。ブレーキ配管や車体を損傷するおそれがあります。**
- **走行中にいつもと違う音がするときは、ただちに停車して点検してください。タイヤチェーンが切れたり、一部が外れたりして車体に当たると、ブレーキ配管や車体を損傷するおそれがあります。**

⚠注意

- **タイヤチェーンを装着して走行するときは、安全およびタイヤチェーン保護のためスピードを控えめ（30 km/h以下）にし、急発進、急加速、急ブレーキ、急ハンドル、急激なエンジンブレーキなど「急」のつく運転をしたり、突起や穴を乗り越えたりしないでください。**
- **タイヤチェーンを装着すると、タイヤ回転速度に悪影響をあたえて、次の機能が正常に作動しない場合があります。**
  - **ABS**
  - **ESP®**
  - **レーダーブレーキサポートII（RBSII）**
  - **エマージェンシーストップシグナル（ESS）**
  - **アダプティブクルーズコントロール（ACC）**

注 記

タイヤチェーンを装着したまま、雪のない舗装路を走行しないでください。路面が損傷したり、タイヤチェーンの摩耗が早まったりします。

タイヤチェーンを装着する前に

■ タイヤチェーンは前輪に装着

この車は前輪が駆動輪です。後輪には装着しないでください。

■ ジャッキアップに適した安全な場所で装着

7-9 ページの「**タイヤ交換の準備**」の 1、2 をお読みください。

■ フルホイールキャップ（タイプ別装備）を外してから装着

フルホイールキャップの傷つき防止のため、キャップを外してからタイヤチェーンを装着します。キャップの外しかたは**7-10ページ**をお読みください。

タイヤチェーンの装着

タイヤチェーンに付属の取扱説明書をよくお読みください。

注 記

アルミホイール装備車の場合、タイヤチェーンでホイールに傷がつくおそれがあります。

7. 万一のとき

● **パンク**
工具、ジャッキの収納場所 ····· 7-2
パンクしたときは ····· 7-2
タイヤパンク応急修理セット ····· 7-3
タイヤ交換の準備 ····· 7-9
ジャッキアップ ····· 7-11
タイヤの取り付け・取り外し ····· 7-13
タイヤを交換したあとは ····· 7-15

● **バッテリーあがり**
鉛バッテリーあがりとは ····· 7-15
鉛バッテリーあがりのときは ····· 7-15
バッテリーあがりを防ぐためには ····· 7-17

● **ヒューズ切れ**
ヒューズが切れたときは ····· 7-18
ヒューズの点検と交換 ····· 7-21

● **電球切れ**
電球の点検 ····· 7-22
電球を交換するときは ····· 7-23

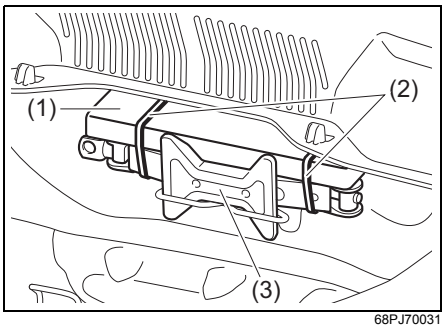
● **オーバーヒート**
オーバーヒートとは ····· 7-28
オーバーヒートしたときは ····· 7-29

● **そのほか**
発炎筒 ····· 7-30
故障したときは ····· 7-30
ロープけん引 ····· 7-32
万一、事故が起きたときは ····· 7-35

工具、ジャッキの収納場所

荷室のラゲッジフロアカーペットの下に収納されています。
→ **1-14ページ（荷室）**

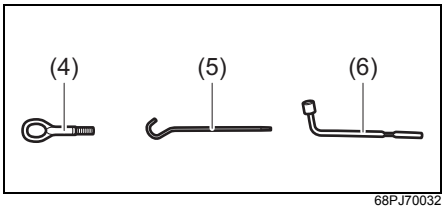
工具の収納場所



68PJ70031

(1) 工具収納ケース
(2) ゴムバンド
(3) ジャッキ

- 工具（ジャッキバー、ホイールナットレンチ、けん引フック）は工具収納ケースに含まれています。
- 工具収納ケースはジャッキとゴムバンドで固定されています。ジャッキからゴムバンドを外して、ご使用ください。



68PJ70032

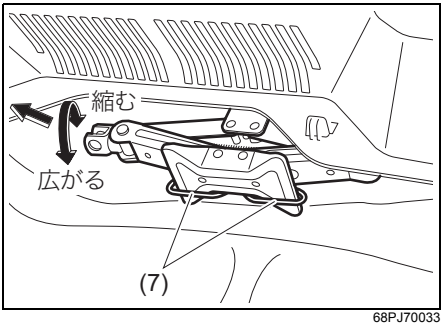
(4) けん引フック
(5) ジャッキバー
(6) ホイールレンチ

- 使用後は所定の位置に収納してください。

ジャッキの取り出し方

ジャッキホルダーにジャッキが固定されているので、ジャッキを縮めて取り出します。

- 縮めにくいときは、ジャッキバーを使ってください。



68PJ70033

(7) ジャッキホルダー

注 記

収納するときに、ジャッキバーなどで無理にジャッキを広げないでください。ジャッキホルダーが変形するおそれがあります。

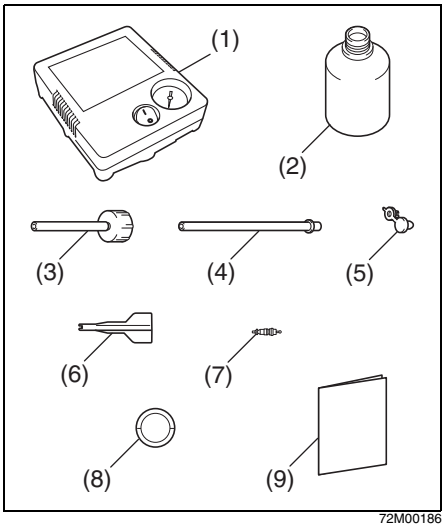
パンクしたときは

お車にはスペアタイヤが搭載されていません。
タイヤパンク応急修理セットをお使いください。

タイヤパンク応急修理セット

このセットは、標準タイヤがパンクしたときに応急的に使用するものです。パンクしたタイヤはすみやかにスズキサービス工場で修理または交換してください。

- タイヤパンク応急修理セットは、荷室のラゲッジフロアカーペットの下に収納されています。
  → **1-14ページ（荷室）**



72M00186

(1) エアコンプレッサー
(2) 修理剤ボトル（タイヤ 1 本分）
(3) 注入ホース
(4) 延長ホース（修理剤抜き取り用）
(5) 注入ホースの栓
(6) コア回し
(7) バルブコア（予備）
(8) 速度制限シール（※）
(9) セット付属の取扱説明書

※ 速度制限シールは、修理剤ボトルの底面に貼付されています。

⚠注意

●応急修理剤は、飲用すると健康に害があります。もし誤って飲用したときは、できるだけたくさんの水を飲み、ただちに医師の診察を受けてください。
●応急修理剤が目や皮膚に付着したときは、できるだけ早く水で洗い流してください。異常を感じたときは、医師の診察を受けてください。
●保管するときは、お子さまが誤って手を触れないように所定の位置に収納してください。

注記

●エアコンプレッサーは、自動車タイヤ専用です。そのほかの目的で使用しないでください。
●エアコンプレッサーはDC12 V専用です。ほかの電源での使用はできません。
●エアコンプレッサーを使用するときは、故障を防ぐため次のことをお守りください。
- **10分以上連続して使用しない**
- **防水加工がされていないため、降雨時などは水がかからないようにする**
- **砂やほこりなどを吸い込ませない**
- **使用中に動作がおそくなったり、本体が熱くなったりしたときはすぐにスイッチをOFFにして、30分以上放置する**
- **分解、改造などをしない**
- **強い衝撃や圧力を加えない**

応急修理セットの点検

定期的に点検してください。

- 応急修理剤ボトルに表示されている有効期限の確認
  - 期限が切れる前に、新品と交換してください。
- アクセサリーソケット電源の確認
- エアコンプレッサー作動の確認
  - エンジンスイッチを ACC にし、エアコンプレッサーの電源プラグをアクセサリーソケットに差し込んで行ないます。

タイヤの応急修理のしかた

タイヤ接地部に刺さった釘やネジなどによる軽度のパンクは、タイヤパンク応急修理セットで応急修理できます。

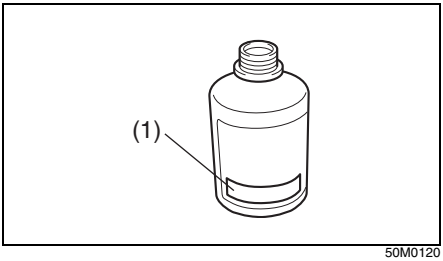
注 記

タイヤに刺さった釘やネジなどは抜かないでください。タイヤの損傷が大きくなったり、そこからの空気漏れで修理時の空気充填ができなくなったりするおそれがあります。

■ 次のような場合は、タイヤの応急修理ができません

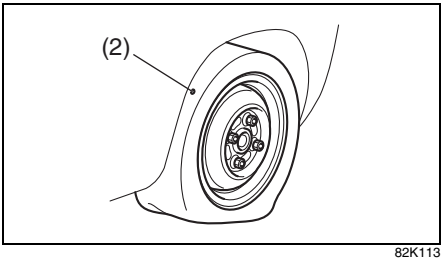
スズキ代理店やJAFなどのロードサービス事業者にご連絡ください。(別冊の「**スズキ4輪車サービスネットワーク**」参照)

- 応急修理剤の有効期限（1）が切れている（有効期限はボトルのラベルに記載）



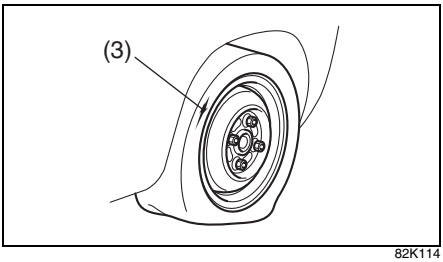
50M0120

- タイヤの接地面に長さ 4 mm 以上の切り傷や刺し傷（2）がある



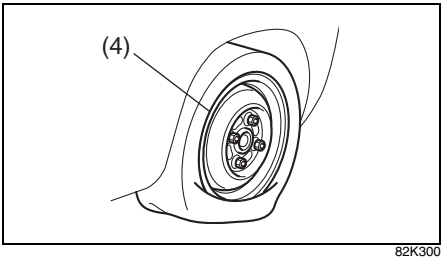
82K113

- タイヤの側面に傷(3)を受けている



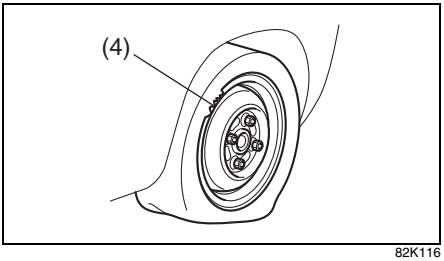
82K114

- タイヤの空気がほとんど抜けた状態で走行した
- タイヤがホイールリム（4）の外側へ完全に外れている



82K300

- ホイールリム（4）が破損または変形している



82K116

- タイヤが2本以上パンクしている（修理剤はタイヤ1本分です）

■ タイヤ応急修理のしかた

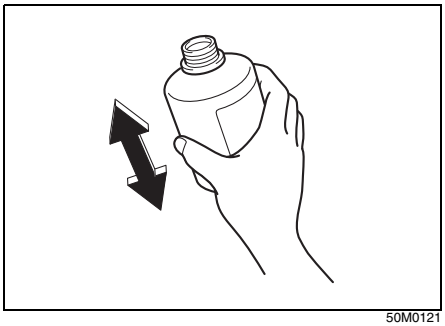
1 他車に注意をうながすため、非常点滅表示灯を点滅させます。他車の通行のじゃまにならず、安全に作業ができ、地面が硬くて平らな場所に車を移動します。

2 パーキングブレーキをしっかりとかけます。

●セレクトレバーを P に入れ、エンジンを止めます。

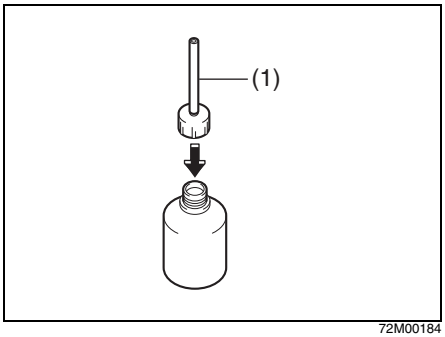
必要に応じて、停止表示板（別売り）を置きます。

3 同乗者がいるときや重い荷物を乗せているときは、車から降ろします。タイヤパンク応急修理セットを取り出し、注入ホースをねじ込む前に、修理剤ボトルをよく振ります。


50M0121

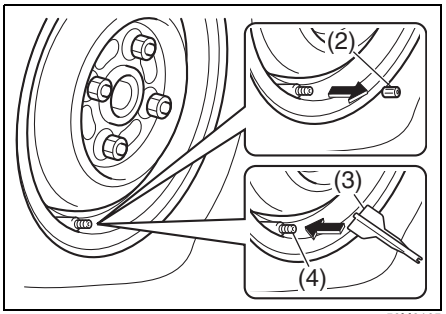
4 注入ホース（1）を修理剤ボトルにしっかりとねじ込みます。

●ボトルの栓が破れます。



72M00184

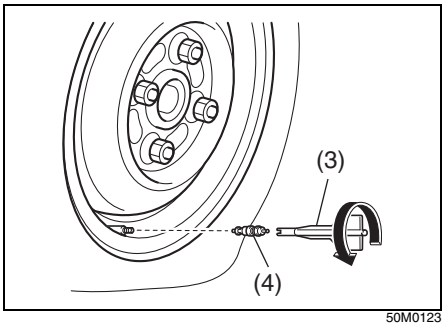
5 タイヤバルブからキャップ（2）を反時計方向にまわして外します。コア回し（3）の羽根状部分の先端などでバルブ内のバルブコア（4）を押し、タイヤに残った空気を完全に抜きます。



50M0165

6 コア回し（3）でバルブコア（4）を反時計方向にまわして外します。

- バルブコアは再使用します。汚れないようにきれいなところへ保管します。



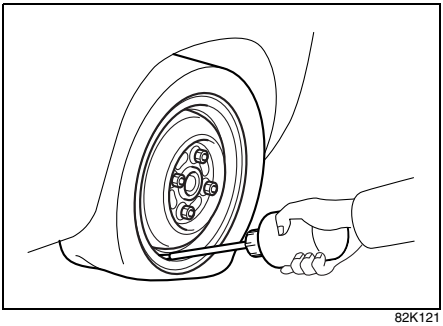
50M0123

⚠注意

バルブコアを外すとき、タイヤに空気が残っているとバルブコアが飛び出すことがあります。慎重に外してください。

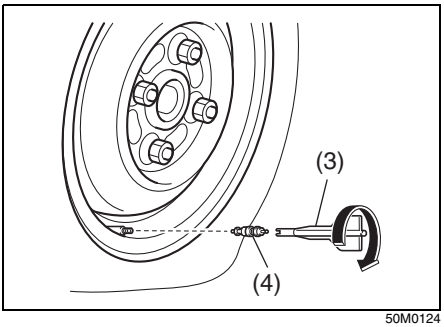
7 注入ホースの先端をタイヤバルブに差し込みます。修理剤ボトルを逆さまにして持ち、手で何回も圧迫し、修理剤をすべてタイヤ内に注入します。

- 空になったボトルは、修理剤の抜き取りに必要なため、タイヤ交換または修理を依頼するときにスズキサービス工場にお渡しください。
- こぼれた修理剤は、ふき取るかそのまま乾燥させてからはがします。


82K121

8 注入ホースをタイヤバルブから引き抜き、コア回し（3）でバルブコア（4）をタイヤバルブにしっかりとねじ込みます。

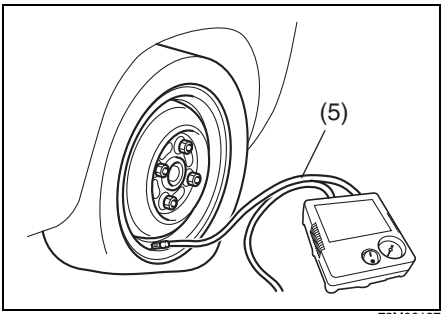
●外しておいたバルブコアが汚れていたり紛失したりした場合は、タイヤパンク応急修理セット内にある予備のバルブコアをご使用ください。



50M0124

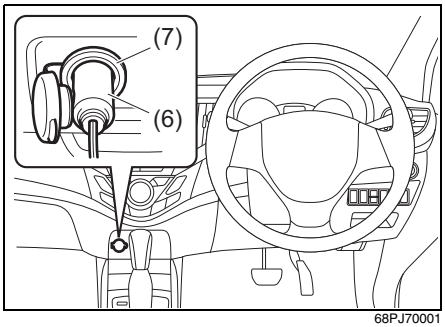
9 エアコンプレッサーの底面から、ホースを取り出します。

10 エアコンプレッサーのホース（5）先端の口金をタイヤバルブにねじ込みます。



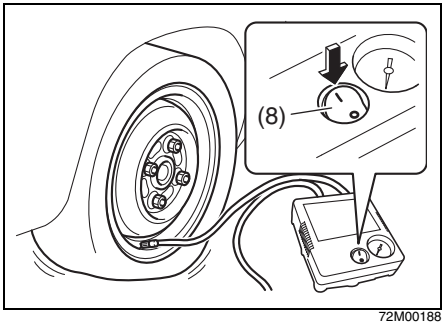
72M00187

11 エアコンプレッサーのスイッチがOFF になっていることを確認します。電源プラグ（6）をアクセサリーソケット（7）に差し込み、エンジンスイッチを ACC にします。



68PJ70001

12 エアコンプレッサーのスイッチ（8）を ON にし、空気を入れます。タイヤ空気圧が指定空気圧になるまで昇圧させます。



72M00188

●タイヤがホイールリムから外れている場合は、空気が漏れないようにリムとタイヤのすきまをなくすようにしてから、コンプレッサーを作動させます。（すきまがなくなれば空気圧が上がります。）
●指定空気圧まで昇圧するには、約10分程度が必要です。10分以内に指定空気圧まで昇圧しないときは、タイヤがひどい損傷を受けている可能性があります。この場合は、本修理セットによる応急修理ができません。スズキ代理店やJAFなどのロードサービス事業者にご連絡ください。
●空気を入れすぎたときは、コンプレッサーのホース先端の口金をゆるめて、空気を抜きます。

⚠注意

●コンプレッサーを作動させているときは、タイヤの近くに立たないでください。万一バーストなどした場合に、けがのおそれがあります。
●タイヤがふくらむと、タイヤがリム部にはまり込みます。指などをはさまないように注意してください。

注記

●コンプレッサーの起動・停止は、コンプレッサー本体のスイッチで行なってください。
●コンプレッサーは10分以上連続して作動させないでください。故障につながるおそれがあります。

アドバイス

タイヤの指定空気圧は、運転席ドアの開口部に貼付してある空気圧ラベルで確認できます。

13 指定空気圧まで昇圧できたら、修理剤をタイヤ内にゆきわたらせるため、コンプレッサーを収納し、ただちに走行します。スピードを控えめにして、急加速や急ハンドル、急ブレーキなどはせず、慎重に運転してください。

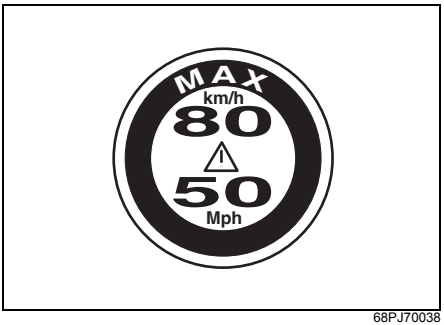
14 約10分間または5 km程度走行したら、タイヤ空気圧をコンプレッサーの空気圧計で確認します。空気圧が130 kPa（1.3 kgf/cm^2）以上あれば、パンク応急修理の完了です。再度、指定空気圧に調整してください。
●タイヤ空気圧を測定するときは、コンプレッサーのホース先端の口金をタイヤバルブにねじ込んだあとに電源をつなぎ、一度スイッチをONにしたあと、すぐにスイッチをOFFにして空気圧を確認します。

●走行後、タイヤ空気圧が 130 kPa 未満に低下していた場合は、本修理セットによる応急修理ができていないことを示しています。走行を中止して、スズキ代理店や JAF などのロードサービス事業者にご連絡ください。

⚠注意

走行後、必ず空気圧のチェックを行ない、応急修理の完了を確認してください。

15 異常がなければ、付属の速度制限シールを運転者のよく見えるところに貼ります。十分注意して 80 km/h以下の速度で走行してください。



68PJ70038

⚠警告

次のような場所には、速度制限シールを貼らないでください。
- **SRS エアバッグの収納部。万一のときに、エアバッグが正常にふくらまなくなるおそれがあります。**
- **警告灯やスピードメーターが見えなくなる位置**

タイヤを応急修理したあとは

応急修理剤を使用したタイヤは、一時的に使用するものです。すみやかにスズキサービス工場で、タイヤ交換または修理してください。

- タイヤ交換または修理を依頼するときは、修理剤を使用したことを知らせてください。また、修理剤の抜き取りに必要なため、空になった修理剤ボトルを渡してください。
- ホイールは、付着した修理剤をふき取り、バルブコアを新しいものに交換すれば再使用できます。
- タイヤを修理・再使用するときは、付着した修理剤をふき取る必要があります。ただし、タイヤの損傷の程度によっては、再使用できない場合があります。
- 新しい修理剤はスズキ販売店またはスズキ代理店でご購入ください。

タイヤ交換の準備

お車にはスペアタイヤが搭載されていません。
スペアタイヤ（市販品）が準備できない場合は、タイヤパンク応急修理セットをご使用ください。
→ **7-3ページ（タイヤパンク応急修理セット）**

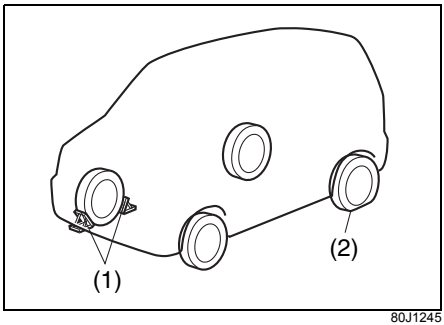
1 他車に注意をうながすため、非常点滅表示灯を点滅させます。他車の通行のじゃまにならず、安全に作業ができ、地面が硬くて平らな場所に車を移動します。

2 パーキングブレーキをしっかりとかけます。

- セレクトレバーを P に入れ、エンジンを止めます。

必要に応じて、停止表示板（別売り）を置きます。

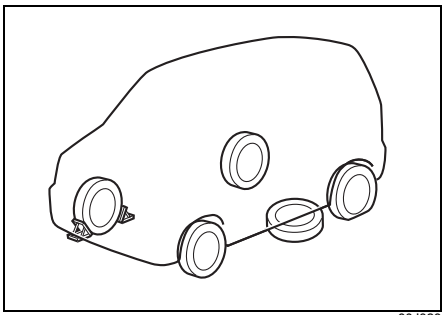
3 交換するタイヤ（2）と対角線の位置にあるタイヤの前後に、輪止め（1）（市販品）を置きます。



80J1245

4 工具、ジャッキ、スペアタイヤを取り出します。同乗者がいるときや重い荷物を載せているときは、車から降ろします。

- 万一ジャッキが外れたときに足などをはさまないために、取り出したスペアタイヤは、交換するタイヤの近くの車体の下に置いてください。

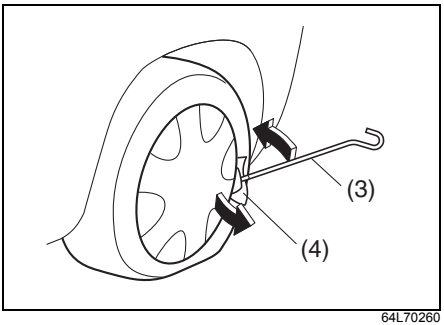

80J323

アドバイス

スペアタイヤを地面に置くときは、ホイール表面を上にすると傷つきにくくなります。

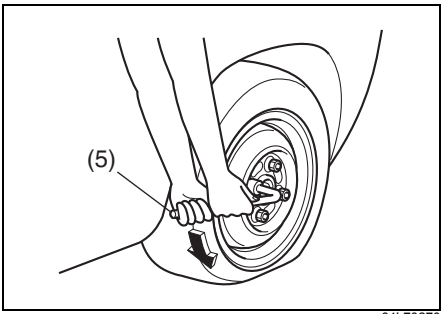
5 フルホイールキャップ（タイプ別装備）を外します。

- 傷つき防止のため、ジャッキバー（3）の先端に布（4）をあてがってホイールとキャップの間に差し込み、こじって外します。



64L70260

6 ホイールナットレンチ（5）でホイールナット 4 個を反時計方向にまわし、手でナットが軽くまわるくらいまでゆるめます。



64L70270

7

ジャッキアップ

ジャッキアップをする前に、パーキングブレーキをしっかりとかけてください。

- セレクトレバーを P に入れ、エンジンを止めてください。

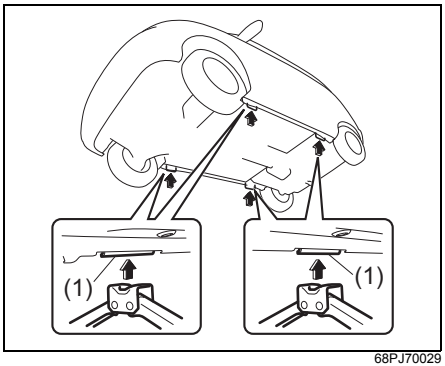
⚠警告

万一ジャッキが外れると、身体がはさまれ重大な傷害を受けたり、車が動き出して思わぬ事故につながったりするおそれがあります。ジャッキアップするときは次のことをお守りください。

- **地面が硬くて平らな場所でジャッキアップしてください。**
- **ジャッキは、タイヤ交換またはタイヤパンク修理だけに使用してください。**
- **ジャッキはこの車に付属のものを使用し、ほかの車のものは使用しないでください。また、この車のジャッキをほかの車に使用しないでください。**
- **ジャッキは必ず指定された位置にかけてください。指定以外の位置にジャッキをかけると、ジャッキが外れたり、車を損傷したりするおそれがあります。**
- **ジャッキで必要以上に車を持ち上げないでください。**
- **ジャッキで車を持ち上げているときは、車の下にもぐったり、エンジンをかけたり、車をゆすったりしないでください。**
- **ジャッキアップするときに、ジャッキの上や下にものをはさまないでください。**
- **複数のジャッキを使用して、複数輪を同時にジャッキアップしないでください。**

1 ジャッキバー取り付け部を手でまわしてジャッキを広げ、ジャッキ頭部の凹み部を車載ジャッキ指定位置に軽く接触させます。

2 ジャッキ頭部を軽くゆすって、ジャッキ頭部の凹み部が指定位置にはまっているか確認します。



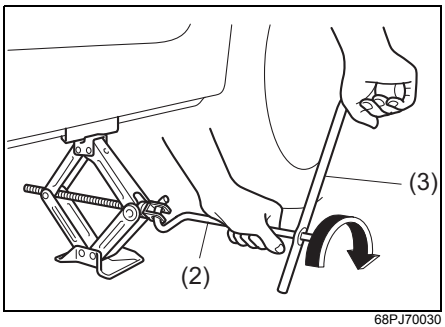
68PJ70029

(1) 車載ジャッキ指定位置

3 ジャッキに、ジャッキバーとホイールナットレンチを取り付けます。（次の図参照）

- ジャッキバーは次の図のように、ホイールナットレンチの穴に差し込みます。

4 ホイールナットレンチをまわして、タイヤが地面から少し離れるまで、車体を慎重に持ち上げます。



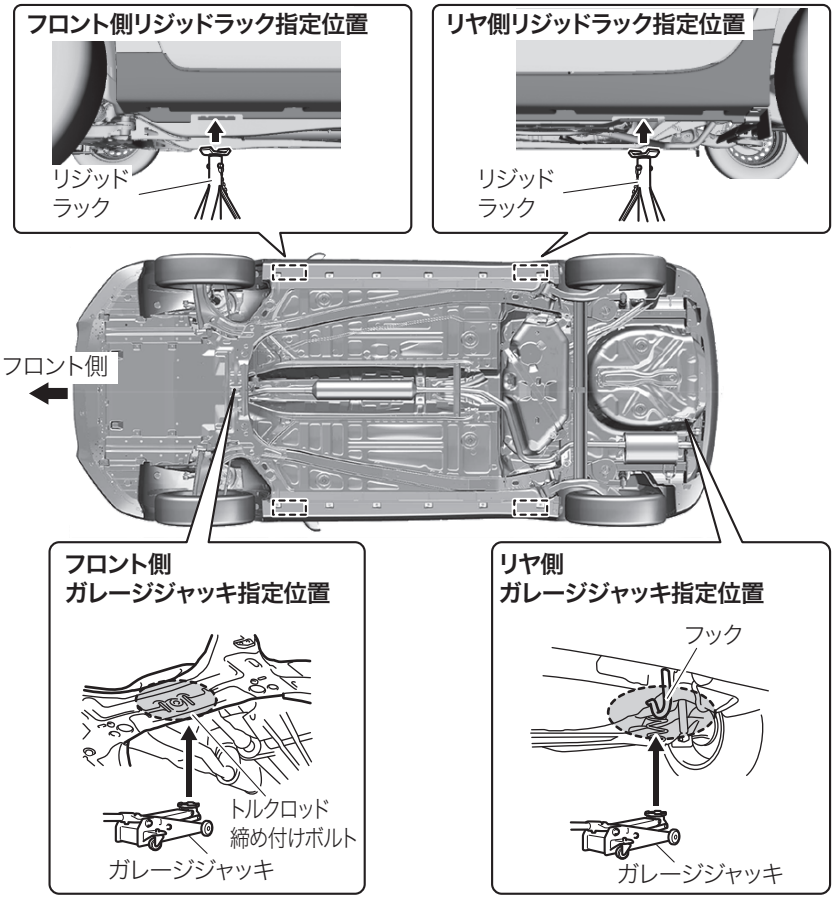
68PJ70030

(2) ジャッキバー
(3) ホイールナットレンチ

7

ガレージジャッキ（市販品）を使用するときは

ガレージジャッキおよびリジッドラック（市販品）の指定位置を下図に示します。詳細については、スズキ販売店またはスズキ代理店にご相談ください。



68PJ70002

⚠警告

- **必ず図に示す指定位置を守ってください。**
- **ジャッキアップした車体を保持する際は、必ずリジッドラックに掛け替えてください。**
- **フロント側またはリヤ側のみをジャッキアップする際は、必ず接地側のタイヤの前後に輪止め（市販品）を置いてください。**
- **フロント側をジャッキアップする際は、エンジンアンダーカバーに接触しないよう車両側面からもかける位置を確認してください。**

タイヤの取り付け・取り外し

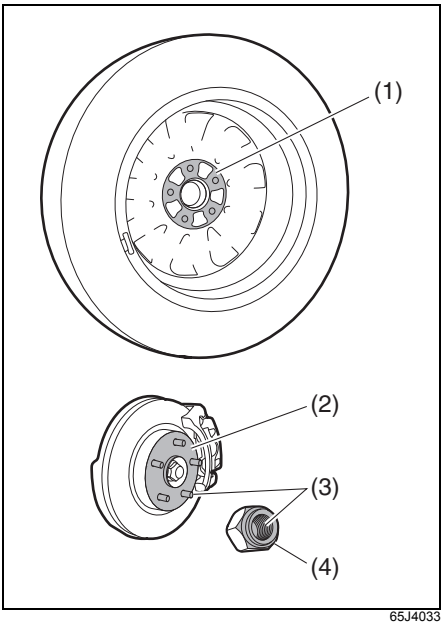
1 ホイールナットを外して、タイヤを取り外します。外したタイヤは、車体の下に置きます。

アドバイス

タイヤを地面に置くときは、ホイール表面を上にすると傷つきにくくなります。

2 次の場所の汚れや異物を取り除きます。

- 交換するホイールの取り付け面（1）
- 車体側の取り付け面（ハブ面）（2）
- ボルトやホイールナットのネジ部（3）
- ホイールナットのテーパー面（4）
- ホイール穴のテーパー面（5）



65J4033

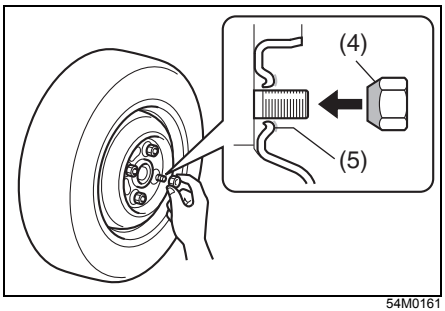
- 上図は代表例です。お車のタイプにより異なります。
- このとき、ボルトやナットのネジ部、ホイールのボルト穴につぶれや亀裂などの異常がある場合は、スズキサービス工場で点検を受けてください。

⚠ 警告

●前記の場所に汚れや異物、つぶれや亀裂などの異常があると、走行中にホイールナットがゆるむことがあります。
●ナットやボルトに、オイルやグリスを付着させないでください。必要以上にナットを締めすぎて、ボルトが折れるおそれがあります。

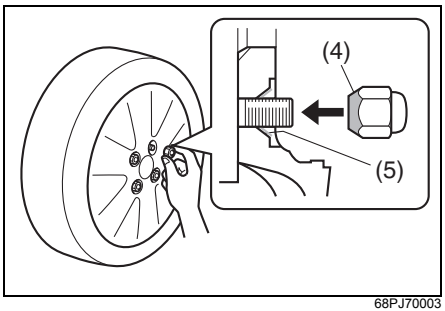
3 ホイールナットのテーパー面（4）が、ホイール穴のテーパー面（5）に軽く接触するまで、手で時計方向にまわして締めます。

スチールホイール装備車



54M0161

アルミホイール装備車



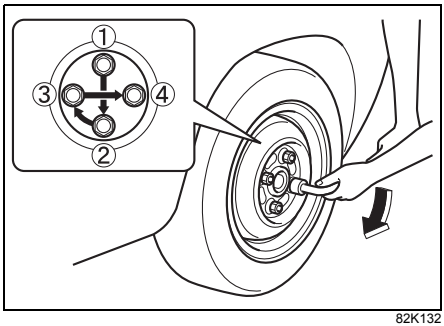
68PJ70003

4 車体の下に置いたタイヤを取り出し、タイヤが地面に接触するまでジャッキを下げます。

5 ホイールナットレンチを使用して、ホイールナットを次の図の順序で2～3回に分けて締め付けます。

締め付けトルク：100 N・m (1020 kgf・cm)

- ホイールナットレンチの柄の先端にかかる力は390 N（40 kgf）を目安にしてください。
- すべてのホイールナットが確実に締まっていることを確認してください。



82K132

⚠警告

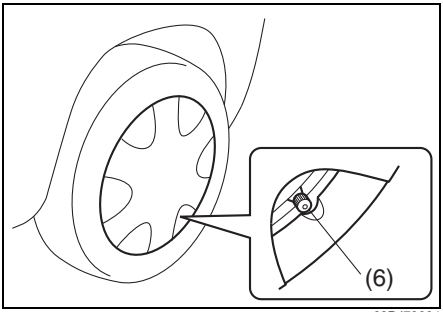
- ホイールナットが確実に締まっていないと、ボルトやブレーキ部品を損傷したり、ホイールが外れたりするなど、思わぬ事故につながるおそれがあります。トルクレンチ（市販品）を使用せずにタイヤ交換した場合は、できるだけ早くスズキサービス工場で締め付けトルクの点検を受けてください。
- ホイールナットレンチを足で踏んだり、パイプや棒などを追加して締め付けたりすると、ナットを締めすぎてボルトが損傷し、事故につながるおそれがあります。

アドバイス

規定の締め付けトルクで締める場合は、トルクレンチ（市販品）のご使用をおすすめします。

6 フルホイールキャップ（タイプ別装備）を付けます。

- タイヤの空気注入口（6）とキャップの切り欠き部分をあわせてから、確実に押し込みます。



68PJ70004

7

タイヤを交換したあとは

- 工具とジャッキを所定の位置に収納してください。
- タイヤを交換してしばらく走行したあと、ホイールナットにゆるみがないか確認してください。
- アルミホイール装備車は、タイヤを交換してから 1,000 km 程度走行したあとに、ホイールナットにゆるみがないか点検してください。

⚠警告

タイヤを交換したあと、車体の振動などの異常を感じたときは、ただちに安全な場所に停車し、スズキ販売店またはスズキ代理店にご連絡ください。

鉛バッテリーあがりとは

次のようなときは、鉛バッテリーがあがっています。

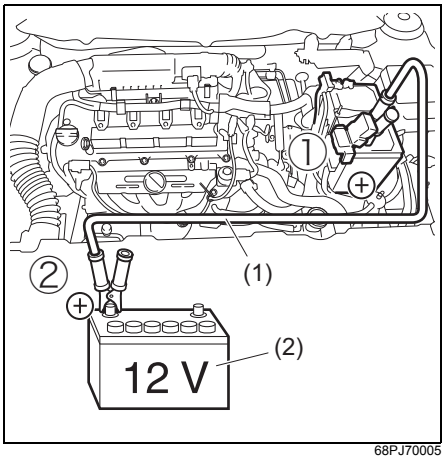
- エンジンをかけようとしてもスターターがまわらない。または、まわっても回転が弱くてエンジンがかからない。
- ヘッドライトが極端に暗かったり、ホーンの音が小さかったりする。

鉛バッテリーあがりのときは

ブースターケーブルと、12Vバッテリーを使用しているほかのバッテリー正常車があれば、エンジンの始動ができます。

1 1本目のブースターケーブル（1）を①→②の順序で接続します。

①バッテリーあがり車の⊕端子
②バッテリー正常車の⊕端子



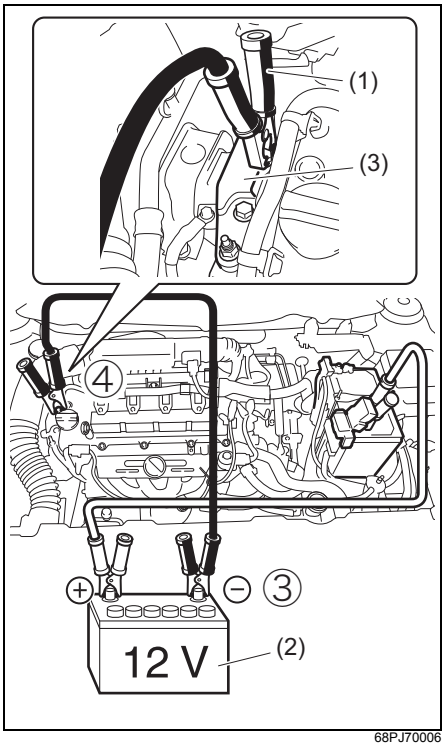
68PJ70005

(1) ブースターケーブル
(2) 正常車の鉛バッテリー

- 上図のイラストは代表例です。お車のタイプにより異なります。

2 2本目のブースターケーブルを③→④の順序で接続します。

③バッテリー正常車の⊖端子
④バッテリーあがり車のエンジンマウントのボルト



68PJ70006

(1) ブースターケーブル
(2) 正常車の鉛バッテリー
(3) エンジンマウント

- 上図のイラストは代表例です。お車のタイプにより異なります。

3 バッテリー正常車のエンジンを始動し、エンジンの回転を少し高めに保ちます。

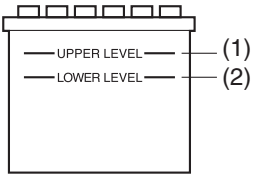
4 バッテリーあがり車のエンジンを始動します。

5 取り付けたときと逆の順序で、ブースターケーブルを外します。

6 お近くのスズキ販売店またはスズキ代理店でバッテリーを完全充電します。

⚠警告

●鉛バッテリーからは水素ガスが発生しています。水素ガスは、火気や火花に引火すると爆発のおそれがありますので、次のことをお守りください。
• バッテリーを充電するときやブースターケーブルをつなぐときは、必ずバッテリー液面を確認してください。バッテリー液面が下限（2）以下のままで充電などすると、バッテリーが発熱して爆発のおそれがあります。また、バッテリーの寿命を縮めるおそれがあります。
バッテリー補充液を上限（1）まで補充してから、充電などを行なってください。



80J1267

7

・充電は火気のない風通しの良いところで、すべてのバッテリーキャップを外して行なってください。

・④の接続のときに、バッテリーがあがった車の ⊖ 端子につながないでください。発生した火花が水素ガスに引火し、爆発のおそれがあります。バッテリーから離れたエンジンマウントのボルトに接続してください。

●乾いた布でバッテリーをふかないでください。静電気が発生して引火のおそれがあります。

●バッテリー液は希硫酸です。目や皮膚につくと、失明などの重大な傷害を受けるおそれがあります。万一、付着したときは、すぐに多量のきれいな水で洗浄し、医師の診察を受けてください。

⚠注意

●ブースターケーブルは確実に接続してください。エンジン始動時の振動などでブースターケーブルが外れると、ドライブベルトや冷却ファン（ラジエーターファン）に巻き込まれるおそれがあります。

●ショート防止のため、ブースターケーブルの ⊕ 端子は、バッテリーの ⊕ 端子以外の部分（⊖ 端子、ボデー、ブラケットなど）と接触させないでください。

● オートマチック車 は押しがけができません。

バッテリーあがりを防ぐためには

- 1か月に一度は連続して30分以上走行して充電する必要があります。
- エンジンを停止したままライトをつけたり、長時間ナビゲーションやオーディオなどを使用したりしないようにしましょう。（アイドリングストップシステム装備車によるエンジン自動停止中を除く）
- 渋滞などで長時間アイドリングを続けている場合は、電装品の使用を極力避けてください。

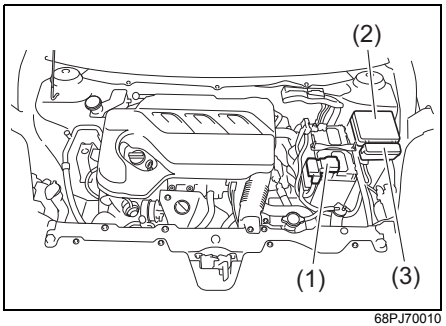
→ **2-3ページ（バッテリーを点検して）**

ヒューズが切れたときは

電気装置が作動しないときや、電球が切れていないのにランプが点灯しないときは、ヒューズ切れが考えられます。

- ヒューズは、エンジンルーム内と助手席足元にあります。
- 装備仕様の違いにより、所定の位置にヒューズがない場合があります。また、装備がなくてもヒューズだけがある場合があります。

エンジンルーム内のヒューズ



68PJ70010

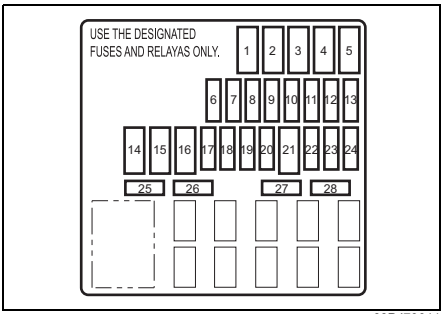
(1) メインヒューズボックス
(2) リレーボックスNo.1
(3) リレーボックスNo.2(タイプ別装備)

- 上図のイラストは代表例です。お車のタイプにより異なります。

■ リレーボックス内のヒューズ

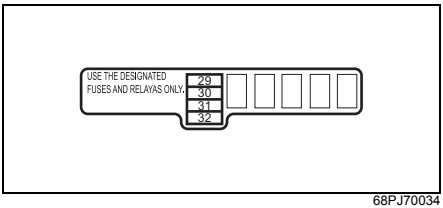
ヒューズの表は、ボックスのふたの裏側にあります。

リレーボックス No.1



68PJ70011

リレーボックス No.2



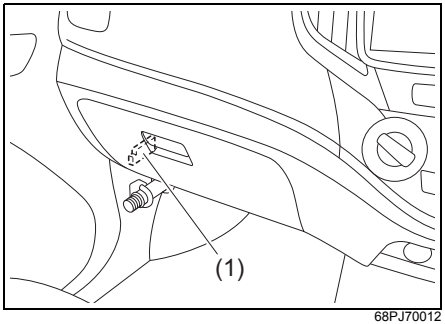
68PJ70034

- 次の表は、各ヒューズが受け持つ主な装備を表しています。

位置	表示	容量	接続先名称
1	ST	30A	スターター
2	BLW	30A	ブロワーファン
3	BTRY	40A	—
4	ABS MOT	40A	ABSモーター
5	IGN	40A	エンジンスイッチ
6	B/U	30A	バックアップ

位置	表示	容量	接続先名称
7	DCDC SUBBAT	30A	サブバッテリー
8	—	—	—
9	—	—	—
10	ABS SOL	25A	ABS ソレノイド
11	H/L L	15A	ヘッドライト (左)
12	12 H/L R	15A	ヘッドライト (右)
13	—	—	—
14	—	—	—
15	RDTR	30A	ラジエーターファン
16	P/S	60A	パワーステアリング
17	ECM	5A	—
18	F/P	20A	—
19	FR FOG	20A	フォグランプ
20	CPRSR	10A	コンプレッサー
21	IGN2	50A	エンジンスイッチ
22	T/M	15A	トランスミッション
23	FI	15A (1.2 L車)	燃料噴射装置
	FI	30A (1.0 L車)	燃料噴射装置
24	T/M PUMP	15A	—
25	—	—	—
26	—	—	—
27	ST SIG2	5A	—
28	—	—	—
29	—	—	—
30	H/L HI	25A	ディスチャージヘッドライト
31	H/L HI R	15A	ディスチャージヘッドライト (右)
32	H/L HI L	15A	ディスチャージヘッドライト (左)

助手席足元のヒューズ

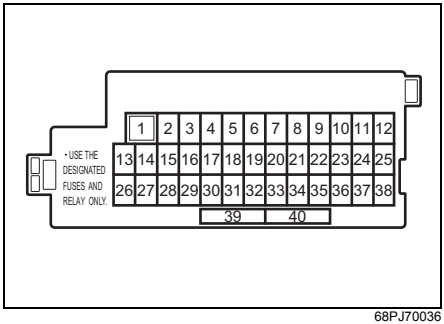


68PJ70012

(1) 助手席足元のヒューズ

■ 助手席足元のヒューズ

ヒューズの表は、ヒューズカバーの表側にあります。



68PJ70036

- 次の表は、各ヒューズが受け持つ主な装備を表しています。

位置	表示	容量	接続先名称
1	P/W	30A	パワーウインドー
2	MTR	10A	メーター
3	IG	15A	イグニッション
4	IG1 SIG2	5A	パワーステアリング
5	SHIFT	20A	—
6	S/R	20A	—
7	—	—	—
8	D/L	20A	—
9	STL	15A	電動ハンドルロック
10	HAZ	10A	ハザード
11	A-STOP	5A	エンジンコントローラー
12	RR FOG	10A	リヤフォグランプ
13	ABS	5A	ABS/ESP®
14	S/H	15A	シートヒーター
15	IG1 SIG3	5A	—
16	DOME2	10A	室内灯
17	DOME	5A	メーター
18	RADIO	15A	ラジオ
19	CONT	5A	—
20	KEY 2	5A	イグニッションスイッチ
21	注) P/W T	20A	—
22	KEY	5A	イグニッションスイッチ
23	HORN	15A	ホーン
24	TAIL L	5A	車幅灯
25	TAIL	10A	尾灯
26	A/B	10A	エアバッグ
27	IG1 SIG	10A	アイドリングストップまたはBSM
28	BACK	10A	後退灯

位置	表示	容量	接続先名称
29	ACC3	5A	ラジオ
30	RR DEF	20A	—
31	MRR HTR	10A	ドアミラーヒーター
32	ACC2	15A	アクセサリーソケット
33	ACC	5A	ラジオ
34	WIP	10A	ワイパー
35	IG2 SIG	5A	ブロワーファン
36	WASH	15A	ウォッシャーモーター
37	FR WIP	25A	—
38	STOP	10A	制動灯
39	—	—	—
40	RR DEF2	25A	リヤデフォッガー

注）P/W Tのヒューズを外したり交換したりしたときは、はさみ込み防止機構の初期設定を行なってください。
→ **3-22ページ（初期設定のしかた）**

ヒューズの点検と交換

ヒューズの点検・交換には、ヒューズ抜き（低背ヒューズ用、市販品）および交換用ヒューズ（別売り）が必要となります。点検・交換の際は、スズキ販売店またはスズキ代理店にご相談ください。

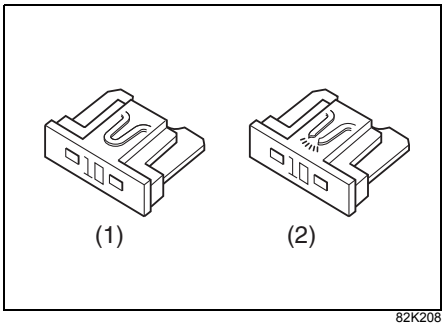
点検・交換のしかた

1 エンジンスイッチを LOCK (OFF) にします。

2 エンジンルーム内のリレーボックスでは、リレーボックスのカバーを外します。

3 故障の状況から、点検すべきヒューズをヒューズの表で確認します。ヒューズ抜き（市販品）をヒューズに差し込んで引き抜き、ヒューズが切れていないか点検します。

4 切れているときは、同じ容量のヒューズと交換します。
- 交換したヒューズがすぐに切れるときは、電気系統の故障が考えられます。スズキサービス工場で点検を受けてください。



(1) 正常なヒューズの例
(2) 切れたヒューズの例

⚠警告

ヒューズは、同じサイズで同じ容量のものと交換してください。サイズの違うヒューズ、容量の大きいヒューズ、針金、銀紙などを使用すると、配線が焼損したり火災が発生したりする原因となります。

電球の点検

出発の前にライトやランプ、方向指示器／非常点滅表示灯などを点灯または点滅させて、電球切れがないか点検してください。

アドバイス

- 制動灯はほかの人に見てもらうか、壁などを利用して点検してください。
- メーター内の方向指示器表示灯の点滅が異常に速くなったときは、方向指示器／非常点滅表示灯の電球切れが考えられます。

ヘッドライトなどのレンズ内面のくもり

レンズ内面に大粒の水滴がついているときやランプ内に水がたまっているときは、スズキサービス工場で点検を受けてください。

アドバイス

ヘッドライトやリヤコンビネーションランプなどは、ランプ内外の温度差により一時的にレンズ内面がくもることがありますが、機能上の問題はありません。（窓ガラスがくもるのと同じ現象です）

電球を交換するときは

電球が切れているときは、ワット数および型式が同一の電球と交換してください。電球のワット数および型式は、サービスデータ（**8-4ページ**）をご覧ください。

- 電球を交換しても点灯しない、またはすぐ切れるときは電気系統の故障が考えられます。スズキサービス工場で点検を受けてください。

⚠警告

高電圧による感電のおそれがあるため、次の電球交換は絶対に行なわないでください。交換の際は、スズキ販売店またはスズキ代理店にご相談ください。

- **ディスチャージ仕様車の下向きヘッドライト（ディスチャージ電球）および上向きヘッドライト（ハロゲン電球）**

⚠注意

電球を交換するときは、次のことをお守りください。

- **安全で平らな場所に駐車し、パーキングブレーキをしっかりとかけてください。**
- **エンジンを止め、各ランプを消灯させ、エンジンや排気管、電球などが十分に冷えてから行なってください。やけどのおそれがあります。**
- **ハロゲン電球は高圧ガスを封入しているため、とくに慎重に扱ってください。割れるとガラスが飛散して、けがのおそれがあります。**

⚠注意

- **車両の部品などで手や腕などをけがしないよう、長袖の上着と手袋を着用してください。**



51K0180

注 記

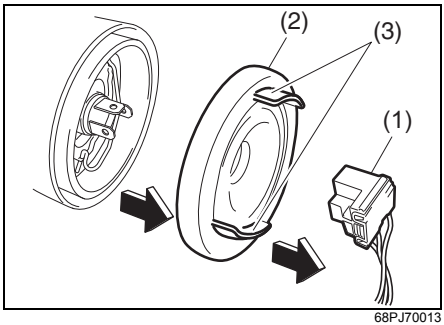
ハロゲン電球を扱うときは、油脂類が付着していない、きれいな手袋をはめてください。使用時電球が高温になるため、素手で扱ってガラス部分に油などが付着すると、発熱による早期電球切れのおそれがあります。

ハロゲンヘッドライト

タイプ別装備

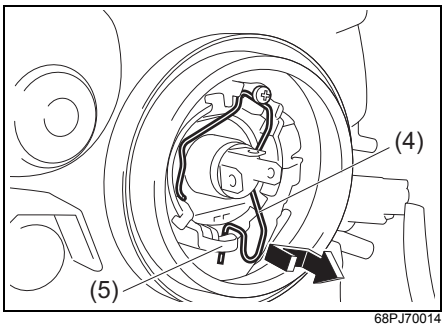
1 ボンネットを開けます。
→ **5-4ページ（ボンネット）**

2 カプラー（1）は、カプラー本体をしっかり持って車両後方へまっすぐ引いて外します。
ゴムカバー（2）は、ツマミ（3）を引いて外します。



68PJ70013

3 止め金 (4) を図の矢印のように、押しながらずらして固定フック (5) から外します。

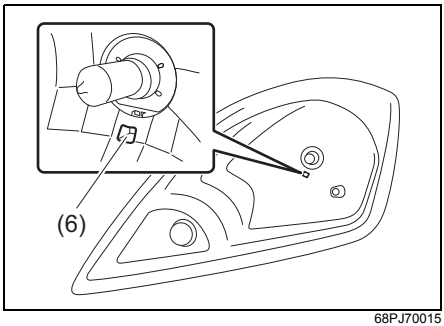


68PJ70014

7

アドバイス

止め金の固定状態は、電球下側の穴 (6) を通して車両前方からも確認できます。



68PJ70015

4 電球を外します。交換後は、外したときと逆の手順でもとにもどします。

フォグランプ

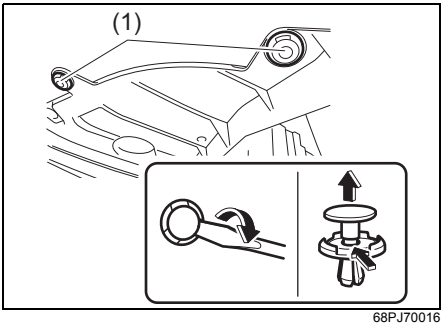
タイプ別装備

1 交換作業のスペースを確保します。

- エンジンをかけ、交換する電球側と同じ方向にハンドルをいっぱいにまわします。
- エンジンを停止します。

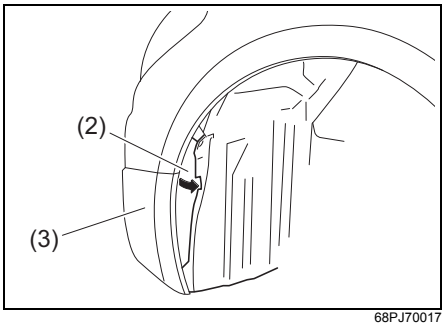
2 フェンダー内のカバーを一部外します。

- バンパー底部のクリップ（1）2個は、マイナスドライバー（市販品）でこじって外します。



68PJ70016

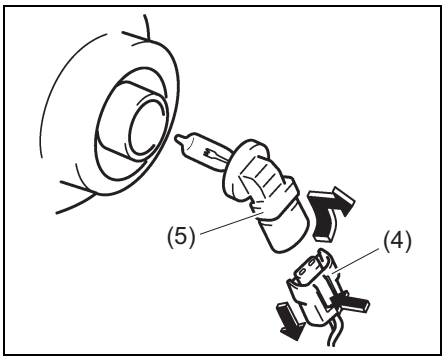
3 フェンダー内のカバーをめくって内側から電球を外し、新しい電球と交換します。



68PJ70017

(2)フェンダー内のカバー
(3)バンパー

- カプラー（4）は、つめを押しながら外します。
- カプラーを外したあとに電球（ソケット一体型）(5) を、反時計方向にまわして外します。



68PJ70018

4 交換後は、外したときと逆の手順でもとにもどします。

- フェンダー内のカバーは、バンパーの内側に入れます。

非分解式ランプ

次のランプは非分解式のため、電球のみの交換はできません。ランプ本体の交換となります。点検・交換の際は、スズキ販売店またはスズキ代理店にご相談ください。

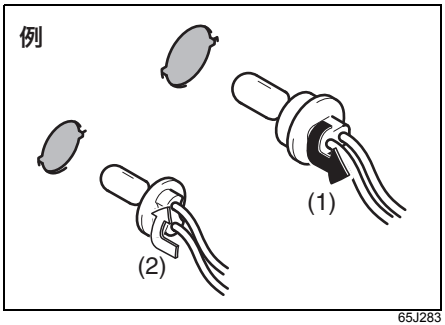
- 方向指示器／非常点滅表示灯（ドアミラー) (タイプ別装備)
- 制動灯／尾灯
- ハイマウントストップランプ
- 車幅灯（ディスチャージ車）

そのほかの一般的な電球

電球ソケットおよび電球の取り外し／取り付けは、次の方法で行ないます。

■ 電球ソケットの取り外し／取り付け

- ソケットをランプ本体から取り外すとき（1）は、ソケットを反時計方向にまわして引き抜きます。
- 取り付けるとき（2）は、ソケットをランプ本体の切り欠きにあわせて差し込み、時計方向にまわします。

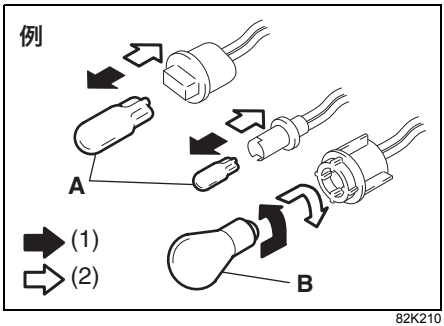


65J283

■ 電球の取り外し／取り付け

2つのタイプがあります。

- **A** のタイプは、図のように抜き差しするだけです。
- **B**のタイプは、次のようになります。
  - 取り外すときは、電球を押しながら反時計方向にまわします。
  - 取り付けるときは、電球を押しながら時計方向にまわします。

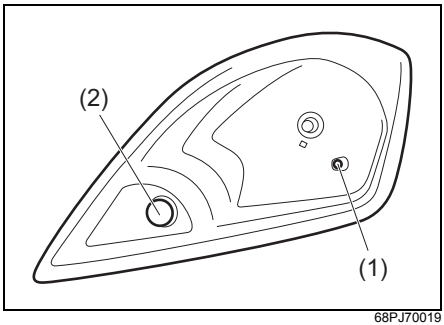


82K210

(1)取り外し
(2)取り付け

■ ハロゲンヘッドライト車の車幅灯、方向指示器／非常点滅表示灯（前面）

ボンネットを開け、エンジンルーム内から交換します。

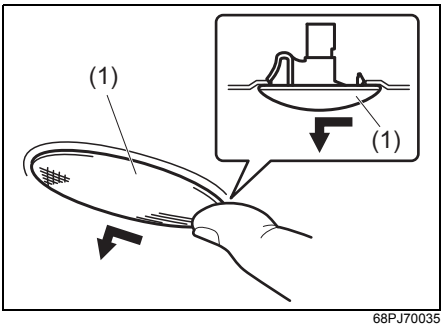


68PJ70019

(1)車幅灯(**B**タイプ)
(2)方向指示器／非常点滅表示灯
（前面、**B**タイプ）

■ ハロゲンヘッドライト車の方向指示器／非常点滅表示灯（側面）

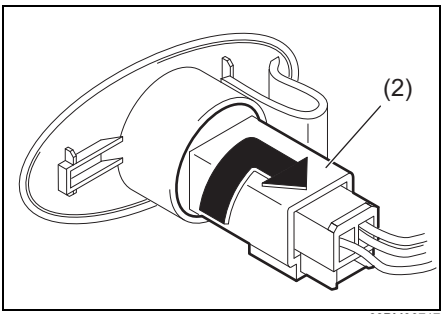
1 方向指示器（1）を指で押しながら左側に滑らせて取り外します。



68PJ70035

(1)方向指示器／非常点滅表示灯
（**A**タイプ）

2 ソケット（2）をランプ本体から取り外すときは、時計方向にまわし、引き抜いてから交換します。

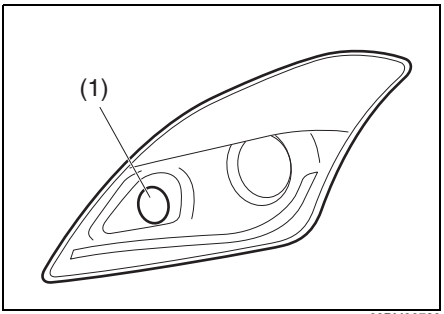


68PM00717

■ ハロゲンヘッドライト車以外の方向指示器／非常点滅表示灯（前面）

ボンネットを開け、エンジンルーム内から交換します。

ディスチャージヘッドライト車



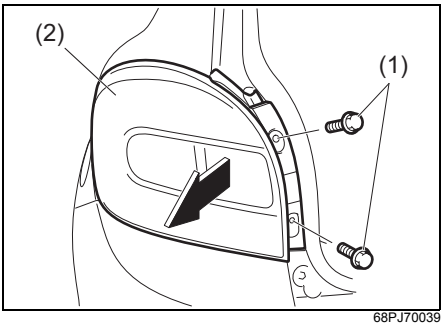
68PM00720

(1)方向指示器／非常点滅表示灯（前面、**B**タイプ）

■ リヤコンビネーションランプ

1 バックドアを開け、ランプ全体を外してから交換します。

- ボルト 2 個は、スパナ（市販品）などで外します。
- ランプ本体は、車両の後方へ引いて外します。

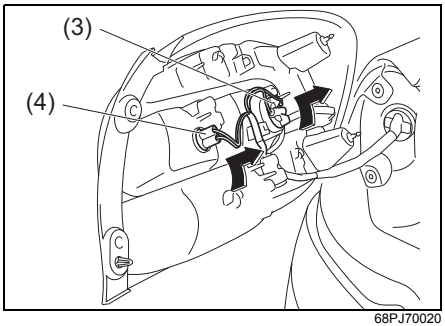


68PJ70039

(1)ボルト
(2)リヤコンビネーションランプ

2 電球を外し、新しい電球と交換します。

- 配線を配線留めから外し、ソケットを反時計方向にまわして外してから交換してください。

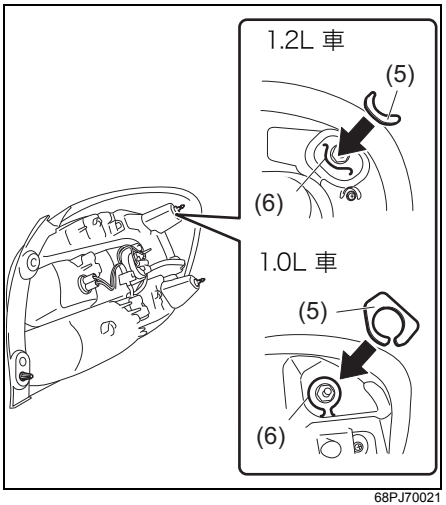


68PJ70020

(3)方向指示器／非常点滅表示灯
(4)後退灯

3 ランプ本体を元に戻します。

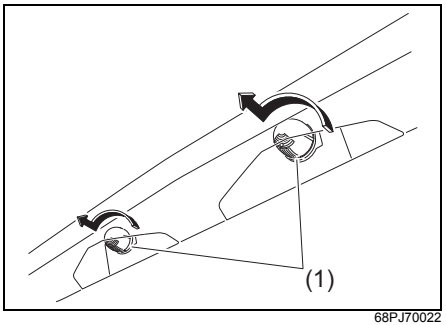
- ランプ本体を戻す前に、必ずクッションパッド (5) を新品に交換してください。
- クッションパッド (5) を貼る際には、ランプ本体にある境界線（6）に沿って貼ってください。
- クッションパッドの再利用はできません。クッションパッドの入手はスズキ販売店またはスズキ代理店でご購入ください。



68PJ70021

■ 番号灯

レンズを反時計方向にまわして外してから交換します。



68PJ70022

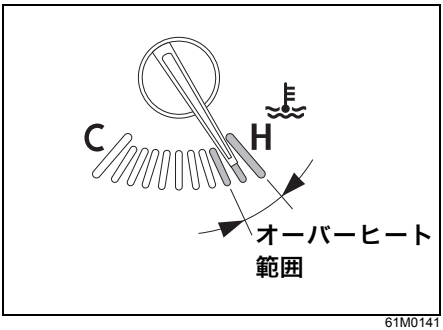
(1)番号灯(**A**タイプ)

オーバーヒートとは

ラジエーターなどの冷却システムによるエンジンの冷却が間に合わなくなり、冷却水を適温に保てなくなった状態をオーバーヒートといいます。
次のようなときは、オーバーヒートです。

- エンジンの力が急に落ちた
- 水温計の指針がオーバーヒート範囲（赤色表示範囲）に入っている

→ **3-60ページ（水温計）**



61M0141

オーバーヒートしたときは

1 車を安全な場所に止めます。

2 エンジンをかけたままでボンネットを開けて、エンジンルーム内の風通しをよくします。

- エンジンルームから蒸気が立ちのぼっているときは、ボンネットを開けずに次の手順を行なってください。
  → **5-4ページ（ボンネット）**

⚠ 警告

エンジンルームから蒸気が立ちのぼっているときは、ボンネットを開けないでください。蒸気や熱湯が吹き出して、やけどのおそれがあります。

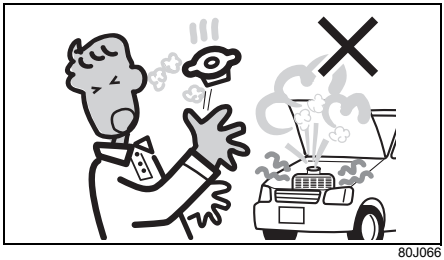
3 冷却ファン（ラジエーターファン）の作動を確認し、水温計の指針が下がるのを待ってエンジンを止めます。

- 冷却ファン(ラジエーターファン)が作動していないときや、水温計の指針が下がらないときは、ただちにエンジンを止め、スズキ販売店またはスズキ代理店にご連絡ください。

4 エンジンが十分に冷えてから、冷却水の量やホースなどからの水漏れを点検します。

⚠ 警告

ラジエーターキャップは、エンジンが十分に冷えてから外してください。エンジンが熱いときは冷却水に圧力がかかっているため、蒸気や熱湯が吹き出してやけどのおそれがあります。



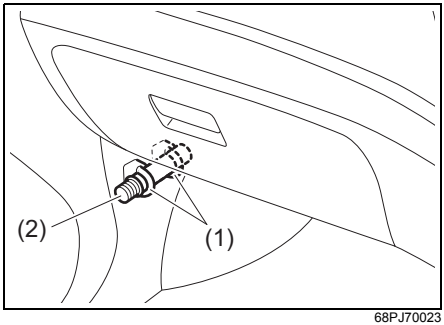
80J066

5 冷却水の量が不足しているときは補充します。

- 水漏れなどの異常があるときは、スズキ販売店またはスズキ代理店にご連絡ください。
- 冷却水がなく、やむをえず水だけを補充したときは、できるだけ早くスズキサービス工場で冷却水の点検または交換をしてください。

発炎筒

- 発炎筒は、助手席足元の左側面のホルダーに取り付けています。
- 点火すると約 5 分間発炎します。踏切や高速道路などの危険な場所で故障したときに、非常用信号として使用します。
- 使用方法は発炎筒に記載されています。あらかじめよく読んでおいてください。
- 発炎筒に表示されている有効期限が切れる前に、新品と交換してください。発炎筒はスズキ販売店またはスズキ代理店でご購入ください。



68PJ70023

(1) ホルダー　　(2) 発炎筒

⚠ 警告

●お子さまにはさわらせないでください。やけどや火災などの思いがけない事故を起こすおそれがあります。
●必ずホルダーに保管してください。
●点火するときは、筒先を顔や身体に向けないでください。やけどのおそれがあります。
●ガソリンなどの可燃物の近くでは使用しないでください。火災の原因となります。
●トンネル内など、換気が悪い場所で発炎筒を使用すると、煙で視界が悪くなります。トンネル内での合図は非常点滅表示灯をご使用ください。

故障したときは

故障したときの連絡先は

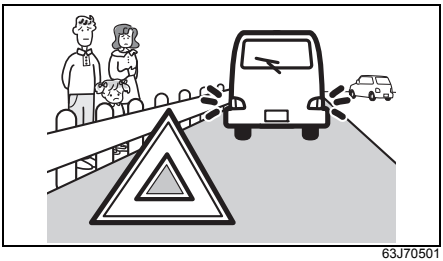
お買い求めのスズキ販売店またはスズキ代理店にご連絡ください。スズキ代理店およびJAFの連絡先は、別冊の「**スズキ 4 輪車サービスネットワーク**」をご覧ください。

停止表示板を常備する

万一のために、停止表示板（別売り）を車に備えてください。高速道路や自動車専用道路では、車の後方に停止表示板を置くことが法令で義務づけられています。

路上で故障したときは

車を路肩などに止め、非常点滅表示灯を点滅させます。必要に応じて停止表示板（別売り）や発炎筒で他車に注意をうながします。

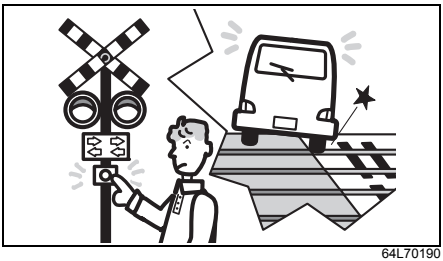


63J70501

全員車から降り、ガードレールの外など安全な場所に、すみやかに避難してください。

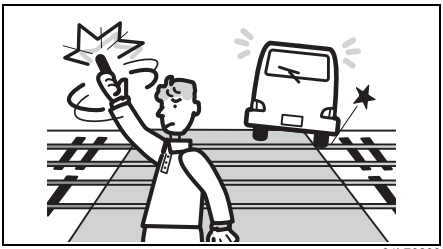
踏切内で動けなくなったときは

脱輪など、踏切内で動けなくなったときは、ただちに踏切の非常ボタンを押してください。



64L70190

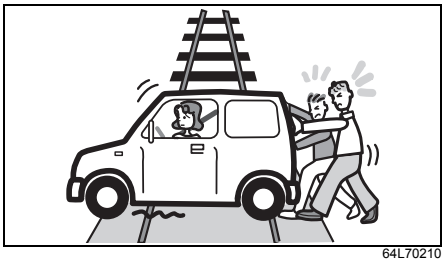
踏切の非常ボタンがわからないときは、発炎筒で列車に合図してください。



64L70200

エンストした車を少し移動させるときは

踏切や交差点などでエンストして動けなくなったときは、付近の人に押してもらって、車を安全な場所まで移動させてください。
このとき、セレクトレバーを N に入れます。



64L70210

アドバイス

エンジンスイッチを START の位置で保持してスターターをまわすことにより、車を移動させることはできません。

けん引してもらうときは

- レッカー車でけん引するとき、4 輪または駆動輪である前輪を持ち上げてください。
- 故障車を移動するには、車両運搬車を利用する方法もあります。
- エンジンがかかっていても車が動かなかったり、いつもと違う音がしたりするときは、駆動装置の故障が考えられます。けん引する前に、スズキ販売店またはスズキ代理店にご連絡ください。

⚠ 警告

レーダーブレーキサポート II（RBSII）装備車を、エンジンをかけたままでけん引する場合は、RBSII OFF スイッチを操作して、RBSII を作動停止の状態にしてください。急に RBSII が作動して思いがけない事故につながるおそれがあります。

→ **4-50ページ（レーダーブレーキ サポート II（RBSII））**

ロープけん引

ロープをかける位置は

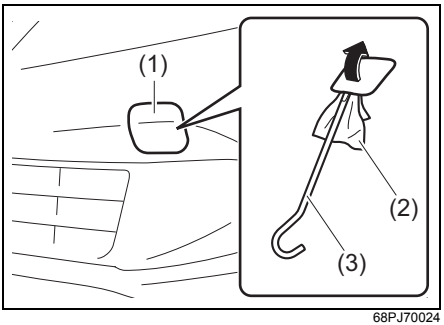
ロープは、けん引フックにかけます。

■ フロント側

1 工具（ジャッキバー、ホイールナットレンチ、けん引フック）を取り出します。

→ **7-2ページ（工具、ジャッキの収納場所）**

2 けん引フックカバー（1）の切り欠き部に、先端に布（2）をかぶせたジャッキバー（3）を差し込み、カバーをこじって外します。



68PJ70024

- 上図は代表例です。お車のタイプにより異なります。

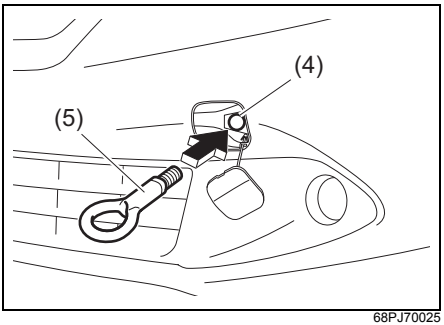
注 記

けん引フックカバーを外すときは、勢いよく引いたり、ねじったりしないでください。落下防止のひもが破損するおそれがあります。

アドバイス

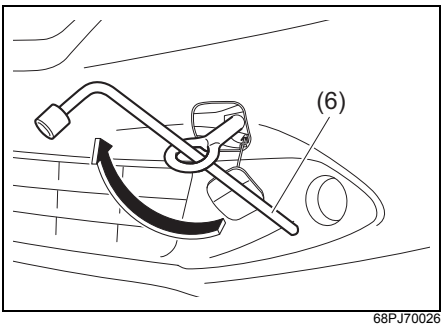
外したけん引フックカバーは、粘着テープなどで固定しておくとけん引中に落ちたり、バンパーに当たったりしにくくなります。

3 けん引フック差し込み口（4）にけん引フック（5）を差し込み、手でまわせなくなる程度まで締め付けます。



68PJ70025

4 ホイールナットレンチ（6）でけん引フックをしっかり締め付けます。

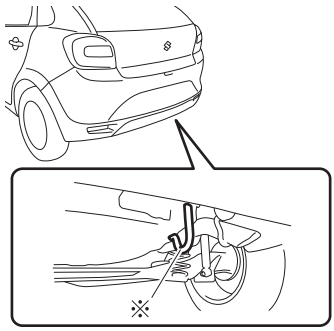


68PJ70026

注 記

●この車で他車をけん引することはできません。

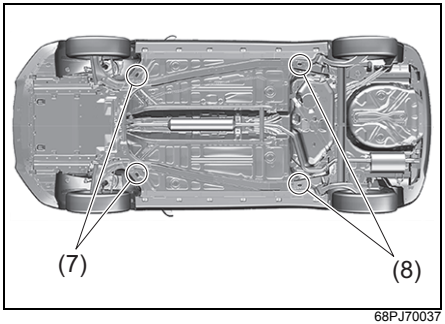
●リヤ側に装備されている ※ 印のフックは、船積み専用フックです。けん引や積載車などで搬送するときには使用しないでください。フックや車体が破損するおそれがあります。



65PJ70040

■ 積載車用の取り付け穴

積載車などに載せて搬送する場合は、前輪後部および後輪前部の取り付け穴（長穴）にロープをかけて固定します。



68PJ70037

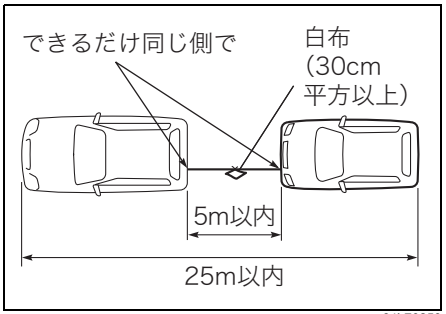
(7) 前輪後部の取り付け穴(長穴)
(8) 後輪前部の取り付け穴(長穴)

● 上図は代表例です。お車のタイプにより異なります。

ロープでけん引してもらうときは

1 けん引フックにロープをかけます。
- ロープをかけるときは、できるだけ同じ側で水平にかけてください。

2 ロープの中間に白い布（30cm 平方以上）を付けます。



64L70250

3 エンジンはかけたままにします。
- エンジンがかからないときは、エンジンスイッチを LOCK (OFF) 以外の位置にします。
- ハンドルを左右にまわして、ハンドルロックが解除されているか確認します。
- レーダーブレーキサポート II（RBSII）装備車の場合、エンジンがかかっているときは、RBSII OFF スイッチを操作してRBSIIを作動停止の状態にします。

→ **4-50ページ (レーダーブレーキ サポート II（RBSII）)**

⚠警告

エンジンがかからない車の運転は
- **エンジンスイッチを LOCK (OFF) の位置にしないでください。ハンドルがロックされてまわせなくなります。**
- **ブレーキ倍力装置が働かないため、通常より強めにブレーキペダルを踏んでください。**
- **パワーステアリング装置が働かないため、通常より大きな力をかけて操作してください。**

⚠注意

故障や鉛バッテリーあがりなどでハンドルロックが解除できないときは、ロープでけん引しないでください。

4 セレクトレバーを N に入れます。

アドバイス

故障や鉛バッテリーあがりなどで、エンジンスイッチを ON にしてブレーキペダルを踏んだ状態でもセレクトレバーを P からほかの位置へ動かせないときは、**4-19 ページ**の手順でシフトロックを解除してください。

5 けん引中はロープをたるませないようにします。追突防止のため、前の車の制動灯をよく見て運転してください。

- 後続車に注意をうながすため、けん引される車は非常点滅表示灯を点滅させてください。

⚠警告

長い下り坂や急な下り坂があるときは、ロープけん引をせず、レッカー車を依頼してください。エンジンブレーキがまったく効かないため、下り坂でブレーキペダルを踏み続けるとブレーキ装置が過熱して、ブレーキが効かなくなるおそれがあります。

注記

- **けん引する車は、急発進などけん引フックやロープに大きな衝撃が加わる運転をしないでください。けん引フックや車体が破損するおそれがあります。**
- **やむをえずロープでけん引してもらうときは、トランスミッション保護のため、速度30 km/h以下、走行距離30 km以内にしてください。**

万一、事故が起きたときは

処置のしかた

1 事故の続発を防ぐため、ほかの交通のさまたげにならない安全な場所に車を移動し、エンジンを止めます。

2 負傷者がいるときは、医師、救急車などが到着するまでの間、安全な場所で応急手当を行ないます。ただし、頭部に傷があるときは、そのままの姿勢で動かさないようにしてください。その場合でも、後続事故の心配があるときは、安全な場所に移動します。

3 事故が発生した場所、状況、負傷者や負傷の程度などを警察官に報告し、指示を受けます。

4 相手方、事故の状況をメモします。

5 ご購入された販売店や保険会社へ連絡します。

外傷がなくても医師の診断を受けましょう

後遺症が出るおそれがあります。

MEMO

<table>
<tr><th colspan="2">項　　目</th><th colspan="4">デ　　ー　　タ</th></tr>
<tr><td rowspan="2">燃料</td><td>使用燃料</td><td colspan="4">無鉛レギュラーガソリン</td></tr>
<tr><td>タンク容量</td><td colspan="4">37 L</td></tr>
<tr><td rowspan="4">エンジンオイル
（※1）</td><td rowspan="2">グレード</td><td>1.0 L車</td><td colspan="3">スズキエクスターF　SN 5W-30</td></tr>
<tr><td>1.2 L車</td><td colspan="3">スズキエクスターF　SN 0W-16
スズキエクスターF　SN/GF-5 0W-20
スズキエクスターF　SN 5W-30</td></tr>
<tr><td rowspan="2">規定量</td><td colspan="2" rowspan="2">オイル交換時</td><td>1.0 L車</td><td>2.7 L</td></tr>
<tr><td>1.2 L車</td><td>3.1 L</td></tr>
<tr><td rowspan="2">トランスミッション
オイル（AT車）</td><td>グレード</td><td colspan="4">スズキAT AW-1</td></tr>
<tr><td>規定量</td><td colspan="4">6.2 L</td></tr>
<tr><td rowspan="2">トランスミッション
フルード
(CVT車)</td><td>グレード</td><td colspan="4">スズキCVTF グリーン2</td></tr>
<tr><td>規定量</td><td colspan="4">5.73 L</td></tr>
<tr><td rowspan="3">冷却水</td><td>グレード</td><td colspan="4">スズキ純正ロングライフクーラント（緑色）</td></tr>
<tr><td rowspan="2">規定量</td><td>1.0 L車</td><td colspan="3">4.5 L</td></tr>
<tr><td>1.2 L車</td><td colspan="3">4.4 L</td></tr>
</table>

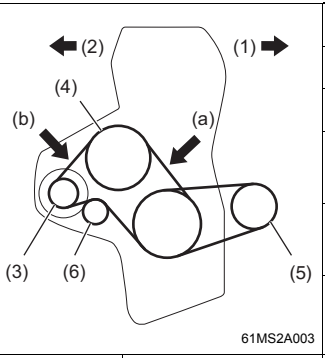
※1 適切なオイルのご使用方法については、**2-33 ページ**の「**エンジンオイルの規格／粘度**」をお読みください。

- 油脂類などの交換時期、規定の冷却水濃度は、「**メンテナンスノート**」をご覧ください。
- 0W-16は燃費性能に優れたオイルです。(1.2 L車)
- 指定外のトランスミッションフルード、ブレーキ液は絶対に入れないでください。

項目		データ		
ウォッシャー液	グレード	スズキ純正ウインドーウォッシャー液		
	タンク容量	2.0 L		
ブレーキ液	グレード	スズキ純正ブレーキフルード（DOT-3）		
スパークプラグ	タイプ	1.0 L車	NGK：ILZKR7D8（イリジウム）	
		1.2 L車	NGK：ILZKR6F11（イリジウム）	
	電極のすきま	1.0 L車	0.7～0.8 mm	
		1.2 L車	1.0～1.1 mm	
バッテリー	タイプ	55B24L		
フロントブレーキ	ディスク厚さ（※2）	基準値（新品時）	1.0 L車	20 mm
			1.2 L車	17 mm
		限度値	1.0 L車	18 mm
			1.2 L車	15 mm
リヤブレーキ	ドラム内径（※2）	基準値（新品時）	1.0 L車	200 mm
			1.2 L車	180 mm
		限度値	1.0 L車	202 mm
			1.2 L車	182 mm
ブレーキペダル	遊び	1～8 mm		
	床板とのすきま	53 mm以上〔踏み込み力 300 N（31 kgf）〕		
パーキングブレーキレバー	引きしろ	4～9 ノッチ〔操作力 200 N（20 kgf）〕		

※2 点検して限度値に達していたら、ディスクを新品に交換してください。なお、点検するには、ブレーキ装置の分解とマイクロメーターやキャリパーゲージによる測定が必要です。スズキ販売店またはスズキ代理店にご相談ください。

- 指定外のブレーキ液、クラッチ液は絶対に入れないでください。

<table>
<tr><th colspan="2">項　　目</th><th colspan="4">デ　　ー　　タ</th></tr>
<tr><td rowspan="11">ドライブベルト</td><td rowspan="10">1.0 L車</td><td rowspan="10">たわみ量〔100N（10kgf）で押したとき〕</td><td colspan="2" rowspan="6"> 
</td><td>(1)車両前方</td></tr>
<tr><td>(2)車両後方</td></tr>
<tr><td>(3)発電機</td></tr>
<tr><td>(4)ウォーターポンプ</td></tr>
<tr><td>(5)エアーコンプレッサ</td></tr>
<tr><td>(6)アイドラプーリー</td></tr>
<tr><td rowspan="2">(a)</td><td>新品時</td><td>4.8～5.9 mm</td></tr>
<tr><td>再張時</td><td>6.2～7.1 mm</td></tr>
<tr><td rowspan="2">(b)</td><td>新品時</td><td>3.3～4.1 mm</td></tr>
<tr><td>再張時</td><td>4.4～5.0 mm</td></tr>
<tr><td>1.2 L車</td><td colspan="4">自動調整式</td></tr>
<tr><td>ハンドル</td><td>遊び</td><td colspan="4">0～30 mm（ホイール外周）</td></tr>
<tr><td>タイヤ</td><td>ローテーション</td><td colspan="4">5,000 km走行ごと</td></tr>
</table>

■ 電球の容量

名　　称			ワット数（型式）	参照先
ヘッドライト	ハロゲン車		60/55 W(H4)	**7-23ページ**
	ディスチャージ車		25 W(D8S)	※1
車幅灯	ハロゲン車		5 W(W5W)	**7-26ページ**
	ディスチャージ車		LED	※2
方向指示器／非常点滅表示灯	前面		21 W(PY21W)	**7-26ページ**
	側面	フェンダー	5 W(WY5W)	**7-26ページ**
		ドアミラー	LED	※2
	後面		21 W(PY21W)	**7-27ページ**
制動灯/尾灯			LED	※2
後退灯			16 W(W16W)	**7-27ページ**
番号灯			5 W x 2 (W5W)	**7-28ページ**
前室室内灯			5 W	
中央室内灯			10 W	
荷室室内灯			5 W	
ハイマウントストップランプ			LED	※2
フォグランプ			55 W(H11)	**7-24ページ**

- 表に記載されている次の電球の場合、点検・交換の際はスズキ販売店またはスズキ代理店にご相談ください。

※1 高電圧の電球を使用している、もしくは交換の際に高電圧部分に触れて感電のおそれがあります。

※2 非分解式のランプのため、電球のみの交換はできません。ランプ本体の交換となります。

■ タイヤ／ホイール

指定タイヤのサイズと空気圧は、お車のタイプにより異なります。運転席ドアの開口部に貼付してある「空気圧ラベル」で確認してください。

標準タイヤの空気圧

タイヤサイズ	空気圧	
175/65R15 84H 185/55R16 83V	前輪	250 kPa (2.5 kgf/cm^2)
	後輪	220 kPa (2.2 kgf/cm^2)

ホイールのサイズ

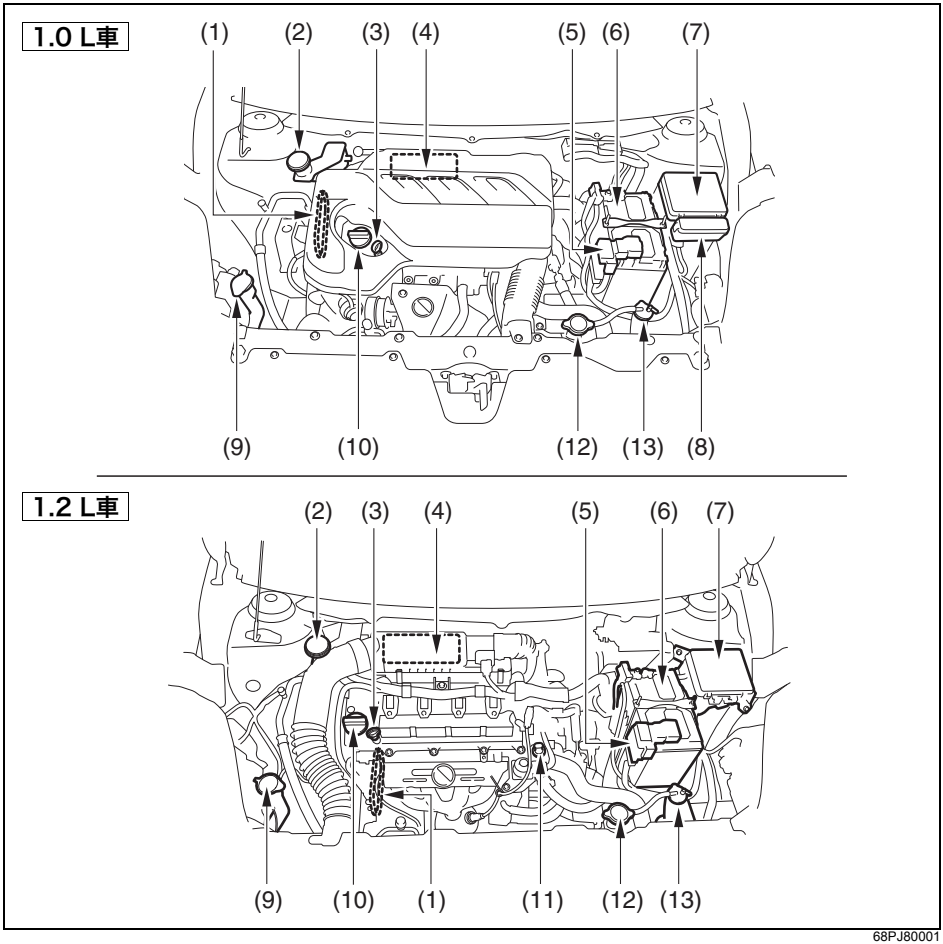
タイヤ	適合ホイール		
	リムサイズ	インセット	取り付けピッチ円直径 (PCD)
175/65R15 84H	15×5J	40 mm	100 mm
185/55R16 83V	16×6J	45 mm	

タイヤチェーン

この車に適合したスズキ純正品を装着してください。適合するタイヤチェーンについては、スズキ販売店またはスズキ代理店にご相談ください。

エンジンルームをのぞいて

イラストは代表例です。お車のタイプにより、このイラストと異なることがあります。



68PJ80001

太字は日常点検が必要な部品の一部です。詳しくはメンテナンスノートをご覧ください。

(1) ドライブベルト
(2) **ブレーキフルードリザーバータンク**
(3) **エンジンオイルレベルゲージ**
(4) エアクリーナー
(5) メインヒューズボックス
(6) **鉛バッテリー**
(7) リレーボックスNo.1
(8) リレーボックスNo.2
(9) **ウォッシャータンク**
(10) エンジンオイルフィラーキャップ
(11) CVTフルードレベルゲージ
(12) ラジエーターキャップ
(13) **冷却水リザーバータンク**

次の機能は、必ず初期設定してください

項目	機能	初期設定が必要なとき
パワーウインドー → **3-19ページ**	はさみ込み防止機構 → **3-22ページ**	鉛バッテリー端子やヒューズ（**7-21ページ**参照）を外すなどしたとき

こんな機能が設定切替え（カスタマイズ）できます

項目	機能	初期設定 （工場出荷時）	設定切替え時
キーレスプッシュスタートシステム（※）	キーレスプッシュスタートシステムの各発信機の機能	あり	なし
	携帯リモコン電池消耗警告灯の点灯（約15秒間） → **3-13ページ**	あり	なし
	携帯リモコン検出範囲外警告ブザーの吹鳴（1回） → **4-7ページ、4-11ページ**	なし	あり
アンサーバック機能（※） → **3-10ページ**	非常点滅表示灯／室内灯による合図	非常点滅表示灯/室内灯	室内灯のみ
	車外ブザーによる合図	あり	なし
セキュリティアラーム（※） → **3-16ページ**	セキュリティアラームモード	Dモード （警報モード）	Aモード （警報なしモード）
エコドライブアシスト照明（タイプ別装備）（※） → **3-59ページ**	メーター上部の照明色が青から緑に変化	あり	なし
ワンタッチ機能（※） → **3-109ページ**	方向指示器スイッチをもどしたときの点滅回数	3回	1～4回

※印の設定切替えについては、スズキ販売店またはスズキ代理店にご相談ください。

項目	機能	初期設定（工場出荷時）	設定切替え時
マルチインフォメーションディスプレイ（Aタイプ）〔セッティングモード〕 → **3-82ページ**	車外ブザー設定	あり	なし
	ワンタッチ機能の設定切替え	あり	なし
	セキュリティアラームモード	Dモード（警報モード）	Aモード（警報なしモード）
	エコスコア表示	あり	なし
	設定のリセット	ー	すべての設定を初期設定（工場出荷時）にもどす
マルチインフォメーションディスプレイ（Bタイプ）〔セッティングモード〕 → **3-97ページ**	平均燃費リセット方法選択	非連動	給油連動
			TRIP-A連動
	アンサーバック機能の車外ブザーによる合図	あり	なし
	ワンタッチ機能の設定切替え	あり	なし
	セキュリティアラームモード	Dモード（警報モード）	Aモード（警報なしモード）
	ディスプレイ内車体グラフィック色切替え	車体色1	車体色2
			車体色3
			車体色4
			車体色5
	燃費履歴表示	時間表示	運転サイクル表示
	Motion履歴表示	表示ON	表示OFF
	エコスコア表示（タイプ別装備）	表示ON	表示OFF
	ペダル操作表示	表示ON	表示OFF
	設定のリセット	ー	すべての設定を初期設定（工場出荷時）にもどす

A

ABS(アンチロックブレーキシステム)
警告灯・・・・・・・・・・・・・・・・・・3-65、4-44
装置・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 4-42
ACC表示灯 ・・・・・・・・・・・・・・・ 3-72、4-5

C

CVT(運転)・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 4-24
CVT(セレクトレバー) ・・・・・・・・・・ 4-17

E

ESP®・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 4-46
ESP® OFFスイッチ ・・・・・・・・・・・・・ 4-48
ESP® OFF表示灯 ・・・・・・・・・・3-70、4-48
ESP®作動表示灯・・・・・・・・・・・・3-71、4-47

F

FAR／NEAR切替スイッチ ・・・・・・・ 4-56

I

IG ON表示灯 ・・・・・・・・・・・・・・・ 3-72、4-5
i-Sizeチャイルドシート・・・・・・・・・・ 3-44
ISOFIX ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 3-46
ISOFIXアンカー ・・・・・・・・・・・・・・・・ 3-46
ISOFIX対応チャイルドシート
固定専用金具・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 3-46

M

M(マニュアル)モード表示 ・・・・・・・ 4-21

R

R(リバース)ポジション
警告ブザー ・・・・・・・・・・・・・・ 2-24、4-24
RBSII(レーダーブレーキサポートII)
・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 4-50
RBSII(レーダーブレーキサポートII)
OFFスイッチ ・・・・・・・・・・・・・・・・・ 4-58

S

S(スポーツ)モードスイッチ・・・・・・ 4-20
S(スポーツ)モード表示・・・・・・・・・・ 4-20
SRSエアバッグ警告灯 ・・・・・・・・・・・ 3-63
SRSエアバッグシステム ・・・ 2-26、3-49

ア

アクセサリーソケット ・・・・・・・・・・・・ 5-9
アシストグリップ ・・・・・・・・・・・・・・・ 5-15
アダプティブクルーズコントロール
・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 4-30
アダプティブクルーズコントロール
システム警告灯 ・・・・・・・・・・・・・・・ 3-69
アダプティブクルーズコントロール
システム作動表示灯 ・・・・・・・・・・・・ 3-74
アダプティブクルーズコントロール
システム車速設定表示灯 ・・・・・・・ 3-74
アルミホイール
タイヤ交換の準備 ・・・・・・・・・・・・・・ 7-9
タイヤチェーン ・・・・・・・・・・・・・・・・ 6-18
アンサーバック機能 ・・・・・・・・・・・・・ 3-10
アンテナ ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 5-34

イ

イモビライザー警告灯 ・・・・・・・3-68、4-3
イモビライザーシステム ・・・・・・・・・・ 4-3
インパネロアポケット ・・・・・・・・・・・・ 5-13

ウ

ウインドー
　ウインドーロックスイッチ ····· 3-20
　バックウインドーガラスの
　　手入れ ····· 6-5
　パワーウインドー ····· 3-19
　フロントウインドーガラスの
　　手入れ ····· 6-3
ウェアインジケーター ····· 6-7
ウォッシャー液 ····· 6-12、8-6
ウォッシャースイッチ ····· 3-110

エ

エアコン、ヒーター
　オートエアコン ····· 5-25
　吹出し口 ····· 5-19
　マニュアルエアコン ····· 5-21
エコ運転表示機能 ····· 3-78
エコスコア表示機能 ····· 3-95
エコドライブ ····· 2-33
エコドライブアシスト照明 ····· 3-59
エマージェンシーストップ
　シグナル(ESS) ····· 4-45
エンジンオイル ··2-32、2-33、3-67、8-1
エンジン回転計(タコメーター) ··· 3-59
エンジン警告灯 ····· 3-65
エンジンスイッチ ····· 4-2
エンジンスイッチ照明 ····· 4-5
エンジンスイッチもどし忘れ
　警告ブザー ····· 4-15
エンジンのかけかた ····· 4-10
エンジンの止めかた ····· 4-13
エンジンフード(ボンネット) ····· 5-4
エンジンブレーキ ····· 2-16
エンジンルームをのぞいて ····· 8-6
エンスト ····· 7-31

オ

オイル(エンジンオイル)
　····· 2-32、2-33、3-67、8-1
オーディオ ····· 5-34
オートエアコン ····· 5-25
オートマチック車
　運転 ····· 4-25
　セレクトレバー ····· 4-17
オートライトシステム ····· 3-106
オーバーヒート ····· 7-28
お子さま用シートの
　シートベルトによる固定 ····· 3-44
お子さま用シートの
　選択について ····· 3-39
お子さまを乗せるときは ····· 2-5
オドメーター
　(積算距離計) ····· 3-78、3-96

カ

外気導入
　(エアコン、ヒーター) ····· 5-24、5-29
ガソリン(燃料) ····· 2-23、8-1
可動式アシストグリップ ····· 5-15
仮眠するときは ····· 2-20
ガレージジャッキ ····· 7-12
冠水した場所 ····· 2-18
寒冷時の取扱い ····· 6-12

キ

キースイッチ
　(エンジンスイッチ) ····· 4-2
キーナンバープレート ····· 3-3
キーレスエントリー ····· 3-9
キーレスプッシュスタート
　システム ····· 4-4
キックダウン ····· 4-23、4-27
キャップホルダー ····· 5-3
ギヤポジション表示 ····· 3-77
給油 ····· 2-22、5-2、8-1

ク

空気圧・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・8-5
草の生い茂った場所・・・・・・・・・・・・・ 2-17
くもり取り(デフロスター)・・・・・・・ 5-19
くもり取り(リヤデフォッガー)・・ 3-113
クリープ現象・・・・・・・・・・・・・・2-24、4-23
車のお手入れ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・6-2
グローブボックス・・・・・・・・・・・・・・・ 5-14

ケ

警告灯・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1-16
警告灯・表示灯の見かた・・・・・・・・・・ 3-61
警告ブザー
　R(リバース)ポジション
　　警告ブザー・・・・・・・・・・・・・2-24、4-24
　エンジンスイッチもどし忘れ
　　警告ブザー・・・・・・・・・・・・・・・・・ 4-15
　警告ブザーが
　　鳴ったときは・・・・・・・・・・・・・・・・ 1-22
　携帯リモコン検出範囲外
　　警告ブザー・・・ 4-7、4-8、4-11、4-13
　パーキングブレーキ解除忘れ
　　警告ブザー・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 4-16
　シートベルト警告ブザー・・・・・・・ 3-34
　ハンドルロック未作動
　　警告ブザー・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 4-15
　ライト消し忘れ警告ブザー・・・・ 3-106
　リクエストスイッチ未作動
　　警告ブザー・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 3-14
携帯電話・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 2-15
携帯リモコン・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 3-11
携帯リモコン車外持ち出し警告・・・・・4-8
携帯リモコン電池消耗警告表示・・・ 3-13
携帯リモコン閉じ込み防止機能・・・ 3-15
携帯リモコンの電池交換・・・・・・・・・・・・6-8
警報装置・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 3-16
けん引・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 7-32

コ

工具 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 7-2
光軸調整ダイヤル ・・・・・・・・・・・・・・3-108
後席シート ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 3-30
航続可能距離 ・・・・・・・・・・・・・ 3-78、3-88
故障したときは ・・・・・・・・・・・・・・・・・ 7-30

サ

サービスデータ ・・・・・・・・・・・・・・・・・ 8-1
サンバイザー ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 5-6

シ

シートバックポケット ・・・・・・・・・・・ 5-13
シートベルト警告ブザー ・・・・・・・・・ 3-34
シートヒータースイッチ ・・・・・・・・・ 3-29
シートベルト ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 3-33
シートベルト警告灯 ・・・・・・・・・・・・・ 3-62
シートベルトフォース
　リミッター ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 3-38
シートベルトプリテンショナー ・・・ 3-37
事故が起きたときは ・・・・・・・・・・・・・ 7-35
室内灯 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 5-7
　前室室内灯 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 5-8
　ラゲッジルームランプ ・・・・・・・・・・ 5-8
　ルームランプ ・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 5-7
シフトロック ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 4-19
ジャッキ(収納場所) ・・・・・・・・・・・・・ 7-2
ジャッキアップ
　(タイヤチェーン) ・・・・・・・・・・・・・ 6-18
ジャッキアップ
　(パンクしたとき) ・・・・・・・・・・・・・ 7-11
充電警告灯 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 3-67
樹脂部品などの手入れ ・・・・・・・・・・・・ 6-4
出発の前に ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 2-2
ジュニアシート ・・・・・・・・・・・・・・・・・ 2-6
瞬間燃費 ・・・・・・・・・・・・・・・・・ 3-78、3-88
初期設定 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 8-7
ショッピングフック ・・・・・・・・・・・・・ 5-16

ス

スタック(立ち往生)・・・・・・・・・・・・2-19
ステアリング
　オーディオスイッチ・・・・・・・・・・・5-35
スノーブレード・・・・・・・・・・・・・・・・6-13
スピードメーター(速度計)・・・・・・・3-59
滑りやすい路面・・・・・・・・・・・・・・・・2-17
スポーツモードスイッチ・・・・・・・・・4-20
スポーツモード表示・・・・・・・・・・・・・4-20

セ

セキュリティアラーム・・・・・・・・・・・3-16
設定切替え(カスタマイズ)・・・・・・・・ 8-7
セッティングモード(Aタイプ)・・・・3-82
セッティングモード(Bタイプ)・・・・3-97
セレクトレバー
　位置表示・・・・・・・・・・・・・・・ 3-77、3-95
　操作・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・4-17
前室室内灯・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 5-8
洗車・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 6-2
前照灯(ヘッドライト)
　・・・・・・・・・・・・・・・・・・3-105、7-23、8-4
前席シート・・・・・・・・・・・・・・・・・・・3-26
前席ドリンクホルダー・・・・・・・・・・・・ 5-1

ソ

走行中の注意・・・・・・・・・・・・・・・・・2-14
速度計(スピードメーター)・・・・・・・3-59

タ

ターボ車を運転・・・・・・・・・・・・・・・2-28
タイマーロック機能・・・・・・・・・・・・3-10
タイヤ
　応急修理したあとは・・・・・・・・・・・・ 7-9
　応急修理のしかた・・・・・・・・・・・・・ 7-4
　空気圧・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 8-5
　交換したあとは・・・・・・・・・・・・・・・7-15
　交換するときは・・・・・・・・・・・・・・・ 6-7
　交換の準備・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 7-9
　チェーン・・・・・・・・・・・・・・・・・ 6-18、8-5
　パンク応急修理セット・・・・・・・・・・・7-3
　冬用タイヤ・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 6-16
　ホイールサイズ・・・・・・・・・・・・・・・・8-5
　ローテーション・・・・・・・・・・・・・・・・6-6
　輪止め・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 2-20、6-13
タコメーター(エンジン回転計)・・・ 3-59
立ち往生(スタック)・・・・・・・・・・・・・ 2-19
暖機運転・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 2-34

チ

チェーン(タイヤチェーン)・・・ 6-18、8-5
チケットホルダー
　(サンバイザー)・・・・・・・・・・・・・・・・5-6
チャイルドシート・・・・・・・・・・・・・・・・2-6
チャイルドプルーフ・・・・・・・・・・・・・・3-8
駐車するときは・・・・・・ 2-19、4-28、6-16

テ

停止表示板・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 7-30
ディスチャージヘッドライト・・・・・・・8-4
デフロスター・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 5-19
デフロスタースイッチ・・・・・・・・・・・ 5-30
テレスコピック&
　チルトステアリング・・・・・・・・・・・ 6-10
テレスコピック&チルト
　ステアリング・・・・・・・・・・・・・・・・・ 3-26
電球
　電球の交換(ランプ類)・・・・・・・・・ 7-23
　電球の点検・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 7-22
　ワット数(ランプ類)・・・・・・・・・・・・・8-4
点検・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・2-2、8-1
電源が切り替わらないときは・・・・・・・4-7
電源の切替え・・・・・・・・・・・・・・・・・・・4-6
電池交換(携帯リモコン)・・・・・・・・・・6-8

ト

ドア……3-3
ドアの開閉……3-2
ドアポケット…… 5-12
ドアミラー…… 3-24
ドアミラー角度調節スイッチ…… 3-24
ドアミラー格納スイッチ…… 3-25
ドアロック解除機能……3-8
凍結防止剤…… 6-2、6-16
凍結路…… 6-15
登降坂変速制御…… 4-23
トランスミッション警告灯…… 3-68
トリップメーター
（区間距離計）……3-78、3-96
ドリンクホルダー…… 5-11

ナ

内気循環
（エアコン、ヒーター）……5-24、5-29
内装のお手入れ……6-4
鉛バッテリー……2-3

ニ

日常点検……2-2

ネ

燃費
瞬間燃費……3-79、3-90
平均燃費……3-79、3-90
燃料…… 2-23、8-1
燃料給油口……5-2
燃料計…… 3-60
燃料残量警告灯…… 3-64
燃料タンク容量……8-1

ハ

パーキングブレーキ
解除忘れ警告ブザー …… 4-16
寒冷時の取扱い …… 6-16
操作 …… 4-15
ブレーキ警告灯 …… 3-61
ハイドロプレーニング現象 …… 2-18
ハイマウントストップランプ …… 8-4
はさみ込み防止機構 …… 3-21
発炎筒 …… 7-30
バックウインドーガラス
室内側の手入れ …… 6-5
バックミラー（ルームミラー） …… 3-23
バッテリー
鉛バッテリー …… 2-3
バッテリーあがり …… 7-15
パドルシフトスイッチ …… 4-21
バニティーミラー
（サンバイザー） …… 5-6
ハロゲンヘッドライト ……7-23、8-4
パワーウインドー …… 3-19
パワーステアリング警告灯 …… 3-66
パワードアロック …… 3-8
パンク
応急修理のしかた …… 7-4
タイヤ交換 …… 7-9
番号灯 ……7-28、8-4
半ドア警告灯 …… 3-68
ハンドルロックが
解除できないときは …… 4-3
ハンドルロック未解除警告 …… 4-3
ハンドルロック未作動
警告ブザー …… 4-15

ヒ

ヒーター(エアコン)
　オートエアコン ・・・・・・・・・・・・・・・5-25
　吹出し口 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・5-19
　マニュアルエアコン ・・・・・・・・・・・5-21
非常点滅表示灯 ・・・・・・・・・・・・・7-26、8-4
非常点滅表示灯スイッチ ・・・・・・・・3-110
必読！ ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 2-2
ヒューズ切れ ・・・・・・・・・・・・・・・・・・7-18
表示灯 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・1-19
日よけ(サンバイザー) ・・・・・・・・・・・・ 5-6
ヒルホールドコントロール ・・・・・・・4-49

フ

ブースターケーブル ・・・・・・・・・・・・・7-15
フォグランプ ・・・・・・・・・・・・・・・7-24、8-4
フォグランプスイッチ ・・・・・・・・・・3-107
フォグランプ点灯表示灯 ・・・・・・・・・3-74
プッシュ表示灯 ・・・・・・・・・・・・・3-71、4-5
フットレスト ・・・・・・・・・・・・・・・・・・5-15
フューエルキャップ ・・・・・・・・・・・・・・ 5-2
フューエルリッド ・・・・・・・・・・・・・・・ 5-2
フルホイールキャップ
　(取り付け) ・・・・・・・・・・・・・・・・・・7-14
フルホイールキャップ
　(取り外し) ・・・・・・・・・・・・・・・・・・7-10
ブレーキ
　ブレーキアシスト ・・・・・・・・・・・・・4-44
　ブレーキ警告灯 ・・・・・・・・・・・・・・・3-61
　ブレーキ倍力装置 ・・2-16、4-13、7-34
フロントシート ・・・・・・・・・・・・・・・・3-26
フロントワイパー／
　ウォッシャースイッチ ・・・・・・・・3-110

ヘ

平均車速・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 3-88
平均燃費・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 3-78、3-88
ヘッドライト(前照灯)
　・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 3-105、7-23、8-4
ヘッドライト上向き(ハイビーム)
　表示灯・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 3-70
ヘッドレスト
　後席・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 3-30
　前席・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 3-28
ベビーシート・・・・・・・・・・・・・・・・ 2-6、3-40

ホ

ホイールキャップ(取り付け)・・・・・ 7-14
ホイールキャップ(取り外し)・・・・・ 7-10
ホイールサイズ・・・・・・・・・・・・・・・・・・8-5
防眩式ルームミラー・・・・・・・・・・・・・ 3-23
方向指示器・・・・・・・・・・・・・7-26、7-27、8-4
方向指示器スイッチ・・・・・・・・・・・・ 3-109
方向指示器表示灯・・・・・・・・・・・・・・・ 3-70
ホーンスイッチ・・・・・・・・・・・・・・・・ 3-112
ボンネット・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・5-4

マ

マスターウォーニング・・・・・・・・・・・・ 3-69
マニュアルエアコン・・・・・・・・・・・・・・ 5-21
マニュアルモード
　マニュアルモードシフト警告・・・ 4-22
　マニュアルモードの使いかた・・・ 4-21
マルチインフォメーション
　ディスプレイ・・・・・・・・・・・・・ 3-75、3-85
　メッセージ・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 3-100
万一のとき・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・7-1

ミ

ミラー
ドアミラー…… 3-24
バニティーミラー……5-6
ルームミラー…… 3-23

メ

メーターの照明…… 3-60
メーターの明るさ調整……3-80、3-94
メーターの見かた…… 3-58

ユ

油圧警告灯…… 3-67
雪道を走行するとき…… 6-15

ヨ

よくあるご質問…… 1-28
横風が強いときは…… 2-17
ライト消し忘れ警告ブザー…… 3-106

ラ

ライトスイッチ…… 3-105
ライト点灯表示灯…… 3-70
ラゲッジシェルフ(荷室カバー)… 5-16
ラゲッジフロアカーペット…… 5-18
ラゲッジボード…… 5-17
ラゲッジルームランプ……5-8
ラジエーターキャップ…… 7-29、8-6
ランプ
電球の交換(ランプ類)…… 7-23
ハイマウントストップランプ……8-4
番号灯……8-4
非常点滅表示灯…… 3-110、7-26、8-4
フォグランプ……8-4
ヘッドライト……3-105、8-4
方向指示器…… 3-109、7-26、8-4
リヤコンビネーションランプ… 7-27
ワット数、型式(ランプ類)……8-4

リ

リクエストスイッチ …… 3-13
リクエストスイッチ未作動
警告ブザー …… 3-14
リクライニングレバー …… 3-27
リジッドラック …… 7-12
リヤ(後席)シート …… 3-30
リヤコンビネーションランプ
……7-27、8-4
リヤデフォッガースイッチ ……3-113
リヤワイパー／ウォッシャー
スイッチ ……3-112

ル

ルーフアンテナ …… 5-34
ルームミラー …… 3-23
ルームランプ(室内灯) …… 5-7

レ

冷却水(ラジエーター液)
オーバーヒート …… 7-29
寒冷時の取扱い …… 6-12
規定水量 …… 8-1
レーダーセンサー …… 4-59
レーダーブレーキ
サポートII(RBSII) …… 4-50
レーダーブレーキ
サポートII(RBSII)OFF表示灯 ‥ 3-73
レーダーブレーキ
サポートII(RBSII)作動表示灯 ‥ 3-73
レーダーブレーキサポートII
(RBSII)OFFスイッチ…… 4-58

ワ

ワイパー
寒冷時の取扱い …… 6-13、6-14、6-17
ワイパースイッチ ……3-111
ワイパーブレードラバーの交換 … 6-10
ワックス …… 6-2

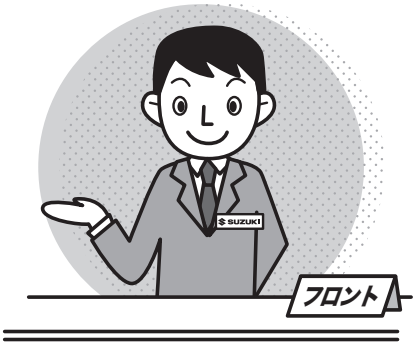
MEMO

MEMO

MEMO

お問い合わせ、ご相談は

お車のことや、車検・点検などのアフターサービスについてのお問い合わせやご相談がございましたら、まずはお買い上げいただきましたスズキ販売店またはスズキ代理店にお尋ねください。



スズキ代理店にお問い合わせやご相談をいただくときは、別冊の「スズキ4輪車サービスネットワーク」に記載してありますお近くの代理店にお気軽にご連絡ください。
お客様のご相談に対して的確な判断と迅速な処理をするため、あらかじめ、お手元に車検証をご準備いただき、次の事項をご確認のうえ、ご連絡願います。

①車名、車台番号、ナンバープレートの番号など
②ご購入年月日
③走行距離
④ご相談内容
⑤お客様のご住所、お名前、お電話番号